



平成 30 年度

東京医科歯科大学全学共通科目

東京医科歯科大学教養部



目次

哲学Ⅰ	6
哲学Ⅱ	8
倫理学Ⅰ	10
倫理学Ⅱ	12
心理学Ⅰ	14
心理学Ⅱ	16
宗教学Ⅰ	18
宗教学Ⅱ	20
芸術Ⅰ	22
芸術Ⅱ	24
歴史学AⅠ	26
歴史学AⅡ	28
歴史学BⅠ	30
歴史学BⅡ	32
科学史Ⅰ	34
科学史Ⅱ	36
文学AⅠ	38
文学AⅡ	41
文学BⅠ	43
文学BⅡ	46
法学Ⅰ	48
法学Ⅰ（憲法）	50
法学Ⅱ	52
政治学Ⅰ	54
政治学Ⅱ	56
経済学Ⅰ	58
経済学Ⅱ	60
社会学AⅠ	62
社会学AⅡ	64
社会思想史Ⅰ	66
社会思想史Ⅱ	68
文化人類学Ⅰ	70
文化人類学Ⅱ	72
社会科学特論Ⅰ	74
社会科学特論Ⅱ	76
Japanese Culture and SocietyⅠ	78
Japanese Culture and SocietyⅡ	80
グローバル教養科目・Linguistics	82
グローバル教養科目・Men and Women in Modern World	84
グローバル教養科目・Science and Technology in Society	86
グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences	88
グローバル教養科目・Japanese linguistics	90
グローバル教養科目・Health and Illness in the US and Japan	92
グローバル教養科目・Science and Technology in Society	94
グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences	96
物理学入門	98
生物学入門	99
化学入門	101
数学ⅠM	103

数学ⅠD.....	105
数学ⅠT.....	107
物理学ⅠM.....	109
物理学ⅠD・T.....	111
数学Ⅱ（ β ）.....	113
数学Ⅱ（ γ ）.....	115
物理学ⅡM.....	117
物理学ⅡD・T.....	119
統計学（ α ）.....	121
統計学（ β ）.....	123
化学（一般化学）M.....	125
化学（一般化学）D.....	128
化学（一般化学）T.....	131
化学基礎(α).....	134
化学基礎(β).....	136
生物学（細胞・遺伝子）M.....	138
生物学（細胞・遺伝子）DT.....	140
生物学（構造・機能）M.....	142
生物学（構造・機能）DT.....	144
細胞生物学基礎.....	146
人体の生物学基礎.....	148
英語.....	150
英語 a.....	151
英語 a.....	154
英語 a.....	156
英語 a.....	158
英語 a.....	161
英語 a.....	163
英語 a.....	165
英語 a.....	167
英語 a.....	169
英語 a.....	171
英語 a.....	174
英語 a.....	177
英語 a.....	179
英語 b.....	181
英語 b.....	183
英語 b.....	185
英語 b.....	187
英語 b.....	189
英語 b.....	191
英語 b.....	193
英語 b.....	195
英語 b.....	197
英語 b.....	199
英語 b.....	201
英語 b.....	203
英語 b.....	205
英語 c.....	207
英語 c.....	210
英語 c.....	212

英語 c.....	214
英語 c.....	217
英語 c.....	219
英語 c.....	221
英語 c.....	223
英語 c.....	225
英語 c.....	227
英語 c.....	230
英語 c.....	233
英語 c.....	235
英語 d.....	237
英語 d.....	239
英語 d.....	241
英語 d.....	243
英語 d.....	245
英語 d.....	247
英語 d.....	249
英語 d.....	251
英語 d.....	253
英語 d.....	255
英語 d.....	257
英語 d.....	259
英語 d.....	261
日本語 a.....	263
日本語 b.....	265
日本語 c.....	267
日本語 d.....	269
ドイツ語 a.....	271
ドイツ語 a.....	275
ドイツ語 a.....	279
ドイツ語 a.....	283
ドイツ語 a.....	287
ドイツ語 a.....	291
ドイツ語 b.....	295
ドイツ語 b.....	299
ドイツ語 b.....	304
ドイツ語 b.....	309
ドイツ語 b.....	314
ドイツ語 b.....	319
ドイツ語 c.....	324
ドイツ語 c.....	327
ドイツ語 c.....	330
ドイツ語 c.....	333
ドイツ語 c.....	336
ドイツ語 c.....	339
ドイツ語 d.....	342
ドイツ語 d.....	347
ドイツ語 d.....	352
ドイツ語 d.....	357
ドイツ語 d.....	362
ドイツ語 d.....	367

フランス語 a	372
フランス語 a	375
フランス語 b	378
フランス語 b	381
フランス語 c	384
フランス語 c	387
フランス語 d	390
フランス語 d	393
フランス語 d	396
フランス語 d	399
中国語 a	402
中国語 a	404
中国語 b	406
中国語 b	409
中国語 c	412
中国語 c	414
中国語 d	416
中国語 d	419
スペイン語 a	422
スペイン語 b	424
スペイン語 c	426
スペイン語 d	428
物理学実験	430
化学実験	433
生物学実験	439
サイエンス PBL 入門	444
科学基礎実験 T	450
科学基礎実験 N・O・K	452
科学基礎演習	455
情報科学 N	457
情報科学 T	459
情報科学 O・K	461
情報処理(a)	464
情報処理(b)	466
スポーツ・健康科学	468
スポーツ・健康科学	470
フィットネスマネージメント	472
フィットネスマネージメント	475
フィットネスマネージメント	478
フィットネスマネージメント	481
フィットネスマネージメント	484
フィットネスマネージメント	487
フィットネスマネージメント	489
フィットネスマネージメント	492
S・ロシア語入門 1	494
S・漢文講読	496
S・英語で読む医学哲学	498
S・フランスとヨーロッパの現在	500
R・講義と実習によるバイオサイエンス 1	503
S・Essentials of Molecular and Cellular Biology	505
R・離散構造	508

S・翻訳演習.....	510
S・イギリス文学講読.....	512
S・数学入門.....	515
S・タンパク質の科学.....	517
S・分子分光光学演習：基礎編.....	519
S・基礎力学.....	521
S・水の科学.....	523
S・Topics in the News.....	525
S・Calculus for medical students.....	528
S・Essentials of Medical Language.....	530
S・英語で学ぶ力学.....	533
S・現代パフォーミングアーツ入門.....	534
S・ウニの発生と海産生物の観察実習.....	536
S・彫刻（塑造）.....	538
S・メンタルトレーニング.....	540
S・生体分子分光光学演習.....	542
S・日本の古典.....	544
S・フランス語でニュースを読む.....	546
S・ロシア語入門2.....	549
R・「点子ちゃんとアントン」を読む.....	551
S・糖の科学.....	555
S・数学解析.....	557
S・実用統計学.....	559
S・Discussions on Human Behavior.....	561
S・一般化学演習.....	563
S・Basic Concepts in Physics.....	565
S・十進BAS I Cで学ぶ幾何学デザイン.....	567
教養総合講座.....	569
医療人間学概論（倫理学）.....	578
医療人間学概論（法学）.....	580
医療人間学セミナーⅠ（法学）.....	582
医療人間学セミナーⅠ（倫理学）.....	584
医療人間学セミナーⅡ（法学）.....	586
医療人間学セミナーⅡ（倫理学）.....	588

時間割番号	000001																																																																																				
科目名	哲学Ⅰ																																																																																				
担当教員	田中 智彦																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 受入人数: 15 名程度 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-7) 人間の心への理解を深める																																																																																					
授業の目的、概要等 私たちは徹頭徹尾、世界と関係している。だからこそ私たちがそのことに気づく唯一の方法は、そのように世界と関係する運動を中止することなのである。〔中略〕それは常識や自然的態度のもっている諸確信を放棄することではない(それどころか逆に、そうした諸確信こそ哲学の恒常的なテーマなのだ)。そうではなく、むしろそれらの確信がまさにあらゆる思惟の前提として「自明のもの」になっており、しかしそうとは気づかれないうで通用しているからこそ、そうするのである。メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』 この授業では上の言葉を導きの糸にして、「わたし」あるいは「自己」というものの成り立ちについて考察します。それはいいかえれば、「わたし」が「わたし」としてあること、ありうることの根拠を、あらためて問う試みです。そしてそこからは、「わたし」と「他者」との間には、また「世界」との間には、どのような関係性があるのか、ありうるのかという問いへと、さらに議論は展開していくことになるでしょう。 受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。																																																																																					
授業の到達目標 (1) 上記の試みをつうじて、私たちの生とそれが営まれるこの世界とについて理解を深めること。 (2) 「わたし」「他者」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。 (3) 「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>3</td><td>5/7</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>4</td><td>5/14</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/21</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/11</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>9</td><td>6/18</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>10</td><td>6/25</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>11</td><td>7/2</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>12</td><td>7/9</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>13</td><td>7/23</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>14</td><td>7/30</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>15</td><td>8/1</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	2	4/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	3	5/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	4	5/14	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	5	5/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	6	5/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	7	6/4	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	8	6/11	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	9	6/18	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	10	6/25	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	11	7/2	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	12	7/9	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	13	7/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	14	7/30	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	15	8/1	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/16	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
2	4/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
3	5/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
4	5/14	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
5	5/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
6	5/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
7	6/4	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
8	6/11	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
9	6/18	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
10	6/25	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
11	7/2	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
12	7/9	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
13	7/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
14	7/30	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
15	8/1	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
授業方法 授業はセミナー形式で行います。受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。授業ではそれらをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。																																																																																					

授業内容 この授業では次の三つを主要な論点として取り上げていきます。 (1)「わたし」あるいは「自己」の成り立ちについて (2)「わたし」あるいは「自己」と「他者」との関係性について (3)それらをふまえたときに見えてくる「世界」のありようについて
成績評価の方法 この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします ◇評価: 期末試験もしくは期末レポート 70% 授業への参加度 30%(事前の準備、議論への参加度など) ◇再評価: 有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にしたうえで授業に臨むことです。授業ではそれらの疑問点やコメントをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。このプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、「読み」の他の可能性へと自分を開いていけるようになるでしょう。そのためにも、準備段階からディスカッションまでの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な摂取・応用に努めてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則 3 分の 2 以上の出席
教科書 テキストは初回にお知らせします。論文等をテキストに用いる場合は随時コピーを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦 tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦: 毎週金曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000002																																																																																				
科目名	哲学Ⅱ																																																																																				
担当教員	田中 智彦																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
◇ 曜日・時間: 月曜 1 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 受入人数: 15 名程度 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-7) 人間の心への理解を深める																																																																																					
授業の目的、概要等 身体性は存在と所有の境界ゾーンである。あらゆる所有はある仕方、私の身体に関連して定義される。私の身体は、絶対的な所有であるということによって、いかなる意味でも所有であることをやめるものである。所有することとは、所有物を自由にすることができるということ、所有物に対して力を所有することである。この自由にすること、あるいはこの力ということには、必ず有機体の介在が含まれている。ところが、この有機体そのものは、まさにそのことによって、私がそれを自由にできるとは言えなくなるのである。 マルセル『存在と所有』 この授業では上の言葉を導きの糸にして、私たちの「自己」と「身体」について考察します。またそれらと深く関係する他の論点についても——たとえば「健康」「正常」といった概念や、「病む」「老いる」といった経験についても——あわせて考察してゆきます。そしてそのことは、私たち人間にとって「生」とは、「死」とは何かということ、あらためて問うことにもつながるでしょう。 受講に際しては、哲学に関する知識の多寡は問われません。「自明のもの」をあらためて「思考する」こと、そのことへの興味があれば、さしあたりは十分です。																																																																																					
授業の到達目標 (1) 上記の試みをつうじて、私たちの自己・身体とそれらが住まうこの世界とについて理解を深めること。 (2) 「自己」「身体」およびそれらに関連する哲学のテーマについて基本的な理解を得ること。 (3) 「世界の解像度を上げる」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。 (4) テキストをより精確に読み、より深く理解できるようになること。 (5) 自分のとは異なる視点を理解し、摂取し、自分の視点をより豊かなものにできるようになること。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/1</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>11</td><td>12/17</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>12</td><td>1/7</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>13</td><td>1/21</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>15</td><td>1/28</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/1	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	2	10/15	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	3	10/22	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	4	10/29	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	5	11/5	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	6	11/12	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	7	11/19	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	8	11/26	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	9	12/3	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	10	12/10	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	11	12/17	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	12	1/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	13	1/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	14	1/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦	15	1/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/1	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
2	10/15	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
3	10/22	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
4	10/29	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
5	11/5	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
6	11/12	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
7	11/19	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
8	11/26	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
9	12/3	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
10	12/10	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
11	12/17	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
12	1/7	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
13	1/21	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
14	1/23	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
15	1/28	09:10-10:40	4 番教室	田中 智彦																																																																																	
授業方法 授業はセミナー形式で行います。受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。授業ではそれらをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解																																																																																					

を深めます。
授業内容 この授業では順次、以下の論点を取り上げていく予定です。 第1回-8回:「自己」と「身体」と「社会」「歴史」との関係性について 第9回-12回:現代社会における「自己」と「身体」の問題について 第13回-15回:医学・医療、生命科学技術と「身体」の関係について
成績評価の方法 この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。 ◇評価:期末レポート 70% 授業への参加度 30%(事前の準備、議論への参加度など) ◇再評価:有(試験もしくはレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にしたうえで授業に臨むことです。授業ではそれらの疑問点やコメントをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。このプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、「読み」の他の可能性へと自分を開いていけるようになるでしょう。そのためにも、準備段階からディスカッションまでの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な摂取・応用に努めてください。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則として3分の2以上の出席
教科書 テキストは初回にお知らせします。論文等をテキストに用いる場合は随時コピーを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる記録とを併用します。
連絡先 田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦:毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室

時間割番号	000003																																																											
科目名	倫理学 I																																																											
担当教員	田中 智彦																																																											
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																							
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-9) 市民としての倫理観を養う 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる																																																												
授業の目的、概要等 人間の思考のなかで重要なのは、彼らが考えたことよりも、むしろ彼らによって考えられなかったことのほうなのである。このノン・パンセは、初めから人間のもろもろの思考を体系化し、それ以降はこれを際限なく言語であげつらいうものとなし、さらにこれについて考える、という任務にむかって限りなく開かれたものにするのである。 フーコ —『臨床医学の誕生』 この授業では上の言葉を導きの糸にして、「生命倫理(学)」について考察してゆきます。もともとそれは、生命倫理について概説することでもなければ、学説史をたどることでもありません。生命倫理において「思考されずにあること」「語られずにあること」を問うことによって、すなわち、生命倫理の「ノン・パンセ」を問うことによって、今日の生と死をめぐる倫理のありようを批判的に検討する試みです。そしてそのことは、いわゆる「医の倫理」はもとより、生と死をめぐる「倫理」が具えるべき視点を、いわば裏側から照らし出すことになるでしょう。																																																												
授業の到達目標 (1) 上記の試みをつづじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。 (2) 現代の生と死のありようと医学・医療の特質が提起する倫理の問いについて基本的な理解を得ること。 (3) 「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。																																																												
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	2	4/20	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	3	4/27	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	4	5/11	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	5	5/18	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	6	5/25	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	7	6/1	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	8	6/8	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	9	6/15	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	10	6/22	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																								
1	4/13	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
2	4/20	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
3	4/27	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
4	5/11	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
5	5/18	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
6	5/25	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
7	6/1	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
8	6/8	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
9	6/15	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								
10	6/22	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																																								

11	6/29	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦	
12	7/6	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦	
13	7/13	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦	
14	7/20	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦	
15	7/27	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦	
授業方法 授業は講義形式で行う予定です。ただし、受講者が少ない場合には、セミナー形式に変更することもあります(その場合は初回の授業時にあらためて授業方法等を説明します)。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。					
授業内容 この授業では次のような論点を取り上げていきます。 第 1 回-3 回: 生と死をめぐる法、政治、経済の問題と、倫理のありようについて 第 4 回-10 回: 生権力・生政治の歴史的・具体的な展開とその帰結について 第 11 回-15 回: 現代医学・医療の特質とそこから要請される倫理の問いについて					
成績評価の方法 この授業は講義形式とはいえ、受講者にはみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします ◇評価: 期末試験もしくは期末レポート 80% その他 20%(授業への参加度) ◇再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。					
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則として 3 分の 2 以上の出席					
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。					
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					
連絡先 田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 田中 智彦: 毎週金曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室					

時間割番号	000004																																																	
科目名	倫理学Ⅱ																																																	
担当教員	田中 智彦																																																	
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																													
◇ 曜日・時間: 金曜 2 限 ◇ 対象学科: 全学科 ◇ 受入人数: 15 名程度 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-7) 人間の心への理解を深める 別表 1-9) 市民としての倫理観を養う																																																		
授業の目的、概要等 創造的な注意とは存在しないものに現実に向けられることである。道端に転がっている生気のない無名の肉体には人間性は存在しない。それでも立ち止まって見つめるサマリア人は、この不在の人間性に注意を向けているのであり、そしてその後続く行いは、そこで問われているのが真の注意であることを証し立てているのである。 ヴェイユ『著作集Ⅳ』〔一部改訂〕 ヴェイユは『ルカによる福音書』に登場する「善きサマリア人」のたとえ話にこのような注釈をつけました。この授業ではこうしたヴェイユの視点を導きの糸にして、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」について考察してゆきます。 「人間の尊厳」も「いのちの尊厳」も、すでに語り尽くされている感があるかもしれません。あるいはその大切さは承知していても、どこか「机上の空論」でしかないような印象が否めないかもしれません。またそれゆえに、「人間の尊厳」や「いのちの尊厳」の名の下に「死」が語られ、「死を与える」ことまでもが正当化されても、私たちはさして違和感を覚えなくなっているのかもしれません。しかし、果たして「尊厳」とは、本当にそのようなものでしかないのでしょうか。 この授業ではあらためてそうした問いを立て、「人間の尊厳」「いのちの尊厳」という概念の意義と問題点 を検討するとともに、一般にそう思われているのとは異なる解釈の可能性を探ります。その試みは、これらの 概念とは不可分の「人権」について、さらには私たち「人間」の生と死について、再考することにもつながるでしょう。																																																		
授業の到達目標 (1) 上記の試みをつうじて、「倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。 (2) 「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。 (3) 「世界を別の視点から見る」ことの面白さと大切さを知り、自分でも取り組めるようになること。 (4) テキストをより精確に読み、より深く理解できるようになること。 (5) 自分のとは異なる視点を理解し、摂取し、自分の視点をより豊かなものにできるようになること。																																																		
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>11 番教室</td><td>田中 智彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	2	10/5	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	3	10/19	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	4	10/26	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	5	11/2	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	6	11/9	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	7	11/16	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦	8	11/30	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																														
1	9/28	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
2	10/5	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
3	10/19	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
4	10/26	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
5	11/2	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
6	11/9	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
7	11/16	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														
8	11/30	10:50-12:20	11 番教室	田中 智彦																																														

			室	
9	12/7	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
10	12/14	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
11	12/21	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
12	1/11	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
13	1/18	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
14	1/25	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
15	2/1	10:50-12:20	11 番教 室	田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で行います。受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。授業ではそれらをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。				
授業内容 この授業では次のような論点を取り上げていきます。 第 1 回-8 回:「人間の尊厳」とは——ハンセン病をめぐる諸問題を手がかりに 第 9 回-12 回:「いのちの尊厳」とは——出生前診断をめぐる諸問題を手がかりに 第 13 回-15 回:「人間の尊厳」「いのちの尊厳」を再考する				
成績評価の方法 この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。 ◇評価:期末レポート 70% 授業への参加度 30%(事前の準備、議論への参加など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示 受講者には授業の前に、テキストの指定された箇所をあらかじめ読んで、疑問点を抽出し、コメントを書くことが求められます。それはまず自分なりにテキストを理解し、その時点での到達点を言葉にしたうえで授業に臨むことです。授業ではそれらの疑問点やコメントをもとにしてディスカッションを行い、テキストとそこで論じられているテーマについて理解を深めます。このプロセスを経ることで、自分の「読み」の深さを省みるとともに、「読み」の他の可能性へと自分を開いていけるようになるでしょう。そのためにも、準備段階からディスカッションまでの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な摂取・応用に努めてください。				
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格:原則 3 分の 2 以上の出席				
教科書 テキストは初回にお知らせします。論文等をテキストに用いる場合は随時コピーを配布します。				
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。				
連絡先 田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 田中 智彦:毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室				

時間割番号	000005				
科目名	心理学Ⅰ				
担当教員	佐藤 舞				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅰ」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標					
心理学の基本的な原理を理解し、心につわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
2	4/23	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
3	5/7	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
4	5/14	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
5	5/21	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
6	5/28	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
7	6/4	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
8	6/11	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
9	6/18	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
10	6/25	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
11	7/2	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
12	7/9	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
13	7/23	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
14	7/30	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
15	8/1	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
第1回:ガイダンス					
第2回:感覚と知覚					
第3回:記憶					
第4—6回:学習					
第7回:思考					
第8—9回:動機づけ					
第10—11回:感情					
第12—13回:ストレスと健康					
第14回:知能					
第15回:まとめ					
成績評価の方法					
評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業の感想等) 30%					
再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000006				
科目名	心理学Ⅱ				
担当教員	佐藤 舞				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標					
心理学の基本的な原理を理解し、心に関わるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
2	10/15	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
3	10/22	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
4	10/29	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
5	11/5	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
6	11/12	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
7	11/19	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
8	11/26	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
9	12/3	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
10	12/10	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
11	12/17	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
12	1/7	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
13	1/21	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
14	1/23	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
15	1/28	10:50-12:20	1 番教室	佐藤 舞	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
第 1 回: ガイダンス					
第 2—3 回: パーソナリティ					
第 4—7 回: 発達					
第 8—11 回: 社会					
第 12—14 回: 臨床					
第 15 回: まとめ					
成績評価の方法					
評価 : 試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(授業の感想等) 30%					
再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。					
教科書					
特に指定しません。必要な資料は配布します。					
参考書					

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000007				
科目名	宗教学Ⅰ				
担当教員	宮田 義矢				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要: 授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。					
授業の到達目標					
宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
2	4/20	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
3	4/27	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
4	5/11	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
5	5/18	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
6	5/25	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
7	6/1	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
8	6/8	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
9	6/15	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
10	6/22	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
11	6/29	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
12	7/6	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
13	7/13	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
14	7/20	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
15	7/27	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
授業方法					
パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容					
1. ガイダンス: 宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について					
2. 「宗教」とは何か: 地域・文化から宗教を見る					
3. ユダヤ教①: 「唯一神」とは何者か					
4. ユダヤ教②: 「唯一神」と「選びの民」の歴史					
5. キリスト教①: 「唯一神」とイエスの教え					
6. キリスト教②: 三位一体の「唯一神」					
7. キリスト教③: 三大宗派の展開					
8. イスラーム①: 「唯一神」対偶像					
9. イスラーム②: 「唯一神」の世界化					
10. イスラーム③: 宗教を通じた異文化理解					
11. 仏教①: 「仏」の登場					
12. 仏教②: 「仏」の悟りとは何か					
13. 仏教③: 三大潮流の「仏」の位置づけ					
14. 聖地と巡礼: 「宗教」を通じて見ることの意義					

15. 授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 入門書として、次の2冊をあげておきます。島藺進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいので、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3の出席が必要です。

時間割番号	000008				
科目名	宗教学Ⅱ				
担当教員	宮田 義矢				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3)、1－4)、1－5)					
授業の目的、概要等					
目的: 諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。概要: 授業では、宗教の関わる出来事・事件等を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。					
授業の到達目標					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
2	10/5	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
3	10/19	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
4	10/26	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
5	11/2	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
6	11/9	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
7	11/16	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
8	11/30	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
9	12/7	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
10	12/14	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
11	12/21	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
12	1/11	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
13	1/18	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
14	1/25	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
15	2/1	10:50-12:20	7 番教室	宮田 義矢	
授業方法					
パワーポイントを用い、講義形式で行いますが、到達目標で掲げた「宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること」を達成するため、講義内容に即したテーマについて、適宜リアクションペーパーを提出して頂きます。授業内で提起される問題について、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容					
1. ガイダンス: 宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について					
2. 「無宗教」の日本人: 「無宗教」意識の来源					
3. 日本の宗教①: 神道と仏教					
4. 日本の宗教②: 近代以降の日本宗教					
5. メディアと宗教: 宗教事件の報道					
6. 「カルト」問題: どこからが「カルト」なのか					
7. 宗教心理学: 心理現象としての宗教理解					
8. 死後生信仰: 死後生信仰の展開					
9. 神話: 聖典と現代の宗教問題					
10. 修行: 宗教の現代的展開					
11. 死生観: 現代的な死生観の構築					
12. シャーマニズム: 憑依から預言まで					
13. シャーマニズム: こつくりさんと近代					
14. スピリチュアル: 「宗教」を通じて見ることの意義					

15. 授業内試験:試験と授業のまとめ
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ その他(リアクションペーパー、小レポート)50% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回の講義をテーマにしたがって要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。
教科書 教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
参考書 入門書として、次の2冊をあげておきます。島藺進[ほか]編『宗教学キーワード』有斐閣、2006 年。岡田典夫[ほか]著『はじめて学ぶ宗教:自分で考えたい人のため』有斐閣、2011 年。そのほか、適宜授業時に紹介します。
履修上の注意事項 リアクション・ペーパーの配分が大きいいため、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3の出席が必要です。

時間割番号	000009				
科目名	芸術 I				
担当教員	木津 文哉, 豊福 誠, 齋藤 典彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜日 2 限 対象学科: 医学科、歯学科 募集人数: 20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-6					
主な講義場所 第 1～9 回: 10 番教室 デッサン実習(第 10～15 回): 13 番教室					
授業の目的、概要等 絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。					
授業の到達目標 人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	10:50-12:20	10 番教室		
2	4/20	10:50-12:20	10 番教室		
3	4/27	10:50-12:20	10 番教室		
4	5/11	10:50-12:20	10 番教室	木津 文哉	
5	5/18	10:50-12:20	10 番教室	木津 文哉	
6	5/25	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦	
7	6/1	10:50-12:20	10 番教室	齋藤 典彦	
8	6/8	10:50-12:20	10 番教室	豊福 誠	
9	6/15	10:50-12:20	10 番教室	豊福 誠	
10	6/22	10:50-12:20	13 番教室		
11	6/29	10:50-12:20	13 番教室		
12	7/6	10:50-12:20	13 番教室		
13	7/13	10:50-12:20	13 番教室		
14	7/20	10:50-12:20	13 番教室		
15	7/27	10:50-12:20	13 番教室		

授業方法 初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業うち、1-9 回は各専門分野の講師による講義。10-15 回はデッサン実習とする。
授業内容 第 1 回:ガイダンス、彫刻論 第 2・3 回:絵画論 第 4・5 回:デザイン論 第 6・7 回:映像メディア論 第 8・9 回:工芸論 第 10～15 回:デッサン実習
成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(デッサン実習) 40% オムニバス形式の授業であり、授業への参加度を重視する。 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回、美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。
履修上の注意事項 レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要
備考 キーワード:芸術

時間割番号	000040				
科目名	芸術Ⅱ				
担当教員	室田 尚子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-6)、1-4)、1-7)					
主な講義場所					
目的:オペラとは何か、その歴史や発展の過程を通してオペラの魅力と芸術的価値を知る。概要:現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかはその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。それほど、西洋芸術音楽の中でもオペラは特別な位置を占めている。本講義では各時代ごとの代表的なオペラ作品を鑑賞してその特徴を知るとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの魅力や芸術的価値について考察する。					
授業の到達目標					
1)オペラの成り立ちや歴史を知ること。					
2)オペラを構成している様々な要素について、実際の作品を通して学ぶこと。					
3)音楽鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
2	10/5	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
3	10/19	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
4	10/26	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
5	11/2	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
6	11/9	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
7	11/16	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
8	11/30	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
9	12/7	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
10	12/14	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
11	12/21	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
12	1/11	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
13	1/18	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
14	1/25	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
15	2/1	10:50-12:20	1 番教室	室田 尚子	
授業方法					
CD や DVD を鑑賞しながらの講義。適宜、作品の感想や考察を提出してもらうことがある。					
授業内容					
1. 授業内容についてのガイダンス					
2. 西洋音楽史におけるオペラ					
3. バロック・オペラ～ヘンデル『ジュリアス・シーザー』					
4. 声とドラマの一体化～モーツァルト『フィガロの結婚』					
5. ベルカント・オペラ①～ドニゼッティ『ランメルモールのルチア』					
6. ベルカント・オペラ②～ベッリーニ『ノルマ』					
7. イタリア・オペラの改革者～ヴェルディ『椿姫』					
8. オペラとジャポニスム～プッチーニ『蝶々夫人』					
9. ヴェリズモ・オペラ～レオンカヴァッロ『道化師』					
10. 19 世紀フランス・オペラの世界①～マスネ『マノン』					
11. 19 世紀フランス・オペラの世界②～ビゼー『カルメン』					
12. 西洋音楽史の転換点～ワーグナー『トリスタンとイゾルデ』					
13. オペラの解体～ヴァイル『三文オペラ』					
14. 20 世紀オペラ～ベルク『ルル』					
15. 学期末試験					

成績評価の方法 評価：試験 70% ・ レポート % ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価: 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直し、授業内容についてノートにまとめておくことが望ましい。
参考書 『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著(清流出版、2012 年)、『オペラワンダーランド(ぴあムック)』(2016 年)
履修上の注意事項 ・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行うが、その内容を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。 ・出席日数が授業日数の3分の2に満たない場合は期末試験の受験を認めない。
備考 キーワード: 音楽、クラシック、オペラ、

時間割番号	000012																																																																																																				
科目名	歴史学A I																																																																																																				
担当教員	高尾 千津子																																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																																
曜日・時間: 金曜 2 限 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3																																																																																																					
授業の目的、概要等 <ロシアとヨーロッパの現代史> 20 世紀はロシア革命によって幕が開き、ソ連崩壊によって終焉を迎えた。二つの大戦を経験し、冷戦によって分断されたヨーロッパの経験はヨーロッパにとどまらず現代世界を理解する上で重要な視座を与えてくれる。講義では、冷戦終結とソ連崩壊によって大きく変わるまでのヨーロッパの近代史を、ヨーロッパ東西の歴史的、文化的な断層に着目しながら考えていきたい。																																																																																																					
授業の到達目標 近現代史のダイナミズムを知り、現代世界の成り立ちを理解する。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ヨーロッパとは</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ヨーロッパの近代1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ヨーロッパの近代2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ヨーロッパの近代3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>第1次世界大戦</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>ロシア革命</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>戦間期1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>戦間期2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>戦間期3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>第2次世界大戦</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>戦後世界1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>戦後世界2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>冷戦終結とソ連崩壊</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>まとめ</td><td>高尾 千津子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	6 番教室	ガイダンス	高尾 千津子	2	4/20	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパとは	高尾 千津子	3	4/27	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代1	高尾 千津子	4	5/11	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代2	高尾 千津子	5	5/18	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代3	高尾 千津子	6	5/25	10:50-12:20	6 番教室	第1次世界大戦	高尾 千津子	7	6/1	10:50-12:20	6 番教室	ロシア革命	高尾 千津子	8	6/8	10:50-12:20	6 番教室	戦間期1	高尾 千津子	9	6/15	10:50-12:20	6 番教室	戦間期2	高尾 千津子	10	6/22	10:50-12:20	6 番教室	戦間期3	高尾 千津子	11	6/29	10:50-12:20	6 番教室	第2次世界大戦	高尾 千津子	12	7/6	10:50-12:20	6 番教室	戦後世界1	高尾 千津子	13	7/13	10:50-12:20	6 番教室	戦後世界2	高尾 千津子	14	7/20	10:50-12:20	6 番教室	冷戦終結とソ連崩壊	高尾 千津子	15	7/27	10:50-12:20	6 番教室	まとめ	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	4/13	10:50-12:20	6 番教室	ガイダンス	高尾 千津子																																																																																																
2	4/20	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパとは	高尾 千津子																																																																																																
3	4/27	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代1	高尾 千津子																																																																																																
4	5/11	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代2	高尾 千津子																																																																																																
5	5/18	10:50-12:20	6 番教室	ヨーロッパの近代3	高尾 千津子																																																																																																
6	5/25	10:50-12:20	6 番教室	第1次世界大戦	高尾 千津子																																																																																																
7	6/1	10:50-12:20	6 番教室	ロシア革命	高尾 千津子																																																																																																
8	6/8	10:50-12:20	6 番教室	戦間期1	高尾 千津子																																																																																																
9	6/15	10:50-12:20	6 番教室	戦間期2	高尾 千津子																																																																																																
10	6/22	10:50-12:20	6 番教室	戦間期3	高尾 千津子																																																																																																
11	6/29	10:50-12:20	6 番教室	第2次世界大戦	高尾 千津子																																																																																																
12	7/6	10:50-12:20	6 番教室	戦後世界1	高尾 千津子																																																																																																
13	7/13	10:50-12:20	6 番教室	戦後世界2	高尾 千津子																																																																																																
14	7/20	10:50-12:20	6 番教室	冷戦終結とソ連崩壊	高尾 千津子																																																																																																
15	7/27	10:50-12:20	6 番教室	まとめ	高尾 千津子																																																																																																
授業方法 講義形式																																																																																																					
授業内容 1 ガイダンス 2 ヨーロッパの東と西 1 3 ウクライナ ヨーロッパの断層 4 近代世界システム 5 ナショナリズムとはなにか 6 社会主義と共産主義 7 第一次世界大戦の起源 8 ロシア革命とソ連の形成 9 東欧の成立と少数民族問題 10 全体主義の時代 11 スターリン体制とはなにか 12 第二次世界大戦 13 戦後のヨーロッパと冷戦 14 冷戦終結とソ連の崩壊 15 まとめ																																																																																																					

成績評価の方法

評価：試験 0% ・ 最終レポート 40% ・ その他(リアクション・ペーパー、課題図書レポート) 60%

再評価：有(再評価方法 レポート)

最終レポート提出には3分の2以上の出席が必要である

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

各回ごとに参考文献を指示する。またパワーポイントファイルと資料を授業ごとに配布するので、必ず復習しておくこと。

教科書

授業で資料を配付する。

参考書

ヨーロッパ史の時間と空間／オスカー・ハレツキ：慶応大学出版会，2002

共産党宣言／マルクス，エンゲルス [著]，大内兵衛，向坂逸郎 訳：岩波書店，2007

民族とネーション：ナショナリズムという難問／塩川伸明 著：岩波書店，2008

ブラッドランド：ヒトラーとスターリン大虐殺の真実／ティモシー・スナイダー 著，布施由紀子 訳：筑摩書房，2015

ロシア革命：破局の8か月／池田／嘉郎：岩波書店，2017

世界システム論講義：ヨーロッパと近代世界／川北稔 著：筑摩書房，2016

ロシア革命とソ連の世紀1～5巻／松戸清浩他：岩波書店，2017

履修上の注意事項

5回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000013																																																																																																				
科目名	歴史学AⅡ																																																																																																				
担当教員	高尾 千津子																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																																
曜日・時間: 金曜2限 募集人数: 20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3																																																																																																					
授業の目的、概要等 <20世紀の日本> 明治以来ヨーロッパモデルを導入し、近代化に努めた日本は、同時に植民地帝国の道歩んだ。日本の20世紀前半は日露戦争から第一次世界大戦、シベリア出兵、満洲事変、日中戦争、太平洋戦争へと連なる「戦争の半世紀」でもあった。授業では最初に日本近代史を理解するために重要な事件について数回の講義を行い、20世紀の日本の歴史を通して世界における日本の立場を理解し、<現在>の意味について考える。そのうえで履修者は1)課題図書を読み、各自担当するテーマを発表し、質疑応答を行う。2)関心のある人物の回想や日記、あるいは事件をめぐる新聞や映像資料などを調べ、履修者各自の理解と解釈を発表して全員で討論する。																																																																																																					
授業の到達目標 近代日本を取り巻く国際情勢、戦前日本の思想と行動を理解し、現代への指針を得る。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/28</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>ガイダンス</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/5</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>近代日本と世界1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/19</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>近代日本と世界2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/26</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>昭和史1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/2</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>昭和史2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/9</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>昭和史3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/16</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>昭和史4</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/30</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/7</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/14</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/21</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論4</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論5</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論6</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>発表と討論7</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教 室</td><td>まとめ</td><td>高尾 千津子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/28	10:50-12:20	12 番教 室	ガイダンス	高尾 千津子	2	10/5	10:50-12:20	12 番教 室	近代日本と世界1	高尾 千津子	3	10/19	10:50-12:20	12 番教 室	近代日本と世界2	高尾 千津子	4	10/26	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史1	高尾 千津子	5	11/2	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史2	高尾 千津子	6	11/9	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史3	高尾 千津子	7	11/16	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史4	高尾 千津子	8	11/30	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論1	高尾 千津子	9	12/7	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論2	高尾 千津子	10	12/14	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論3	高尾 千津子	11	12/21	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論4	高尾 千津子	12	1/11	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論5	高尾 千津子	13	1/18	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論6	高尾 千津子	14	1/25	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論7	高尾 千津子	15	2/1	10:50-12:20	12 番教 室	まとめ	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	9/28	10:50-12:20	12 番教 室	ガイダンス	高尾 千津子																																																																																																
2	10/5	10:50-12:20	12 番教 室	近代日本と世界1	高尾 千津子																																																																																																
3	10/19	10:50-12:20	12 番教 室	近代日本と世界2	高尾 千津子																																																																																																
4	10/26	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史1	高尾 千津子																																																																																																
5	11/2	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史2	高尾 千津子																																																																																																
6	11/9	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史3	高尾 千津子																																																																																																
7	11/16	10:50-12:20	12 番教 室	昭和史4	高尾 千津子																																																																																																
8	11/30	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論1	高尾 千津子																																																																																																
9	12/7	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論2	高尾 千津子																																																																																																
10	12/14	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論3	高尾 千津子																																																																																																
11	12/21	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論4	高尾 千津子																																																																																																
12	1/11	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論5	高尾 千津子																																																																																																
13	1/18	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論6	高尾 千津子																																																																																																
14	1/25	10:50-12:20	12 番教 室	発表と討論7	高尾 千津子																																																																																																
15	2/1	10:50-12:20	12 番教 室	まとめ	高尾 千津子																																																																																																
授業方法 演習形式																																																																																																					

授業内容

- 1 ガイダンス
- 2 近代日本と世界 講義 1
- 3 近代日本と世界 講義 2
- 4 近代日本と世界 講義 3
- 5 近代日本と世界 講義 4
- 6 発表と討論
- 7 発表と討論
- 8 発表と討論
- 9 発表と討論
- 10 発表と討論
- 11 発表と討論
- 12 発表と討論
- 13 発表と討論
- 14 発表と討論
- 15 総括

成績評価の方法

評価 : 最終レポート 40% ・コメント 20%・発表と討論 40%

再評価: 有(再評価方法 レポート)

レポート提出資格には3分の2以上の出席を必要とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

最初に参考文献の中から課題図書を提示するので、各自分担の書物を読みその内容を発表する。その上で各自の関心をもとにした発表の準備をすること。発表後はさらに関連する参考文献や論文を読んで、最終レポート執筆の準備を行うこと。

教科書

授業でプリント、資料を配付する。

参考書

上海 多国籍都市の百年／榎本泰子著、中公新書、2009

敗北を抱きしめて：第二次大戦後の日本人／ジョン・ダワー [著]三浦陽一、高杉忠明 訳、岩波書店、2004

単一民族神話の起源：〈日本人〉の自画像の系譜／小熊英二 著、新曜社、1995

カメラ：満洲国の肖像／山室 信一 著、中央公論新社

生きて帰ってきた男／小熊英二、岩波新書、2015

ライシャワーの日本史／エドウィン・O.ライシャワー [著]國弘正雄 訳、講談社、2001

シベリア出兵：近代日本の忘れられた七年戦争／麻田雅文 著、中央公論新社、2016

シベリア抑留：スターリン独裁下、「収容所群島」の実像／富田武 著、中央公論新社、2016

日本占領史 1945-1952：東京・ワシントン・沖縄／福永文夫 著、中央公論新社、2014

履修上の注意事項

履修希望者は初回のガイダンスに必ず出席すること。五回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000010																																																																																																				
科目名	歴史学B I																																																																																																				
担当教員	高尾 千津子																																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																																
曜日・時間: 月曜 1 限 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3																																																																																																					
授業の目的、概要等 <ヨーロッパ社会とユダヤ教徒の歴史> ユダヤ教はキリスト教の母胎であり、イスラーム教にも影響を与えた。神殿破壊後各地に離散したユダヤ人は、宗教的少数派としていかに生き残ったのだろうか。講義では中世から近現代にいたるまでのヨーロッパにおけるユダヤ教徒の内部社会と文化、キリスト教世界のユダヤ観、反ユダヤ主義等の問題を通して、ヨーロッパの文化と歴史を新たな角度から考えたい。																																																																																																					
授業の到達目標 キリスト教世界のなかで少数派として存続したユダヤ人の歴史を通して、ヨーロッパの深層を理解する。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/16</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/23</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>ユダヤ古代史1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/7</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>古代史2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/14</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>古代史3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/21</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>ユダヤ人中世史</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/28</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>中世ヨーロッパ</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/4</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>近代ヨーロッパ</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/11</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>近代ヨーロッパ2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/18</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>近代ヨーロッパ3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/25</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>近代ヨーロッパ4</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/2</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>近代ヨーロッパ5</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/9</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>アメリカ移民</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/23</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>現代史1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/30</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>現代史2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>15</td><td>8/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>まとめ</td><td>高尾 千津子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/16	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	高尾 千津子	2	4/23	09:10-10:40	9 番教室	ユダヤ古代史1	高尾 千津子	3	5/7	09:10-10:40	9 番教室	古代史2	高尾 千津子	4	5/14	09:10-10:40	9 番教室	古代史3	高尾 千津子	5	5/21	09:10-10:40	9 番教室	ユダヤ人中世史	高尾 千津子	6	5/28	09:10-10:40	9 番教室	中世ヨーロッパ	高尾 千津子	7	6/4	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ	高尾 千津子	8	6/11	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ2	高尾 千津子	9	6/18	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ3	高尾 千津子	10	6/25	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ4	高尾 千津子	11	7/2	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ5	高尾 千津子	12	7/9	09:10-10:40	9 番教室	アメリカ移民	高尾 千津子	13	7/23	09:10-10:40	9 番教室	現代史1	高尾 千津子	14	7/30	09:10-10:40	9 番教室	現代史2	高尾 千津子	15	8/1	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	4/16	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	高尾 千津子																																																																																																
2	4/23	09:10-10:40	9 番教室	ユダヤ古代史1	高尾 千津子																																																																																																
3	5/7	09:10-10:40	9 番教室	古代史2	高尾 千津子																																																																																																
4	5/14	09:10-10:40	9 番教室	古代史3	高尾 千津子																																																																																																
5	5/21	09:10-10:40	9 番教室	ユダヤ人中世史	高尾 千津子																																																																																																
6	5/28	09:10-10:40	9 番教室	中世ヨーロッパ	高尾 千津子																																																																																																
7	6/4	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ	高尾 千津子																																																																																																
8	6/11	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ2	高尾 千津子																																																																																																
9	6/18	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ3	高尾 千津子																																																																																																
10	6/25	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ4	高尾 千津子																																																																																																
11	7/2	09:10-10:40	9 番教室	近代ヨーロッパ5	高尾 千津子																																																																																																
12	7/9	09:10-10:40	9 番教室	アメリカ移民	高尾 千津子																																																																																																
13	7/23	09:10-10:40	9 番教室	現代史1	高尾 千津子																																																																																																
14	7/30	09:10-10:40	9 番教室	現代史2	高尾 千津子																																																																																																
15	8/1	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	高尾 千津子																																																																																																
授業方法 講義形式																																																																																																					
授業内容 1 ガイダンス 2 ユダヤ教とその成り立ち 3 <離散>ディアスポラとガルト 4 キリスト教とユダヤ教の関係 5 ゲットーと内部社会 6 中世ヨーロッパのユダヤ教徒 7 フランス革命と解放 8 ドレフュス事件と反ユダヤ主義 9 ロシア帝国のユダヤ人 10 ポグロムとはなにか 11 シオニズム運動の始まりと発展 12 アメリカのユダヤ人 13 ナチスドイツと反ユダヤ主義 14 ホロコースト 15 まとめ																																																																																																					

成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への参加度とコメントペーパー) 40 % 再評価： 有(再評価方法 レポート) レポート提出には 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 各回ごとに指示した参考文献や配布プリントを読んでおくこと。
教科書 授業で資料を配付する。
参考書 ロシアとユダヤ人：苦悩の歴史と現在／高尾千津子 [著]: 東洋書店, 2014 ユダヤ教の歴史／市川裕 著,: 山川出版社, 2009 ユダヤ系アメリカ人／本間長世: PHP 新書, 1998 封印されたホロコースト：ローズヴェルト、チャーチルはどこまで知っていたか／リチャード・ブライトマン 著, 川上洸 訳: 大月書店, 2000 13 歳のホロコースト：少女が見たアウシュヴィッツ／エヴァ・スローニム 著, 那波かおり 訳: 亜紀書房, 2015 ユダヤ人の歴史／レイモンド・P・シェインドリン 著, 入江規夫 訳: 河出書房新社, 2012
履修上の注意事項 5 回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000011																																																																																																				
科目名	歴史学BⅡ																																																																																																				
担当教員	高尾 千津子																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																																
曜日・時間: 月曜 1 限 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3																																																																																																					
授業の目的、概要等 <西洋近代と「パレスチナ・イスラエル紛争」> 「パレスチナ・イスラエル紛争」は決して数千年の長きにわたるものではなく、またイスラームとユダヤ教の対立から始まったのではない。ヨーロッパ近代における「ユダヤ人問題」と反ユダヤ主義、帝国主義と戦争、冷戦などの要因がどのようにこの問題を生み出し、複雑化させていったかを考えていく。																																																																																																					
授業の到達目標 中東問題の歴史的根源を知り、国際社会がいかに中東問題、パレスチナ問題に関わってきたのかについて理解を深める。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>問題のありか</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>パレスチナ問題 歴史 1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>歴史2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>歴史3</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>歴史 4</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>歴史 5</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>パレスチナ問題の歴史 まとめ</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/3</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>討論1</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/10</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>中東戦争</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/17</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>インティファダ</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/7</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>中東和平</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/21</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>中東和平2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>グループ討論2</td><td>高尾 千津子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/28</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>まとめ</td><td>高尾 千津子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	10/1	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	高尾 千津子	2	10/15	09:10-10:40	9 番教室	問題のありか	高尾 千津子	3	10/22	09:10-10:40	9 番教室	パレスチナ問題 歴史 1	高尾 千津子	4	10/29	09:10-10:40	9 番教室	歴史2	高尾 千津子	5	11/5	09:10-10:40	9 番教室	歴史3	高尾 千津子	6	11/12	09:10-10:40	9 番教室	歴史 4	高尾 千津子	7	11/19	09:10-10:40	9 番教室	歴史 5	高尾 千津子	8	11/26	09:10-10:40	9 番教室	パレスチナ問題の歴史 まとめ	高尾 千津子	9	12/3	09:10-10:40	9 番教室	討論1	高尾 千津子	10	12/10	09:10-10:40	9 番教室	中東戦争	高尾 千津子	11	12/17	09:10-10:40	9 番教室	インティファダ	高尾 千津子	12	1/7	09:10-10:40	9 番教室	中東和平	高尾 千津子	13	1/21	09:10-10:40	9 番教室	中東和平2	高尾 千津子	14	1/23	09:10-10:40	9 番教室	グループ討論2	高尾 千津子	15	1/28	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	10/1	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	高尾 千津子																																																																																																
2	10/15	09:10-10:40	9 番教室	問題のありか	高尾 千津子																																																																																																
3	10/22	09:10-10:40	9 番教室	パレスチナ問題 歴史 1	高尾 千津子																																																																																																
4	10/29	09:10-10:40	9 番教室	歴史2	高尾 千津子																																																																																																
5	11/5	09:10-10:40	9 番教室	歴史3	高尾 千津子																																																																																																
6	11/12	09:10-10:40	9 番教室	歴史 4	高尾 千津子																																																																																																
7	11/19	09:10-10:40	9 番教室	歴史 5	高尾 千津子																																																																																																
8	11/26	09:10-10:40	9 番教室	パレスチナ問題の歴史 まとめ	高尾 千津子																																																																																																
9	12/3	09:10-10:40	9 番教室	討論1	高尾 千津子																																																																																																
10	12/10	09:10-10:40	9 番教室	中東戦争	高尾 千津子																																																																																																
11	12/17	09:10-10:40	9 番教室	インティファダ	高尾 千津子																																																																																																
12	1/7	09:10-10:40	9 番教室	中東和平	高尾 千津子																																																																																																
13	1/21	09:10-10:40	9 番教室	中東和平2	高尾 千津子																																																																																																
14	1/23	09:10-10:40	9 番教室	グループ討論2	高尾 千津子																																																																																																
15	1/28	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	高尾 千津子																																																																																																
授業方法 講義が中心であるが、履修者の理解をより深めるために、グループ討論を適宜行う。																																																																																																					
授業内容 1 ガイダンス 2 パレスチナ問題とは何か 3 パレスチナとナクバ 4 発端としての第一次世界大戦 5 イギリス委任統治がもたらしたもの 6 ホロコースト、反ユダヤ主義とユダヤ難民 7 国連とパレスチナ分割決議 8 近現代史の総括とグループ討論 9 パレスチナ難民問題 10 冷戦と中東戦争の歴史 11 インティファダとはなにか 12 中東和平の進展と挫折 13 現代イスラエルの多様性																																																																																																					

14 アメリカとイスラエル 15 総括とグループ討論
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ 最終レポート 40% ・ その他(討論への参加、コメントペーパー、課題図書) 60% 再評価： 有(再評価方法 レポート) レポート提出には3分の2以上の出席を必要とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で配布したプリントと資料を必ず復習しておくこと。提示した参考文献を下調べしておくこと。
教科書 授業でプリントを配付する。
参考書 イスラエルを知るための60章／立山良司 編著、明石書店、2012 アラブとイスラエル：パレスチナ問題の構図／高橋和夫 著、講談社、1992 〈中東〉の考え方／酒井啓子 著、東京都品川区立品川図書館、2012 平和を破壊させた和平：中東問題の始まり「1914-1922」／デイヴィッド・フロムキン 著、平野勇夫、棕田直子、畑長年 訳、紀伊國屋書店、2004 世界史の中のパレスチナ問題／臼杵陽 著、講談社、2013 ホロコースト後のユダヤ人／野村真理、世界思想社、2012
履修上の注意事項 5回以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000014				
科目名	科学史Ⅰ				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等					
現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。					
授業の到達目標					
1. 科学史・技術史の基礎を理解する。					
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。					
3. 医療の概史を知ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
2	4/20	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
3	4/27	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
4	5/11	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
5	5/18	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
6	5/25	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
7	6/1	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
8	6/8	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
9	6/15	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
10	6/22	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
11	6/29	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
12	7/6	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
13	7/13	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
14	7/20	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
15	7/27	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
授業方法					
板書を中心とする講義形式をとる。ただしリアクションペーパーによるアクティブラーニングも実施する。					
授業内容					
第1回:ガイダンス(本講義の目的)					
第2回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術					
第3回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス					
第4回:病院と医学史					
第5回:中世の産業革命と12世紀ルネサンス					
第6回:疾病史:ペストとコレラ					
第7回:ルネサンスと科学・技術					
第8回:科学革命					
第9回:産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア					
第10回:科学の職業化と専門化					
第11回:20世紀以降の科学技術政策					
第12回:医療政策の展開					
第13回:日本の公害					

第 14 回:日本の科学技術の歴史 第 15 回:日本の薬害
成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 70% ・ その他(出席、リアクションペーパー) 30% 再評価: 有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。
参考書 橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて:自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.
履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取ると出欠を優先します。

時間割番号	000015				
科目名	科学史Ⅱ				
担当教員	田中 丹史				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等					
本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。					
授業の到達目標					
1. 現代の環境問題の基礎を理解する。					
2. 環境問題に関する社会的手続きについて理解する。					
3. 環境倫理の基礎を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
2	10/5	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
3	10/19	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
4	10/26	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
5	11/2	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
6	11/9	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
7	11/16	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
8	11/30	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
9	12/7	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
10	12/14	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
11	12/21	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
12	1/11	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
13	1/18	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
14	1/25	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
15	2/1	10:50-12:20	9 番教室	田中 丹史	
授業方法					
板書を中心とする講義形式をとる。ただしリアクションペーパーによるアクティブラーニングも実施する。					
授業内容					
第1回: ガイダンス(本講義の目的)					
第2回: 水俣病の歴史的考察					
第3回: 水俣病の歴史的考察(2)					
第4回: 水俣病とイタイイタイ病の比較検討					
第5回: 地球温暖化論とコミュニケーション					
第6回: 地球温暖化論と科学諮問・国際関係					
第7回: 環境リスクマネジメントの概論					
第8回: 生物多様性の基礎					
第9回: 遺伝資源へのアクセスと利益配分					
第10回: 生物多様性と希少種の保全・保護					
第11回: アメリカの自然の権利訴訟					
第12回: 日本の自然の権利訴訟					
第13回: 動物の権利論の概説					
第14回: 動物の権利論と生命操作					
第15回: 環境倫理概論					
成績評価の方法					

評価：試験　％・レポート　70％・その他(出席、リアクションペーパー) 30％
再評価：有(再評価方法 レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。

参考書

授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	000016					
科目名	文学A I					
担当教員	土佐 朋子					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2	
・時間・曜日：月曜 1 限						
・募集人数：						
・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)：						
別表1－1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する						
別表1－7) 人間の心への理解を深める						
別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る						
授業の目的、概要等						
人はなぜ文学作品を生み出していくのか、また、それを享受するという営みにはどのような意味が見いだせるのだろうか。このような問いを立て、それに向き合うことそのものが目的であるが、自分なりの現段階での考えが形作られるとよいと思っている。						
堀辰雄『風立ちぬ』を主に扱う。						
文学に描かれる様々な要素の中から、今年度は、病や死、あるいは喪失体験の描出に焦点をあてて考察する。言葉によって構築される世界には、唯一絶対の「真実」ではなく、人間の認識や欲望が描き出される。できるだけ具体的な作品を読みながら、人間が語ることの考えていきたいと思う。						
授業の到達目標						
①人の死や病、喪失体験がどのように言語化されるのかということに対する理解を深める。						
②批評や常識にとらわれず、頼ることなく、文学作品を自分で「読む」力を身につける。						
③人間と言葉や語りに対する関心を高め、問題意識を持てるようになること。						
④日本文学・文化に対する理解を深めること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	09:10-10:40	10 番教室	ガイダンス	授業の目的と問題提起	土佐 朋子
2	4/23	09:10-10:40	10 番教室	死と文学	日本文学において、死を語ることはいかに始められ、どのような歴史を持つに至ったかを考察する。	土佐 朋子
3	5/7	09:10-10:40	10 番教室	亡妻文学の系譜	日本文学における亡妻文学の歴史を考察する。	土佐 朋子
4	5/14	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』の二人－『智恵子抄』の二人との比較－	文学の常套手段として、「純粹」な時空が、俗世からの脱出／俗世との対立によって生み出されることを考察する。	土佐 朋子
5	5/21	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』の「時間」	文学作品における時間編集が、描出される世界にどのように関わるのかを考察する。	土佐 朋子
6	5/28	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』の「私」－小説が書けない小説家－	当該作品を、美しい物語の執筆を試みるが挫折する語り手「私」に焦点を当てるとどう読めるか、考察する。	土佐 朋子
7	6/4	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』と宮崎駿『風立ちぬ』－二つの「美」－	同題の二つの作品について、「美」の完成という観点から比較対照することにより、それぞれの作品の性格について考察する。	土佐 朋子
8	6/11	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』に描かれる「生と死」	第5回目で考察して「時間」という観点と、「生と死」がどのように描かれるかという問題とを関わられ	土佐 朋子

					ながら、文学が描く「生と死」のありようの一つを考察する。	
9	6/18	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』―「私」の再生―	死にゆく者と、遺される者。死は一般的に遺される者によって語られる。そのことの意味を考察する。	土佐 朋子
10	6/25	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』と高村光太郎『智恵子抄』―「死」の表象―	言葉は、時に死の瞬間を直接的に描写し、時にあえて描写を避ける。そのことの意味を考察する。	土佐 朋子
11	7/2	09:10-10:40	10 番教室	病気の表象と文学	堀辰雄『風立ちぬ』における肺結核の表象を振り返り、文学が死とともに病をどのように描いてきたかを考察する。	土佐 朋子
12	7/9	09:10-10:40	10 番教室	肺結核と文学―徳富蘆花『不如帰』から堀辰雄『風立ちぬ』へ―	肺結核のイメージを決定したとされる徳富蘆花『不如帰』を抜粋で読み、「語り」に継承される「型」を考察する。	土佐 朋子
13	7/23	09:10-10:40	10 番教室	堀辰雄『風立ちぬ』の「風」	文学における「かぜ」というシニフィアンが喚起するシニフィエについて考察する。	土佐 朋子
14	7/30	09:10-10:40	10 番教室	文学における「死」の語り	文学はなぜ「死」を語るのか。「喪の仕事」という観点から考察してみる。	土佐 朋子
15	8/1	09:10-10:40	10 番教室	まとめ	学期末の総まとめを行う。	土佐 朋子

授業方法

原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。

講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。

授業内容

堀辰雄『風立ちぬ』を主たる題材として、徳富蘆花『不如帰』、横光利一『花園の思想』などの肺結核を描いた作品や、宮沢賢治『春と修羅』、高村光太郎『智恵子抄』などに収録される近親者の死を描いた作品などを関連させながら、授業を進める。また、宮崎駿の同題のジブリ映画『風立ちぬ』とも比較対照させることにより、堀辰雄『風立ちぬ』の描く「風」や「時間」のありようについて、考えを深める。

具体的な授業内容については、「授業日程」に記載したが、受講者の興味関心や授業の進捗などによって、変更する場合がある。

成績評価の方法

評価: 試験 0%・レポート 50%

その他 50% (学生による授業後小レポート・授業への取り組み等)

再評価: 有 (再評価の方法 再レポート)

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

- ① レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。
- ② 出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。
- ③ 出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

- ① 堀辰雄『風立ちぬ』は、事前に必ず読んでおく。
- ② 宮崎駿『風立ちぬ』も事前に見ておくことを勧める。
- ③ 授業中でプリントで紹介される作品についても、自分で図書館などで読むようにする。授業中に作品にしっかりと向き合う。講義をふまえながら、自分なりの作品に対する「意味づけ」を行う。

試験の受験資格

レポート提出: 3 分の 2 以上の出席を原則とする。

教科書

風立ちぬ・美しい村／堀 辰雄／著.: 新潮社, 2011

参考書

対象喪失 : 悲しむということ／小此木 啓吾／著.: 中央公論新社, 1991-05

隠喩としての病い／スーザン・ソントグ [著]; 富山太佳夫 訳スーザン・ソントグ [著]; 富山太佳夫 訳.: みすず書房, 2006

『結核の文化史 : 近代日本における病のイメージ』／福田真人 著.: 名古屋大学出版会, 1983

結核という文化 : 病の比較文化史／福田真人 著.: 中央公論新社, 2001

『智恵子抄の新見と実証』／大島龍彦 著.: 新典社, 2008

高村光太郎／吉本隆明 [著].: 講談社, 1991

『高村光太郎のフェミニズム』／駒尺喜美 著.: 朝日新聞社, 1992

『『智恵子抄』の世界』／大島龍彦, 大島裕子 編著.: 新典社, 2004

病の言語表象／木村功 著.: 和泉書院, 2016

授業中にも紹介する。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員のとる出欠を優先させる。 出欠管理システムに打刻されていても、「学生による授業後小レポート」が提出されていない場合には、欠席扱いになる。

連絡先

土佐 朋子.tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐 朋子: 毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30

管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000017																																																																																												
科目名	文学AⅡ																																																																																												
担当教員	土佐 朋子																																																																																												
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																								
・時間・曜日: 月曜 1 限 ・募集人数: 10～15 名程度 ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－7) 人間の心への理解を深める 別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る																																																																																													
授業の目的、概要等 作品とは、一人の他者である。本授業の目的の一つ目は、それを「読む」という営みの意味を、セミナー形式で実践的に考えることである。目的の二つ目は、作品に対して、自ら主体的能動的に意味づけを行う力を、実践的に向上させることである。 文学に描かれる様々な要素のうち、今年度は、「時間の不可逆性と宿命」というテーマに軸足を置いていたいと思っている。 主たる考察対象は、日本近現代文学作品を考えているが、できれば映画も取り込んでいきたいと思っている。																																																																																													
授業の到達目標 ①作品を読む力を身につけること。 ②日本文学に対する理解を深めること。 ③作品を読み、自ら主体的に考察し、その内容を他者に的確に伝える力を養うこと。																																																																																													
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr><tr><td>1</td><td>10/1</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>半年間の授業についての説明。</td><td>土佐 朋子</td><td>今年度より少人数セミナー形式となるので、履修を考える学生は、必ず出席し、説明を受けた上で申請すること。</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>「読む」ということ。</td><td>作品を読むとはどういうことかについて、資料を読みながら考察する。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナーの準備</td><td>セミナーで扱う作品と、担当などについて話し合う。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー1</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー2</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー3</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー4</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー5</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー6</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>09:10-10:40</td><td>11 番教室</td><td>セミナー7</td><td>学生の発表に基づく討論。</td><td>土佐 朋子</td><td></td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	10/1	09:10-10:40	1 番教室	ガイダンス	半年間の授業についての説明。	土佐 朋子	今年度より少人数セミナー形式となるので、履修を考える学生は、必ず出席し、説明を受けた上で申請すること。	2	10/15	09:10-10:40	11 番教室	「読む」ということ。	作品を読むとはどういうことかについて、資料を読みながら考察する。	土佐 朋子		3	10/22	09:10-10:40	11 番教室	セミナーの準備	セミナーで扱う作品と、担当などについて話し合う。	土佐 朋子		4	10/29	09:10-10:40	11 番教室	セミナー1	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		5	11/5	09:10-10:40	11 番教室	セミナー2	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		6	11/12	09:10-10:40	11 番教室	セミナー3	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		7	11/19	09:10-10:40	11 番教室	セミナー4	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		8	11/26	09:10-10:40	11 番教室	セミナー5	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		9	12/3	09:10-10:40	11 番教室	セミナー6	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子		10	12/10	09:10-10:40	11 番教室	セミナー7	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																						
1	10/1	09:10-10:40	1 番教室	ガイダンス	半年間の授業についての説明。	土佐 朋子	今年度より少人数セミナー形式となるので、履修を考える学生は、必ず出席し、説明を受けた上で申請すること。																																																																																						
2	10/15	09:10-10:40	11 番教室	「読む」ということ。	作品を読むとはどういうことかについて、資料を読みながら考察する。	土佐 朋子																																																																																							
3	10/22	09:10-10:40	11 番教室	セミナーの準備	セミナーで扱う作品と、担当などについて話し合う。	土佐 朋子																																																																																							
4	10/29	09:10-10:40	11 番教室	セミナー1	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
5	11/5	09:10-10:40	11 番教室	セミナー2	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
6	11/12	09:10-10:40	11 番教室	セミナー3	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
7	11/19	09:10-10:40	11 番教室	セミナー4	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
8	11/26	09:10-10:40	11 番教室	セミナー5	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
9	12/3	09:10-10:40	11 番教室	セミナー6	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							
10	12/10	09:10-10:40	11 番教室	セミナー7	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子																																																																																							

			室				
11	12/17	09:10-10:40	11 番教 室	セミナー8	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子	
12	1/7	09:10-10:40	11 番教 室	セミナー9	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子	
13	1/21	09:10-10:40	11 番教 室	セミナー10	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子	
14	1/23	09:10-10:40	11 番教 室	セミナー予備	学生の発表に基づく討論。	土佐 朋子	
15	1/28	09:10-10:40	11 番教 室	まとめ	セミナーを通して考えたことにつ いて、まとめる。	土佐 朋子	
授業方法							
セミナー形式。学生の発表と、それに基づく討論。							
授業内容							
本授業では、主として日本近現代文学作品を題材として、学生自身の考察と発表に基づく討論を重ねていく。 発表の担当回数は、人数にもよるが、前半と後半の 2 回を考えている。前半は、村上春樹の短編などを考えているが、受講生と相談して決めたい。後半は、受講生一人一人が自身の興味関心に基づいて作品を決定する形にしたいと思っている。							
成績評価の方法							
評価: 発表 80% (発表とは、事前の資料作成・当日の発表内容を指す) 討論への参加状況 15% レポート 5% 再評価: 有 (再評価方法 再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①発表を行っていない場合。 ②出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。							
準備学習などについての具体的な指示							
①自分が担当する作品だけでなく、授業で扱われる作品は全て読み、自分なりの読み方や疑問点をメモしておくこと。 ②授業で扱う作品に限定せず、日常的に幅広く作品を読むことを心がける。							
試験の受験資格							
レポート提出: 発表を行っていることと、3 分の 2 以上の出席を原則とする。							
教科書							
授業時に指示する。							
参考書							
授業時に紹介する。							
履修上の注意事項							
①今年度より、少人数セミナー形式になる。必ず 1 回目の授業(ガイダンス)に出席し、授業についての説明を受けた上で、履修申請をすること。1 回目の授業(ガイダンス)に出ていない場合、履修が認められない可能性もあるので、注意すること。 ②出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。							
連絡先							
土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30							
管理研究棟 2 階文学研究室							

時間割番号	000018																																																																			
科目名	文学B I																																																																			
担当教員	土佐 朋子																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																															
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: ・科目を履修して得られる能力(コンピテシー) 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－7) 人間の心への理解を深める 別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る																																																																				
授業の目的、概要等 本授業では、主に日本の神話を題材として、その特質や、現代の小説やアニメなどにも継承される「語りの型」について考察する。 日本という国家が成立した 7～8 世紀、文学は、まず、神を語ることから始められ、次いで権力者、日本でいえば天皇を語った。そして、市井一般のプライベートを語るようになっていった。このような文学の発生と変遷は、『古事記』『万葉集』『風土記』に記された「神話」や「伝説」に見ることができる。 これらの文学作品を実際に読み、「神話」化および「伝説」化という文学的営みや、日本神話の特質と構造などに対する理解を深める。ジブリ作品などに引き継がれる神話的世界についてもとり上げる予定である。 文学は常に時代や歴史によって産み出されるものであり、だからこそ普遍性を持ち得る。日本文学の始原における「語り」の世界について、理解を深めていきたい。																																																																				
授業の到達目標 ①日本文化に対する理解を深め、自ら主体的に考えを深めることができるようになること。 ②日本の「神話」「伝説」に関する基本的な知識を身につけ、自分なりの解釈を持つこと。 ③日本の古典文学に対する理解を深め、相対的に現代における日本の文化や文学に対する理解も深めること。																																																																				
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>授業の内容、履修上の注意点などに関する説明。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>音声と文字―神話を書くという行為―</td><td>音声言語と文字言語との違い、文字言語の発明と浸透がもたらしたもののについて、神話を通して考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>イザナギとイザナミ神話―誕生と死―</td><td>『古事記』イザナギとイザナミ神話を読み、国の誕生と死の起源とがどのように描かれたかを考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>アマテラスとスサノヲ神話</td><td>天の岩屋戸の意味と、トリックスターとしてのスサノヲの物語的機能について考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>大国主神話―選ばれし王者―</td><td>因幡の白ウサギから始まる大国主神話を考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>天孫降臨神話</td><td>日本神話独特の天孫降臨神話について考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>柿本人麻呂「草壁皇子挽歌」―書き換えられた「神話」―</td><td>7世紀は、すでに神話の書き換えが可能になっていた時代なのか。改めて「神話」とは何かについて考察する。</td><td>土佐 朋子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>09:10-10:40</td><td>9 番教室</td><td>海幸山幸神話と浦島太</td><td>異境訪問譚の源泉としての海幸山</td><td>土佐 朋子</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	授業の内容、履修上の注意点などに関する説明。	土佐 朋子	2	4/20	09:10-10:40	9 番教室	音声と文字―神話を書くという行為―	音声言語と文字言語との違い、文字言語の発明と浸透がもたらしたもののについて、神話を通して考察する。	土佐 朋子	3	4/27	09:10-10:40	9 番教室	イザナギとイザナミ神話―誕生と死―	『古事記』イザナギとイザナミ神話を読み、国の誕生と死の起源とがどのように描かれたかを考察する。	土佐 朋子	4	5/11	09:10-10:40	9 番教室	アマテラスとスサノヲ神話	天の岩屋戸の意味と、トリックスターとしてのスサノヲの物語的機能について考察する。	土佐 朋子	5	5/18	09:10-10:40	9 番教室	大国主神話―選ばれし王者―	因幡の白ウサギから始まる大国主神話を考察する。	土佐 朋子	6	5/25	09:10-10:40	9 番教室	天孫降臨神話	日本神話独特の天孫降臨神話について考察する。	土佐 朋子	7	6/1	09:10-10:40	9 番教室	柿本人麻呂「草壁皇子挽歌」―書き換えられた「神話」―	7世紀は、すでに神話の書き換えが可能になっていた時代なのか。改めて「神話」とは何かについて考察する。	土佐 朋子	8	6/8	09:10-10:40	9 番教室	海幸山幸神話と浦島太	異境訪問譚の源泉としての海幸山	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																														
1	4/13	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	授業の内容、履修上の注意点などに関する説明。	土佐 朋子																																																														
2	4/20	09:10-10:40	9 番教室	音声と文字―神話を書くという行為―	音声言語と文字言語との違い、文字言語の発明と浸透がもたらしたもののについて、神話を通して考察する。	土佐 朋子																																																														
3	4/27	09:10-10:40	9 番教室	イザナギとイザナミ神話―誕生と死―	『古事記』イザナギとイザナミ神話を読み、国の誕生と死の起源とがどのように描かれたかを考察する。	土佐 朋子																																																														
4	5/11	09:10-10:40	9 番教室	アマテラスとスサノヲ神話	天の岩屋戸の意味と、トリックスターとしてのスサノヲの物語的機能について考察する。	土佐 朋子																																																														
5	5/18	09:10-10:40	9 番教室	大国主神話―選ばれし王者―	因幡の白ウサギから始まる大国主神話を考察する。	土佐 朋子																																																														
6	5/25	09:10-10:40	9 番教室	天孫降臨神話	日本神話独特の天孫降臨神話について考察する。	土佐 朋子																																																														
7	6/1	09:10-10:40	9 番教室	柿本人麻呂「草壁皇子挽歌」―書き換えられた「神話」―	7世紀は、すでに神話の書き換えが可能になっていた時代なのか。改めて「神話」とは何かについて考察する。	土佐 朋子																																																														
8	6/8	09:10-10:40	9 番教室	海幸山幸神話と浦島太	異境訪問譚の源泉としての海幸山	土佐 朋子																																																														

				郎の物語1	幸神話を考察する。	
9	6/15	09:10-10:40	9 番教室	海幸山幸神話と浦島太郎の物語2	丹後国風土記逸文の浦島伝説、高橋虫麻呂「浦島子歌」、御伽草子を読み、浦島太郎物語の変遷を考察する。	土佐 朋子
10	6/22	09:10-10:40	9 番教室	ヤマトタケルの物語ー悲劇の英雄ー	『古事記』中巻のヤマトタケルの物語を、『日本書紀』と比較させることにより、その特質を考察する。	土佐 朋子
11	6/29	09:10-10:40	9 番教室	反乱伝承ー恋愛と謀反ー	『古事記』中巻のサホビメ・サホビコの物語と、下巻の軽太子・軽太郎女の物語を、『日本書紀』と比較させることにより、その特質を考察する。	土佐 朋子
12	7/6	09:10-10:40	9 番教室	雄略天皇物語ー権力と文学ー	『古事記』『日本書紀』『万葉集』の雄略天皇に関する資料を読み、権力と文学の関係のありようについて考察する。	土佐 朋子
13	7/13	09:10-10:40	9 番教室	仁徳天皇・磐姫皇后物語ー恋愛と文学ー	『古事記』『日本書紀』『万葉集』の仁徳天皇の皇后磐姫に関する資料を読み、恋愛と文学の関係のありようについて考察する。	土佐 朋子
14	7/20	09:10-10:40	9 番教室	神話とジブリ映画	主に『もののけ姫』を取り上げ、現代に継承される日本神話の特質について考察する。	土佐 朋子
15	7/27	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	半年間考えてきたことをまとめる。	土佐 朋子

授業方法

原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。

講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。

授業内容

『古事記』に描かれた神話や、天皇代における反乱伝承などに軸足を置きながら、『日本書紀』『万葉集』『風土記』など同時代の文献資料や、芥川龍之介の作品など近現代文学、現代のジブリ映画などとの比較対象を行う。そうすることによって、物語が一定の型に従って構築されていること、その型が現代に至るまで継承されてきていることなどを明らかにしていく予定である。

具体的な内容については、「授業日程」に記した。ただし、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、内容が変更されたり、順序が入れ替わったりする場合もある。

成績評価の方法

評価:筆記試験0%・レポート 50%

その他 50%(学生による授業後小レポートおよび授業中の取り組み等)

再評価:有(再評価方法 原則として再レポート)

ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。

- ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。
- ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。
- ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないとは担当者が判断した場合。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴く。それを土台として、自分自身で作品世界を意味づけられるよう、作品の言葉と向き合う。

また、授業では日本の神話をとりあげるが、世界の神話や現代文化との比較対照など、独自の角度から考察するとよい。

試験の受験資格

レポート提出:原則として3分の2以上の出席。

教科書

古事記:現代語訳付き／中村啓信 訳注:角川学芸出版, 2009

参考書

本居宣長『古事記伝』(岩波文庫)、西郷信綱『古事記の世界』(岩波新書)、『新編日本文学全集 古事記』(小学館)、『古典文学大系 古事記』(岩波書店)、『日本古典集成 古事記』(新潮社)、『新編日本古典文学全集 日本書紀』(小学館)、『新編日本古典文学全集 風土記』(小学館)、川村湊『言霊と他界』(講談社学術文庫)、山本健吉・池田弥三郎『万葉百歌』(中公新書 1963)、斎藤茂吉『万葉秀歌 上・下』(岩波新書 1938)、中西進『万葉の秀歌 上・下』(講談社現代新書 1984)、土橋寛『万葉開眼 上・下』(日本放送出版協会 1978)、谷馨『額田姫王』(紀伊国屋書店 1967)、三浦佑之『浦島太郎の文学史 恋愛小説の発生』(五柳書院 1989)、渡辺護『万葉挽歌の世界 未完の魂』(世界思想社 1993)、松尾光編『万葉集101の謎』(新人物往来社 2000)、桜井満監修『万葉集を知る事典』(東京堂出版 2000)、川村湊『言霊と他界』(講談社学術文庫)、及川智早『日本神話はいかに描かれてきたかー近代国家が求めたイメージ』(新潮選書、2017年)など。

訳文が必要な場合は『新編日本文学全集 古事記』(小学館)が使いやすい。ただし、読み取り方は講義と異なることが多々あるので、それを念頭において利用すること。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。出欠管理システムに打刻されていても、「学生による授業後小レポート」が提出されていない場合は欠席扱いになります。

連絡先

土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30

管理研究棟2階文学研究室

時間割番号	000019					
科目名	文学BⅡ					
担当教員	土佐 朋子					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2	
曜日・時間:金曜1限						
・対象学科:全学科						
・募集人数:						
・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)						
別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する						
別表1－7)人間の心への理解を深める						
別表2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る						
授業の目的、概要等						
文学には、自らの力ではどうしようもない宿命を背負い、時代に翻弄されながら生きる人間の姿が繰り返し描かれてきた。それはなぜなのだろうか。今年度は、『平家物語』を読み、時代の大きな転換点において、己の宿命と向き合う人々がどのように描かれているかを考察してみたい。『梁塵秘抄』『方丈記』などの古典文学や、能などの芸能、芥川龍之介の作品などの近代文学との比較対象なども行う予定である。						
授業の到達目標						
①『平家物語』を中心とした日本古典文学に対する理解を深める。						
②文学作品のアクチュアリティに対する理解を深める。						
③文学作品を主体的に読む力を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	9 番教室	ガイダンス	半年間の授業に関する説明。	土佐 朋子
2	10/5	09:10-10:40	9 番教室	『平家物語』の歴史的背景	『梁塵秘抄』『方丈記』なども用いて、平安朝末期における歴史的背景を説明する。	土佐 朋子
3	10/19	09:10-10:40	9 番教室	祇園精舎の事	『平家物語』冒頭を読み、その意図について考察する。	土佐 朋子
4	10/26	09:10-10:40	9 番教室	驕れる平家1	『平家物語』前半部に描かれた、平家一門の全盛について考察する。	土佐 朋子
5	11/2	09:10-10:40	9 番教室	驕れる平家2	『平家物語』前半部に描かれた、平家一門の全盛について考察する。	土佐 朋子
6	11/9	09:10-10:40	9 番教室	入道逝去の事	清盛の壮絶な最期について考察する。	土佐 朋子
7	11/16	09:10-10:40	9 番教室	木曾の最期の事1	木曾義仲の挙兵、対立、都入りなど、「最期」に至る物語について考察する。	土佐 朋子
8	11/30	09:10-10:40	9 番教室	木曾の最期の事2	義仲・兼平主従を軸に構成された木曾の最期について考察する。	土佐 朋子
9	12/7	09:10-10:40	9 番教室	忠度の最期の事	清盛の弟という宿命を背負った忠度の物語について考察する。	土佐 朋子
10	12/14	09:10-10:40	9 番教室	敦盛最期の事	若武者敦盛の最期をめぐる物語について考察する。	土佐 朋子
11	12/21	09:10-10:40	9 番教室	維盛の入水の事	平家三代目総帥としての宿命を背負った維盛の物語について考察する。	土佐 朋子
12	1/11	09:10-10:40	9 番教室	嗣信最期の事 那須与一の事 弓流しの事	屋島の合戦をめぐる物語を考察する。	土佐 朋子

13	1/18	09:10-10:40	9 番教室	平家滅亡	壇ノ浦での最後の源平合戦をめぐる物語を考察する。	土佐 朋子
14	1/25	09:10-10:40	9 番教室	平家滅亡の後	平家が滅亡した後の、遺された人々の物語を考察する。	土佐 朋子
15	2/1	09:10-10:40	9 番教室	まとめ	半年間の講義を踏まえて、歴史の転換点を生きた人々の物語について考察し、考えをまとめる。	土佐 朋子
授業方法 原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。 講義の途中で、学生の意見を聞くこともある。						
授業内容 『平家物語』の後半を中心として、時代の転換点において、平家の一員としての宿命を背負った人々の生が、どのように描かれているかを考察する。 具体的な内容については「授業日程」に記したが、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、順序を入れ替えたり、内容を変更したりする場合がある。						
成績評価の方法 評価:筆記試験0%・レポート 50% その他 50%(学生による授業後小レポートおよび授業中の取り組み等) 再評価:有(再評価方法 原則として再レポート) ただし、次のような場合、該当学生に対しては、再評価は原則として行わない。 ①レポートにおいて、剽窃、無断引用などが確認された場合。 ②出欠において、代筆や代返などの行為が確認された場合。 ③出欠状況において、基準を満たさない、遅刻が多いなど、良好でないと担当者が判断した場合。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学科共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱われる箇所については、事前に読んでおく。授業中にしっかりと作品に向き合う。授業中にしっかりとメモを取りながら講義を聴く。						
試験の受験資格 レポート提出:原則として3分の2以上出席						
教科書 平家物語 下巻／佐藤 謙三 校註:角川書店, 1999						
参考書 平家物語ビギナーズクラシックス／角川書店 編:角川書店, 2001 平家の群像:物語から史実へ／高橋昌明 著:岩波書店, 2009 富倉徳次郎編『鑑賞日本古典文学 19 平家物語』(角川書店、1975)、梶原正昭『鑑賞日本の古典 平家物語』(尚学図書、1982 年)など は大変わかりやすい。そのほか現代語訳・注釈なども含めて多くの関連書籍が刊行されている。授業中に紹介したい。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、学生による授業後小レポートが提出されていない場合には、欠席扱いとなります。						
連絡先 土佐 朋子:tosalas@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟 2 階文学研究室						

時間割番号	000020				
科目名	法学Ⅰ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜 2 限					
対象学科: 医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。					
1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
社会に生きる限り、人は法と無関係ではられません。法によって自分の自由が制限されたり、反対に自由が守られたりと様々です。法的な争い事は裁判所で法を適用して結論が出されますが、時に理不尽に思われるような結論もあります。例えば自分のプライバシーを暴くような報道であっても、それを報じる雑誌の差し止めはなかなか認められません。また、一票の較差の問題でも「法の下での平等に反している」と結論が下されながらも、実際に選挙がやり直されたことは未だありません。確かにこうした事例は、自分には縁遠く思えるかもしれませんが、憲法はあらゆる自由や権利が法的問題となる時に、元締めのような役割を担っています。よって憲法は自分と無関係だとは言えないのです。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権の具体的内容や海外との相違点などトピックを、具体例を挙げながら説明します。「法学Ⅰ」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学Ⅱ」(国会等の統治機構や平和主義についての講義)も併せて履修すると理解が深まると思います。					
授業の到達目標					
(1)日本国憲法の基本的原則を理解し、人権に関する基本的知識を身に着ける。					
(2)比較法的観点を持ちつつ、望ましい人権保障のあり方について自分の考えを持ち、説明できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
2	4/20	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
3	4/27	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
4	5/11	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
5	5/18	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
6	5/25	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
7	6/1	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
8	6/8	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
9	6/15	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
10	6/22	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
11	6/29	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
12	7/6	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
13	7/13	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
14	7/20	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
15	7/27	10:50-12:20	1 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。					
授業内容					
第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介					
第2回 法とは何か／法と道德の違い／権利と義務／日本国憲法の原理					
第3回 人身の自由(刑事手続きで保障される権利など)／国務請求権(刑事補償請求権、請願権)					
第4回 国務請求権(国家賠償請求権)					
第5回 参政権(選挙権の原則・一票の較差)					
第6回 経済的自由(職業選択の自由など)／社会権①(生存権)					
第7回 社会権②(教育を受ける権利、労働権)					
第8回 思想・良心の自由(日の丸・君が代強制問題など)／学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係)					

第 9 回 信教の自由(靖国神社公式参拝問題など)
第 10 回 表現の自由(報道の自由、名誉毀損・性表現の規制の是非など)
第 11 回 包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など)
第 12 回 法の下での平等(再婚禁止期間・夫婦別姓問題など)
第 13 回 基本的人権のまとめ①(外国人の人権など)
第 14 回 基本的人権のまとめ②(公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など)
第 15 回 まとめ(個人の尊重とは何か)と理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 65% ・ その他(アクティブラーニング形式を取り入れた確認小テスト等) 35 % 再評価：有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認することは非常に有効です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。一票の較差から、TV 番組の演出への批判など、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。
教科書 特に指定しません。
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 5 版)』有斐閣、2017 年。安念潤司・小山剛・青井美帆・尖戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第 2 版)』東京法令出版、2014 年。棟居快行・松井茂記・赤坂正浩・笹田栄司・常本照樹・市川正人編『基本的人権の事件簿(第 5 版)』有斐閣、2015 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権(第 6 版)』有斐閣、2016 年。野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲法判例集(第 11 版)』有斐閣、2016 年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。) ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。
備考 キーワード: 人権 民主主義 立憲主義 自由 権利

時間割番号	000026				
科目名	法学Ⅰ（憲法）				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:水曜 3 限					
対象学科: 医学部保健衛生学科看護学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
国会の審議日程をめぐる与野党の駆け引きから芸能人の恋愛ニュースまで、ネットやテレビや新聞では、日々様々なニュースが伝えられています。こうしたニュースは、自分には縁遠いものに見えるかもしれませんが、しかし、国会という国民の代表者が集う場の果たすべき役割や、「表現の自由」といった広い視点から見れば、決して「自分と無関係ではありません。もちろん憲法とは大いに関係のある問題です。よって憲法を学ぶことは、自分自身のためになるのです。一方で近年は特に、日本国憲法の改正の必要性が叫ばれています。この問題を考えるには憲法の基本知識や議論の積み重ねを理解することが必要です。本授業では、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像を示していきます。適宜、各国憲法や日本の戦後史についても言及したいと思います。					
授業の到達目標					
(1)日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構の役割について理解する。					
(2)表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察できるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/18	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
2	4/25	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
3	5/2	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
4	5/9	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
5	5/16	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
6	5/23	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
7	5/30	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
8	6/6	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
9	6/13	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
10	6/20	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
11	6/27	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
12	7/4	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
13	7/11	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
14	7/18	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
15	7/25	13:10-14:40	1 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に、日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。					
授業内容					
第 1 回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の実意義／人身の自由(刑事裁判について)／国務請求権(刑事補償請求権など)					
第 2 回 国務請求権(国家賠償請求権)／参政権(選挙の原則、一票の較差)					
第 3 回 社会権(生存権・教育を受ける権利、労働基本権)／経済的自由(職業選択の自由)					
第 4 回 経済的自由(財産権)／思想・良心の自由(日の丸・君が代の強制問題など)／信教の自由(学校教育と信教の自由など)					
第 5 回 信教の自由(靖国神社公式参拝問題など)／学問の自由(先端医療技術の法的規制の問題など)					
第 6 回 表現の自由①(報道の自由、名誉毀損的表現など)					
第 7 回 表現の自由(集会・結社の自由など)／包括的権利(プライバシーの権利など)					
第 8 回 法の下での平等(夫婦別姓・再婚禁止期間など)／基本的人権のまとめ(外国人の人権、成年後見人制度など)					

第9回 日本憲法史／天皇制 第10回 平和主義(憲法9条の解釈・平和安全法制の概要など) 第11回 統治機構 権力分立／国会(衆参両院の役割分担など) 第12回 内閣(内閣総理大臣の権限強化の是非など) 第13回 裁判所(裁判員制度・司法の独立など)／違憲審査制度 第14回 地方自治(道州制の是非など)／財政(公金支出の禁止など) 第15回 まとめと理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 65% ・ その他(アクティブラーニング形式を取り入れた確認小テスト等) 35 % 再評価：有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習・復習として、日頃からあらゆるニュースに関心を払うようにすること。憲法や裁判に関するニュースだけでなく、政治・社会問題も含めたニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけること。レジュメを読み直して内容を復習すること。
教科書 特に指定しません。
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第5版)』有斐閣、2017年。安念潤司・小山剛・青井美帆・尖戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第2版)』東京法令出版、2014年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第6版)』岩波書店、2015年。野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲法判例集(第11版)』有斐閣、2016年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。) ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。
備考 キーワード: 人権 民主主義 政治制度 立憲主義

時間割番号	000021				
科目名	法学Ⅱ				
担当教員	飛田 綾子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。					
1-9)市民としての倫理観を養う。					
授業の目的、概要等					
日本の安全保障体制のあり方や地方自治の充実の具体策など、憲法に関係する様々なニュースが日々伝えられる一方で、現憲法の改正の必要性が盛んに叫ばれています。こうしたニュースを深く理解し、改正の必要性を冷静に考察するためには、憲法に関する基礎知識が必要です。この授業では、国会、内閣、裁判所の持つ権限やお互いのチェック機能、平和主義に関する解釈や著名な裁判、地方自治のあり方などについて説明します。現実の政治との接点を持ちながら適宜、他国との比較も行いたいと思います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」(人権についての講義)と併せて履修するとより理解が深まると思います。					
授業の到達目標					
(1)日本国憲法の、国会や内閣など統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較法的視点を持ちながら身につける。					
(2)憲法改正や平和主義の問題などについて、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持ち、それを説明できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
2	10/5	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
3	10/19	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
4	10/26	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
5	11/2	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
6	11/9	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
7	11/16	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
8	11/30	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
9	12/7	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
10	12/14	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
11	12/21	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
12	1/11	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
13	1/18	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
14	1/25	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
15	2/1	10:50-12:20	8 番教室	飛田 綾子	
授業方法					
教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。授業内容の確認や、授業で得た知識を基に日々伝えられるニュースへの応用を考えてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。					
授業内容					
第 1 回 ガイダンス 授業の目的・概要／参考文献の紹介					
第 2 回 立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)					
第 3 回 国会①国会議員の役割					
第 4 回 国会②国会・議院の権限					
第 5 回 内閣(議院内閣制、内閣の組織と権能)					
第 6 回 裁判所①司法権の範囲と限界(裁判所の権限、司法権の独立など)					
第 7 回 権力分立(各国との相違)					
第 8 回 日本憲法史(ドイツ、イタリアとの比較)					
第 9 回 天皇制(天皇は君主か元首か、天皇制の果たす役割)					
第 10 回 平和主義①(自衛隊の合憲性、著名な裁判、日本の国防についての基本的考えなど)					
第 11 回 平和主義②(平和安全法制の概要、各国との比較など)					
第 12 回 地方自治(道州制の可否など)					

第 13 回 財政(政教分離との関連など)
第 14 回 違憲審査制度(米独仏との比較)／憲法の保障・憲法改正
第 15 回 全体のまとめ・理解度の確認
成績評価の方法 評価：試験 0 % ・ レポート 65 % ・ その他(アクティブラーニング方式を取り入れた確認小テスト等) 35 % 再評価：有(再評価方法 レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習・復習として、レジュメをよく読み授業内容を確認することは非常に有用です。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。日本だけでなく海外の政治・社会状況を知り、日本との相違点や共通点を考え、憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。
教科書 特に指定しません。
参考書 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門(第 4 版補訂版)』有斐閣、2014 年。渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 2 統治(第 6 版)』有斐閣、2016 年。笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度』有斐閣、2015 年。安念潤司・小山剛・青井未帆・山本龍彦編『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第 2 版)』東京法令出版、2014 年。芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第 6 版)』岩波書店、2015 年。
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。) ③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。
備考 キーワード: 民主主義 政治制度 立憲主義 戦後史

時間割番号	000022				
科目名	政治学 I				
担当教員	面 一也				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜・2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する					
3-5) 国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
本授業では、必ずしも政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら、現代政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、書物には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進めたい。なお本授業では、国内体制を中心に取り上げる。					
授業の到達目標					
1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。					
2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。					
3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
2	4/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
3	5/7	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
4	5/14	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
5	5/21	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
6	5/28	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
7	6/4	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
8	6/11	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
9	6/18	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
10	6/25	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
11	7/2	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
12	7/9	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
13	7/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
14	7/30	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
15	8/1	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
授業方法					
講義形式で行なう。アクティヴ・ラーニング形式も取り入れる予定。					
授業内容					
第1回 イン트로ダクション					
第2回 権力と自由: 政治学の最も基本的な枠組み					
第3回 国家・集団・個人: 三者の関係を問い直し、未来の新たな国家の役割を考える					
第4回 法と政治: 法との関係から政治の位置を解明する					
第5回 政治と非政治: 政治と区別される非政治の領域から、政治の特性を浮き彫りにする					
第6回 デモクラシーの思想: 古代ギリシアと近代デモクラシーとの異同					
第7回 リベラル・デモクラシーの発展: 多様な諸類型					
第8回 福祉国家の諸問題: 転換期にある福祉国家の現状を考える					
第9回 非民主的体制: 王政、独裁、群生、一党支配など、デモクラシーから取り残された人びと					
第10回 政治教育: デモクラシーを担う人びとの育成のあり方					
第11回 日本の政党政治: とくに現代日本の政党政治の問題					
第12回 政治家と官僚: 自民党長期政権の特徴とそれに代わる政治構造の模索					
第13回 政治参加と選挙: 日本の有権者の投票行動					

第 14 回 マス・メディアと政治: 政権支持率や選挙結果への影響を中心に

第 15 回 期末筆記試験の予定”

成績評価の方法

評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(リアクション・ペーパー) 20%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。

教科書

教科書をとくに使用しない。代わりに、以下の参考書に基づく配布資料を用いる。

参考書

荻部直、宇野重規、中本義彦『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000023				
科目名	政治学Ⅱ				
担当教員	面 一也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間： 月曜・2 限					
1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する					
3-5) 国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
本授業では、政治学専攻でない学生向けに書かれた入門書を手がかりとしながら、現代政治の理論を踏まえつつ、政治の具体的現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、教科書には載っていない現在進行形のアクチュアルな諸問題も、可能なかぎり積極的に取り扱う。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、考察を進めたい。					
授業の到達目標					
1 現代の政治理論と現実政治の動向を理解する。					
2 アクチュアルな政治問題の争点を把握する。					
3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
2	10/15	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
3	10/22	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
4	10/29	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
5	11/5	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
6	11/12	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
7	11/19	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
8	11/26	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
9	12/3	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
10	12/10	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
11	12/17	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
12	1/7	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
13	1/21	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
14	1/23	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
15	1/28	10:50-12:20	9 番教室	面 一也	
授業方法					
講義形式で行なう。アクティヴ・ラーニング形式も取り入れる予定。					
授業内容					
第1回 イン트로ダクション					
第2回 世界の中の日本:日本の外交史と直面する課題					
第3回 戦後日本の政治学:現実政治との交錯					
第4回 ウェストファリア体制:現在の国際システムの特徴					
第5回 ナショナリズム:国際秩序を形成するのか、妨害するのか					
第6回 テクノロジーの奇襲:軍事技術の発展					
第7回 デモクラティック・ピース?:民主国同士は戦争しないという仮説の根拠と弱点					
第8回 人道的介入:人権のための軍事介入、平和のための戦争					
第9回 アメリカとグローバリゼーション:その光と影					
第10回 EUと移民問題:地域秩序の動揺					
第11回 戦争責任問題:歴史認識をめぐるズレ、その由来と現状					
第12回 アジアの地域主義:東アジア共同体と日本とのかかわり					
第13回 環境問題と政治:合意形成方式や新たな主体参加の開放性					
第14回 ジェンダーの政治:その経緯と今後の方向					
第15回 期末筆記試験の予定					

成績評価の方法

評価：試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(リアクション・ペーパー) 20%

再評価： 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。また、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。

教科書

教科書をとくに使用しない。代わりに、以下の参考書に基づく配布資料を用いる。

参考書

荻部直、宇野重規、中本義彦『政治学をつかむ』有斐閣、2011 年。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。

時間割番号	000024				
科目名	経済学 I				
担当教員	田場 弓子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)					
授業の目的、概要等					
経済学の考え方及び分析ツールを用いて、国際経済の中で起こっている様々な経済現象を理解できるようになることを目的とします。 例えば、各国はなぜ自由貿易協定を結ぼうとするのか。各国政府はどのような貿易政策を実施しているのか、それらの貿易政策は各国の経済にどのような影響を与えるのかなどを扱います。					
授業の到達目標					
国際貿易の成り立ち、貿易政策の手段及びその効果を経済学的に理解し、短絡的な議論に惑わされることなく自分なりの意見を持てるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
2	4/23	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
3	5/7	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
4	5/14	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
5	5/21	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
6	5/28	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
7	6/4	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
8	6/11	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
9	6/18	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
10	6/25	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
11	7/2	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
12	7/9	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
13	7/23	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
14	7/30	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
15	8/1	10:50-12:20	7 番教室	田場 弓子	
授業方法					
基本的には、講義形式で行いますが、問題を解いてもらい、答えてもらうことも多くあります。					
授業内容					
第1回 ガイダンス: 日本を取り巻く国際的な経済取引					
第2回 比較優位と絶対優位					
第3回 リカードモデル: 技術格差と貿易パターン					
第4回 部分均衡分析1: 効用と需要					
第5回 部分均衡分析2: 生産費用と供給					
第6回 部分均衡分析3: 消費者余剰、生産者余剰					
第7回 貿易政策1: 輸出入関税・補助金政策					
第8回 中間試験と解説					
第9回 国内産業保護政策					
第10回 不完全競争下の関税政策					
第11回 ブランダースペンサーモデル					
第12回 貿易協定					
第13回 国際要素移動1: 海外直接投資					
第14回 国際要素移動2: 国際労働移動					
第15回 まとめ					
成績評価の方法					

評価：試験90%・レポート　%・その他(確認問題)10% 再評価：有(レポートまたはテスト)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありませんが、復習する際には、授業で配布した資料を再度確認し理解を深めてください。
教科書 資料を配布します。
参考書 石川城太・菊池徹・棕寛 著 『国際経済学をつかむ』有斐閣
備考 経済学 国際貿易 貿易政策 自由貿易

時間割番号	000025				
科目名	経済学Ⅱ				
担当教員	田場 弓子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)					
授業の目的、概要等					
マクロ経済学は現実と密接に関係しています。例えば、マクロ経済学で観察される現象として、物価が上昇し続けるインフレーションや、逆に物価が下がり続けるデフレーションがあります。これらの現象はなぜ起こるのでしょうか。また、政府は財政政策や金融政策を行っていますが、これらの政策は实体经济にどのようなルートを通じて影響を与えるのでしょうか？この他にも、GDP の水準を決めているのは何か、金利の変動はなぜ起こるのか、貯蓄率と経済成長とはどう関係しているのかなどを学びます。					
授業の到達目標					
世の中で実際に起こっている経済現象について、マクロ経済学の考え方をを用いて理解できるようになることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
2	10/15	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
3	10/22	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
4	10/29	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
5	11/5	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
6	11/12	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
7	11/19	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
8	11/26	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
9	12/3	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
10	12/10	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
11	12/17	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
12	1/7	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
13	1/21	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
14	1/23	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
15	1/28	10:50-12:20	10 番教室	田場 弓子	
授業方法					
基本的には、講義形式で行いますが、問題を解いてもらい、答えてもらうことも多くあります。					
授業内容					
第1回 イン트로ダクション					
第2回 国内総生産					

第3回 国民所得 第4回 貨幣数量説 第5回 インフレと利子率 第6回 為替レート 第7回 開放経済:小国 第8回 摩擦的失業 第9回 構造的失業 第10回 総需要と総供給 第11回 安定化政策 第12回 財市場と IS 曲線 第13回 貨幣市場と LM 曲線 第14回 IS-LM モデルの応用 第15回 まとめ
成績評価の方法 評価：試験90%・レポート 10%・その他(確認問題)10% 再評価：有(レポートまたはテスト)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありませんが、復習する際には、授業で配布した資料を再度確認し理解を深めてください。
教科書 資料を配布します。
参考書 N. グレゴリー・マンキュー 「マンキューマクロ経済学 I」 第4版 東洋経済新報社 2017
備考 経済学 マクロ経済学 GDP 失業 財政政策 金融政策

時間割番号	000027				
科目名	社会学A I				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
4-4) 情報についての基本技能を身につける					
授業の目的、概要等					
急速に変化を続ける現代社会において、我々を取り巻く環境や人々のものの考え方などを知るための社会調査(世論調査・アンケート・インタビューなど)の重要性はますます増加している。またインターネットと情報通信機器の普及により、一個人であっても調査を気軽に実施できるようになっている。だが、それらの中にはデータの集め方や質問文、分析結果の読み取り方などが適切でないために誤った結論を出してしまっているものが少なくない。					
この授業では、社会調査に関する基本的な事項を学習する。具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを扱う。また質の高い社会調査を詳細に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析・記述されているのかを理解する。					
そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き、正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーをも習得することが本授業の目的である。					
授業の到達目標					
○社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。					
○社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	
1	4/16	09:10-10:40	6 番教室	ガイダンス、社会調査とは何か	
2	4/23	09:10-10:40	6 番教室	調査内容と対象の決定	
3	5/7	09:10-10:40	6 番教室	調査の実施と処理	
4	5/14	09:10-10:40	6 番教室	結果の集計と分析	
5	5/21	09:10-10:40	6 番教室	聴き取り調査と調査のまとめ方	
6	5/28	09:10-10:40	6 番教室	様々な社会調査・調査の課題	
7	6/4	09:10-10:40	6 番教室	統計分析の基礎、クロス集計	
8	6/11	09:10-10:40	6 番教室	平均の差の検定と分散分析、単回帰分析	
9	6/18	09:10-10:40	6 番教室	相関と偏相関、重回帰分析、ダミー変数	
10	6/25	09:10-10:40	6 番教室	パス解析、クラスター分析	
11	7/2	09:10-10:40	6 番教室	主成分分析、因子分析	
12	7/9	09:10-10:40	6 番教室	文献購読1	
13	7/23	09:10-10:40	6 番教室	文献購読2	
14	7/30	09:10-10:40	6 番教室	文献購読3	
15	8/1	09:10-10:40	6 番教室	期末課題について、医療化社会論	
授業方法					
1～11 回目の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。12～14 回目の授業はジェンダーやセクシュアリティに関わる文献購読とそれをもとにしたディスカッションをおこなう。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。					
授業内容					
第1回: ガイダンス、社会調査とは何か					
第2回: 調査内容と対象の決定					
第3回: 調査の実施と処理					
第4回: 結果の集計と分析					
第5回: 聴き取り調査と調査のまとめ方					

第6回:様々な社会調査・調査の課題 第7回:統計分析の基礎、クロス集計 第8回:平均の差の検定と分散分析、単回帰分析 第9回:相関と偏相関、重回帰分析、ダミー変数 第10回:パス解析、クラスター分析 第11回:主成分分析、因子分析 第12回:文献購読1 第13回:文献購読2 第14回:文献購読3 第15回:期末課題について、医療化社会論
成績評価の方法 現代社会について考える力を養うため、成績評価は次のようにおこなう。 レポート 60%、授業への参加度(出席状況・コメントシート・ディスカッションへの貢献など) 40% 再評価:有(レポート) 評価 : レポート 60 % ・ 授業への参加度(出席状況・コメントシート・ディスカッションへの貢献など) 40 % 再評価 : 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをおすすめします。 文献購読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。
教科書 なし(授業中に資料を配布する)
参考書 原純輔・浅川達人『社会調査』放送大学教育振興会、2005年。 村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSSによる多変量解析』オーム社、2007年。 それ以外にも授業内で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000029				
科目名	社会学AⅡ				
担当教員					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:月曜1限 対象学科:全学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る					
授業の目的、概要等 社会学は文字どおりわれわれの生きる社会について研究する学問だが、社会は常に変化し続けるため、また社会を研究しようとする我々も社会の中に含まれているため、そしてまた社会のどの部分に注目するかによって分析視角が様々に異なるため、社会学の研究方法は極めて多岐にわたっている。 この授業では、社会学の成り立ちを踏まえた上で代表的な社会理論を概観することで、社会学的な視点やものの考え方を習得するとともに、これらの理論が現代社会を解釈する上でも有効であることを確認していく。また社会学の一領域であるジェンダー論に関する文献を講読し、社会学の幅広い領域の一端に触れてもらうことを目標とする。					
授業の到達目標 ○社会学の基本的な知識を習得し、社会学的なものの見方を身につけること。 ○社会学的なものの見方にもとづいて現代社会を読み解く能力を身につけること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	
1	10/1	09:10-10:40	6 番教室	ガイダンス	
2	10/15	09:10-10:40	6 番教室	社会学史概括	
3	10/22	09:10-10:40	6 番教室	自殺とアノミー／社会システムの機能分化	
4	10/29	09:10-10:40	6 番教室	複雑性の縮減／合理的選択	
5	11/5	09:10-10:40	6 番教室	物象化と疎外／宗教と社会	
6	11/12	09:10-10:40	6 番教室	イデオロギーと相関主義／コミュニケーション的行為	
7	11/19	09:10-10:40	6 番教室	権力と主体／相互作用	
8	11/26	09:10-10:40	6 番教室	現象学／相互作用と自己	
9	12/3	09:10-10:40	6 番教室	構築される社会／スティグマとラベリング	
10	12/10	09:10-10:40	6 番教室	エスノメソドロジー／文化資本	
11	12/17	09:10-10:40	6 番教室	再帰的近代	
12	1/7	09:10-10:40	6 番教室	文献講読1	
13	1/21	09:10-10:40	6 番教室	文献講読2	
14	1/23	09:10-10:40	6 番教室	文献講読3	
15	1/28	09:10-10:40	6 番教室	期末課題について、これまでの振り返り	
授業方法 1～11 回目の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。12～14 回目の授業はジェンダーやセクシュアリティに関わる文献講読とそれをもとにしたディスカッションをおこなう。リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。					
授業内容 第1回:ガイダンス 第2回:社会学史概括 第3回:自殺とアノミー／社会システムの機能分化 第4回:複雑性の縮減／合理的選択 第5回:物象化と疎外／宗教と社会 第6回:イデオロギーと相関主義／コミュニケーション的行為					

第7回:権力と主体／相互作用 第8回:現象学／相互作用と自己 第9回:構築される社会／スティグマとラベリング 第10回:エスノメソロジー／文化資本 第11回:再帰的近代 第12回:文献講読1 第13回:文献講読2 第14回:文献講読3 第15回:期末課題について、これまでの振り返り
成績評価の方法 現代社会について考える力を養うため、成績評価は次のようにおこなう。 レポート 60%、授業への参加度(出席状況・コメントシート・ディスカッションへの貢献など)40% 再評価:有(レポート) 評価 : レポート 60 % ・ 授業への参加度(出席状況・コメントシート・ディスカッションへの貢献など) 40 % 再評価 : 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義については予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があれば次回授業時に質問してください。また自分の周囲のさまざまな現象について、授業で学んだ分析視角を当てはめて解釈する練習をすることをおすすめします。 文献講読については予習として事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。
教科書 なし(授業中に資料を配布する)
参考書 那須壽編『クロニクル社会学』有斐閣、1997年。 それ以外にも授業内で随時紹介する。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000030				
科目名	社会思想史 I				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2)、1－3)、1－5)、1－9)					
授業の目的、概要等					
前近代期の社会思想への理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱いている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。この反省によって、「社会の中で自分が生きる」ということに関して学生が、自分自身の力で考えていくことのできるようになることが、目指される。					
授業の到達目標					
講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。					
学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。					
エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方での自分の考えを簡潔に論じることができるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
2	4/20	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
3	4/27	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
4	5/11	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
5	5/18	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
6	5/25	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
7	6/1	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
8	6/8	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
9	6/15	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
10	6/22	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
11	6/29	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
12	7/6	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
13	7/13	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
14	7/20	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
15	7/27	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。					
授業内容					
1. イントロダクション					
2. オイコスとポリス					
3. ソクラテスの生と思想					
4. プラトンとアテナイ					
5. プラトンの正義論					
6. プラトンのイデア論と社会観					
7. アリストテレスのプラトン批判					
8. アリストテレスのコイノーニア観					
9. アリストテレスの正義論					
10. キケロとローマ共和政					
11. キケロの自然法論					
12. キリスト教における人間と社会					
13. アウグスティヌスの政治社会論					
14. アウグスティヌス主義とアリストテレス主義					
15. トマス・アキナスの政治社会論					

成績評価の方法

評価：試験 100%

再評価：有(レポート)ただし欠席数が2回以下の者に限る

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテキストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

参考書

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年

水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年

木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

時間割番号	000031				
科目名	社会思想史Ⅱ				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 1限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2)、1－3)、1－5)、1－9)					
授業の目的、概要等					
近・現代期の社会思想の理解を得ることによって学生が、「社会」に関して自分が今抱えている意見や見解を、自分自身で批判的に反省できるようになることが目的。その反省によって、「社会の中で自分が生きる」という主題に関して学生が、自分自身の力で考えていくことができるようになることが、目指される。					
授業の到達目標					
講義のあいだに、学生に対して質問をするので、そのときに学生が自分自身の言葉で答えることができるようになること。					
学生が自分の問題意識を涵養するために、自分の力で文献を選択し、自分の力で文献を読むことができるようになること。					
エッセイ形式のテストにおいて、講義の内容に関する適切な理解を示し、講義の内容に則った仕方での自分の考えを簡潔に論じることができるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
2	10/5	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
3	10/19	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
4	10/26	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
5	11/2	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
6	11/9	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
7	11/16	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
8	11/30	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
9	12/7	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
10	12/14	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
11	12/21	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
12	1/11	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
13	1/18	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
14	1/25	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
15	2/1	09:10-10:40	3 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
授業は、質疑応答を交えた講義形式で行う。					
授業内容					
1. マキアヴェッリの人間観					
2. マキアヴェッリと近代共和主義の伝統					
3. 近代知のパラダイム: デカルトとベーコン					
4. ホッブズの人間観					
5. ホッブズの政治社会論					
6. ロックの人間観					
7. ロックの政治社会論					
8. ヒュームの人間論					
9. ヒュームとスミスの社会論					
10. ルソーの近代社会批判					
11. ルソーの政治社会論					
12. ヘーゲルの人倫論					
13. マルクスと近代社会					
14. 功利主義思想					
15. 社会正義論の現在					

成績評価の方法

評価：試験 100%

再評価：有(レポート)ただし欠席数が2回以下の者に限る

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

毎回の講義を、必ず一回は復習してほしい。講義中に作成するノートは、不完全なものでよく、むしろ講義の内容を理解することに努めた方がよい。講義後、できるだけ早く復習し、講義ノートをより完全なものに書き換えるなら、効果的な学習となる。

講義でとりあげるテキストを、自分自身で読むことが、最も効果的な復習となるであろう。

参考書

山岡龍一『西洋政治理論の伝統』放送大学教育振興会、2009 年

水田洋『新稿 社会思想小史』ミネルヴァ書房、2006 年

木崎喜代治、筒井清忠、阪上孝『社会思想史』有斐閣、1987 年

坂本達哉『社会思想の歴史』名古屋大学出版会、2014 年

時間割番号	000032				
科目名	文化人類学Ⅰ				
担当教員	三谷 純子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2限					
募集人数:20 人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2) 社会制度や仕組みについての基 本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を 深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知ります。主に生きる権利に関し、具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対的に正しい即座の解 決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標					
目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、MDG(ミレニアム開発目標)・SDG(持続可能な開発目標)と子どもの権利の関係につ いて説明できる。					
目標2. 母子保健の分野における世界の子どもの現状と解決への取り組みについて具体例をあげて説明できる。					
目標3. 文化と開発の複雑な関係について具体例をあげて説明できる。					
目標4. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
2	4/23	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
3	5/7	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
4	5/14	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
5	5/21	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
6	5/28	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
7	6/4	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
8	6/11	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
9	6/18	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
10	6/25	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
11	7/2	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
12	7/9	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
13	7/23	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
14	7/30	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
15	8/1	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
授業方法					
講義、ビデオ視聴、資料解読、授業中のグループワークによる発表等。					
授業内容					
1. イントロダクション・授業の概要説明・子どもの概念					
2. ユニセフの誕生、任務と主要なパートナー					
3. 子どもの権利条約と3つの選択議定書					
4. MDG・SDG と格差の拡大					
5. ユニセフの母子保健への取り組み:子どもの主要な死亡原因と国別協力プログラム					
6. 水と衛生(通常時)					
7. 水と衛生(緊急支援)					
8. 母乳育児					
9. ポリオ					
10. マラリア					
11. HIV/AIDS と共に生きる					

12. HIV/AIDS の予防 13. FGM(女性器切除) 14. 虐待 15. まとめ（医学や看護の専門領域ではなく、政策決定に関するアドボカシー、行動を変えるための広報、社会動員、メディアや各種団体との協働、資金調達、企業の社会的責任等について取り上げます。）
成績評価の方法 評価：試験 60 % ・ レポート % ・ その他(授業中やフィードバックシートによる質問意見表明等による参加) % 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中のディスカッションのために資料を読んだり、短いビデオを視聴してくることを課すことがあります。子どもについてのニュースを日ごろから読み、授業で学んだことを生かして多様な視点から、行間を読む視点を養いましょう。講演会や映画、読みやすい本等も紹介するので、自ら理解を深めてください。
教科書 授業中に、主にユニセフや国連、世界銀行等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントやその他の資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。日本語翻訳がある場合は、無料でダウンロードできるので、適宜お知らせします。
参考書 www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Children 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。
履修上の注意事項 出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。
備考 受講者の希望を反映し、取り上げる具体例を変更することがあります。

時間割番号	000035				
科目名	文化人類学Ⅱ				
担当教員	三谷 純子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 社会制度や仕組みについての基 本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を 深める 1-9)市民としての倫理観を養う 3-4)外国文化を理解する 3-5)国際情勢を理解する					
授業の目的、概要等					
戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、極度の貧困、国家間の法律の違い等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグローバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。					
授業の到達目標					
目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。					
目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。					
目標3. 自分の意見を明確に主張し、他人の意見をよく聞いて、議論した結果をわかりやすく発表できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
2	10/15	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
3	10/22	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
4	10/29	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
5	11/5	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
6	11/12	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
7	11/19	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
8	11/26	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
9	12/3	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
10	12/10	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
11	12/17	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
12	1/7	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
13	1/21	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
14	1/23	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
15	1/28	10:50-12:20	2 番教室	三谷 純子	
授業方法					
講義を主とします。ビデオ視聴、資料解説、授業中のグループワークによる発表等もあります。当事者、または元当事者から直接話を聞き質問する機会を設ける予定。					
授業内容					
1. イントロダクション(シラバスの説明・質疑応答)					
2. 各自の名の由来・日本と世界の名を巡る多様な文化					
3. 世界の出生登録の現状と国際社会の取り組み					
4. 日本の無戸籍					
5. 無国籍に関する国際条約と国際社会の取り組み					
6. 国籍を希求する人々と無国籍のままを望む人々					
6. 難民の地位に関する条約と定義、難民概念の拡大、					
8. 難民認定制度 9. 日本の難民 受け入れ					
10. 3つの恒久的解決の限界と解決策の模索					

11. 難民の移民化と子どもの難民・移民 12. 移民理論と移住労働者の権利 13. 日本の外国人研修制度 14. 当事者の視点 15. まとめ
成績評価の方法 評価：試験 70 % ・ レポート % ・ その他（授業中やフィードバックシートによる質問や意見表明） 30 % 再評価： 有（レポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業中のディスカッションのために資料を読んだり、短いビデオを視聴してくることを課すことがあります。子どもについてのニュースを日ごろから読み、授業で学んだことを生かして多様な視点から、行間を読む視点を養いましょう。講演会や映画、読みやすい本等も紹介するので、自ら理解を深めてください。
教科書 授業中に主に UNHCR,IOM,UNICEF、法務省や厚生労働省等の最新英文資料をまとめたパワポのコピーや、その他の資料を適宜配布するので A4 フォルダ―を用意してください。日本語翻訳がある場合は、無料でダウンロードできるので、適宜お知らせします。
参考書 難民レジームの歴史は、UNHCR『世界難民白書2000 人道行動の50年史』日本語版、時事通信社、2001 年。人の移動の概説は、S. カースルズ他『国際移民の時代』第4版、名古屋大学出版会、2011 年。日本の難民・移民について読みやすい本は、藤原良雄他編「なぜ今移民問題か」藤原書店 2014、駒井洋監修佐々木てる「マルチ・エスニックジャパニーズ：00系日本人の変革力」明石書店 2016 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017 井戸まさえ「日本の無戸籍者」岩波新書 2017、荒巻重人他「外国人の子ども白書」明石書店 2017 他に UNICEF, UNOCHA, UNHCR, UN, IOM, ILO,世界銀行等 のHP。世界の無国籍は www.institutesi.org 、日本の難民や無国籍は www.refugee.or.jp や www.stateless-network.com 等。
履修上の注意事項 出欠は、授業の最後に提出するフィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。

時間割番号	000036				
科目名	社会科学特論 I				
担当教員	濱本 真実				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 月曜2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1－3) 人間の歴史的営みを理解する					
1－4) 異なる空間の文化を理解する					
3－4) 外国文化を理解する					
授業の目的、概要等					
イスラームと聞くと、多くの人は中東を思い浮かべるだろうが、中央ユーラシアやロシアにも多くのイスラーム教徒(ムスリム)が居住している。					
ロシアは現在では多宗教国家を標榜しているが、20 世紀初頭まで、ながらくキリスト教の正教(東方正教)を国教としてきた国であり、ロシア帝国下のイスラーム教徒は、キリスト教徒を君主とする国で自らのイスラームの信仰を護っていたのだった。					
本講義では、かつてロシア帝国に含まれた中央ユーラシア諸地域とロシアのイスラーム教徒に焦点を当てながら、両地域の相互関係や、日本ではなじみの薄いキリスト教の正教とイスラームという二つの宗教について学ぶ。そして、イスラーム教徒とキリスト教徒の共生という問題を考える。					
授業の到達目標					
1. 中央ユーラシアの文化と歴史、さらに、中央ユーラシアとロシアの深く長い関係について理解を深める。					
2. キリスト教の正教(東方正教)とイスラームという2つの宗教について理解を深める。					
3. イスラーム教徒とキリスト教徒の共生の歴史を、ロシア(ロシア帝国、ソ連、現在のロシア連邦)を例に理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
2	4/23	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
3	5/7	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
4	5/14	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
5	5/21	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
6	5/28	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
7	6/4	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
8	6/11	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
9	6/18	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
10	6/25	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
11	7/2	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
12	7/9	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
13	7/23	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	
14	7/30	10:50-12:20	11 番教室	濱本 真実	

			室	
15	8/1	10:50-12:20	11 番教 室	濱本 真実
授業方法 講義				
授業内容 1. ガイダンス 2. イスラームとは？ 3. イスラーム圏の拡大 4. 中央ユーラシアのイスラーム化とテュルク化 5. キリスト教の正教(東方正教)とは？ 6. ロシアのキリスト教化 7. ロシア帝国の中央ユーラシア征服(1) 8. ロシア帝国の中央ユーラシア征服(2) 9. ロシア帝国支配下の中央ユーラシア 10. ロシア革命とイスラーム 11. ソビエト政権下のイスラーム教徒 12. 現代の中央ユーラシア(1) 13. 現代の中央ユーラシア(2) 14. 現代ロシアにおけるイスラーム教徒とキリスト教徒の共生 15. まとめ				
成績評価の方法 評価：試験 80 % ・ レポート % ・ その他(出欠、コメントシートの回答などの平常点) 20 % 再評価：有(試験もしくはレポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 イスラーム史とロシア史の知識が乏しい受講者は、それぞれの概説書を読んで予習しておくことが望ましい。 授業の理解が難しい場合は、授業中に配布するプリントに挙げられる参考文献を利用した復習が必要になる。				
教科書 特になし。毎回プリントを配布する。				
参考書 毎回の授業で、授業内容に関する参考書を指示する。				
履修上の注意事項 原則的に3分の2以上の出席を試験の受験資格とする。				
備考 キーワード: イスラーム、キリスト教、正教、東方正教、ロシア、ソ連、中央アジア、中央ユーラシア				

時間割番号	000037				
科目名	社会科学特論Ⅱ				
担当教員	中島 貴子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間:金曜 1 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-10、2-3、2-4、2-5					
授業の目的、概要等					
現代社会は科学や科学技術が高度に発達し、科学的根拠が行政や司法など社会的意思決定の根拠として重要な役割を果たしています。その一方で「科学的に問うことはできるけれども、科学(だけ)では答えられない問題(＝トランス・サイエンス問題、たとえば生殖補助医療に伴う親子問題)が顕在化しています。そのような現状において、科学の良い部分(卓越性)だけを活かし、悪い部分(限界)を回避することはできるのでしょうか。この授業では、この問いの重要性に対する問題意識を深め、この問いが具体化する多様な現場に対する理解を深めます。					
授業の到達目標					
1、現代社会が「トランス・サイエンスの時代」と呼ばれる理由について説明できるようになる。 2、トランス・サイエンスの時代に生きる医療人として、また市民として、科学を過信せずなおかつ科学を活用する社会を実現するにはどうしたらよいのか、という問いに対して、一定の見解をもてるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
2	10/5	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
3	10/19	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
4	10/26	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
5	11/2	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
6	11/9	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
7	11/16	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
8	11/30	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
9	12/7	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
10	12/14	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
11	12/21	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
12	1/11	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
13	1/18	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
14	1/25	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
15	2/1	09:10-10:40	5 番教室	中島 貴子	
授業方法					
授業はテキストを通して「トランス・サイエンス問題」への理解を深めるための講義と、「トランス・サイエンス問題」の具体例を自ら探し、分析するための演習の混合形式で行います。演習のスタイル(グループ別プレゼン、チームディベートなど)は受講者の人数により決定します。					
授業内容					
第1回 オリエンテーション「トランス・サイエンス問題」とは何か					
第2回 講義:テキスト 第1章(科学の卓越性)					
第3回 講義:テキスト第2章(地震と想定)					
第4回 講義:テキスト第3章(メタボの医学)					
第5回 講義:テキスト第4章(犯罪とDNA 鑑定)					
第6回 講義:テキスト第5章(法廷における科学)					
第7回 講義:テキスト第6章(家族の法と科学)					
第8回 講義:テキスト第7章「科学の不定性マトリックス」					
第9回から第11回 演習					
第12回 講義:テキスト 第8章、第10章(理科教育、法教育)					
第13回 講義:テキスト第12章(市民参加の意味)					
第14回と第15回 振り返りとまとめ					

成績評価の方法 評価：試験　％・レポート 50％・その他(授業への参加度)50％ 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義には指定テキストを事前に読んだ上で参加してください。最初の約30分で、テキストの内容に関する疑問点を小人数のグループで共有し、その内容をクラス全体に発表してもらいます。
教科書 本堂毅・平田光司・尾内隆之・中島貴子編(2017)『科学の不定性と社会—現代の科学リテラシー』信山社。
参考書 小林傳司(2007)『トランス・サイエンスの時代』NTT 出版。 平川秀幸(2010)『科学は誰のものか』NHK 出版。
履修上の注意事項 教員自身が取れる出欠を優先させます。
備考 キーワード: 科学の不定性、リスクガバナンス

時間割番号	000845				
科目名	Japanese Culture and Society I				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
主な講義場所 3番教室					
授業の目的、概要等					
文化、社会という概念は、個人の経験に基づく相対的なものであり、様々な視点や比較を通すことで、明確になってくるものです。「文化」「社会」という言葉でさえ、明治初期に“culture”, “society”から翻訳されて日本語に入った借用語です。 本授業では、外国人から見た日本文化・社会の様々な側面をドキュメンタリー映画、ブログ、雑誌記事、本など様々な媒体から学び、ディスカッションをしていきます。 この授業は、日本語と英語で行いますが、ディスカッションとプレゼンテーションは主に英語で行います。 また、基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society II を受講してください。TOEFL スコア 530 以上でも英語に自信がなく、本授業を受けたい学生は初回授業の時に相談してください。					
授業の到達目標					
1.日本文化社会に対する新しい視点を獲得する。					
2.日本文化社会の諸側面に関して英語で意見を述べることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
2	4/23	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
3	5/7	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
4	5/14	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
5	5/21	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
6	5/28	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
7	6/4	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
8	6/11	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
9	6/18	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
10	6/25	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
11	7/2	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
12	7/9	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
13	7/23	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
14	7/30	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
15	8/1	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
授業方法					
Lecture					
Reading					
Discussion					
Presentation					
授業内容					
1. Introduction/Orientation					
2. Exoticism, Impressions and Misconceptions of Japan					
3. Livable or unlivable?					
4. A homogenous society: Racism in Japan?					
5. Guest speaker					
6. Ambiguity and politeness					
7. Implicit / explicit communication					
8. Collective Assimilation / Individualism: The concept of wa					
9. Collective Assimilation / Individualism: Within business culture					

10. Leadership, Hierarchy and Power 11. Gender roles and Equality 12. Guest speaker 13. Relationships in Japan 14. Oral Presentations 15. Summary/ Reflection – Final essays due
成績評価の方法 授業参加度/宿題 40 % プレゼンテーション 30% 最終レポート 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 The Culture Map : Breaking through the Invisible Boundaries of Global Business／Erin Meyer／著,:Public Aff airs, 2014 The Japanese mind : undrestanding contemporary Japanese culture／Roger J. Davis／,Osamu Ikeno／,, 2002 異文化理解力：相手と自分の真意がわかるビジネスパーソン必須の教養／エリン・メイヤー 著,田岡恵 監訳,樋口武志 訳:英治出 版, 2015
他科目との関連 Japanese culture and Society I と Japanese culture and society II の重複受講は認められません。
履修上の注意事項 本授業は基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以下の学生を対象に行います。530 以上の学生は後期に英語のみで行う Japanese culture and society II を受講してください。
連絡先 今村 圭介Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000846				
科目名	Japanese Culture and Society II				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
授業の目的、概要等					
Culture and Society are concepts relative to one's own experience which can be elaborated through multiple perspectives and comparison. In fact, bunka(文化): culture and shakai(社会): society, are both translated words created only after contact with the West during the Meiji era. In this course we will discuss Japanese culture and society through comparison and through the lens of foreigners, using resources such as documentaries, news articles, books, social media and guest speakers. We will explore various aspects of Japanese culture and society through discussion on the materials provided in class. Students are encouraged to have active discussion in English.					
授業の到達目標					
The objectives of this course are:					
1.To gain new perspective on our own culture and society					
2.To be able to discuss and state own opinions on various aspects of Japan					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
2	10/15	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
3	10/22	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
4	10/29	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
5	11/5	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
6	11/12	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
7	11/19	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
8	11/26	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
9	12/3	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
10	12/10	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
11	12/17	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
12	1/7	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
13	1/21	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
14	1/23	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
15	1/28	10:50-12:20	3 番教室	今村 圭介	
授業方法					
Lecture					
Reading					
Discussion					
Presentation					
授業内容					
1. Introduction/Orientation					
2. Exoticism, Impressions and Misconceptions of Japan					
3. Livable or unlivable?					
4. A homogenous society: Racism in Japan?					
5. Guest speaker					
6. Ambiguity and politeness					
7. Implicit / explicit communication					
8. Collective Assimilation / Individualism: The concept of wa					
9. Collective Assimilation / Individualism: Within business culture					
10. Leadership, Hierarchy and Power					
11. Gender roles and Equality					
12. Guest speaker					

13. Relationships in Japan 14. Oral Presentations 15. Summary/ Reflection – Final essays due
成績評価の方法 Class Participation 30 % Presentation 30% Assignment 10 % Final Essay 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 The Culture Map : Breaking through the Invisible Boundaries of Global Business／Erin Meyer／著,:Public Aff airs, 2014 The Japanese mind : undrestanding contemporary Japanese culture／Roger J. Daivis／,Osamu Ikeno／,, 2002
他科目との関連 Japanese culture and Society I と Japanese culture and society II の重複受講は認められません。
履修上の注意事項 本授業は基本的には入学時の TOEFL のスコアが 530 以上の学生を対象に行います。530 以下の学生は前期に英語と日本語を交えて行う Japanese culture and society I を受講してください。
連絡先 今村 圭介Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 今村 圭介毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000857				
科目名	グローバル教養科目・Linguistics				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
主な講義場所 3番教室					
授業の目的、概要等 This course will explore the relation between language and society. Since language is used as a means of communication within a society, it carries social functions and is used to convey social meanings. In this course, we will learn sociolinguistic theories and discuss topics using examples from various languages, particularly the ones we know, English and Japanese. We will discuss questions such as: Why do men and women speak differently? What influences us to speak differently in everyday life? How do people use different languages in a multilingual community?					
授業の到達目標 Course objectives: 1. To understand the interplay of language and society. 2. To acquire analytical perspective on everyday language. 3. To deepen our understanding of different languages and cultures.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
2	4/23	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
3	5/7	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
4	5/14	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
5	5/21	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
6	5/28	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
7	6/4	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
8	6/11	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
9	6/18	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
10	6/25	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
11	7/2	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
12	7/9	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
13	7/23	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
14	7/30	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
15	8/1	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
授業方法 Lectures Readings Discussion					
授業内容 1. Introduction 2. Language variation within community 3. Language variation within community 4. Language variation within community 5. Linguistic variety and multilingual nation 6. Linguistic variety and multilingual nation 7. Linguistic variety and multilingual nation 8. Regional and social dialects 9. Regional and social dialects 10. Guest speaker: TBA 11. Ethnicity and social network					

12. Ethnicity and social network 13. Language maintenance and shift 14. Language maintenance and shift 15. Final Exam
成績評価の方法 Participation: 30% Assignments: 40% Final exam: 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 Holmes, J. & Wilson, N (2017) An Introduction to Sociolinguistics (Learning about Language) 5th edition, Routledge
履修上の注意事項 This course is only offered to students who are taking the upper level English class “English for Academic Purposes”. Lectures are given in English and students are encouraged to express their opinion in English. If you are not confident in listening/speaking in English, please consult the lecturer in the first class.
連絡先 今村 圭介Imamura.jas@tmd.ac.jp
オフィスアワー 今村 圭介:毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000875				
科目名	グローバル教養科目・Men and Women in Modern World				
担当教員	Carlson Rebecca Lynn				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
授業の目的、概要等					
What does it mean to be a man or women in the world today? Is gender universal? How is it related to biology? What is the difference between masculinity and femininity? This course will explore the answers to these questions by comparing definitions and experiences of gender around the world. Students will then analyze their own ideas and perceptions of gender in contemporary Japan.					
授業の到達目標					
At the end of the course, students will be able to:					
1. Think critically about concepts of gender and gender roles in contemporary society and self-reflect on current assumptions					
2. Understand and discuss basic social science approaches to gender such as social norms and socialization and apply these critical thinking concepts to new topics independently					
3. Work effectively in peer groups through discussion and presentations					
4. Improve communication in English, both orally and in writing					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
2	4/23	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
3	5/7	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
4	5/14	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
5	5/21	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
6	5/28	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
7	6/4	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
8	6/11	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
9	6/18	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
10	6/25	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
11	7/2	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
12	7/9	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
13	7/23	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
14	7/30	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
15	8/1	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
授業方法					
Discussion and debate					

Group projects Reading comprehension and research Presentations Other in class activities
授業内容 Week 1 / April 16: Introduction Week 2 / April 23: Sex vs. gender; masculinity vs. femininity Week 3 / May 7: Families Week 4 / May 14: Social norms Week 5 / May 21: Gender roles and stratification Week 6 / May 28: Socialization Week 7 / June 4: Socialization continued Week 8 / June 11: Sanctioning social norms Week 9 / June 18: Structural causes of gender Week 10 / June 25: Structural causes of gender, continued Week 11 / July 2: Resistance to social norms Week 12 / July 9: Moral panics Week 13 / July 23: Change Week 14 / July 30: Review Week 15 / August 1: Final papers and presentation DUE
成績評価の方法 Attendance and in class participation: 30% Homework and other assignments/presentations: 50% Final paper: 20%
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation with in class discussions is essential. If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score. If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted by email before the next week's session. Students must then turn in a hardcopy of the homework to the instructor during the following week's class. Homework assignments more than one week late will not be accepted and will receive a zero.
試験の受験資格 There is no official final examination for this course. Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.
教科書 Assigned readings will be given in class or distributed via email.
履修上の注意事項 All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English.

時間割番号	000874																																																																																				
科目名	グローバル教養科目・Science and Technology in Society																																																																																				
担当教員	見上 公一																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
・曜日・時間: 月曜 2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5)人間の思考のワウ組を知り、自らの思考を振り返る 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う 3-1)国際的に活躍するための基本的な文章表現能力を身につける 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 In this course, we first explore complex relationship between science, technology and society, and then approach medicine reflecting such complexity. It is often assumed that science is an activity to reveal the truth about the nature, and that technology is an application of the knowledge that science produces. These assumptions tend to lead to the myths that science and technology are ‘neutral’ and also that their impacts on society depend on how we use them. In an academic discipline called Science and Technology Studies, however, it is argued that such assumptions and myths overlook (and sometimes ‘blackbox’) complexity involved in the production of science and technology, and as a result give us misconceptions of how we – citizens – ought to manage science and technology. By examining various views and perspectives not only on science and technology but also on society, you will first engage critically with this ‘neutrality’ myth of science and technology and challenge the assumptions underlying them. Then, in the final five lectures, you will apply what you have learnt about their complex relationship with society to aspects of medicine.																																																																																					
授業の到達目標 On completion of this course, you will: 1. gain confidence in engaging in discussion about issues of science and technology in English 2. be aware of the complexity of science–technology–society relationship and able to identify issues in everyday life and think in what ways such complexity matters 3. be able to respect different views and perspectives on science and technology, including medicine																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/16</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>2</td><td>4/23</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>3</td><td>5/7</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>4</td><td>5/14</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>5</td><td>5/21</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>6</td><td>5/28</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>7</td><td>6/4</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>8</td><td>6/11</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>9</td><td>6/18</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>10</td><td>6/25</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>11</td><td>7/2</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>12</td><td>7/9</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>13</td><td>7/23</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>14</td><td>7/30</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>15</td><td>8/1</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/16	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	2	4/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	3	5/7	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	4	5/14	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	5	5/21	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	6	5/28	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	7	6/4	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	8	6/11	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	9	6/18	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	10	6/25	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	11	7/2	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	12	7/9	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	13	7/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	14	7/30	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	15	8/1	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/16	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
2	4/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
3	5/7	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
4	5/14	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
5	5/21	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
6	5/28	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
7	6/4	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
8	6/11	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
9	6/18	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
10	6/25	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
11	7/2	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
12	7/9	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
13	7/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
14	7/30	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
15	8/1	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
授業方法 We will spend the first 60 mins for lecture and the remaining 30 mins for group discussion.																																																																																					
授業内容 I. Introduction (wk 1)																																																																																					

II. Perspectives on Society a. Global Society (wk 2) b. Risk Society (wk 3) c. Surveillance Society (wk 4) III. Perspectives on Science a. Who are scientists? (wk 5) b. Science as a social process (wk 6) IV. Perspectives on Technology a. Does technology have politics? (wk 7) b. Interpretive flexibility (wk 8) V. Complexity of the Relationship a. The myth of innovation (wk 9) b. The need for governance (wk 10) VI. Medicine as Dr. Golem a. What is Dr. Golem? (wk 11) b. Meeting Dr. Golem 1 – Diagnosis (wk 12) c. Meeting Dr. Golem 2 – Prevention (wk 13) d. Meeting Dr. Golem 3 – Treatment (wk 14) VII. Concluding Session (wk 15)
成績評価の方法 評価 : Short Essay 40 % ・ Class Attendance & Participation in Group Discussion 60 % Both in essay and discussion, you are expected to form and present your views and opinion based on what you learn in the classroom.
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 You are expected to make active engagement in group discussions in the classroom. You are also encouraged to try to identify issues of science and technology that are linked closely to the themes and ideas examined in the course and use them as examples in expressing your views and opinions in the discussion.
参考書 H. Collins & T. Pinch (2005) Dr. Golem: How to think about medicine, Chicago: University of Chicago Press
履修上の注意事項 This course is delivered in English. Submission of an ‘in-class’ question sheet counts as attendance in this course (instead of the University’s Attendance Management System) .
備考 Science, Technology, Medicine

時間割番号	000873				
科目名	グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-1)、2-3)、3-1)					
授業の目的、概要等					
The objective of this class is to increase the familiarity of students in reading, thinking and discussing topics concerning humanities and social sciences in English language. It is expected that students will develop their ability for critical thinking and enlarge their perspective of fundamental outlooks over philosophical and social scientific matters.					
授業の到達目標					
Students will be able to find less difficulty in reading critically English texts in humanities and social sciences by themselves. They are also expected to acquire skills for making fluent communication over academic matters in English.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
2	4/20	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
3	4/27	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
4	5/11	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
5	5/18	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
6	5/25	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
7	6/1	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
8	6/8	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
9	6/15	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
10	6/22	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
11	6/29	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
12	7/6	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
13	7/13	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
14	7/20	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
15	7/27	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
All participants in this class will read an assigned text. They have to prepare for each class by reading beforehand the allocated part of the text, and make discussion over its interpretation in the class. It is also important that they demonstrate their own development in understanding the issues in the text by making critical conversation among them.					
授業内容					
This year, we are going to read Martin Hollis, Invitation to Philosophy. I hope we will read the whole text (170 pages in total) in 15 classes. “Contents” of this text is as follows.					
1. Wonder, Paradox and Vision					
2. Reasoning					
Proof					
Evidence					
Scientific Method					
3. The Cave					
4. Ants, Spiders and Bees					
5. The Web of Belief					
6. The Elusive ‘I’					
7. The Rings of Gyges					
8. The Common Good					
9. Robots, Apes and Angels					

成績評価の方法

attendance/participation 50%, performance in discussion, 30%, final essay, 20%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation with prepared reading are essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Martin Hollis, Invitation to Philosophy, 2nd edn. John Wiley & Sons (1997). ISBN: 9780631206644

履修上の注意事項

This class will be conducted in English. At the last class students have to submit a short essay based on what they have learned through this course.

時間割番号	000877				
科目名	グローバル教養科目・Japanese linguistics				
担当教員	今村 圭介				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
主な講義場所 3番教室					
授業の目的、概要等 Just like any other language, the Japanese language has its own unique characteristics. However, as native speakers there is a tendency not to notice the uniqueness. When posed with questions from Japanese learners, it is often challenging to explain certain concepts and rules. Analyzing the Japanese from a linguistic perspective gives native speakers a deeper understanding. This course aims to provide students with an objective perspective and knowledge of the Japanese language. A typical class includes introduction questions/discussion and lectures on the target topic. The class will be held in English and students will be encouraged to discuss in English. Therefore students are expected to have adequate competence in English.					
授業の到達目標 Course objectives are: 1.To deepen understanding of the Japanese language with comparison to other languages. 2.To gain linguistic understanding of the Japanese language. 3.To develop analytical skill of all languages.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
2	10/15	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
3	10/22	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
4	10/29	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
5	11/5	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
6	11/12	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
7	11/19	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
8	11/26	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
9	12/3	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
10	12/10	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
11	12/17	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
12	1/7	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
13	1/21	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
14	1/23	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
15	1/28	09:10-10:40	3 番教室	今村 圭介	
授業方法 Lecture Discussion Reading					
授業内容 1. Orientation/ Introduction 2. Japanese and world languages 3. Japanese sounds 4. Accent/Intonation 5. Writing system 6. Lexicon (vocabulary) 7. Grammar 1 8. Grammar 2					

9. Grammar 3 10. Honorifics 11. Dialects 12. Language change 13. Second language acquisition 14. Review 15. Final exam
成績評価の方法 Participation 30% Assignment 40% Final Exam 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and active participation are both essential for this course.
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 Japanese : a linguistic introduction／Yoko Hasegawa, : Cambridge University Press, 2015
履修上の注意事項 This course is only offered to students who are taking the upper level English class “English for Academic Purposes”. Lectures are given in English and students are also encouraged to express their opinion in English. If you are not confident in listening/speaking in English, please consult the lecturer in the first class.
連絡先 今村 圭介Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 今村 圭介毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000876				
科目名	グローバル教養科目・Health and Illness in the US and Japan				
担当教員	Carlson Rebecca Lynn				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
授業の目的、概要等					
This class introduces students to a social science understanding of health and illness through a comparison of the US and Japan. Students will explore such topics as the common cold, diabetes and others through an analysis of how patients and doctors in both countries understand and treat these diseases. The purpose of this class is to help future health practitioners understand that illness is not universally experienced but is shaped by social factors, which may differ across parts of the world and to appreciate the diverse experiences and constraints that may shape the illness outcomes of their future patients.					
授業の到達目標					
At the end of the course, students will be able to:					
1. Think critically about concepts of sickness and health in contemporary Japanese and US society					
2. Understand and discuss basic social science approaches to health, such as explanatory models and plural health systems and apply these concepts to new topics independently					
3. Work effectively in peer groups through discussion, brainstorming and presentations					
4. Improve communication in English, both orally and in writing					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
2	10/15	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
3	10/22	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
4	10/29	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
5	11/5	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
6	11/12	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
7	11/19	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
8	11/26	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
9	12/3	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
10	12/10	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
11	12/17	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
12	1/7	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
13	1/21	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
14	1/23	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	
15	1/28	10:50-12:20	12 番教室	Carlson Rebecca Lynn	

授業方法

Discussion and debate

Group projects

Reading comprehension and research

Presentations

Other in class activities

授業内容

Week 1 / October 1: Introduction

Week 2 / October 15: Sense-making

Week 3 / October 22: Care-seeking

Week 4 / October 29: Explanatory Models of a Cold

Week 5 / November 5: Patients and Diabetes in the US

Week 6 / November 12: Doctors and Diabetes in the US

Week 7 / November 19: Patients and Diabetes in Japan

Week 8 / November 26: Doctors and Diabetes in Japan

Week 9 / December 3: Menopause in the US

Week 10 / December 10: Menopause in Japan

Week 11 / December 17: Depression in the US

Week 12 / January 7: Depression in Japan

Week 13 / January 21: Medicalization of depression

Week 14 / January 23: Review

Week 15 / January 28: Final papers and presentation DUE

成績評価の方法

Attendance and in class participation: 30%

Homework and other assignments/presentations: 50%

Final paper: 20%

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation with in class discussions is essential.

If students are absent, they will receive a zero for that session's participation and attendance score.

If students fail to turn in homework assignments on time, they will be accepted for half-credit only when submitted by email before the next week's session. Students must then turn in a hardcopy of the homework to the instructor during the following week's class. Homework assignments more than one week late will not be accepted and will receive a zero.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

Attendance to two-thirds of the course is required to receive credit.

教科書

Assigned readings will be given in class or distributed via email.

履修上の注意事項

All lecture, readings materials and discussion topics for this course are in English.

時間割番号	000869																																																																																				
科目名	グローバル教養科目・Science and Technology in Society																																																																																				
担当教員	見上 公一																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
・曜日・時間: 月曜 2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2－5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う 3－1) 国際的に活躍するための基本的な文章表現能力を身につける 3－3) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 In this course, we examine what impacts the recent developments in biomedicine have had on our conceptions of life, body, self, and society. The course is designed to explore different values associated with such developments, rather than to determine what is right and what is wrong about them. ‘Biomedicine’ refers to a sub-section of medicine that applies the knowledge of biology and physiology to clinical practices. Over the last 50 years it has made tremendous advances, and its importance has now been widely recognized. However, concerns have also been expressed regarding its implications for our society. Instead of simply dismissing such concerns, medical professionals should try to understand values underlying the concerns and make effort to be critical of their own practices. You will therefore examine views and perspectives on a range of biomedical technologies that are being developed or have already developed, and discuss what kind of value-judgement is embedded in such technologies and why some people voice their concern about them.																																																																																					
授業の到達目標 On completion of this course, you will: 1. gain confidence in engaging in discussion about issues of biomedical technologies in English 2. be aware that biomedicine reflects a particular set of values and able to understand why it causes concern to some people 3. be able to respect different views and perspectives on biomedicine, and have some ideas about how you might want to approach it in the future as a medical professional																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/1</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>11</td><td>12/17</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>12</td><td>1/7</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>13</td><td>1/21</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr><tr><td>15</td><td>1/28</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>見上 公一</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/1	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	2	10/15	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	3	10/22	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	4	10/29	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	5	11/5	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	6	11/12	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	7	11/19	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	8	11/26	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	9	12/3	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	10	12/10	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	11	12/17	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	12	1/7	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	13	1/21	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	14	1/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一	15	1/28	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/1	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
2	10/15	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
3	10/22	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
4	10/29	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
5	11/5	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
6	11/12	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
7	11/19	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
8	11/26	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
9	12/3	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
10	12/10	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
11	12/17	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
12	1/7	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
13	1/21	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
15	1/28	10:50-12:20	6 番教室	見上 公一																																																																																	
授業方法 In most of the classes, we will spend the first 60 mins for lecture and the remaining 30 mins for group discussion. For the class before the last, you will be asked to collect information about a particular biomedical technology and make presentation about it, reflecting what you learn in the course.																																																																																					

授業内容

1. Introduction
2. Healthy & Pathological Bodies
3. Organ Transplantation
4. Brain Death
5. Xeno-transplantation
6. Tissue Engineering
7. Regenerative Medicine
8. Genetic Testing/Screening
9. Genetic Counseling
10. Assisted Reproduction
11. Gene Therapy
12. Natural & Unnatural Beings
13. Life with no identity
14. Gene Editing?
15. Concluding Session – Beyond dichotomy?

成績評価の方法

評価 : Short Essay 30% ・ Presentation 30% ・ Class Attendance & Participation in Group Discussion 40% In both short essay and presentation as well as in discussion, you are expected to form and present your views and opinion based on what you learn in the classroom.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

You are expected to make active engagement in group discussions in the classroom. You are also encouraged to try to identify issues and challenges of biomedicine and explore different and sometimes conflicting values underlying them.

参考書

M. Lock & V Nguyen (2010) An Anthropology of Biomedicine, Chichester Wiley-Blackwell

履修上の注意事項

This course is delivered in English. Submission of an ‘in-class’ question sheet counts as attendance in this course (instead of the University’s Attendance Management System).

備考

Biomedicine, Life, Body, Self

時間割番号	000859				
科目名	グローバル教養科目・Reading Seminar in Humanities and Social Sciences				
担当教員	山岡 龍一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2
曜日・時間: 金曜 2限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-1)、2-3)、3-1)					
授業の目的、概要等					
The objective of this class is to increase the familiarity of students in reading, thinking and discussing topics concerning humanities and social sciences in English language. It is expected that students will develop their ability for critical thinking and enlarge their perspective of fundamental outlooks over philosophical and social scientific matters.					
授業の到達目標					
Students will be able to find less difficulty in reading critically English texts in humanities and social sciences by themselves. They are also expected to acquire skills for making fluent communication over academic matters in English.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
2	10/5	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
3	10/19	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
4	10/26	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
5	11/2	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
6	11/9	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
7	11/16	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
8	11/30	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
9	12/7	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
10	12/14	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
11	12/21	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
12	1/11	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
13	1/18	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
14	1/25	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
15	2/1	10:50-12:20	3 番教室	山岡 龍一	
授業方法					
All participants in this class will read an assigned text. They have to prepare for each class by reading beforehand the allocated part of the text, and make discussion over its interpretation in the class. It is also important that they demonstrate their own development in understanding the issues in the text by making critical conversation among them.					
授業内容					
This year, we are going to read Norberto Bobbio, Liberalism and Democracy. I hope we will read the whole text (108 pages in total) in 15 classes. “Contents” of this text is as follows.					
1. Classical and Modern Ideas of Liberty					
2. The Rights of Man					
3. The Limits of State Power					
4. Liberty versus Power					
5. The Fruitfulness of Conflict					
6. Ancient and Modern Ideas of Democracy					
7. Democracy and Equality					
8. Liberalism’s Encounter with Democracy					
9. Individualism and Organicism					
10. Liberals and Democrats in the Nineteenth Century					
11. The Tyranny of the Majority					
12. Liberalism and Utilitarianism					
13. Representative Democracy					

14. Liberalism and Democracy in Italy

15. Democracy as It Relates to Socialism

16. The New Liberalism

17. Democracy and Ungovernability

成績評価の方法

attendance/participation 50%, performance in discussion, 30%, final essay, 20%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation with prepared reading are essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Norberto Bobbio, Liberalism and Democracy, Verso (2006). ISBN: 9781844670628

履修上の注意事項

This class will be conducted in English. At the last class students have to submit a short essay based on what they have learned through this course.

時間割番号	000044					
科目名	物理学入門					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻 受講資格: 入試で化学・生物を選択した人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)						
授業の目的、概要等						
物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーを基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。						
授業の到達目標						
1. 位置、速度、加速度の概念を理解する 2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる 3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する 4. 電気と磁気の基本を理解する 5. 波動の基礎概念を理解する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/24	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 1-3	力と運動	檜枝 光憲
4-6	5/1	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 4-6	等速円運動、単振動、仕事とエネルギー	檜枝 光憲
7-9	5/8	09:10-14:40	9 番教室	物理学入門 7-9	電気と磁気	檜枝 光憲
10-11	5/22	09:10-12:20	9 番教室	物理学入門 10-11	波動	檜枝 光憲
12	5/29	09:10-10:40	9 番教室	物理学入門 12	試験	檜枝 光憲
授業方法						
講義と演習						
授業内容						
第1回-3回 力と運動 第4回-6回 等速円運動、単振動、仕事とエネルギー 第7回-9回 電気と磁気 第10-11回 波動 第12回 試験						
成績評価の方法						
授業の到達目標の達成度を主にテスト形式で評価する。 評価 : 試験 60%、その他 : 小テスト 40% 再評価: 有						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。						
教科書						
これだけはおさえたい物理／金原榮 編著,曾江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009						
参考書						
もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編:数研出版, 2012 もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編:数研出版, 2012						
連絡先						
hieda.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3						

時間割番号	000041				
科目名	生物学入門				
担当教員	中野 真樹, 永野 昌俊				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
火曜日 1～3 時限(4/24・5/1・5/8)、1 時限(5/22)、1～2 時限(5/29)					
対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻					
受講資格: 入学試験で生物学を選択しなかった者					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-1					
授業の目的、概要等					
この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。					
生物の形および機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。					
授業の到達目標					
1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。					
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。					
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/24	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
2	4/24	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
3	4/24	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
4	5/1	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
5	5/1	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
6	5/1	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
7	5/8	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
8	5/8	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
9	5/8	13:10-14:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
10	5/22	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
11	5/29	09:10-10:40	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
12	5/29	10:50-12:20	1 番教室 7 番教室	中野 真樹, 永野 昌俊	
授業方法					
講義形式					
授業内容					
第 1 回 個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜					
第 2 回 核と細胞内小器官					
第 3 回 細胞骨格、細胞接着					
第 4 回 生体の構成元素、タンパク質					

第 5 回 核酸、糖質、脂質

第 6 回 酵素反応

第 7 回 筋収縮

第 8 回 糖質の代謝

第 9 回 脂質の代謝、タンパク質の代謝

第 10 回 染色体、メンデルの法則

第 11 回 細胞周期、体細胞分裂

第 12 回 DNA の複製、細胞の死

成績評価の方法

知識の習得を主な目的とするため、以下の方法で評価する。

評価 : 試験 85% ・ レポート % ・ その他(小テスト) 15%

再評価 : 有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

アクティブラーニング:有

毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。

翌週の最初にその内容についての小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。

教科書

「第 3 版 はじめの一步の生化学・分子生物学」 前野正夫・磯川桂太郎 著 羊土社 2016

参考書

「Essential 細胞生物学 第 3 版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012

履修上の注意事項

期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000043																																																																					
科目名	化学入門																																																																					
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																	
・曜日・時間: 火曜日 1～4 限(前期分割 A) ・対象学科: 医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻 ・受験資格: 入学試験で化学を選択しなかった者 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる																																																																						
授業の目的、概要等 入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。																																																																						
授業の到達目標 高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。																																																																						
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/24</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>2</td><td>4/24</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>3</td><td>4/24</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>4</td><td>4/24</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>5</td><td>5/1</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>6</td><td>5/1</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>7</td><td>5/1</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>8</td><td>5/1</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>9</td><td>5/8</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>10</td><td>5/8</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>11</td><td>5/8</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr><tr><td>12</td><td>5/8</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室</td><td>勝又 敏行</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/24	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行	2	4/24	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行	3	4/24	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行	4	4/24	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行	5	5/1	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行	6	5/1	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行	7	5/1	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行	8	5/1	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行	9	5/8	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行	10	5/8	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行	11	5/8	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行	12	5/8	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																		
1	4/24	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
2	4/24	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
3	4/24	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
4	4/24	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
5	5/1	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
6	5/1	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
7	5/1	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
8	5/1	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
9	5/8	09:10-10:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
10	5/8	10:50-12:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
11	5/8	13:10-14:40	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
12	5/8	14:50-16:20	2 番教室	勝又 敏行																																																																		
授業方法 講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる																																																																						
授業内容 1. 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式 2. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、 気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド 3. 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 4. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素 5. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物 6. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物																																																																						
成績評価の方法 評価: 試験 100%・レポート 0% 再評価: 有(再評価方法: 再試験) 化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。																																																																						

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著.:共立出版, 2005
参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著.:医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著.:東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [[ほか]著.:共立出版, 1997 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳.:オーム社, 1995 系統看護学講座 化学／奈良雅之:医学書院, 2018
他科目との関連 一般化学を理解するためのバックグラウンドとなる。
連絡先 勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000269				
科目名	数学 I M				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1		
対象学科: 医学科					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式, 連立一次方程式の解, 行列の固有値の基礎と計算法を通して, 線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では, 高校で学んだ1変数関数の微積分を基に, 多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して, 極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに, それらの物理学, 化学, 経済学など諸分野への応用を学ぶ。					
授業の到達目標					
基本的な線形演算と, 多変数の微積分における基本的な公式を理解し, 的確に運用することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/16	13:10-14:40	1 番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/23	13:10-14:40	1 番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	5/7	13:10-14:40	1 番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/14	13:10-14:40	1 番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/21	13:10-14:40	1 番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/28	13:10-14:40	1 番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	6/4	13:10-14:40	1 番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/11	13:10-14:40	1 番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/18	13:10-14:40	1 番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/25	13:10-14:40	1 番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	7/2	13:10-14:40	1 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/9	13:10-14:40	1 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/23	13:10-14:40	1 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/30	13:10-14:40	1 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	8/1	13:10-14:40	1 番教室	総合演習	中口 悦史
授業方法					
主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。					
授業内容					
第1部 線形代数概説(9回程度)					
(1-1) 行列の定義と演算(2回程度)					
(1-2) 連立一次方程式(3回程度)					
(1-3) 行列式の定義と計算(2回程度)					
(1-4) 線形写像と固有値(2回程度)					
第2部 多変数の微積分(5回程度)					
(2-1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)					
(2-2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)					
(2-3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)					
成績評価の方法					
評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%					
再評価: 有(筆記試験)					

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 数学入門 II ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2004
参考書 数学入門 (大学生のための基礎シリーズ1)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2002 数学概論 ―線形代数／微分積分―／田代嘉宏: 裳華房, 1993 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著: 培風館, 2008 線形代数学入門 ―平面上の1次変換と空間図形から―／桑村雅隆: 裳華房, 2016 微積分の基礎／浦川肇: 朝倉書店, 2006 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著: 培風館, 1999 微分積分学／難波誠: 裳華房, 1996 現代の古典解析: 微積分基礎課程／森毅: 筑摩書房, 2006 定本解析概論／高木貞治: 岩波書店, 2010
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000270				
科目名	数学ⅠD				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1		
対象学科: 歯学科					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式, 連立一次方程式の解, 行列の固有値の基礎と計算法を通して, 線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では, 高校で学んだ1変数関数の微積分を基に, 多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して, 極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに, それらの物理学, 化学, 経済学など諸分野への応用を学ぶ。					
授業の到達目標					
基本的な線形演算と, 多変数の微積分における基本的な公式を理解し, 的確に運用することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/18	09:10-10:40	7 番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/25	09:10-10:40	7 番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	5/2	09:10-10:40	7 番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/9	09:10-10:40	7 番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/16	09:10-10:40	7 番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/23	09:10-10:40	7 番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	5/30	09:10-10:40	7 番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/6	09:10-10:40	7 番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/13	09:10-10:40	7 番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/20	09:10-10:40	7 番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	6/27	09:10-10:40	7 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/4	09:10-10:40	7 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/11	09:10-10:40	7 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/18	09:10-10:40	7 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	7/25	09:10-10:40	7 番教室	総合演習	中口 悦史
授業方法					
主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。					
授業内容					
第1部 線形代数概説(9回程度)					
(1-1) 行列の定義と演算(2回程度)					
(1-2) 連立一次方程式(3回程度)					
(1-3) 行列式の定義と計算(2回程度)					
(1-4) 線形写像と固有値(2回程度)					
第2部 多変数の微積分(5回程度)					
(2-1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)					
(2-2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)					
(2-3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)					
成績評価の方法					
評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%					
再評価: 有(筆記試験)					

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 数学入門 II ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2004
参考書 数学入門 (大学生のための基礎シリーズ1)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2002 数学概論 ―線形代数／微分積分―／田代嘉宏: 裳華房, 1993 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著: 培風館, 2008 線形代数学入門 ―平面上の1次変換と空間図形から―／桑村雅隆: 裳華房, 2016 微積分の基礎／浦川肇: 朝倉書店, 2006 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著: 培風館, 1999 微分積分学／難波誠: 裳華房, 1996 現代の古典解析: 微積分基礎課程／森毅: 筑摩書房, 2006 定本解析概論／高木貞治: 岩波書店, 2010
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000271				
科目名	数学ⅠⅡ				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1		
対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
諸科学の基本的な数学的方法である線形代数学と微分積分学の概要を学ぶ。線形代数学では行列と行列式, 連立一次方程式の解, 行列の固有値の基礎と計算法を通して, 線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分学では, 高校で学んだ1変数関数の微積分を基に, 多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して, 極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。さらに, それらの物理学, 化学, 経済学など諸分野への応用を学ぶ。					
授業の到達目標					
基本的な線形演算と, 多変数の微積分における基本的な公式を理解し, 的確に運用することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	6 番教室	行列の定義と演算(1)	中口 悦史
2	4/19	13:10-14:40	6 番教室	行列の定義と演算(2)	中口 悦史
3	4/26	13:10-14:40	6 番教室	連立一次方程式(1)	中口 悦史
4	5/10	13:10-14:40	6 番教室	連立一次方程式(2)	中口 悦史
5	5/17	13:10-14:40	6 番教室	連立一次方程式(3)	中口 悦史
6	5/24	13:10-14:40	6 番教室	行列式の定義と計算(1)	中口 悦史
7	5/31	13:10-14:40	6 番教室	行列式の定義と計算(2)	中口 悦史
8	6/7	13:10-14:40	6 番教室	線形写像と固有値(1)	中口 悦史
9	6/14	13:10-14:40	6 番教室	線形写像と固有値(2)	中口 悦史
10	6/21	13:10-14:40	6 番教室	1変数関数の微積分(復習)	中口 悦史
11	6/28	13:10-14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(1)	中口 悦史
12	7/5	13:10-14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の偏微分(2)	中口 悦史
13	7/12	13:10-14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(1)	中口 悦史
14	7/19	13:10-14:40	6 番教室	多変数(主に2変数)関数の重積分(2)	中口 悦史
15	7/26	13:10-14:40	6 番教室	総合演習	中口 悦史
授業方法					
主に板書による講義によって進め, 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。					
授業内容					
第1部 線形代数概説(9回程度)					
(1-1) 行列の定義と演算(2回程度)					
(1-2) 連立一次方程式(3回程度)					
(1-3) 行列式の定義と計算(2回程度)					
(1-4) 線形写像と固有値(2回程度)					
第2部 多変数の微積分(5回程度)					
(2-1) 1変数関数の微積分(復習)(1回程度)					
(2-2) 多変数(主に2変数)関数の偏微分(2回程度)					
(2-3) 多変数(主に2変数)関数の重積分(2回程度)					
成績評価の方法					
評価 : 試験 80% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 20%					
再評価: 有(筆記試験)					

試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 数学入門 II ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2004
参考書 数学入門 (大学生のための基礎シリーズ1)／上村豊, 坪井堅二 著: 東京化学同人, 2002 数学概論 ―線形代数／微分積分―／田代嘉宏: 裳華房, 1993 教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著: 培風館, 2008 線形代数学入門 ―平面上の1次変換と空間図形から―／桑村雅隆: 裳華房, 2016 微積分の基礎／浦川肇: 朝倉書店, 2006 初歩から学べる微積分学／佐藤恒雄 [ほか]共著: 培風館, 1999 微分積分学／難波誠: 裳華房, 1996 現代の古典解析: 微積分基礎課程／森毅: 筑摩書房, 2006 定本解析概論／高木貞治: 岩波書店, 2010
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000257					
科目名	物理学 I M					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	1			
曜日・時間:水曜4限 対象学科:医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)、別表4-2)						
授業の目的、概要等						
力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。						
授業の到達目標						
物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。 様々な保存則が導出できることを理解する。 ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。 剛体の力学の基礎を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	14:50-16:20	1 番教室	第1回	物理のための数学基礎	檜枝 光憲
2	4/25	14:50-16:20	1 番教室	第2回	力と運動 1:運動と微積分	檜枝 光憲
3	5/2	14:50-16:20	1 番教室	第3回	力と運動 2:運動方程式	檜枝 光憲
4	5/9	14:50-16:20	1 番教室	第4回	力と運動 3: エネルギー保存則、束縛運動	檜枝 光憲
5	5/16	14:50-16:20	1 番教室	第5回	単振動と指数関数による解法、減衰振動	檜枝 光憲
6	5/23	14:50-16:20	1 番教室	第6回	強制振動	檜枝 光憲
7	5/30	14:50-16:20	1 番教室	第7回	非慣性系と座標変換	檜枝 光憲
8	6/6	14:50-16:20	1 番教室	第8回	仕事と線積分、保存力	檜枝 光憲
9	6/13	14:50-16:20	1 番教室	第9回	中間テスト	檜枝 光憲
10	6/20	14:50-16:20	1 番教室	第10回	惑星の運動、角運動量保存	檜枝 光憲
11	6/27	14:50-16:20	1 番教室	第11回	剛体の力学 1	檜枝 光憲
12	7/4	14:50-16:20	1 番教室	第12回	剛体の力学 2	檜枝 光憲
13	7/11	14:50-16:20	1 番教室	第13回	剛体の力学 3	檜枝 光憲
14	7/18	14:50-16:20	1 番教室	第14回	期末テスト	檜枝 光憲
15	7/25	14:50-16:20	1 番教室	第15回	まとめ	檜枝 光憲
授業方法						
講義と演習						
授業内容						
1 物理のための数学基礎						
2 力と運動 1:運動と微積分						
3 力と運動 2:運動方程式						
4 力と運動 3: エネルギー保存則、束縛運動						
5 単振動と指数関数による解法、減衰振動						
6 強制振動						
7 非慣性系と座標変換						
8 仕事と線積分、保存力						
9 中間テスト						
10 惑星の運動、角運動量保存						
11 剛体の力学 1						

12 剛体の力学 2

13 剛体の力学 3

14 期末テスト

15 まとめ

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 : 試験 80%

その他 20%(演習の提出状況等)

再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業後にきちんと復習すること。

教科書

力学／川村清 著:裳華房, 1998

参考書

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000258					
科目名	物理学ⅠD・T					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 時間割を参照のこと						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表2－1)						
別表4－2)						
授業の目的、概要等						
ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i) 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii) 基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii) それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。						
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。						
授業の到達目標						
ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、						
－ 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。						
－ 基本方程式から様々な保存則を導出する。						
－ 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	14:50-16:20	7 番教室	第 1 回	運動と力	越野 和樹
2	4/25	14:50-16:20	7 番教室	第 2 回	運動と力	越野 和樹
3	5/2	14:50-16:20	7 番教室	第 3 回	運動と力	越野 和樹
4	5/9	14:50-16:20	7 番教室	第 4 回	運動と力	越野 和樹
5	5/16	14:50-16:20	7 番教室	第 5 回	運動と力	越野 和樹
6	5/23	14:50-16:20	7 番教室	第 6 回	さまざまな力	越野 和樹
7	5/30	14:50-16:20	7 番教室	第 7 回	さまざまな力	越野 和樹
8	6/6	14:50-16:20	7 番教室	第 8 回	さまざまな力	越野 和樹
9	6/13	14:50-16:20	7 番教室	第 9 回	さまざまな力	越野 和樹
10	6/20	14:50-16:20	7 番教室	第 10 回	エネルギー保存則	越野 和樹
11	6/27	14:50-16:20	7 番教室	第 11 回	エネルギー保存則	越野 和樹
12	7/4	14:50-16:20	7 番教室	第 12 回	運動量保存則	越野 和樹
13	7/11	14:50-16:20	7 番教室	第 13 回	運動量保存則	越野 和樹
14	7/18	14:50-16:20	7 番教室	第 14 回	さまざまな運動	越野 和樹
15	7/25	14:50-16:20	7 番教室	第 15 回	さまざまな運動	越野 和樹
授業方法						
講義および演習による						
授業内容						
運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動						
成績評価の方法						
評価: 期末考査および授業への参加度						

再評価: 上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著, 培風館, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる。
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000289			
科目名	数学Ⅱ（β）			
担当教員	徳永 伸一			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜4限 対象学科・専攻:医学科、歯学科				
授業の目的、概要等				
グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。				
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」（中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念）であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイデアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。				
グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。				
さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。				
数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。				
授業の到達目標				
4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイデアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
2	10/3	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
3	10/10	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
4	10/17	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
5	10/24	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
6	10/31	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
7	11/7	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
8	11/14	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
9	11/21	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
10	11/28	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
11	12/5	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
12	12/12	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
13	12/19	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
14	1/9	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
15	1/16	14:50-16:20	9 番教室	徳永 伸一
授業方法				
講義と演習による。				
授業内容				
以下のトピック（予定）について順次解説し、関連する問題による演習を行います。				
・グラフの基礎概念				

・一筆描き問題、ハミルトン問題 ・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理 ・グラフのラベル付け問題 ・美術館問題 ・4色定理とその一般化、周辺の問題
成績評価の方法 授業への参加姿勢、演習・レポート・ノート提出によって総合的に評価します。 また履修者が一定数を越えた場合、評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。
準備学習などについての具体的な指示 事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかりと行ってください。
参考書 グラフ理論(増補改訂版)／恵羅博, 土屋守正 著, 産業図書, 2010 グラフ理論／R.ディーステル 著, 根上生也, 太田克弘 訳, シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000 幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著, 朝倉書店, 1992 離散構造／根上生也 著, 共立出版, 1993
他科目との関連 前期の「R・離散構造」と関連する問題を一部扱う予定です。
履修上の注意事項 授業時間内に行う演習を重視しているため、欠席は評価上の大きなマイナスになります。
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000290				
科目名	数学Ⅱ（ⅲ）				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	後期	対象年次	1		
対象学科:医学科・歯学科(ただし2016年度以前入学者は「物理学Ⅱ」および「数学Ⅱ（ⅲ）」を履修のこと)					
募集人数:40名程度					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として、複素解析の基礎を学習する。複素解析は複素数を変数として複素数の値をとる関数、すなわち複素関数の解析学である。複素関数は、ある領域内で1回複素微分可能であれば、その領域内では何回でも微分も積分もできるという、実関数とは異なる興味深い性質を持つ。物理学や工学への応用も重要であるが、この授業では、複素解析の美しい理論体系を体験してほしい。					
授業の到達目標					
複素関数の微積分を含む基本的な計算ができる。複素関数の解析性について理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	10 番教室	複素数と複素平面(1)	中口 悦史
2	10/3	14:50-16:20	10 番教室	複素数と複素平面(2)	中口 悦史
3	10/10	14:50-16:20	10 番教室	複素数と複素平面(3)	中口 悦史
4	10/17	14:50-16:20	10 番教室	正則関数(1)	中口 悦史
5	10/24	14:50-16:20	10 番教室	正則関数(2)	中口 悦史
6	10/31	14:50-16:20	10 番教室	正則関数(3)	中口 悦史
7	11/7	14:50-16:20	10 番教室	正則関数(4)	中口 悦史
8	11/14	14:50-16:20	10 番教室	複素積分(1)	中口 悦史
9	11/21	14:50-16:20	10 番教室	複素積分(2)	中口 悦史
10	11/28	14:50-16:20	10 番教室	複素積分(3)	中口 悦史
11	12/5	14:50-16:20	10 番教室	級数展開と特異点(1)	中口 悦史
12	12/12	14:50-16:20	10 番教室	級数展開と特異点(2)	中口 悦史
13	12/19	14:50-16:20	10 番教室	級数展開と特異点(3)	中口 悦史
14	1/9	14:50-16:20	10 番教室	多価関数とリーマン面	中口 悦史
15	1/16	14:50-16:20	10 番教室	総合演習	中口 悦史
授業方法					
主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。					
授業内容					
(1) 複素数と複素平面(3回程度)					

複素数の演算, 極形式と1のべき乗根, ガウス平面上の図形, リーマン球面と無限遠点 (2) 正則関数(4回程度) 複素関数の連続性, 初等的関数, 複素微分と正則性, 等角写像, 一次変換 (3) 複素積分(3回程度) 線積分(経路積分), コーシーの積分定理, コーシーの積分表示式, 最大値の原理 (4) 級数展開と特異点(3回程度) べき級数と収束域, ローラン展開, 零点と一致の定理, 特異点と留数, 初等的関数の級数展開, 解析接続 (5) 多価関数とリーマン面(1回程度) 対数関数と主値, べき乗関数と値数, 分枝とリーマン面
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習) 50% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために, 期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。 「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 これまでに学習した数学の内容をよく復習しておくこと。毎回の演習課題も復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 初等関数論／林一道 著, 裳華房, 1992
参考書 複素解析 : 1 変数解析関数／笠原乾吉 著, 筑摩書房, 2016 複素解析入門 = Introduction to Complex Analysis／原惟行, 松永秀章 著, 共立出版, 2014 複素解析へのアプローチ／山本稔, 坂田定久 共著, 裳華房, 1992 複素解析／矢野健太郎, 石原繁 共著, 裳華房, 1995 複素解析概論 : 数学の基礎的諸分野への現代的入門／野口潤次郎 著, 裳華房, 1993 複素関数入門／神保道夫 著, 岩波書店, 2003 複素解析／L.V.アールフォルス 著, 笠原乾吉 訳, 現代数学社, 1982 複素関数論の基礎／山本直樹 著, 裳華房, 2015 絶版の参考書(図書館分館に所蔵有り): 1. 森 正武, 杉原 正顯『複素関数論』岩波書店(オンデマンド出版有り) 2. 小平邦彦『複素解析』(岩波基礎数学選書)岩波書店 3. L.シュヴァルツ, 清水英男『複素関数』東京図書 4. H.カルタン, 高橋禮司『複素関数論』岩波書店 他にも図書館分館に多数の関連蔵書があるので探索すること。
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。
連絡先 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000260					
科目名	物理学ⅡM					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	後期	対象年次	1			
曜日・時間:水曜4限 対象学科:医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)						
授業の目的、概要等						
電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。						
授業の到達目標						
電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。 さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	1 番教室	第1回	イントロダクション：ベクトル解析 発散と回転	檜枝 光憲
2	10/3	14:50-16:20	1 番教室	第2回	静電場１：積分形のガウスの法則	檜枝 光憲
3	10/10	14:50-16:20	1 番教室	第3回	静電場２：微分形のガウスの法則	檜枝 光憲
4	10/17	14:50-16:20	1 番教室	第4回	静電場３：静電ポテンシャル(電位)	檜枝 光憲
5	10/24	14:50-16:20	1 番教室	第5回	電気双極子	檜枝 光憲
6	10/31	14:50-16:20	1 番教室	第6回	コンデンサーと静電場エネルギー	檜枝 光憲
7	11/7	14:50-16:20	1 番教室	第7回	静磁場１：磁場に関するガウスの法則	檜枝 光憲
8	11/14	14:50-16:20	1 番教室	第8回	中間テスト	檜枝 光憲
9	11/21	14:50-16:20	1 番教室	第9回	静磁場２：アンペールの法則、ビオ・サバールの法則	檜枝 光憲
10	11/28	14:50-16:20	1 番教室	第10回	時間的に変動する電場と磁場	檜枝 光憲
11	12/5	14:50-16:20	1 番教室	第11回	電磁波の波動方程式	檜枝 光憲
12	12/12	14:50-16:20	1 番教室	第12回	物質中の波動：音波の波動方程式	檜枝 光憲
13	12/19	14:50-16:20	1 番教室	第13回	物質中の波動２：音波の反射・透過	檜枝 光憲
14	1/9	14:50-16:20	1 番教室	第14回	期末テスト	檜枝 光憲
15	1/16	14:50-16:20	1 番教室	第15回	まとめ	檜枝 光憲
授業方法						
講義と演習						
授業内容						
1. イントロダクション: ベクトル解析 発散と回転						
2. 静電場１：積分形のガウスの法則						

3. 静電場 2 : 微分形のガウスの法則 4. 静電場 3 : 静電ポテンシャル(電位) 5. 電気双極子 6. コンデンサーと静電場エネルギー 7. 静磁場 1 : 磁場に関するガウスの法則 8. 中間テスト 9. 静磁場 2 : アンペールの法則、ビオ・サバールの法則 10. 時間的に変動する電場と磁場 11. 電磁波の波動方程式 12. 物質中の波動 : 音波の波動方程式 13. 物質中の波動 2 : 音波の反射・透過 14. 期末テスト 15. まとめ
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。 評価 : 試験 80% その他 20%(演習の提出状況等) 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業後はきちんと復習すること。
参考書 電磁気学の考え方／砂川 重信／著.: 岩波書店, 1993 物理学／小出昭一郎 著.: 裳華房, 1997 振動と波／長岡洋介 著.: 裳華房, 1992
連絡先 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000261					
科目名	物理学ⅡD・T					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 時間割を参照のこと						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表2－1)						
別表4－2)						
授業の目的、概要等						
電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体を作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。						
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることににより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。						
授業の到達目標						
マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について、基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	14:50-16:20	7 番教室	第 1 回	静電気	越野 和樹
2	10/3	14:50-16:20	7 番教室	第 2 回	静電気	越野 和樹
3	10/10	14:50-16:20	7 番教室	第 3 回	静電気	越野 和樹
4	10/17	14:50-16:20	7 番教室	第 4 回	コンデンサー	越野 和樹
5	10/24	14:50-16:20	7 番教室	第 5 回	コンデンサー	越野 和樹
6	10/31	14:50-16:20	7 番教室	第 6 回	コンデンサー	越野 和樹
7	11/7	14:50-16:20	7 番教室	第 7 回	電流	越野 和樹
8	11/14	14:50-16:20	7 番教室	第 8 回	電流	越野 和樹
9	11/21	14:50-16:20	7 番教室	第 9 回	電流	越野 和樹
10	11/28	14:50-16:20	7 番教室	第 10 回	磁界と電磁誘導	越野 和樹
11	12/5	14:50-16:20	7 番教室	第 11 回	磁界と電磁誘導	越野 和樹
12	12/12	14:50-16:20	7 番教室	第 12 回	磁界と電磁誘導	越野 和樹
13	12/19	14:50-16:20	7 番教室	第 13 回	交流と電磁波	越野 和樹
14	1/9	14:50-16:20	7 番教室	第 14 回	交流と電磁波	越野 和樹
15	1/16	14:50-16:20	7 番教室	第 15 回	交流と電磁波	越野 和樹
授業方法						
講義および演習による						
成績評価の方法						
評価: 期末考査および授業への参加度						
再評価: 期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。						
試験の受験資格						
初回の講義において説明する						
参考書						

グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著,：サイエンス社, 2011

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

連絡先

ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000047																																																																		
科目名	統計学 (Q)																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)																																																																			
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 2-3), 4-4)																																																																			
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。																																																																			
授業の到達目標 基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/10</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/17</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	9/27	09:10-10:40	7 番教室	2	10/4	09:10-10:40	7 番教室	3	10/11	09:10-10:40	7 番教室	4	10/18	09:10-10:40	7 番教室	5	10/25	09:10-10:40	7 番教室	6	11/1	09:10-10:40	7 番教室	7	11/8	09:10-10:40	7 番教室	8	11/15	09:10-10:40	7 番教室	9	11/22	09:10-10:40	7 番教室	10	11/29	09:10-10:40	7 番教室	11	12/6	09:10-10:40	7 番教室	12	12/13	09:10-10:40	7 番教室	13	12/20	09:10-10:40	7 番教室	14	1/10	09:10-10:40	7 番教室	15	1/17	09:10-10:40	7 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	9/27	09:10-10:40	7 番教室																																																																
2	10/4	09:10-10:40	7 番教室																																																																
3	10/11	09:10-10:40	7 番教室																																																																
4	10/18	09:10-10:40	7 番教室																																																																
5	10/25	09:10-10:40	7 番教室																																																																
6	11/1	09:10-10:40	7 番教室																																																																
7	11/8	09:10-10:40	7 番教室																																																																
8	11/15	09:10-10:40	7 番教室																																																																
9	11/22	09:10-10:40	7 番教室																																																																
10	11/29	09:10-10:40	7 番教室																																																																
11	12/6	09:10-10:40	7 番教室																																																																
12	12/13	09:10-10:40	7 番教室																																																																
13	12/20	09:10-10:40	7 番教室																																																																
14	1/10	09:10-10:40	7 番教室																																																																
15	1/17	09:10-10:40	7 番教室																																																																
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。																																																																			
授業内容 (1) 確率の定義とベイズの定理(1回程度) (2) 確率変数と確率分布、中心極限定理(3回程度) (3) 母集団と標本抽出(2回程度) (4) 母数の推定(3回程度) (5) 仮説検定(5回程度)																																																																			
成績評価の方法 評価 : 試験 75%(中間25%・期末50%) ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 25% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、中間考査と期末考査の2回に分けて、いずれも筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。																																																																			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。																																																																			
試験の受験資格																																																																			

授業回数の3分の2以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著, :医歯薬出版, 2005
参考書 初等統計学／P.G.ホーエル 著,浅井 晃 共訳村上 正康 共訳, :培風館, 1985 統計学演習／村上正康, 安田正実 共著, :培風館, 1989 バイオサイエンスの統計学／市原清志著, :南江堂, 1990-02 保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著, :考古堂書店, 2010 やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple.／縣俊彦 著, :南江堂, 2013 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編, :東京大学出版会, 1991 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編, :東京大学出版会, 1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編, :東京大学出版会, 1992 医学への統計学／古川俊之 監修,丹後俊郎 著, :朝倉書店, 2013
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。

時間割番号	000048																																																																		
科目名	統計学Ⅱ																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する)																																																																			
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 2-3), 4-4)																																																																			
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校で学んだ確率・統計から発展して、統計的検定法までを学ぶ。																																																																			
授業の到達目標 基本的な確率計算と、平均および比率の推定と検定を行なうことができる。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/27</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/4</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/11</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/18</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/25</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/1</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/8</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/15</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/22</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>11/29</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/6</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/13</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/20</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/10</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/17</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	9/27	10:50-12:20	7 番教室	2	10/4	10:50-12:20	7 番教室	3	10/11	10:50-12:20	7 番教室	4	10/18	10:50-12:20	7 番教室	5	10/25	10:50-12:20	7 番教室	6	11/1	10:50-12:20	7 番教室	7	11/8	10:50-12:20	7 番教室	8	11/15	10:50-12:20	7 番教室	9	11/22	10:50-12:20	7 番教室	10	11/29	10:50-12:20	7 番教室	11	12/6	10:50-12:20	7 番教室	12	12/13	10:50-12:20	7 番教室	13	12/20	10:50-12:20	7 番教室	14	1/10	10:50-12:20	7 番教室	15	1/17	10:50-12:20	7 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	9/27	10:50-12:20	7 番教室																																																																
2	10/4	10:50-12:20	7 番教室																																																																
3	10/11	10:50-12:20	7 番教室																																																																
4	10/18	10:50-12:20	7 番教室																																																																
5	10/25	10:50-12:20	7 番教室																																																																
6	11/1	10:50-12:20	7 番教室																																																																
7	11/8	10:50-12:20	7 番教室																																																																
8	11/15	10:50-12:20	7 番教室																																																																
9	11/22	10:50-12:20	7 番教室																																																																
10	11/29	10:50-12:20	7 番教室																																																																
11	12/6	10:50-12:20	7 番教室																																																																
12	12/13	10:50-12:20	7 番教室																																																																
13	12/20	10:50-12:20	7 番教室																																																																
14	1/10	10:50-12:20	7 番教室																																																																
15	1/17	10:50-12:20	7 番教室																																																																
授業方法 主に板書による講義によって進め、毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。																																																																			
授業内容 (1) 確率の定義とベイズの定理(1回程度) (2) 確率変数と確率分布、中心極限定理(3回程度) (3) 母集団と標本抽出(2回程度) (4) 母数の推定(3回程度) (5) 仮説検定(5回程度)																																																																			
成績評価の方法 評価 : 試験 75%(中間25%・期末50%) ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 25% 再評価: 有(筆記試験) 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、中間考査と期末考査の2回に分けて、いずれも筆記試験によって行う。 「試験の受験資格」を満たし、かつ、中間考査と期末考査の両方を受験したもののみを、評価の対象とする。																																																																			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 高校数学の内容をよく復習しておくこと。毎回のクイズも復習することが望ましい。 必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。																																																																			
試験の受験資格																																																																			

授業回数の3分の2以上の出席, ならびに出席回のクイズ提出。
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著,: 医歯薬出版, 2005
参考書 初等統計学／P.G.ホーエル 著,浅井 晃 共訳村上 正康 共訳,: 培風館, 1985 統計学演習／村上正康, 安田正実 共著,: 培風館, 1989 バイオサイエンスの統計学／市原清志著,: 南江堂, 1990-02 保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための／遠藤和男 著,: 考古堂書店, 2010 やさしい保健統計学 = Health Statistics Made Simple.／縣俊彦 著,: 南江堂, 2013 統計学入門／東京大学教養学部統計学教室 編,: 東京大学出版会, 1991 人文・社会科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,: 東京大学出版会, 1994 自然科学の統計学／東京大学教養学部統計学教室 編,: 東京大学出版会, 1992 医学への統計学／古川俊之 監修,丹後俊郎 著,: 朝倉書店, 2013
履修上の注意事項 ・ 電卓必携。平方根計算ができるものであること。試験では関数電卓やスマホ等の利用は不可。 ・ 出欠確認は出欠管理システムと, 各回のクイズ提出による確認を併用する。

時間割番号	000056			
科目名	化学(一般化学)M			
担当教員	奈良 雅之, 渡邊 総一郎			
開講時期	通年	対象年次	1	
・曜日・時間: 水曜1限				
・対象学科: 医学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る				
別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標				
授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」「ハート 基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
2	4/25	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
3	5/2	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
4	5/9	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
5	5/16	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
6	5/23	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
7	5/30	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
8	6/6	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
9	6/13	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
10	6/20	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
11	6/27	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
12	7/4	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
13	7/11	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
14	7/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
15	7/25	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
16	9/26	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
17	10/3	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
18	10/10	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
19	10/17	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
20	10/24	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
21	10/31	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
22	11/7	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
23	11/14	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
24	11/21	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
25	11/28	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
26	12/5	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
27	12/12	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
28	12/19	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之
29	1/9	09:10-10:40	1 番教室	渡邊 総一郎
30	1/16	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

考查、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。

前期

第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版 第2回 単位SIと非SI

第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)

第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4)

第7回 熱力学の原理(1) 第8回 熱力学の原理(2)

第9回 熱力学の原理(3) 第10回 熱力学の原理(4)

第11回 熱力学の原理(5) 第12回 熱力学の原理(6)

第13回 熱力学の原理(7) 第14回 熱力学の平衡論への応用(1)

第15回 熱力学の平衡論への応用(2)

後期

第1回 化学実験学(誤差の取扱い方) 第2回 化学実験学(誤差の取扱い方)

第3回 アルカンとシクロアルカン 第4回 アルケンとアルキン

第5回 芳香族化合物 第6回 立体異性

第7回 有機ハロゲン化合物 第8回 アルコール、フェノール、チオール

第9回 エーテルとエポキシド 第10回 アルデヒドとケトン

第11回 有機化学の筆記試験(考查) 第12回 学力認定試験

第13回 補強コース/アドバンスコース(1)

第14回 補強コース/アドバンスコース(2)

第15回 補強コース/アドバンスコース(3)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考查50%、後期の考查30%、学力認定試験20%の総合評価で行う。

再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)

化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された教科書、配布資料等で該当する箇所を目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考查:前期の考查は3分の2以上出席

後期の考查は3分の2以上出席

教科書

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著、一國雅巳 訳:オーム社、1995

ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著、秋葉欣哉、奥彬 訳:培風館、2002

参考書

フレッシュマンのための化学結合論/M.J.Winter 著、西本吉助 訳:化学同人、1996

化学熱力学(修正版)/原田義也 著:裳華房、2002

ボルハルト・ショア現代有機化学(第6版)[上]/K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳、野依良治 監訳、村

橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ボルハルト・ショアー現代有機化学(第 6 版)[下]／K. P. C. Vollhardt [著], N. E. Schore [著], 古賀憲司 監訳野依良治 監訳村 橋俊一 監訳大嶋幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011 ウォーレン有機化学〈上〉／Clayden [ほか著], 野依良治 [ほか]監訳石橋正己 [ほか]訳:東京化学同人, 2003 参考材料:HGS 分子模型
他科目との関連 化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード:分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学 第1回～第5回は検査技術学専攻との合同授業になります。
連絡先 奈良 雅之nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057			
科目名	化学(一般化学)D			
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子			
開講時期	通年	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所				
7 番教室				
授業の目的、概要等				
分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標				
授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」「ハート基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
2	4/23	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
3	5/7	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
4	5/14	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
5	5/21	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
6	5/28	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
7	6/4	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
8	6/11	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
9	6/18	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
10	6/25	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
11	7/2	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
12	7/9	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
13	7/23	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
14	7/30	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
15	8/1	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
16	10/1	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
17	10/15	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之
18	10/22	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
19	10/29	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
20	11/5	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
21	11/12	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
22	11/19	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
23	11/26	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
24	12/3	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
25	12/10	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
26	12/17	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
27	1/7	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子
28	1/21	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之

29	1/23	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之	
30	1/28	13:10-14:40	7 番教室	奈良 雅之	
授業方法					
講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。					
授業内容					
前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いて、マクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。後期は初めの2回は化学実験に必要な誤差計算を取り上げます。次に、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。					
考査、学力認定試験終了後は、補強コース・アドバンスコースに分かれて講義を行います。					
前期					
第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版 第2回 単位SIと非 SI					
第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)					
第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 原子構造と周期律(4)					
第7回 熱力学第一法則(1) 第8回 熱力学第一法則(2)					
第9回 熱力学第一法則(3) 第10回 熱力学第二法則(1)					
第11回 熱力学第二法則(2) 第12回 熱力学第二法則(3)					
第13回 ギブスエネルギー 第14回 熱力学的関係式					
第15回 化学ポテンシャル					
後期					
第1回 化学実験学(誤差の取り扱い方) 第2回 化学実験学(誤差の取り扱い方)					
第3回 有機化学と電子の軌道 第4回 アルカンとシクロアルカン					
第5回 アルケン 第6回 共役ジエンとアルキン					
第7回 立体化学 第8回 芳香族化合物					
第9回 有機ハロゲン化合物 第10回 酸素を含む有機化合物					
第11回 有機化学の筆記試験(考査) 第12回 学力認定試験					
第13回 補強コース/アドバンスコース(1)					
第14回 補強コース/アドバンスコース(2)					
第15回 補強コース/アドバンスコース(3)					
成績評価の方法					
評価:試験 100% ・レポート 0%					
その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)					
試験は、前期の考査、後期の考査、学力認定試験の総合評価で行う。					
再評価:有(補強コースを受講した後、全範囲をまとめて再試験を行う。)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習:指定された教科書、配布資料等で該当する箇所を目を通しておく。					
復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。					
試験の受験資格					
考査:前期の考査は3分の2以上出席					
後期の考査は3分の2以上出席					
教科書					
一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳:オーム社, 1995					
エントロピーから化学ポテンシャルまで/渡辺啓 著,:裳華房, 1997					
ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳:培風館, 2002					
参考書					
フレッシュマンのための化学結合論/M.J.Winter 著,西本吉助 訳:化学同人, 1996					

マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳:東京化学同人, 2013 マクマリー有機化学／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表:東京化学同人, 2013 有機化学／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [[ほか]訳:東京化学同人, 1994 有機化学／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [[ほか]訳:東京化学同人, 1994 ジョーンズ有機化学 第5版 上:東京化学同人, 2016 ジョーンズ有機化学 第5版 下:東京化学同人, 2016 ベーシック有機化学:化学同人, 2010 基礎有機化学／大畠幸一郎 著,:東京化学同人, 2010
他科目との関連 前期第1回～第5回では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード:分析化学、原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学
連絡先 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058																																																																																																																																																			
科目名	化学(一般化学)Ⅰ																																																																																																																																																			
担当教員	奈良 雅之、澤野 頼子、渡邊 総一郎、森井 尚之																																																																																																																																																			
開講時期	通年	対象年次	1																																																																																																																																																	
・曜日・時間: 前期 水曜日1時限、後期 月曜日4時限 ・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																																																																																				
授業の目的、概要等 分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずでです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学&物理化学)」を学習します。																																																																																																																																																				
授業の到達目標 授業で扱った範囲に関連した「マグロウヒル大学演習 一般化学」、「ハート基礎有機化学」、「臨床検査学講座 化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。																																																																																																																																																				
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td>1 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>澤野 頼子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>澤野 頼子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>澤野 頼子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>澤野 頼子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>渡邊 総一郎</td></tr><tr><td>15</td><td>7/25</td><td>09:10-10:40</td><td>6 番教室</td><td>澤野 頼子</td></tr><tr><td>16</td><td>10/1</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>17</td><td>10/15</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>18</td><td>10/22</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>19</td><td>10/29</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>20</td><td>11/5</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>21</td><td>11/12</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>森井 尚之</td></tr><tr><td>22</td><td>11/19</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>森井 尚之</td></tr><tr><td>23</td><td>11/26</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>森井 尚之</td></tr><tr><td>24</td><td>12/3</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>森井 尚之</td></tr><tr><td>25</td><td>12/10</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>森井 尚之</td></tr><tr><td>26</td><td>12/17</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>27</td><td>1/7</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>28</td><td>1/21</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之	2	4/25	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之	3	5/2	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之	4	5/9	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之	5	5/16	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之	6	5/23	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子	7	5/30	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子	8	6/6	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子	9	6/13	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子	10	6/20	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎	11	6/27	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎	12	7/4	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎	13	7/11	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎	14	7/18	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎	15	7/25	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子	16	10/1	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	17	10/15	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	18	10/22	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	19	10/29	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	20	11/5	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	21	11/12	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之	22	11/19	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之	23	11/26	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之	24	12/3	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之	25	12/10	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之	26	12/17	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	27	1/7	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	28	1/21	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																																																
1	4/18	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
2	4/25	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
3	5/2	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
4	5/9	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
5	5/16	09:10-10:40	1 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
6	5/23	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子																																																																																																																																																
7	5/30	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子																																																																																																																																																
8	6/6	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子																																																																																																																																																
9	6/13	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子																																																																																																																																																
10	6/20	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎																																																																																																																																																
11	6/27	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎																																																																																																																																																
12	7/4	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎																																																																																																																																																
13	7/11	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎																																																																																																																																																
14	7/18	09:10-10:40	6 番教室	渡邊 総一郎																																																																																																																																																
15	7/25	09:10-10:40	6 番教室	澤野 頼子																																																																																																																																																
16	10/1	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
17	10/15	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
18	10/22	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
19	10/29	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
20	11/5	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
21	11/12	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之																																																																																																																																																
22	11/19	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之																																																																																																																																																
23	11/26	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之																																																																																																																																																
24	12/3	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之																																																																																																																																																
25	12/10	14:50-16:20	7 番教室	森井 尚之																																																																																																																																																
26	12/17	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
27	1/7	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																
28	1/21	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之																																																																																																																																																

29	1/23	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	
30	1/28	14:50-16:20	7 番教室	奈良 雅之	
授業方法					
講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。					
授業内容					
前期の 15 回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学、有機化学を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期の 15 回は、生化学や生理学の基礎となる化学熱力学、生体高分子論、反応速度論の分野を取り上げます。					
第1回 序論、単位SI と非 SI 第2回 酸塩基平衡の取り扱い方(1)					
第3回 酸塩基平衡の取り扱い方(2) 第4回 酸塩基平衡の取り扱い方(3)					
第5回 酸塩基平衡の取り扱い方(4) 第6回 原子の構造(1)					
第7回 原子の構造(2) 第8回 気体・液体・固体					
第9回 溶液 第 10 回 有機化学と電子の軌道					
第 11 回 アルカンとシクロアルカン 第 12 回 アルケンとアルキン					
第 13 回 芳香族化合物 第 14 回 立体異性					
第 15 回 筆記試験 第 16 回 化学熱力学の序論					
第 17 回 熱力学第一法則(1) 第 18 回 熱力学第一法則(2)					
第 19 回 熱力学第一法則(3) 第 20 回 熱力学第二法則(1)					
第 21 回 生体高分子(1) 第 22 回 生体高分子(2)					
第 23 回 生体高分子(3) 第 24 回 生体高分子(4)					
第 25 回 生体高分子(5) 第 26 回 熱力学第二法則(2)					
第 27 回 熱力学第二法則(3) 第 28 回 化学反応速度(1)					
第 29 回 化学反応速度(2) 第 30 回 筆記試験					
成績評価の方法					
評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・ その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)					
再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習: 指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。					
復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。					
試験の受験資格					
期末考査・再試験の受験資格: 3分の2以上出席					
教科書					
化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著.: 医歯薬出版, 2005					
ハート基礎有機化学(三訂版)／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳.: 培風館, 2002					
一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳.: オーム社, 1995					
参考書					
マクマリー一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳.: 東京化学同人, 2010					
有機化学(上)／モリソン, ボイド 著,中西香爾 [ほか]訳.: 東京化学同人, 1994					
有機化学(中)／モリソン, ボイド [著],中西香爾 [ほか]訳.: 東京化学同人, 1994					
マクマリー有機化学(上)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明, 荻野敏夫, 深澤義正, 通元夫 訳.: 東京化学同人, 2013					
マクマリー有機化学(中)／JOHN McMURRY 著,伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表.: 東京化学同人, 2013					
ウォーレン有機化学(上)／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳.: 東京化学同人, 2003					
ウォーレン有機化学(下)／Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳.: 東京化学同人, 2003					
ボルハルト・ショア現代有機化学(上)／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳,大島幸一郎 訳,小田嶋和徳 訳,小松満男 訳,戸部義人 訳.: 化学同人, 2011					
ボルハルト・ショア現代有機化学(下)／K. P. C. Vollhardt [著],N. E. Schore [著],古賀憲司 監訳,野依良治 監訳,村橋俊一 監訳					

訳大瀧幸一郎 訳小田嶋和徳 訳小松満男 訳戸部義人 訳:化学同人, 2011
エントロピーから化学ポテンシャルまで／渡辺啓 著.:裳華房, 1997

他科目との関連

前期に「科学基礎実験Ⅰ」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。 前期の定期試験(考査)と後期の定期試験(考査)の両方を受験していることが、 再試験(再評価)を受ける資格になります。

備考

第1回～第5回は医学科との合同授業になります。

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000835				
科目名	化学基礎(Ⅱ)				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	1		
・曜日・時間:火曜2時限(但し、4/17は1時限も行う。また、5/29は1時限に行う。)					
・対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科					
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る					
別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる					
別表4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
主な講義場所					
第1回(4月17日)～第5回(5月8日):湯島キャンパス M&D タワー 大学院講義室3					
第6回(5月22日)～第15回(7月24日):国府台キャンパス 8番教室					
授業の目的、概要等					
主にセンター試験で「化学」を選択しなかった学生に対して、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。					
授業の到達目標					
授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来看護や口腔保健の専門の基礎となる化学を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/17	08:50-10:20	大学院講義室3	イントロダクション	澤野 頼子
2	4/17	10:30-12:00	大学院講義室3	物質の構成	澤野 頼子
3	4/24	10:30-12:00	大学院講義室3	物質と化学結合(1)	澤野 頼子
4	5/1	10:30-12:00	大学院講義室3	物質と化学結合(2)	澤野 頼子
5	5/8	10:30-12:00	大学院講義室3	物質量と濃度	澤野 頼子
6	5/22	10:50-12:20	8番教室	物質量と化学反応式	澤野 頼子
7	5/29	09:10-10:40	8番教室	酸と塩基、pH	澤野 頼子
8	6/5	10:50-12:20	8番教室	中和反応、塩、緩衝液	澤野 頼子
9	6/12	10:50-12:20	8番教室	酸化と還元	澤野 頼子
10	6/19	10:50-12:20	8番教室	有機化合物(1)	澤野 頼子
11	6/26	10:50-12:20	8番教室	有機化合物(2)	澤野 頼子
12	7/3	10:50-12:20	8番教室	有機化合物(3)	澤野 頼子
13	7/10	10:50-12:20	8番教室	有機化合物(4)	澤野 頼子
14	7/17	10:50-12:20	8番教室	有機化合物(5)	澤野 頼子
15	7/24	10:50-12:20	8番教室	筆記試験	澤野 頼子
授業方法					
主に講義形式で授業を行うが、適宜、演習などアクティブラーニングを取り入れて行う。					
授業内容					
1. 生命・医療・生活と化学の関わり					
2. 物質の構成:物質の種類と性質、原子の構造、周期表					
3. 物質と化学結合					
4. 物質量と濃度、化学反応式					
5. 酸と塩基、pH、中和反応					

6. 酸化と還元
7. 有機化合物
成績評価の方法 評価：試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度・授業時の小テストなど) 15% 再評価：有(再評価方法 再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習:参考書等で該当する箇所に目を通しておく。 復習:講義の内容および演習問題・小テストを復習する。 その他、教員からの指示を参考に学習する。
試験の受験資格 試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席
参考書 高校化学再入門：大学の化学でつまずいた人へ／小玉信武 著, :化学同人, 2005 化学の基礎：元素記号からおさらいする化学の基本／中川徹夫 著, :化学同人, 2010 高校の「化学基礎」および「化学」の教科書
他科目との関連 化学基礎 α / β のクラス分けは、入学時に実施するプレースメントテストおよび高等学校での化学の履修状況を考慮して行う。また、化学未履修者向けに火曜1時限(4/24, 5/1, 5/8)に「化学基礎(補習)」を開講する。受講を勧められた者および受講を希望する者は併せて受講すること。
連絡先 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000836			
科目名	化学基礎(β)			
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 火曜2限 (初回のみ 1・2限)				
・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る				
4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
主な講義場所				
第1週(4/17)～第4週(5/8):湯島キャンパス OH 第3講義室				
第6週(5/22)以降: 国府台キャンパス				
授業の目的、概要等				
高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。				
授業の到達目標				
教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。				
生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/17	08:50-10:20	口腔保健 学科第3 講義室	宮園 健一
2	4/17	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	宮園 健一
3	4/24	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	宮園 健一
4	5/1	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	宮園 健一
5	5/8	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	宮園 健一
6	5/22	10:50-12:20	10 番教 室	勝又 敏行
7	5/29	09:10-10:40	10 番教 室	勝又 敏行
8	6/5	10:50-12:20	10 番教 室	勝又 敏行
9	6/12	10:50-12:20	10 番教 室	勝又 敏行
10	6/19	10:50-12:20	10 番教 室	勝又 敏行
11	6/26	10:50-12:20	10 番教 室	勝又 敏行
12	7/3	10:50-12:20	10 番教	奈良 雅之

			室	
13	7/10	10:50-12:20	10 番教 室	奈良 雅之
14	7/17	10:50-12:20	10 番教 室	奈良 雅之
15	7/24	10:50-12:20	10 番教 室	奈良 雅之
授業方法 授業は講義形式を基本とするが、随時演習問題を通してアクティブラーニングを併用する。				
授業内容 1. 序論 単位について 2. 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式 3. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、 気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド 4. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物 5. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物 6. 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 7. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素				
成績評価の方法 評価: 定期試験 100%・レポート 0% その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する) 再評価: 有(再評価の方法 再試験) 化学の基礎が理解できているか否かが評価の鍵ですから、試験を重視します。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 予習: 指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。 復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。				
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席				
教科書 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一、村田滋、錦織紳一 著、共立出版、2005				
参考書 化学／岡崎三代、奈良雅之 著、医歯薬出版、2005 系統看護学講座 化学／奈良雅之、医学書院、2018				
連絡先 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00、毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行: 毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室				

時間割番号	000264			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	前期	対象年次	1	
・曜日・時間: 火曜日 1・2 限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
主な講義場所				
教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室				
授業の目的、概要等				
細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習を行うようになることを目標とする。				
授業の到達目標				
1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。				
2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。				
3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。				
4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。				
5)代謝とは何か、説明することができる。				
6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/5	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
2	6/5	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
3	6/12	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
4	6/12	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
5	6/19	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
6	6/19	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
7	6/26	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
8	6/26	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
9	7/3	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
10	7/3	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
11	7/10	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
12	7/10	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
13	7/17	09:10-10:40	1 番教室	伊藤 正則
14	7/17	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
15	7/24	10:50-12:20	1 番教室	伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式で行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容				
生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。				
成績評価の方法				
試験 100%				
再評価: 有(再試験での成績は 60 点を上限とする)				

前期の授業内容に関する試験と後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。 上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。
準備学習などについての具体的な指示 復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理すること。
試験の受験資格 2/3 以上、出席すること。
教科書 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学：生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書／前野正夫、磯川桂太郎 著、：羊土社、2008 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著、坂井建雄、岡田隆夫 監訳、坂井建雄、橋本尚詞、小林靖、渡邊卓、貞森直樹、岡田隆夫、中谷敬 訳、：医学書院、2005 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt, : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox : McGraw-Hill, 2014
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。

時間割番号	000266																																																																																		
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT																																																																																		
担当教員	服部 淳彦																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																
・曜日・時間: 火曜日1・2限 ・対象学科・専攻: 歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。																																																																																			
授業の目的、概要等 生物学(細胞・遺伝子)では、「生命のしくみ」に重点を置き、ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに、生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ、さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。 時間の制約もありこの科目では、生命の基本単位である「DNAと遺伝子」、「細胞の構造と機能」に関しては、すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。																																																																																			
授業の到達目標 分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/5</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>6/5</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>6/12</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>6/12</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>6/19</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>6/19</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>6/26</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/26</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>7/3</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>7/3</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>7/10</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>7/10</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>7/17</td><td>09:10-10:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>7/17</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>7/24</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/5	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	2	6/5	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	3	6/12	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	4	6/12	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	5	6/19	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	6	6/19	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	7	6/26	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	8	6/26	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	9	7/3	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	10	7/3	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	11	7/10	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	12	7/10	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	13	7/17	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦	14	7/17	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦	15	7/24	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	6/5	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
2	6/5	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
3	6/12	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
4	6/12	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
5	6/19	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
6	6/19	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
7	6/26	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
8	6/26	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
9	7/3	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
10	7/3	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
11	7/10	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
12	7/10	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
13	7/17	09:10-10:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
14	7/17	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
15	7/24	10:50-12:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																															
授業方法 講義と一部グループワークによる。																																																																																			
授業内容 生命を支配する遺伝子 1. 分子遺伝学とは 2. 生物の世界: ゲノム, 遺伝子, DNA 3. 真核生物の遺伝子の構造 4. 遺伝子の発現と制御 5. 染色体と細胞周期 6. 細胞分裂 - 体細胞分裂・減数分裂 7. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅰ 8. 遺伝性疾患と遺伝様式Ⅱ 9. 遺伝子診断とDNA型鑑定 10. 遺伝子治療の現状と問題点																																																																																			

生物の多様性と分子進化 11. 生物の多様性と進化 12. 分子進化と分子系統樹 13. 中立説と自然淘汰説 14. 遺伝子の進化と種の分化 15. ヒトの起源と未来
成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験 90%・レポート 0% その他 10%(授業内で参加度や回答状況等) 再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする) 生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 はじめの一步の生化学・分子生物学 (第3版) / 前野正夫, 磯川桂太郎: 羊土社, 2016 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版 / SS Mader: 医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。
参考書 Essential 細胞生物学 / Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳: 南江堂, 2011
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000265			
科目名	生物学(構造・機能)M			
担当教員	服部 淳彦			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間: 月曜日3限 ・対象学科・専攻: 医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
授業の目的、概要等 1年の前期の講義では、生命の基本単位である細胞やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は、個々の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は、特に「生体の構造と機能」を『調節機構』を切り口にして、鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また、それぞれの項目に関しては、系統発生的・進化学的な視点からも解説する。				
授業の到達目標 生体の各組織や器官について、その構造と機能の概要を理解し、それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また、ヒトを進化化学的な側面から捉えられる視点を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
2	10/15	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
3	10/22	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
4	10/29	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
5	11/5	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
6	11/12	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
7	11/19	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
8	11/26	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
9	12/3	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
10	12/10	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
11	12/17	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
12	1/7	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
13	1/21	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
14	1/23	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
15	1/28	13:10-14:40	1 番教室	服部 淳彦
授業方法 講義と一部グループワークによる。				
授業内容 1. 細胞から個体へ 2. 生体における情報伝達系 3. 成長 4. 骨と軟骨 5. ホメオスタシス 6. カルシウムの調節 7. 排泄と泌尿器系 8. 血圧と循環器系 9. 栄養と消化器系 10. 血糖値の調節 11. 刺激と感覚・神経系 12. 炎症とアレルギー				

13. 免疫系 14. 子孫の維持と生殖系 15. 加齢と加齢性障害
成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験 90%・レポート 0% その他 10%(授業内での参加度や回答状況等) 再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする) 生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 日々、教科書をもとに予習をし、また、板書したノートをもとに復習をすること。
教科書 ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版／S. S. Mader: 医学書院, 2011 授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。
参考書 からだの構造と機能／A. Schaffler, S. Schmidt: 西村書店
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜: 12:30～14:00 金曜: 10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000267			
科目名	生物学(構造・機能)DT			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	後期	対象年次	1	
・曜日・時間:水曜日 1 限 ・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。				
主な講義場所				
教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室				
授業の目的、概要等				
生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。専門科目を学ぶうえでの基盤をつくることと、能動的に学習を行うようになる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。				
2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。				
3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
2	10/3	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
3	10/10	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
4	10/17	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
5	10/24	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
6	10/31	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
7	11/7	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
8	11/14	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
9	11/21	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
10	11/28	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
11	12/5	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
12	12/12	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
13	12/19	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
14	1/9	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
15	1/16	09:10-10:40	7 番教室	伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容				
代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。				
成績評価の方法				
評価:試験 100%				
再評価:有(再評価の成績は 60 点を上限とする)				
前期と後期の本試験または追試験と学力認定試験の全ての試験を受けないと、再試験を受けることはできない(履修放棄とみなす)。				
前期と後期の本試験(または追試験)と学力認定試験の成績から補強コースとアドバンスコースに分ける。補強コースを受講する学生は再試験を受ける。アドバンスコースを受講する学生は指定された課題のレポートを提出する。				

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習などについての具体的な指示

知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席すること。

教科書

ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著、坂井建雄、岡田隆夫 監訳、坂井建雄、橋本尚詞、小林靖、渡邊卓、貞森直樹、岡田隆夫、中谷敬 訳：医学書院、2005

はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学：生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書／前野正夫、磯川桂太郎 著：羊土社、2008

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

Essential 細胞生物学／Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著、中村桂子、松原謙一 監訳：南江堂、2011

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt, : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Human biology 13th ed／Sylvia S: McGraw-Hill, 2014

／F.H.マティーニ、M.J.ティモンズ、M.P.マッキンリ 著、井上貴央 監訳、新井良八 [ほか]訳：西村書店、2003

時間割番号	000843				
科目名	細胞生物学基礎				
担当教員	松本 幸久				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。					
主な講義場所					
ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等					
生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。					
授業の到達目標					
1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。					
2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。					
3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。					
4)代謝とは何か、説明することができる。					
5)酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
2	4/23	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
3	5/7	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
4	5/14	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
5	5/21	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
6	5/28	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
7	6/4	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
8	6/11	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
9	6/18	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
10	6/25	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
11	7/2	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
12	7/9	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
13	7/23	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
14	7/30	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
15	8/1	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
授業方法					
授業は主に講義形式で行うが授業内でアクティブラーニングも一部行う。					
授業内容					
細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明する。					
成績評価の方法					
評価: 本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示					
復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。					

試験の受験資格

授業の3分の2以上出席すること。

教科書

医療・看護系のための生物学 = Biology for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著、裳華房、2016

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社、2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院、2005

やさしい基礎生物学／南雲 保:羊土社、2011

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000064				
科目名	人体の生物学基礎				
担当教員	松本 幸久				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象専攻: 看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。					
主な講義場所					
ヒポクラテスホール1階1番教室					
授業の目的、概要等					
多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。					
授業の到達目標					
1) 生体の基本構造を説明することができる。					
2) 生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
2	10/15	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
3	10/22	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
4	10/29	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
5	11/5	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
6	11/12	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
7	11/19	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
8	11/26	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
9	12/3	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
10	12/10	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
11	12/17	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
12	1/7	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
13	1/21	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
14	1/23	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
15	1/28	14:50-16:20	1 番教室	松本 幸久	
授業方法					
授業は主に講義形式で行うが授業内でアクティブラーニングも一部行う。					
授業内容					
生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化的な観点を加えて説明する。					
成績評価の方法					
評価: 本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示					
復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。					
試験の受験資格					
授業の3分の2以上出席すること。					
教科書					
医療・看護系のための生物学 = Biology for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著.:裳華房, 2016					

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先

yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000065				
科目名	英語				
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISON, Miya Marutsuka, Jonathan Corliss, 菅原 未宇				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	4
準備学習などについての具体的な指示					
連絡先 畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp JEANETTE DENNISON:dennisson.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 畔柳 和代:毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室 PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室 猪熊 恵子:水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室 JEANETTE DENNISON:Wednesday/Thursday 12:30 - 13:00 PM 管理研究棟3階					

時間割番号	000066																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td>Course website sign up</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 1</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 1</td><td>Teacher topic 1 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 1</td><td>Teacher topic 1</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 2</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 2</td><td>Teacher topic 2 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 2</td><td>Teacher topic 2</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON	2	4/25	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	3	5/2	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	4	5/9	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON	5	5/16	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	6	5/23	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	7	5/30	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON	8	6/6	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON	9	6/13	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/18	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	4/25	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	5/2	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	5/9	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	5/16	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	5/23	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	5/30	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	6/6	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	6/13	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	6/20	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participating in surveys	JEANETTE DENNISSON
11	6/27	09:10-10:40	10 番教室	Student project: interview	Participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
12	7/4	09:10-10:40	10 番教室	Data interpretation	Collecting and Interpreting data	JEANETTE DENNISSON
13	7/11	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
14	7/18	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
15	7/25	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000068																																																																																																											
科目名	英語 a																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion 1</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion 2</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion 3</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion 4</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion 5</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion 6</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Discussion 7</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marutsuka</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka	2	4/25	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka	3	5/2	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka	4	5/9	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka	5	5/16	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka	6	5/23	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka	7	5/30	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka	8	6/6	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka	9	6/13	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka	10	6/20	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka	11	6/27	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka	12	7/4	09:10-10:40	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka	13	7/11	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka	14	7/18	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/18	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka																																																																																																						
2	4/25	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka																																																																																																						
3	5/2	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka																																																																																																						
4	5/9	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka																																																																																																						
5	5/16	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka																																																																																																						
6	5/23	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka																																																																																																						
7	5/30	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka																																																																																																						
8	6/6	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka																																																																																																						
9	6/13	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka																																																																																																						
10	6/20	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka																																																																																																						
11	6/27	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka																																																																																																						
12	7/4	09:10-10:40	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka																																																																																																						
13	7/11	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka																																																																																																						
14	7/18	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut																																																																																																						

						suka	
15	7/25	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000069																																																																																																											
科目名	英語 a																																																																																																											
担当教員	Corliss Jonathan																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象学科: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td>4 番教室</td><td>Topic 13</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	09:10-10:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss	2	4/25	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	3	5/2	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	4	5/9	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	5	5/16	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	6	5/23	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	7	5/30	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	8	6/6	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	9	6/13	09:10-10:40	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	10	6/20	09:10-10:40	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	11	6/27	09:10-10:40	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	12	7/4	09:10-10:40	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	13	7/11	09:10-10:40	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	14	7/18	09:10-10:40	4 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/18	09:10-10:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss																																																																																																						
2	4/25	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
3	5/2	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
4	5/9	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
5	5/16	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
6	5/23	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
7	5/30	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
8	6/6	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
9	6/13	09:10-10:40	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
10	6/20	09:10-10:40	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
11	6/27	09:10-10:40	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
12	7/4	09:10-10:40	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
13	7/11	09:10-10:40	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
14	7/18	09:10-10:40	4 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						

15	7/25	09:10-10:40	4 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000070																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td>Course website sign up</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 1</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 1</td><td>Teacher topic 1 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 1</td><td>Teacher topic 1</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 2</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 2</td><td>Teacher topic 2 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 2</td><td>Teacher topic 2</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON	2	4/25	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	3	5/2	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	4	5/9	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON	5	5/16	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	6	5/23	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	7	5/30	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON	8	6/6	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON	9	6/13	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/18	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	4/25	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	5/2	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	5/9	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	5/16	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	5/23	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	5/30	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	6/6	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	6/13	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	6/20	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participating in surveys	JEANETTE DENNISSON
11	6/27	10:50-12:20	10 番教室	Student project: interview	Participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
12	7/4	10:50-12:20	10 番教室	Data interpretation	Collecting and Interpreting data	JEANETTE DENNISSON
13	7/11	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
14	7/18	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
15	7/25	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up for www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON: dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON: Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000080																																																																																																				
科目名	英語 a																																																																																																				
担当教員	Corliss Jonathan																																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																		
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																					
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	10:50-12:20	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss	2	4/25	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	3	5/2	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	4	5/9	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	5	5/16	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	6	5/23	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	7	5/30	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	8	6/6	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	9	6/13	10:50-12:20	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	10	6/20	10:50-12:20	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	11	6/27	10:50-12:20	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	12	7/4	10:50-12:20	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	13	7/11	10:50-12:20	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	4/18	10:50-12:20	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss																																																																																															
2	4/25	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
3	5/2	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
4	5/9	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
5	5/16	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
6	5/23	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
7	5/30	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
8	6/6	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
9	6/13	10:50-12:20	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
10	6/20	10:50-12:20	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
11	6/27	10:50-12:20	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
12	7/4	10:50-12:20	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															
13	7/11	10:50-12:20	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																															

14	7/18	10:50-12:20	4 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	
15	7/25	10:50-12:20	4 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000071																																																																																																											
科目名	英語 a																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion 1</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion 2</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion 3</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion 4</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion 5</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion 6</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Discussion 7</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka	2	4/25	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka	3	5/2	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka	4	5/9	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka	5	5/16	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	6	5/23	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	7	5/30	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka	8	6/6	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka	9	6/13	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	10	6/20	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	11	6/27	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka	12	7/4	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marut suka	13	7/11	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	14	7/18	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/18	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka																																																																																																						
2	4/25	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka																																																																																																						
3	5/2	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka																																																																																																						
4	5/9	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka																																																																																																						
5	5/16	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
6	5/23	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
7	5/30	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka																																																																																																						
8	6/6	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka																																																																																																						
9	6/13	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
10	6/20	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
11	6/27	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka																																																																																																						
12	7/4	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marut suka																																																																																																						
13	7/11	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
14	7/18	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut																																																																																																						

						suka	
15	7/25	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000067																																																																																																		
科目名	英語 a																																																																																																		
担当教員																																																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																
・曜日・時間:水曜2限 ・対象:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Topic 13</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td>5 番教室</td><td>Review</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	1	4/18	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	2	4/25	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	3	5/2	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	4	5/9	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	5	5/16	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	6	5/23	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	7	5/30	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	8	6/6	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	9	6/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	10	6/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	11	6/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	12	7/4	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	13	7/11	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	14	7/18	10:50-12:20	5 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	15	7/25	10:50-12:20	5 番教室	Review	Listening and Speaking Activities
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容																																																																																														
1	4/18	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction																																																																																														
2	4/25	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities																																																																																														
3	5/2	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities																																																																																														
4	5/9	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities																																																																																														
5	5/16	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities																																																																																														
6	5/23	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities																																																																																														
7	5/30	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities																																																																																														
8	6/6	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities																																																																																														
9	6/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities																																																																																														
10	6/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities																																																																																														
11	6/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities																																																																																														
12	7/4	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities																																																																																														
13	7/11	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities																																																																																														
14	7/18	10:50-12:20	5 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities																																																																																														
15	7/25	10:50-12:20	5 番教室	Review	Listening and Speaking Activities																																																																																														
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																			
成績評価の方法 評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%																																																																																																			

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000072					
科目名	英語 a					
担当教員	Miya Marutsuka					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.						
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.						
授業の到達目標						
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.						
To improve the ability to speak in front of others using English.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marutsuka
2	4/19	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marutsuka
3	4/26	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marutsuka
4	5/10	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marutsuka
5	5/17	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
6	5/24	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
7	5/31	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marutsuka
8	6/7	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marutsuka
9	6/14	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
10	6/21	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka
11	6/28	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marutsuka
12	7/5	09:10-10:40	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marutsuka
13	7/12	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marutsuka

14	7/19	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	
15	7/26	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000075				
科目名	英語 a				
担当教員					
開講時期	前期	対象年次	1		
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)					
授業の目的、概要等					
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.					
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.					
授業の到達目標					
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.					
To improve the ability to speak in front of others using English.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	4/12	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction
2	4/19	09:10-10:40	2 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities
3	4/26	09:10-10:40	2 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities
4	5/10	09:10-10:40	2 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities
5	5/17	09:10-10:40	2 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities
6	5/24	09:10-10:40	2 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities
7	5/31	09:10-10:40	2 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities
8	6/7	09:10-10:40	2 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities
9	6/14	09:10-10:40	2 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities
10	6/21	09:10-10:40	2 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities
11	6/28	09:10-10:40	2 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities
12	7/5	09:10-10:40	2 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities
13	7/12	09:10-10:40	2 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities
14	7/19	09:10-10:40	2 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities
15	7/26	09:10-10:40	2 番教室	Review	Listening and Speaking Activities
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					

評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000074																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/12</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td>Course website sign up</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 1</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>4/26</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 1</td><td>Teacher topic 1 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>5/10</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 1</td><td>Teacher topic 1</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>5/17</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 2</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>5/24</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 2</td><td>Teacher topic 2 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>5/31</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 2</td><td>Teacher topic 2</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>6/7</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>6/14</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON	2	4/19	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	3	4/26	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	4	5/10	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON	5	5/17	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	6	5/24	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	7	5/31	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON	8	6/7	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON	9	6/14	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/12	09:10-10:40	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	4/19	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	4/26	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	5/10	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	5/17	09:10-10:40	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	5/24	09:10-10:40	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	5/31	09:10-10:40	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	6/7	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	6/14	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	6/21	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participating in surveys	JEANETTE DENNISSON
11	6/28	09:10-10:40	10 番教室	Student project: interview	Participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
12	7/5	09:10-10:40	10 番教室	Data interpretation	Collecting and Interpreting data	JEANETTE DENNISSON
13	7/12	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
14	7/19	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
15	7/26	09:10-10:40	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000077																																																																								
科目名	英語 a																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/12</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td>Course website sign up</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 1</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>4/26</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 1</td><td>Teacher topic 1 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>5/10</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 1</td><td>Teacher topic 1</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>5/17</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Teacher lecture 2</td><td>Teacher-led lecture/discussion Note taking</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>5/24</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion forum 2</td><td>Teacher topic 2 research and blogging</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>5/31</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Discussion test 2</td><td>Teacher topic 2</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>6/7</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>6/14</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Student-led lecture/discussion</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON	2	4/19	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	3	4/26	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	4	5/10	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON	5	5/17	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON	6	5/24	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON	7	5/31	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON	8	6/7	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON	9	6/14	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/12	10:50-12:20	10 番教室	Introduction	Course website sign up	JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	4/19	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 1	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	4/26	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 1	Teacher topic 1 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	5/10	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 1	Teacher topic 1	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	5/17	10:50-12:20	10 番教室	Teacher lecture 2	Teacher-led lecture/discussion Note taking	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	5/24	10:50-12:20	10 番教室	Discussion forum 2	Teacher topic 2 research and blogging	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	5/31	10:50-12:20	10 番教室	Discussion test 2	Teacher topic 2	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	6/7	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	6/14	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	6/21	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participating in surveys	JEANETTE DENNISSON
11	6/28	10:50-12:20	10 番教室	Student project: interview	Participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
12	7/5	10:50-12:20	10 番教室	Data interpretation	Collecting and Interpreting data	JEANETTE DENNISSON
13	7/12	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
14	7/19	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON
15	7/26	10:50-12:20	10 番教室	Student Project Evaluation	Extended student-led lecture/discussion	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000073					
科目名	英語 a					
担当教員	菅原 未宇					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.						
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.						
授業の到達目標						
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.						
To improve the ability to speak in front of others using English.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇
2	4/19	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Discussion1	菅原 未宇
3	4/26	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Discussion 3	菅原 未宇
4	5/10	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Discussion 3	菅原 未宇
5	5/17	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Discussion 4	菅原 未宇
6	5/24	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Discussion 6	菅原 未宇
7	5/31	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Discussion 5	菅原 未宇
8	6/7	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Discussion 7	菅原 未宇
9	6/14	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Discussion 8	菅原 未宇
10	6/21	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Discussion 9	菅原 未宇
11	6/28	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Discussion 10	菅原 未宇
12	7/5	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Discussion 11	菅原 未宇
13	7/12	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Discussion 12	菅原 未宇
14	7/19	10:50-12:20	5 番教室	Pre-Test Preparation	Practice	菅原 未宇
15	7/26	10:50-12:20	5 番教室	In-Class Exam	Discussion Test	菅原 未宇
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: participation:60%, discussion test:40%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000078																																																																																																											
科目名	英語 a																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/12</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion 1</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>3</td><td>4/26</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion 2</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>4</td><td>5/10</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion 3</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>5</td><td>5/17</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>6</td><td>5/24</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>7</td><td>5/31</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion 4</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>8</td><td>6/7</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion 5</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>9</td><td>6/14</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>10</td><td>6/21</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>11</td><td>6/28</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion 6</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>12</td><td>7/5</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Discussion 7</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>13</td><td>7/12</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>14</td><td>7/19</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka	2	4/19	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka	3	4/26	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka	4	5/10	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka	5	5/17	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	6	5/24	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	7	5/31	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka	8	6/7	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka	9	6/14	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	10	6/21	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	11	6/28	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka	12	7/5	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marut suka	13	7/12	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	14	7/19	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/12	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka																																																																																																						
2	4/19	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka																																																																																																						
3	4/26	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka																																																																																																						
4	5/10	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka																																																																																																						
5	5/17	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
6	5/24	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
7	5/31	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka																																																																																																						
8	6/7	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka																																																																																																						
9	6/14	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
10	6/21	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
11	6/28	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka																																																																																																						
12	7/5	10:50-12:20	3 番教室	Topic 7	Discussion 7	Miya Marut suka																																																																																																						
13	7/12	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
14	7/19	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						

15	7/26	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000115					
科目名	英語 b					
担当教員	PATRICK FOSS					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜1限 ・対象:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.						
The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.						
授業の到達目標						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
2	4/25	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
3	5/2	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
4	5/9	09:10-10:40	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
5	5/16	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
6	5/23	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
7	5/30	09:10-10:40	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
8	6/6	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
9	6/13	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
10	6/20	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
11	6/27	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
12	7/4	09:10-10:40	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
13	7/11	09:10-10:40	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
14	7/18	09:10-10:40	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F

			習室			OSS	
15	7/25	09:10-10:40	計算機実 習室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10							
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10							
管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000079																																																																																																											
科目名	英語 b																																																																																																											
担当教員	PATRICK FOSS																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Integrating Skills</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Integrating Skills</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	2	4/25	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	3	5/2	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	4	5/9	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	5	5/16	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	6	5/23	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	7	5/30	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	8	6/6	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	9	6/13	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	10	6/20	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	11	6/27	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	12	7/4	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	13	7/11	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	14	7/18	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/18	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
2	4/25	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
3	5/2	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
4	5/9	10:50-12:20	計算機実習室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
5	5/16	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
6	5/23	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
7	5/30	10:50-12:20	計算機実習室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
8	6/6	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
9	6/13	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
10	6/20	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
11	6/27	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
12	7/4	10:50-12:20	計算機実習室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
13	7/11	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						
14	7/18	10:50-12:20	計算機実習室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																																						

15	7/25	10:50-12:20	計算機実習室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10							
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10							
管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000081					
科目名	英語 b					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	10:50-12:20	2 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子
2	4/25	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	5/2	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	5/9	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	5/16	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	5/23	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	5/30	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	6/6	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	6/13	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	6/20	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/27	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/4	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/11	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/18	10:50-12:20	2 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
15	7/25	10:50-12:20	2 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay :30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral						

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000082																																																																																																											
科目名	英語 b																																																																																																											
担当教員	畔柳 和代																																																																																																											
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・限:水曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Reading Material 12</td><td>A Quiz and Short Assignment</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td>12 番教室</td><td>Short Assignments</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	10:50-12:20	12 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	4/25	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	5/2	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	5/9	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	5/16	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	5/23	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	5/30	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	6/6	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	6/13	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	6/20	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	6/27	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	7/4	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	7/11	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 12	A Quiz and Short Assignment	畔柳 和代	14	7/18	10:50-12:20	12 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	4/18	10:50-12:20	12 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																						
2	4/25	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
3	5/2	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
4	5/9	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
5	5/16	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
6	5/23	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
7	5/30	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
8	6/6	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
9	6/13	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
10	6/20	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
11	6/27	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
12	7/4	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
13	7/11	10:50-12:20	12 番教室	Reading Material 12	A Quiz and Short Assignment	畔柳 和代																																																																																																						
14	7/18	10:50-12:20	12 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						

15	7/25	10:50-12:20	12 番教 室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35%							
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.							
連絡先							
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室							

時間割番号	000083					
科目名	英語 b					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・限:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	13:10-14:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	4/25	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	5/2	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	5/9	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	5/16	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	5/23	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	5/30	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	6/6	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	6/13	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	6/20	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	6/27	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	7/4	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	7/11	13:10-14:40	5 番教室	Reading Material 12	A Quiz and Short Assignment	畔柳 和代
14	7/18	13:10-14:40	5 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	7/25	13:10-14:40	5 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:25%, quizzes + in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084																																																																																																																		
科目名	英語 b																																																																																																																		
担当教員	猪熊 恵子																																																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/18	13:10-14:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	4/25	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	5/2	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	5/9	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	5/16	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	5/23	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	5/30	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	6/6	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	6/13	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	6/20	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	6/27	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	7/4	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	7/11	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	14	7/18	13:10-14:40	4 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	15	7/25	13:10-14:40	4 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	4/18	13:10-14:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	4/25	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	5/2	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	5/9	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	5/16	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	5/23	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	5/30	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	6/6	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	6/13	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	6/20	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	6/27	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	7/4	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	7/11	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
14	7/18	13:10-14:40	4 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	7/25	13:10-14:40	4 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法 評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)																																																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000114					
科目名	英語 b					
担当教員	PATRICK FOSS					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.						
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
2	4/19	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
3	4/26	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
4	5/10	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
5	5/17	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
6	5/24	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
7	5/31	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
8	6/7	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
9	6/14	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
10	6/21	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
11	6/28	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
12	7/5	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
13	7/12	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F

						OSS	
14	7/19	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
15	7/26	09:10-10:40	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10							
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10							
管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000086					
科目名	英語 b					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	4/19	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	4/26	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	5/10	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	5/17	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	5/24	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	5/31	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	6/7	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	6/14	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	6/21	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	6/28	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	7/5	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	7/12	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 12	A Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代
14	7/19	09:10-10:40	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	7/26	09:10-10:40	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral						

test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000089																																																																																																																		
科目名	英語 b																																																																																																																		
担当教員	菅原 未宇																																																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/12</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>3</td><td>4/26</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>4</td><td>5/10</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>5</td><td>5/17</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>6</td><td>5/24</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>7</td><td>5/31</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>8</td><td>6/7</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>9</td><td>6/14</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>10</td><td>6/21</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>11</td><td>6/28</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>12</td><td>7/5</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>13</td><td>7/12</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>14</td><td>7/19</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 13</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>15</td><td>7/26</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Review</td><td>In-class Exam</td><td>菅原 未宇</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇	2	4/19	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	3	4/26	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	4	5/10	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	5	5/17	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	6	5/24	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	7	5/31	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	8	6/7	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	9	6/14	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	10	6/21	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	11	6/28	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	12	7/5	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	13	7/12	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	14	7/19	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	15	7/26	09:10-10:40	5 番教室	Review	In-class Exam	菅原 未宇
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	4/12	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇																																																																																																													
2	4/19	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
3	4/26	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
4	5/10	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
5	5/17	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
6	5/24	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
7	5/31	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
8	6/7	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
9	6/14	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
10	6/21	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
11	6/28	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
12	7/5	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
13	7/12	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
14	7/19	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
15	7/26	09:10-10:40	5 番教室	Review	In-class Exam	菅原 未宇																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法																																																																																																																			

評価: Participation and preparation: 40% quizzes and other works: 40% final exam: 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000085					
科目名	英語 b					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.						
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子
2	4/19	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	4/26	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	5/10	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	5/17	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	5/24	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	5/31	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	6/7	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	6/14	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	6/21	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/28	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/5	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/12	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/19	09:10-10:40	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子

			室				
15	7/26	09:10-10:40	11 番教 室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時							
木曜日 12時30分～13時20分							
管理研究棟 3階 猪熊研究室							

時間割番号	000076																																																																																																				
科目名	英語 b																																																																																																				
担当教員	PATRICK FOSS																																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1																																																																																																		
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																																																																					
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>4/12</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>4/19</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>4/26</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>5/10</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Paragraphs</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>5/17</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>5/24</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>5/31</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Essays</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>6/7</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>6/14</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>6/21</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>6/28</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>12</td><td>7/5</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Critical Analysis</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>13</td><td>7/12</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td><td>Integrating Skills</td><td>Reading/Writing Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	2	4/19	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	3	4/26	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	4	5/10	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	5	5/17	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	6	5/24	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	7	5/31	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	8	6/7	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	9	6/14	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	10	6/21	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	11	6/28	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	12	7/5	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	13	7/12	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	4/12	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
2	4/19	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
3	4/26	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
4	5/10	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
5	5/17	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
6	5/24	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
7	5/31	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
8	6/7	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
9	6/14	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
10	6/21	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
11	6/28	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
12	7/5	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
13	7/12	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS																																																																																															

14	7/19	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
15	7/26	10:50-12:20	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK F OSS	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先 PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000088					
科目名	英語 b					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.						
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子
2	4/19	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	4/26	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	5/10	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	5/17	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	5/24	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	5/31	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	6/7	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	6/14	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	6/21	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/28	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/5	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/12	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/19	10:50-12:20	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子

			室				
15	7/26	10:50-12:20	11 番教 室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時							
木曜日 12時30分～13時20分							
管理研究棟 3階 猪熊研究室							

時間割番号	000087					
科目名	英語 b					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・限: 木曜2限						
・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3－4)						
別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.						
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	4/19	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	4/26	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	5/10	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	5/17	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	5/24	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	5/31	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	6/7	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	6/14	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	6/21	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	6/28	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	7/5	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	7/12	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	7/19	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 13	a Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代
15	7/26	10:50-12:20	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%						
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000090																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間:水曜 1 限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 1</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 1</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 2</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 2</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 3</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 4</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Sharing opinions and ideas</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student project: survey</td><td>Creating and participation in surveys</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	09:10-10:40	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON	2	10/3	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	3	10/10	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	4	10/17	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	5	10/24	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	6	10/31	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	7	11/7	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	8	11/14	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON	9	11/21	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	9/26	09:10-10:40	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	10/3	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	10/10	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	10/17	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	10/24	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	10/31	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	11/7	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	11/14	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	11/21	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON																																																																			

						N	
10	11/28	09:10-10:40	10 番教室	Student project: interview	participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON	
11	12/5	09:10-10:40	10 番教室	Data interpretation	Creating and analyzing data for presentation	JEANETTE DENNISSON	
12	12/12	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON	
13	12/19	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON	
14	1/9	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON	
15	1/16	09:10-10:40	10 番教室	ORAL TEST Week	No regular class	JEANETTE DENNISSON	

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000092																																																																																																											
科目名	英語 c																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion 1</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion 2</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion 3</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion 4</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion 5</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion 6</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>14</td><td>1/9</td><td>09:10-10:40</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka	2	10/3	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka	3	10/10	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka	4	10/17	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka	5	10/24	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	6	10/31	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	7	11/7	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka	8	11/14	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka	9	11/21	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	10	11/28	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	11	12/5	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka	12	12/12	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	13	12/19	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	14	1/9	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	9/26	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka																																																																																																						
2	10/3	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka																																																																																																						
3	10/10	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka																																																																																																						
4	10/17	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka																																																																																																						
5	10/24	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
6	10/31	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
7	11/7	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka																																																																																																						
8	11/14	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka																																																																																																						
9	11/21	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
10	11/28	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
11	12/5	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka																																																																																																						
12	12/12	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
13	12/19	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
14	1/9	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						

15	1/16	09:10-10:40	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000093					
科目名	英語 c					
担当教員	Corliss Jonathan					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.						
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.						
授業の到達目標						
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.						
To improve the ability to speak in front of others using English.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	09:10-10:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss
2	10/3	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
3	10/10	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
4	10/17	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
5	10/24	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
6	10/31	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
7	11/7	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
8	11/14	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
9	11/21	09:10-10:40	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
10	11/28	09:10-10:40	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
11	12/5	09:10-10:40	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
12	12/12	09:10-10:40	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
13	12/19	09:10-10:40	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
14	1/9	09:10-10:40	4 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss

15	1/16	09:10-10:40	4 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Jonathan Corliss	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000105																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 1</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 1</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 2</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 2</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 3</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 4</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Sharing opinions and ideas</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student project: survey</td><td>Creating and participation in surveys</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	10:50-12:20	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON	2	10/3	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	3	10/10	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	4	10/17	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	5	10/24	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	6	10/31	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	7	11/7	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	8	11/14	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON	9	11/21	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	9/26	10:50-12:20	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	10/3	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	10/10	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	10/17	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	10/24	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	10/31	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	11/7	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	11/14	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	11/21	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	11/28	10:50-12:20	10 番教室	Student project: interview	participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
11	12/5	10:50-12:20	10 番教室	Data interpretation	Creating and analyzing data for presentation	JEANETTE DENNISSON
12	12/12	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
13	12/19	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
14	1/9	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
15	1/16	10:50-12:20	10 番教室	ORAL TEST Week	No regular class	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000094																																																																																																											
科目名	英語 c																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion 1</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion 2</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion 3</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion 4</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion 5</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion 6</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>14</td><td>1/9</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka	2	10/3	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka	3	10/10	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka	4	10/17	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka	5	10/24	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	6	10/31	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	7	11/7	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka	8	11/14	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka	9	11/21	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	10	11/28	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	11	12/5	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka	12	12/12	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	13	12/19	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	14	1/9	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	9/26	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka																																																																																																						
2	10/3	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka																																																																																																						
3	10/10	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka																																																																																																						
4	10/17	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka																																																																																																						
5	10/24	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
6	10/31	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
7	11/7	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka																																																																																																						
8	11/14	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka																																																																																																						
9	11/21	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
10	11/28	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
11	12/5	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka																																																																																																						
12	12/12	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
13	12/19	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
14	1/9	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						

15	1/16	10:50-12:20	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000095																																																																																																											
科目名	英語 c																																																																																																											
担当教員	Corliss Jonathan																																																																																																											
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr><tr><td>14</td><td>1/9</td><td>10:50-12:20</td><td>4 番教室</td><td>Review</td><td>Listening and Speaking Activities</td><td>Jonathan Corliss</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	10:50-12:20	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss	2	10/3	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	3	10/10	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	4	10/17	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	5	10/24	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	6	10/31	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	7	11/7	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	8	11/14	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	9	11/21	10:50-12:20	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	10	11/28	10:50-12:20	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	11	12/5	10:50-12:20	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	12	12/12	10:50-12:20	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	13	12/19	10:50-12:20	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss	14	1/9	10:50-12:20	4 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	9/26	10:50-12:20	4 番教室	Guidance	Course Introduction	Jonathan Corliss																																																																																																						
2	10/3	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
3	10/10	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
4	10/17	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
5	10/24	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
6	10/31	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
7	11/7	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
8	11/14	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
9	11/21	10:50-12:20	4 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
10	11/28	10:50-12:20	4 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
11	12/5	10:50-12:20	4 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
12	12/12	10:50-12:20	4 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
13	12/19	10:50-12:20	4 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						
14	1/9	10:50-12:20	4 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	Jonathan Corliss																																																																																																						

15	1/16	10:50-12:20	4 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Jonathan Corliss	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000116																																																																																																		
科目名	英語 c																																																																																																		
担当教員																																																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>14</td><td>1/9</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>Review</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>15</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td>6 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	1	9/26	10:50-12:20	6 番教室	Guidance	Course Introduction	2	10/3	10:50-12:20	6 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	3	10/10	10:50-12:20	6 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	4	10/17	10:50-12:20	6 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	5	10/24	10:50-12:20	6 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	6	10/31	10:50-12:20	6 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	7	11/7	10:50-12:20	6 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	8	11/14	10:50-12:20	6 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	9	11/21	10:50-12:20	6 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	10	11/28	10:50-12:20	6 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	11	12/5	10:50-12:20	6 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	12	12/12	10:50-12:20	6 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	13	12/19	10:50-12:20	6 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	14	1/9	10:50-12:20	6 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	15	1/16	10:50-12:20	6 番教室	English Oral Test	Poster Presentation
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容																																																																																														
1	9/26	10:50-12:20	6 番教室	Guidance	Course Introduction																																																																																														
2	10/3	10:50-12:20	6 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities																																																																																														
3	10/10	10:50-12:20	6 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities																																																																																														
4	10/17	10:50-12:20	6 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities																																																																																														
5	10/24	10:50-12:20	6 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities																																																																																														
6	10/31	10:50-12:20	6 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities																																																																																														
7	11/7	10:50-12:20	6 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities																																																																																														
8	11/14	10:50-12:20	6 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities																																																																																														
9	11/21	10:50-12:20	6 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities																																																																																														
10	11/28	10:50-12:20	6 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities																																																																																														
11	12/5	10:50-12:20	6 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities																																																																																														
12	12/12	10:50-12:20	6 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities																																																																																														
13	12/19	10:50-12:20	6 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities																																																																																														
14	1/9	10:50-12:20	6 番教室	Review	Listening and Speaking Activities																																																																																														
15	1/16	10:50-12:20	6 番教室	English Oral Test	Poster Presentation																																																																																														
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																			
成績評価の方法 評価: participation 50% assignments/quizzes 25% final discussion test 25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000096					
科目名	英語 c					
担当教員	Miya Marutsuka					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.						
The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.						
授業の到達目標						
To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.						
To improve the ability to speak in front of others using English.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	09:10-10:40	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka
2	10/4	09:10-10:40	3 番教室	Topic 1	Discussion 1	Miya Marut suka
3	10/11	09:10-10:40	3 番教室	Topic 2	Discussion 2	Miya Marut suka
4	10/18	09:10-10:40	3 番教室	Topic 3	Discussion 3	Miya Marut suka
5	10/25	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
6	11/1	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
7	11/8	09:10-10:40	3 番教室	Topic 4	Discussion 4	Miya Marut suka
8	11/15	09:10-10:40	3 番教室	Topic 5	Discussion 5	Miya Marut suka
9	11/22	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
10	11/29	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
11	12/6	09:10-10:40	3 番教室	Topic 6	Discussion 6	Miya Marut suka
12	12/13	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
13	12/20	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
14	1/10	09:10-10:40	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka

15	1/17	09:10-10:40	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000091																																																																																																		
科目名	英語 c																																																																																																		
担当教員																																																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>14</td><td>1/10</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Review</td><td>Listening and Speaking Activities</td></tr><tr><td>15</td><td>1/17</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	1	9/27	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction	2	10/4	09:10-10:40	8 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	3	10/11	09:10-10:40	8 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	4	10/18	09:10-10:40	8 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	5	10/25	09:10-10:40	8 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	6	11/1	09:10-10:40	8 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	7	11/8	09:10-10:40	8 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	8	11/15	09:10-10:40	8 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	9	11/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	10	11/29	09:10-10:40	8 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	11	12/6	09:10-10:40	8 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	12	12/13	09:10-10:40	8 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	13	12/20	09:10-10:40	8 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	14	1/10	09:10-10:40	8 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	15	1/17	09:10-10:40	8 番教室	English Oral Test	Poster Presentation
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容																																																																																														
1	9/27	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction																																																																																														
2	10/4	09:10-10:40	8 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities																																																																																														
3	10/11	09:10-10:40	8 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities																																																																																														
4	10/18	09:10-10:40	8 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities																																																																																														
5	10/25	09:10-10:40	8 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities																																																																																														
6	11/1	09:10-10:40	8 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities																																																																																														
7	11/8	09:10-10:40	8 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities																																																																																														
8	11/15	09:10-10:40	8 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities																																																																																														
9	11/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities																																																																																														
10	11/29	09:10-10:40	8 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities																																																																																														
11	12/6	09:10-10:40	8 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities																																																																																														
12	12/13	09:10-10:40	8 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities																																																																																														
13	12/20	09:10-10:40	8 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities																																																																																														
14	1/10	09:10-10:40	8 番教室	Review	Listening and Speaking Activities																																																																																														
15	1/17	09:10-10:40	8 番教室	English Oral Test	Poster Presentation																																																																																														
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																			
成績評価の方法																																																																																																			

評価: Participation 50% quizzes/assignments 25% speaking test 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000099																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜 1 限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 1</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 1</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 2</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Literature search</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Sharing opinions and ideas</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Student project: survey</td><td>Creating and participation in surveys</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	09:10-10:40	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON	2	10/4	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	3	10/11	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	4	10/18	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	5	10/25	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	6	11/1	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	7	11/8	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	8	11/15	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON	9	11/22	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	9/27	09:10-10:40	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	10/4	09:10-10:40	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	10/11	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	10/18	09:10-10:40	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	10/25	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	11/1	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	11/8	09:10-10:40	10 番教室	Literature search	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	11/15	09:10-10:40	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	11/22	09:10-10:40	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	11/29	09:10-10:40	10 番教室	Student project: interview	participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
11	12/6	09:10-10:40	10 番教室	Data interpretation	Creating and analyzing data for presentation	JEANETTE DENNISSON
12	12/13	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
13	12/20	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
14	1/10	09:10-10:40	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
15	1/17	09:10-10:40	10 番教室	ORAL TEST Week	No regular class	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000101																																																																								
科目名	英語 c																																																																								
担当教員	JEANETTE DENNISSON																																																																								
開講時期	後期	対象年次	1																																																																						
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																									
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																									
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																									
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Introduction</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 1</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 1</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Presentations 2</td><td>Making good presentations</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 2</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 3</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Literature search 4</td><td>Finding reliable information</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student discussions</td><td>Sharing opinions and ideas</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>10:50-12:20</td><td>10 番教室</td><td>Student project: survey</td><td>Creating and participation in surveys</td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	10:50-12:20	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON	2	10/4	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	3	10/11	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	4	10/18	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON	5	10/25	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	6	11/1	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	7	11/8	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON	8	11/15	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON	9	11/22	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	9/27	10:50-12:20	10 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON																																																																			
2	10/4	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 1	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
3	10/11	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 1	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
4	10/18	10:50-12:20	10 番教室	Presentations 2	Making good presentations	JEANETTE DENNISSON																																																																			
5	10/25	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 2	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
6	11/1	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 3	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
7	11/8	10:50-12:20	10 番教室	Literature search 4	Finding reliable information	JEANETTE DENNISSON																																																																			
8	11/15	10:50-12:20	10 番教室	Student discussions	Sharing opinions and ideas	JEANETTE DENNISSON																																																																			
9	11/22	10:50-12:20	10 番教室	Student project: survey	Creating and participation in surveys	JEANETTE DENNISSON																																																																			

10	11/29	10:50-12:20	10 番教室	Student project: interview	participation in student-led interviews	JEANETTE DENNISSON
11	12/6	10:50-12:20	10 番教室	Data interpretation	Creating and analyzing data for presentation	JEANETTE DENNISSON
12	12/13	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
13	12/20	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
14	1/10	10:50-12:20	10 番教室	Student project evaluation		JEANETTE DENNISSON
15	1/17	10:50-12:20	10 番教室	ORAL TEST Week	No regular class	JEANETTE DENNISSON

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 50% assignments and quizzes: 25% final discussion test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching

sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

Students should sign up to www.eliademy.com to access course content.

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000100																																																																																																											
科目名	英語 c																																																																																																											
担当教員	Miya Marutsuka																																																																																																											
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																									
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																												
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																												
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Discussion</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr><tr><td>14</td><td>1/10</td><td>10:50-12:20</td><td>3 番教室</td><td>Activities</td><td>Group Assignment</td><td>Miya Marut suka</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka	2	10/4	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion	Miya Marut suka	3	10/11	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion	Miya Marut suka	4	10/18	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion	Miya Marut suka	5	10/25	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	6	11/1	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	7	11/8	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion	Miya Marut suka	8	11/15	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion	Miya Marut suka	9	11/22	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	10	11/29	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	11	12/6	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion	Miya Marut suka	12	12/13	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	13	12/20	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka	14	1/10	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	9/27	10:50-12:20	3 番教室	Orientation	Course Introduction	Miya Marut suka																																																																																																						
2	10/4	10:50-12:20	3 番教室	Topic 1	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
3	10/11	10:50-12:20	3 番教室	Topic 2	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
4	10/18	10:50-12:20	3 番教室	Topic 3	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
5	10/25	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
6	11/1	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
7	11/8	10:50-12:20	3 番教室	Topic 4	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
8	11/15	10:50-12:20	3 番教室	Topic 5	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
9	11/22	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
10	11/29	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
11	12/6	10:50-12:20	3 番教室	Topic 6	Discussion	Miya Marut suka																																																																																																						
12	12/13	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
13	12/20	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						
14	1/10	10:50-12:20	3 番教室	Activities	Group Assignment	Miya Marut suka																																																																																																						

15	1/17	10:50-12:20	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	Miya Marut suka	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: Participation:30%, Quizzes:25%, Group Assignments:20%, Final Discussion Test:25% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000097																																																																																																																		
科目名	英語 c																																																																																																																		
担当教員	菅原 未宇																																																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Presentation Practice 1</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Presentation Practice 2</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Presentation Practice 3</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Presentation Practice 4</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Presentation Practice 5</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Presentation Practice 6</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Presentation Practice 7</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Presentation Practice 8</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Presentation Practice 9</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 10</td><td>Presentation Practice 10</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 11</td><td>Presentation Practice 11</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Topic 12</td><td>Presentation Practice 12</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>14</td><td>1/10</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>Pre-test Preparation</td><td>Presentation Practice 13</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>15</td><td>1/17</td><td>10:50-12:20</td><td>2 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td><td>菅原 未宇</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	10:50-12:20	2 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇	2	10/4	10:50-12:20	2 番教室	Topic 1	Presentation Practice 1	菅原 未宇	3	10/11	10:50-12:20	2 番教室	Topic 2	Presentation Practice 2	菅原 未宇	4	10/18	10:50-12:20	2 番教室	Topic 3	Presentation Practice 3	菅原 未宇	5	10/25	10:50-12:20	2 番教室	Topic 4	Presentation Practice 4	菅原 未宇	6	11/1	10:50-12:20	2 番教室	Topic 5	Presentation Practice 5	菅原 未宇	7	11/8	10:50-12:20	2 番教室	Topic 6	Presentation Practice 6	菅原 未宇	8	11/15	10:50-12:20	2 番教室	Topic 7	Presentation Practice 7	菅原 未宇	9	11/22	10:50-12:20	2 番教室	Topic 8	Presentation Practice 8	菅原 未宇	10	11/29	10:50-12:20	2 番教室	Topic 9	Presentation Practice 9	菅原 未宇	11	12/6	10:50-12:20	2 番教室	Topic 10	Presentation Practice 10	菅原 未宇	12	12/13	10:50-12:20	2 番教室	Topic 11	Presentation Practice 11	菅原 未宇	13	12/20	10:50-12:20	2 番教室	Topic 12	Presentation Practice 12	菅原 未宇	14	1/10	10:50-12:20	2 番教室	Pre-test Preparation	Presentation Practice 13	菅原 未宇	15	1/17	10:50-12:20	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	菅原 未宇
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	9/27	10:50-12:20	2 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇																																																																																																													
2	10/4	10:50-12:20	2 番教室	Topic 1	Presentation Practice 1	菅原 未宇																																																																																																													
3	10/11	10:50-12:20	2 番教室	Topic 2	Presentation Practice 2	菅原 未宇																																																																																																													
4	10/18	10:50-12:20	2 番教室	Topic 3	Presentation Practice 3	菅原 未宇																																																																																																													
5	10/25	10:50-12:20	2 番教室	Topic 4	Presentation Practice 4	菅原 未宇																																																																																																													
6	11/1	10:50-12:20	2 番教室	Topic 5	Presentation Practice 5	菅原 未宇																																																																																																													
7	11/8	10:50-12:20	2 番教室	Topic 6	Presentation Practice 6	菅原 未宇																																																																																																													
8	11/15	10:50-12:20	2 番教室	Topic 7	Presentation Practice 7	菅原 未宇																																																																																																													
9	11/22	10:50-12:20	2 番教室	Topic 8	Presentation Practice 8	菅原 未宇																																																																																																													
10	11/29	10:50-12:20	2 番教室	Topic 9	Presentation Practice 9	菅原 未宇																																																																																																													
11	12/6	10:50-12:20	2 番教室	Topic 10	Presentation Practice 10	菅原 未宇																																																																																																													
12	12/13	10:50-12:20	2 番教室	Topic 11	Presentation Practice 11	菅原 未宇																																																																																																													
13	12/20	10:50-12:20	2 番教室	Topic 12	Presentation Practice 12	菅原 未宇																																																																																																													
14	1/10	10:50-12:20	2 番教室	Pre-test Preparation	Presentation Practice 13	菅原 未宇																																																																																																													
15	1/17	10:50-12:20	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	菅原 未宇																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法 評価: participation: 60% discussion test: 40% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000117																																																																																																				
科目名	英語 d																																																																																																				
担当教員	PATRICK FOSS																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																		
・曜日・時間: 水曜1限 ・対象: 口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																																																																					
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	2	10/3	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	3	10/10	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	4	10/17	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	5	10/24	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	6	10/31	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	7	11/7	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	8	11/14	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	9	11/21	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	10	11/28	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	11	12/5	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	12	12/12	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	13	12/19	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	9/26	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS																																																																																															
2	10/3	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
3	10/10	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
4	10/17	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
5	10/24	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
6	10/31	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
7	11/7	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
8	11/14	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
9	11/21	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
10	11/28	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
11	12/5	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
12	12/12	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
13	12/19	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															

			習室	Project	Activities	OSS	
14	1/9	09:10-10:40	計算機実 習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	
15	1/16	09:10-10:40	計算機実 習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: participation 20% summaries 15% presentation assignments 35% research paper 30%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10							
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10							
管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000103					
科目名	英語 d					
担当教員	PATRICK FOSS					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.						
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS
2	10/3	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
3	10/10	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
4	10/17	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
5	10/24	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
6	10/31	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
7	11/7	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
8	11/14	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
9	11/21	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
10	11/28	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
11	12/5	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
12	12/12	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS

13	12/19	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	
14	1/9	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	
15	1/16	10:50-12:20	計算機実習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK FOSS	
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: participation 20% summaries 15% presentation assignments 35% research paper 30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先 PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000104						
科目名	英語 d						
担当教員	畔柳 和代						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・限:水曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.							
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.							
授業の到達目標							
To improve the ability to read different types of written works effectively.							
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.							
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.							
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
2	10/3	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
3	10/10	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
4	10/17	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
5	10/24	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
6	10/31	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
7	11/7	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
8	11/14	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
9	11/21	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
10	11/28	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
11	12/5	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
12	12/12	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
13	12/19	10:50-12:20		Reading Material 12	a Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施

14	1/9	10:50-12:20		Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
15	1/16	10:50-12:20		English Oral Test	Poster Presentation	畔柳 和代	図書館セミナー室 A にて実施
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments: 35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.							
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室							

時間割番号	000107					
科目名	英語 d					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜2限 ・対象学科:医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	10:50-12:20	2 番教室	Guidance	Course Instruction	猪熊 恵子
2	10/3	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	10/10	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	10/17	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	10/24	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	10/31	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	11/7	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	11/14	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	11/21	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	11/28	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	12/5	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	12/12	10:50-12:20	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	12/19	10:50-12:20	2 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
14	1/9	10:50-12:20	2 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
15	1/16	10:50-12:20	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊 恵子
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000108																																																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																																																		
担当教員	畔柳 和代																																																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・限:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>3</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>4</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>5</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>6</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>7</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>8</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>9</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>10</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>11</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>12</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>13</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>13 Reading Material 12</td><td>a Quiz and a Short Assignment</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>14</td><td>1/9</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>Review</td><td>Comments and Suggestions</td><td>畔柳 和代</td></tr><tr><td>15</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td>3 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td><td>畔柳 和代</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/26	13:10-14:40	3 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	10/3	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	10/10	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	10/17	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	10/24	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	10/31	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	11/7	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	11/14	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	11/21	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	11/28	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	12/5	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	12/12	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	12/19	13:10-14:40	3 番教室	13 Reading Material 12	a Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代	14	1/9	13:10-14:40	3 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代	15	1/16	13:10-14:40	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	9/26	13:10-14:40	3 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																													
2	10/3	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
3	10/10	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
4	10/17	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
5	10/24	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
6	10/31	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
7	11/7	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
8	11/14	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
9	11/21	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
10	11/28	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
11	12/5	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
12	12/12	13:10-14:40	3 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
13	12/19	13:10-14:40	3 番教室	13 Reading Material 12	a Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代																																																																																																													
14	1/9	13:10-14:40	3 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代																																																																																																													
15	1/16	13:10-14:40	3 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	畔柳 和代																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法 評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)																																																																																																																			

・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.

連絡先

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000106					
科目名	英語 d					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	4 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子
2	10/3	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	10/10	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	10/17	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	10/24	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	10/31	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	11/7	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	11/14	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	11/21	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	11/28	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	12/5	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	12/12	13:10-14:40	4 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	12/19	13:10-14:40	4 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
14	1/9	13:10-14:40	4 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
15	1/16	13:10-14:40	4 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊 恵子
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000098																																																																																																				
科目名	英語 d																																																																																																				
担当教員																																																																																																					
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																		
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																																																																					
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	2	10/4	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	3	10/11	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	4	10/18	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	5	10/25	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	6	11/1	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	7	11/8	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	8	11/15	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	9	11/22	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	10	11/29	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	11	12/6	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	12	12/13	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	13	12/20	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	9/27	09:10-10:40	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS																																																																																															
2	10/4	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
3	10/11	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
4	10/18	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
5	10/25	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
6	11/1	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
7	11/8	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
8	11/15	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
9	11/22	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
10	11/29	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
11	12/6	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
12	12/13	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
13	12/20	09:10-10:40	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															

			習室	Project	Activities	OSS	
14	1/10	09:10-10:40	計算機実 習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	
15	1/17	09:10-10:40	計算機実 習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: participation 20% summaries 15% presentation assignments 35% research paper 30%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							

時間割番号	000110					
科目名	英語 d					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.						
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/4	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/11	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/18	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/25	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/1	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/8	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/15	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/22	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	11/29	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/6	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/13	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	12/20	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	a Quiz and a Short Assignment	畔柳 和代
14	1/10	09:10-10:40	11 番教室	Review	Comments and suggestions	畔柳 和代

			室				
15	1/17	09:10-10:40	11 番教 室	English Oral Test	Poster Presentation	畔柳 和代	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%							
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.							
連絡先							
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室							

時間割番号	000113																																																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																																																		
担当教員	菅原 未宇																																																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>14</td><td>1/10</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>Review</td><td>In-class Exam</td><td>菅原 未宇</td></tr><tr><td>15</td><td>1/17</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td><td>菅原 未宇</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇	2	10/4	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	3	10/11	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	4	10/18	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	5	10/25	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	6	11/1	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	7	11/8	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	8	11/15	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	9	11/22	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	10	11/29	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	11	12/6	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	12	12/13	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	13	12/20	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	菅原 未宇	14	1/10	09:10-10:40	2 番教室	Review	In-class Exam	菅原 未宇	15	1/17	09:10-10:40	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	菅原 未宇
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	9/27	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	菅原 未宇																																																																																																													
2	10/4	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
3	10/11	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
4	10/18	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
5	10/25	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
6	11/1	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
7	11/8	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
8	11/15	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
9	11/22	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
10	11/29	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
11	12/6	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
12	12/13	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
13	12/20	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	菅原 未宇																																																																																																													
14	1/10	09:10-10:40	2 番教室	Review	In-class Exam	菅原 未宇																																																																																																													
15	1/17	09:10-10:40	2 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	菅原 未宇																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法																																																																																																																			

評価: participation and preparation: 40% quizzes and other works: 40% final exam: 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

時間割番号	000109																																																																																																																		
科目名	英語 d																																																																																																																		
担当教員	猪熊 恵子																																																																																																																		
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																																
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).																																																																																																																			
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>14</td><td>1/10</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr><tr><td>15</td><td>1/17</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>English Oral Test</td><td>Poster Presentation</td><td>猪熊 恵子</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	10/4	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	10/11	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	10/18	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	10/25	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	11/1	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	11/8	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	11/15	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	11/22	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	11/29	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	12/6	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	12/13	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	12/20	09:10-10:40	5 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	14	1/10	09:10-10:40	5 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子	15	1/17	09:10-10:40	5 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	9/27	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	10/4	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	10/11	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	10/18	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	10/25	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	11/1	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	11/8	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	11/15	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	11/22	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	11/29	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	12/6	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	12/13	09:10-10:40	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	12/20	09:10-10:40	5 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
14	1/10	09:10-10:40	5 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	1/17	09:10-10:40	5 番教室	English Oral Test	Poster Presentation	猪熊 恵子																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.																																																																																																																			
成績評価の方法 評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)																																																																																																																			

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000102																																																																																																				
科目名	英語 d																																																																																																				
担当教員	PATRICK FOSS																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1																																																																																																		
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)																																																																																																					
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.																																																																																																					
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/27</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/4</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/11</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 1 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/18</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>11/1</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/8</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 2 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>11/15</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>11/22</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>10</td><td>11/29</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>11</td><td>12/6</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 3 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>12</td><td>12/13</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>13</td><td>12/20</td><td>10:50-12:20</td><td>計算機実習室</td><td>Topic 4 Research Project</td><td>Reading/Writing/Presentation Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/27	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	2	10/4	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	3	10/11	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	4	10/18	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	5	10/25	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	6	11/1	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	7	11/8	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	8	11/15	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	9	11/22	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	10	11/29	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	11	12/6	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	12	12/13	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	13	12/20	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	9/27	10:50-12:20	計算機実習室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS																																																																																															
2	10/4	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
3	10/11	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
4	10/18	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
5	10/25	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
6	11/1	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
7	11/8	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
8	11/15	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
9	11/22	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
10	11/29	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
11	12/6	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
12	12/13	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															
13	12/20	10:50-12:20	計算機実習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																																																																															

			習室	Project	Activities	OSS	
14	1/10	10:50-12:20	計算機実 習室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	
15	1/17	10:50-12:20	計算機実 習室	Oral Test	Oral Test	PATRICK F OSS	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: participation 20% summaries 15% presentation assignments 35% research paper 30%							
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先							
PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10							
毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10							
管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000112					
科目名	英語 d					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子
2	10/4	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
3	10/11	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
4	10/18	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
5	10/25	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
6	11/1	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
7	11/8	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
8	11/15	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
9	11/22	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	11/29	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	12/6	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	12/13	10:50-12:20	5 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	12/20	10:50-12:20	5 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
14	1/10	10:50-12:20	5 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
15	1/17	10:50-12:20	5 番教室	English Oral Exam	Poster Presentation	猪熊 恵子
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30% 再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.
連絡先 猪熊 恵子 inokuma.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 猪熊 恵子 水曜日 12時30分～13時 木曜日 12時30分～13時20分 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000111					
科目名	英語 d					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表4－5)						
授業の目的、概要等						
Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.						
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.						
授業の到達目標						
To improve the ability to read different types of written works effectively.						
To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.						
To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.						
To develop the ability to present the results of research-based writing (high proficiency classes only).						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代
2	10/4	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
3	10/11	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
4	10/18	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
5	10/25	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
6	11/1	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
7	11/8	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
8	11/15	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
9	11/22	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	11/29	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	12/6	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	12/13	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	12/20	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 12	a quiz and a short assignment	畔柳 和代
14	1/10	10:50-12:20	11 番教室	Review	comments and suggestions	畔柳 和代

			室				
15	1/17	10:50-12:20	11 番教 室	English Oral Test	Poster Presentation	畔柳 和代	
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Week 1: Orientation							
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Week 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
評価: class participation:25%, quizzes+in-class writing:40%, assignments:35%							
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)							
・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修、および oral test の受験は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。							
参照ホームページ							
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad, and independent study resources.							
連絡先							
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室							

時間割番号	000158			
科目名	日本語 a			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	前期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
東京医科歯科大学での 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
2	4/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
3	5/7	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
4	5/14	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
5	5/21	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
6	5/28	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
7	6/4	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
8	6/11	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
9	6/18	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
10	6/25	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
11	7/2	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
12	7/9	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
13	7/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
14	7/30	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
15	8/1	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
講義、読解、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法				

授業参加度 40% 宿題 30%、期末レポート 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末試験を実施しない。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000159			
科目名	日本語 b			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	前期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
現代日本社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
東京医科歯科大における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
2	4/25	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
3	5/2	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
4	5/9	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
5	5/16	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
6	5/23	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
7	5/30	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
8	6/6	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
9	6/13	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
10	6/20	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
11	6/27	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
12	7/4	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
13	7/11	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
14	7/18	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
15	7/25	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法				

授業参加度 40% 宿題 30%、期末レポート 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末試験を実施しない。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000160			
科目名	日本語 c			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	後期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み、議論することで、日本の文化・社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
2	10/15	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
3	10/22	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
4	10/29	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
5	11/5	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
6	11/12	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
7	11/19	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
8	11/26	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
9	12/3	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
10	12/10	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
11	12/17	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
12	1/7	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
13	1/21	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
14	1/23	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
15	1/28	14:50-16:20	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
講義、読解、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				

成績評価の方法 授業参加度 40% 宿題 30%、期末レポート 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末試験を実施しない。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000161			
科目名	日本語 d			
担当教員	今村 圭介			
開講時期	後期	対象年次	1	
主な講義場所				
12 番教室				
授業の目的、概要等				
現代社会や文化に関するビデオを見ながら、ディスカッションを行うことで、日本・自国を中心に文化・社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。				
また、口頭及び小論文演習を通じて日本語で論理的な表現力の獲得を目指す。				
授業の到達目標				
東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
2	10/3	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
3	10/10	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
4	10/17	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
5	10/24	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
6	10/31	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
7	11/7	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
8	11/14	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
9	11/21	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
10	11/28	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
11	12/5	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
12	12/12	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
13	12/19	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
14	1/9	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
15	1/16	13:10-14:40	12 番教室	今村 圭介
授業方法				
ビデオ（聴解）、ディスカッション、発表				
授業内容				
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法				

授業参加度 40% 宿題 30%、期末レポート 30%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は再提出することとする。
試験の受験資格 期末試験を実施しない。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/ の総合点で 4 単位まとめて評価する。
連絡先 Imamura.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:00-PM.1:00

時間割番号	000163						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション;アルファベットと発音とあいさつ1:教科書 6～9 ページ。	シンチンガー エミ	教科書を持ってくる。辞書は授業中に説明を受けてから購入してもよい。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/23	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ 2; 第 1 課前半; 7～10 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/7	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課と第 2 課前半; 10 と 14 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
4	5/14	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a4	第 2 課と「食べ物・飲み物」のプリント。14 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
5	5/21	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a5	第 3 課前半。18 ページ。家族についてのプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定さ

							れたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	5/28	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a6	第 3 課。18 ページ。家族についてのプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	6/4	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a7	第 4 課前半。22 ページ。趣味についてのプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
8	6/11	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a8	第 4 課。22 ページと 25 ページ。趣味についてのプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
9	6/18	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a9	第 5 課前半。26 ページ。と「趣味」のプリント。週末の予定、未来の予定についての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
10	6/25	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a10	第 5 課。26 と 29 ページ。週末、未来の予定と出来ること、やりたいことについて等の質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
11	7/2	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a11	第6課前半。30ページ。プリント。週末や未来の予定、できること、乗り物について等の質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
12	7/9	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a12	第6課。30ページ。プリント。様々な質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予

							習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
13	7/18	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語 a13	第6課。30ページ。プリント。様々な質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
14	7/23	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a14	第1課から6課までと様々なプリントの復習。面接試験の練習。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。次回に向けて:試験勉強。今まで学んだところを復習しておく。
15	7/30	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語 a15	ドイツ語 ab 筆記試験	シンチンガー エミ	遅刻、欠席をしないこと。
授業方法							
講義と演習による							
授業内容							
前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。							
独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。							
成績評価の方法							
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。							
再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。							
予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。							
予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。							
試験の受験資格							
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席							
教科書							
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤真・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016							
教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。							
これらは授業中に配布しますので注意してください。							
参考書							
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010							
新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008							
アクセス独和辞典/在間進 編:三修社, 2010							
代表的な独和辞典を挙げておきます。							
辞書については文法の 1 回目の授業で説明します。							
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、							
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。							

携帯に入っている辞書、スマートフォンに入っている辞書は
使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上の授業を履修していないと試験を受けられません。 授業に積極的に参加し、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000165						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ 1。6～8 ページ。	シンチンガー エミ	教科書を購入して持ってくること。辞書は授業中に説明を受けてからでよい。授業内容の進み方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/23	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ。第 1 課。7～10 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。
3	5/7	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課と第 2 課前半。10 と 14 ページ。「食べ物と飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
4	5/14	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a4	第 2 課、14 ページ。と「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
5	5/21	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a5	第 3 課前半。18 ページ。「食べ物・	シンチンガー	教科書と独和辞

					飲み物」のプリント。	エミ	典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
6	5/28	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a6	第3 課。18 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	6/4	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a7	第3 課と第4 課前半。18 と 22 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/11	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a8	第4 課。22 と 25 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/18	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a9	第4 課と第5 課の前半。22、25 と 26 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/25	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a10	第5 課。26 と 29 ページ。「家族」のプリント。「趣味」のプリント。週末の予定の質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	7/2	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a11	第5 課と第6 課前半。26、29 と 30 ページ。「趣味」のプリント。週末と未来の予定、できることなどについての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/9	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a12	第6 課。30 ページ。「趣味」のプリント。週末と未来の予定、できるこ	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定さ

					と、乗り物等についての質問。		れたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
13	7/18	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a13	第 6 課。30 ページ。「趣味」のプリント。週末と未来の予定、できること、乗り物等についての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習をしてくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
14	7/23	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a14	第 1 課から第 6 課とこれまで学んだことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典は必携。試験準備：今まで学んだところを復習しておく。
15	7/30	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語 a15	筆記試験	シンチンガー エミ	全クラス共通でドイツ語 ab の筆記試験を行う。遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価：授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験（期末考査）の成績が 50 パーセント。

再評価：有（再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん！ドイツ語：ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著.：同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆.：同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編.：三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編.：三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、
電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、
紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験を受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000164						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	上田 知夫						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながらドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ1。教科書6～8 ページ。	上田 知夫	教科書は購入して持ってくること。辞書は授業中に説明があった後購入してもよい。授業内容の進み方は大まかなもので、クラスによって異なることがあると理解すること。
2	4/25	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2;教科書第1課前半。7～10ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/2	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a3	第1課と第2課前半。10 と 14 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
4	5/9	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a4	第2 課。14 ページ。「飲み物と食べ物」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
5	5/16	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a5	第2 課と第3 課の前半。14 と 18 ページ。「飲み物と食べ物」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プ

							プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
6	5/23	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a6	第 3 課。18 ページ。「飲み物と食べ物」のプリント。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	5/30	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a7	第 3 課と第 4 課の前半。18 と 22 ページ。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
8	6/6	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a8	第 4 課。22 と 25 ページ。家族のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
9	6/13	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a9	第 4 課と第 5 課前半。22、25 と 26 ページ。趣味のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
10	6/20	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a10	第 5 課。26 と 29 ページ。趣味についてのプリント。週末の予定についての質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
11	6/27	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a11	第 5 課と第 6 課前半。26、29 と 30 ページ。趣味についてのプリント。週末と未来の予定、できることについての質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
12	7/4	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a12	第 6 課。30 ページ。趣味についてのプリント。週末と未来の予定、できること、やりたいこと、乗り物などについての質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教

							科書と一緒に持ってくること。
13	7/11	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a13	第 6 課。30 ページ。趣味についてのプリント。週末や未来の予定、できること、どの乗り物を使うかななどの質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
14	7/25	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語 a14	今まで学んだことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	上田 知夫	筆記試験は7月30日に全クラス合同で、面接試験は8月1日に行います。遅刻・欠席しないこと。
15	8/1	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語 a15	面接試験。	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000170						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返して、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。							
2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ1. 教科書 6～8 ページ。	シンチンガー エミ	教科書を持っていくこと。辞書は授業中に説明を受けてから購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/25	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2。教科書第1 課前半。7～10 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。
3	5/2	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a3	第1 課と第2 課の前半。10 と 14 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書と一緒に持つていくこと。
4	5/9	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a4	第2 課。14 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書

							と一緒に持ってくる こと。
5	5/16	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課と第 3 課前半。14 と 18 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
6	5/23	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a6	第 3 課。18 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
7	5/30	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a7	第 3 課と第 4 課の前半。18 と 22 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
8	6/6	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a8	第 4 課。22 と 25 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
9	6/13	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a9	第 4 課と第 5 課の前半。22、25 と 26 ページ。「家族」と「趣味」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
10	6/20	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a10	第 5 課。26 と 29 ページ。「趣味」のプリント。週末の予定、未来の予定についての質問。できることについての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。

11	6/27	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a11	第 5 課と第 6 課の前半。26、29 と 30 ページ。「趣味」のプリント。週末の予定やできることについての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
12	7/4	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a12	第 6 課。30 ページ。「趣味」のプリント。週末の予定、乗り物についての質問など。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
13	7/11	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a13	第 6 課。30 ページ。「趣味」のプリント。週末や未来の予定、できごとや乗り物などについての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
14	7/25	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語 a14	今まで学んできたことの復習。様々なプリントを使って面接試験の練習。	シンチンガー エミ	筆記試験は 7 月 30 日に全クラス合同で、面接試験は 8 月 1 日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	8/1	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語 a15	面接試験	シンチンガー エミ	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん！ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著,: 同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,: 三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編,: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000173						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返して、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ1。教科書 6～8 ページ。	シンチンガー エミ	教科書は購入して持ってくること。 辞書は授業中に説明があった後購入してもよい。 授業内容の進み方は大まかなもので、クラスごとに進度が異なることもあると理解すること。
2	4/25	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a2	発音とあいさつ2。教科書第1 課前半。7～10 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。 指定されたところまで予習してくること。
3	5/2	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a3	教科書第1 課と第2 課の前半。10 と 14 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。 指定されたところまで予習してくること。 プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
4	5/9	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a4	第2 課。14 ページ。「食べ物・飲み物」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。 指定されたところまで予習してくること。 プリントはいつも教科書

							と一緒に持ってくる こと。
5	5/16	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a5	第 2 課と第 3 課前半。14 と 18 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
6	5/23	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a6	第 3 課。18 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
7	5/30	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a7	第 3 課と第 4 課の前半。18 と 22 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
8	6/6	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a8	第 4 課。22 と 25 ページ。「家族」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
9	6/13	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a9	第 4 課と第 5 課の前半。22、25 と 26 ページ。「趣味」のプリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。
10	6/20	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a10	第 5 課。26 と 29 ページ。「趣味」のプリント。週末の予定、未来の予定、できることなどについての質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたこ ろまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってくる こと。

11	6/27	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a11	第 5 課と第 6 課の前半。26、29 と 30 ページ。「趣味」のプリント。週末の予定、できることなどの質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
12	7/4	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a12	第6課。30 ページ。「趣味」、週末の予定、できること、乗り物についての質問など。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
13	7/11	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a13	第6課。30 ページ。週末の予定、未来の予定、できること、したいこと、などの質問。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持つてくること。
14	7/25	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語 a14	今まで学んだことの復習。プリントなどを使って面接試験の練習。	シンチンガー エミ	筆記試験は 7 月 30 日に全クラス共通で、面接試験は 8 月 1 日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	8/1	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語 a15	面接試験	シンチンガー エミ	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん！ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので、注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

連絡先

schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000166						
科目名	ドイツ語 a						
担当教員	上田 知夫						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、b,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 a、後期 c、は、会話、聞き取り、読解の練習をしながら、ドイツの文化と日常について学びます。聞いたり、話したり、読んだりする反復練習を繰り返し、生きたドイツ語を身につけることと、ドイツについて知ることを目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。							
2)ドイツ語 a は、発音と綴りを学ぶことによってドイツ語を読めるようになること、また会話としては、簡単な自己紹介ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a1	オリエンテーション: アルファベットと発音とあいさつ1。6～8 ページ。	上田 知夫	教科書を購入して持ってくること。辞書は授業中の説明を受けてからでよい。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/25	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a2	アルファベットと発音とあいさつ 2. 第 1 課前半。7～10 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。
3	5/2	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a3	第 1 課と第 2 課前半。10 と 14 ページ。「飲み物と食べ物」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
4	5/9	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a4	第 2 課。14 ページ。「飲み物と食べ物」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。

5	5/16	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a5	第2 課と第3 課前半。14 と 18 ページ。「家族」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
6	5/23	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a6	第3 課。18 ページ。「家族」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
7	5/30	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a7	第3 課から第4 課前半。18 と 22 ページ。「家族」のプリント。「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
8	6/6	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a8	第4 課。22 と 25 ページ。「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
9	6/13	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a9	第4 課から第5 課前半。22、25 と 26 ページ。「家族」と「趣味」のプリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
10	6/20	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a10	第5 課。26 と 29 ページ。週末の予定、未来の予定、できることについての質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
11	6/27	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a11	第5 課から第6 課前半。26、29 と 30 ページ。週末の予定、趣味などについての質問。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくること。
12	7/4	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a12	第6 課。30 ページ。週末や未来の	上田 知夫	教科書と独和辞

					予定、できることや乗り物についての質問。		典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
13	7/11	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a13	第 6 課。30 ページ。様々な質問の練習。	上田 知夫	教科書と独和辞典は必携。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
14	7/25	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語 a14	ここまで学んだことの復習。面接試験の練習。	上田 知夫	筆記試験は 7 月 30 日に全クラス共通で行われる。面接試験は 8 月 1 日に行われる。
15	8/1	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語 a15	面接試験	上田 知夫	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第 7 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

独自のプリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習を行います。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著, 同学社, 2016

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

これらは授業中に配られますので注意してください。

参考書

アボロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編, 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。
携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。
積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。

時間割番号	000167						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音1。ドイツ語の語順。	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後に購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/23	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b2	発音。動詞の現在人称変化1、動詞の位置。第1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題を積極的にやること。
3	5/7	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化、sein/haben の現在人称変化。第1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られる。練習問題を積極的にやること。

4	5/14	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b4	第1課の復習。定冠詞と名詞の格変化。第2課15～17ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
5	5/21	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b5	不定冠詞と名詞の格変化。第2課15～17ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
6	5/28	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b6	第2課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第3課19～21ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
7	6/4	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の人称変化。命令形。第3課19～21ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
8	6/11	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b8	定冠詞類の格変化。第4課23～25ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
9	6/18	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b9	不定冠詞類の格変化。第4課23～25ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
10	6/25	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b10	未来時称と話法の助動詞。第5課27～29ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。練習問題を積極的にやること。
11	7/2	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞。第5課	立川 睦美	教科書と独和辞

					27～29 ページ。		典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。練習問 題を積極的にや ること。
12	7/9	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第6課 31～ 33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。練習問 題を積極的にや ること。
13	7/18	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第6課 31～ 33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。練習問 題を積極的にや ること。
14	7/23	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b14	第1課から第6課までの復習と練 習。	立川 睦美	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。練習問 題を積極的にや ること。
15	7/30	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 ab.筆記試験。	立川 睦美	遅刻・欠席をしな いこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回辞書と教科書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに
異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考
査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, 三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編, 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000171						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	白井 史人						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音、ドイツ語の語順。	白井 史人	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/23	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b2	発音。動詞の現在人称変化1、動詞の位置。第1 課 11～13 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/7	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化、sein/haben の現在人称変化。第1 課 11～13 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	5/14	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b4	第1 課復習。定冠詞と名詞の格変化。第2 課 15～17 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/21	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b5	不定冠詞と名詞の格変化。第2 課 15～17 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/28	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b6	第2 課復習。変音する動詞の現在人称変化。第3 課 19～21 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/4	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞。命令形。第3 課 19～21 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/11	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b8	定冠詞類と名詞の格変化。第4 課 23～25 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/18	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b9	不定冠詞類と名詞の格変化。第 4 課 23～25 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/25	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b10	未来時称と話法の助動詞。第 5 課 27～29 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/2	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞。第 5 課 27～29 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/9	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第 6 課 31～33 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

							と。
13	7/18	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第6課31～33 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/23	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b14	第1課から第6課までの復習と練習。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	7/30	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 ab, 筆記試験	白井 史人	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000174						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	白井 史人						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b,は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音。ドイツ語の語順。	白井 史人	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/23	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b2	発音。動詞の現在人称変化、動詞の位置。第1課 11～13 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/7	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化、sein/habenの現在人称変化。第1課 11～13 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	5/14	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b4	第1課の復習。定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/21	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b5	不定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/28	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b6	第2課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第3課 19～21 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/4	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の現在人称変化。命令形。第3課 19～21 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/11	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b8	定冠詞類と名詞の格変化。第4課 23～25 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/18	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b9	不定冠詞類と名詞の格変化。第 4 課 23～25 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/25	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b10	未来時称と話法の助動詞。第 5 課 27～29 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/2	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞。第 5 課 27～29 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/9	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配。第 6 課 31～33 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

							と。
13	7/18	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配。第6課31～33ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/23	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b14	今まで学んだことの復習と練習。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	7/30	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 ab, 筆記試験	白井 史人	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000168						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音、ドイツ語の語順。教科書 6～8 ページ。	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/23	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b2	発音、動詞の現在人称変化。第 1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/7	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化、sein/haben の現在人称変化、動詞の位置。第 1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	5/14	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b4	第1課の復習。定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/21	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b5	不定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/28	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b6	第2課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第3課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	6/4	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b7	変音する動詞の現在人称変化。命令形。第3課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/11	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b8	定冠詞類の格変化。第4課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/18	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b9	不定冠詞類の格変化。第 4 課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/25	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b10	未来時称と話法の助動詞1。第 5 課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	7/2	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞2。第 5 課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/9	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b12	前置詞の格支配1。第 6 課 31～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	7/18	13:10-14:40	3 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配2。第6課31～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/23	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b14	第1課から第6課までの復習と練習。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	7/30	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語b15	ドイツ語 ab,筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止です。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000169						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,c,d とあわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期 b、後期 d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。							
2)ドイツ語 b は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音1。ドイツ語の語順。教科書 6～9 ページ。	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/25	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b2	アルファベットと発音 2。動詞の現在人称変化1。第 1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/2	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化。動詞の位置。第 1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	5/9	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b4	sein/haben の現在人称変化。第 1 課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/16	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b5	定冠詞と名詞の格変化。第 2 課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/23	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b6	不定冠詞と名詞の格変化。第 2 課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	5/30	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b7	第 2 課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第 3 課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/6	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b8	変音する動詞の現在人称変化。命令形。第 3 課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/13	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b9	定冠詞類と名詞の格変化。第4課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/20	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b10	不定冠詞類と名詞の格変化。第4課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	6/27	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞。第5課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/4	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b12	未来時称と話法の助動詞。第5課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

							と。
13	7/11	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配1。第6課31～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/25	10:50-12:20	6 番教室	ドイツ語b14	前置詞の格支配2。第6課31～33 ページ。	立川 睦美	筆記試験は7月30日に全クラス共通で行われます。面接試験は8月1日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	8/1	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語b15	面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と独和辞典を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤真・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000172						
科目名	ドイツ語 b						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	前期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 b、は、動詞の現在人称変化、冠詞と名詞の格変化、話法の助動詞と未来時称、前置詞と名詞の格変化、従属の接続詞と副文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b1	オリエンテーション: アルファベットと発音1。ドイツ語の語順。教科書 6～9 ページ。	立川 睦美	教科書は購入しておくこと。辞書は授業中に説明があった後購入したので良い。授業内容の進め方は大まかなもので、クラスによって進度が異なることがあると理解すること。
2	4/25	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b2	アルファベットと発音2。動詞の現在人称変化1。第1課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	5/2	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b3	動詞の現在人称変化。動詞の位置。第1課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	5/9	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b4	sein/haben の現在人称変化。第1課 11～13 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	5/16	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b5	定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	5/23	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b6	不定冠詞と名詞の格変化。第2課 15～17 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	5/30	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b7	第2課の復習。変音する動詞の現在人称変化。第3課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	6/6	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b8	変音する動詞の現在人称変化。命令形。第3課 19～21 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	6/13	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b9	定冠詞類と名詞の格変化。第4課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	6/20	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b10	不定冠詞類と名詞の格変化。第4課 23～25 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	6/27	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b11	未来時称と話法の助動詞。第5課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	7/4	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b12	未来時称と話法の助動詞。第5課 27～29 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

							と。
13	7/11	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b13	前置詞の格支配。第 6 課 31～33 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	7/25	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語b14	前置詞の格支配2。第 6 課 31～33 ページ。	立川 睦美	筆記試験は 7 月 30 日に全クラス共通で行われます。面接試験は 8 月 1 日に行われます。遅刻・欠席しないこと。
15	8/1	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語b15	面接試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

前期には教科書1の第7課までを学ぶことを目指します。毎回教科書と辞書を持ってきてください。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤真・Emi Schinzinger・木村高明:同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編:三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000176						
科目名	ドイツ語 c						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のこと説明ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c1	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
2	10/10	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語c2	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
3	10/15	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c3	ドイツについて1:第 8 課 38 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
4	10/22	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて2:第 8 課 38 と 41 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
5	10/29	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c5	ドイツと周りの国々1:プリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/5	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c6	ドイツと周りの国々2:プリント。ドイツと周りの国々について学んだ	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくるこ

					あと、小テストを行う。この週に行 うか、次の週になるかは進度によ り変わる。		と。指定されたと ころまで予習して くること。プリント はいつも教科書 と一緒に持ってく る。
7	11/12	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c7	教科書第 10 課 46 ページ。休暇の 予定について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
8	11/19	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c8	教科書第 10 課 46 と 49 ページ。 休暇の予定について話す。ハンブ ルグ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
9	11/26	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c9	教科書第 11 課 50 ページ。冬休み や過去の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
10	12/3	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c10	第 11 課 50 と 53 ページ。冬休み や過去の出来事を話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
11	12/10	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c11	第 12 課 54 ページ。一日の出来事 を話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
12	12/17	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c12	第 12 課 54 ページ。一日の出来事 を話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
13	1/7	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c13	第 13 課 58 ページ。道案内、空港 まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
14	1/21	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c14	第 13 課 58 ページ。道案内、空港 まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
15	1/28	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語c15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	シンチンガー エミ	遅刻・欠席しない こと。

授業方法

講義と演習による

授業内容 後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000177						
科目名	ドイツ語 c						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c1	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくる こと。指定された ところまで予習し てくること。
2	10/10	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語c2	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくる こと。指定された ところまで予習し てくること。
3	10/15	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c3	ドイツについて1:第 8 課 38 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくる こと。指定された ところまで予習し てくること。
4	10/22	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2: 第 8 課 38 と 41 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくる こと。指定された ところまで予習し てくること。
5	10/29	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c5	ドイツと周りの国々1:プリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくる こと。指定された ところまで予習し てくること。プリ ントはいつも教科 書と一緒に持っ てくる。
6	11/5	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c6	ドイツと周りの国々2:プリント。ドイツと周りの国々について学んだ	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくるこ

					あと小テストを行う。この週に行うのか次の週になるのかは進度により変わる		と。指定されたところまで予習してくること。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/12	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c7	教科書第 10 課 46 ページ。休暇の予定を話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
8	11/19	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c8	第 10 課 46 と 49 ページ。休暇の予定を話す。ハンブルグ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
9	11/26	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c9	第 11 課 50 ページ。冬休みや過去の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
10	12/3	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c10	第 11 課 50 と 53 ページ。冬休みや過去の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
11	12/10	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c11	第 12 課 54 ページ。一日の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
12	12/17	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c12	第 12 課 54 ページ。一日の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
13	1/7	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c13	第 13 課 58 ページ。道案内、空港まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
14	1/21	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c14	第 13 課 58 ページ。道案内、空港まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくること。
15	1/28	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語c15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	シンチンガー エミ	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容 後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。
成績評価の方法 評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 復習は重要ですので、毎回自宅で復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016 教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000179						
科目名	ドイツ語 c						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c1	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
2	10/3	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c2	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
3	10/17	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c3	ドイツについて1:教科書第 8 課 38 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
4	10/24	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2: 第 8 課 38 と 41 ページ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
5	10/31	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c5	ドイツと周りの国々1:プリント。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/7	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c6	ドイツと周りの国々2:プリント。ドイツと周りの国々について学んだ	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくるこ

					後、小テストを行う。この週に行うのか次の週になるのかは進度により変わる。		と。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/14	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c7	教科書第 10 課 46 ページ。冬休みの予定を話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
8	11/21	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c8	教科書第 10 課 46 と 49 ページ。冬休みの予定を話す。ハンブルグ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
9	11/28	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c9	第 11 課 50 ページ。冬休みや過去の出来事について話す。ハンブルグ。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
10	12/5	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c10	第 11 課 50 と 53 ページ。冬休みや過去の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
11	12/12	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c11	第 12 課 54 ページ。一日の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
12	12/19	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c12	第 12 課 54 ページ。一日の出来事について話す。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
13	1/9	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c13	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
14	1/16	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語c14	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
15	1/23	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことの復習と練習。	シンチンガー エミ	筆記試験は 1 月 28 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席し

							ないこと。
授業方法							
講義と演習による							
授業内容							
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。							
成績評価の方法							
評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。							
試験の受験資格							
期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席							
教科書							
もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinziger, 木村高明 著, 同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書							
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, 三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編, 三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。							
他科目との関連							
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。							
連絡先							
schinzinger.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室							

時間割番号	000175						
科目名	ドイツ語 c						
担当教員	上田 知夫						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、未来のこと、過去のこと説明ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c1	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくる。指定されたところまで予習しておくこと。
2	10/3	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c2	第 7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくる。指定されたところまで予習しておくこと。
3	10/17	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c3	ドイツについて: 第 8 課 38 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくる。指定されたところまで予習しておくこと。
4	10/24	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて 2: 第 8 課 38 と 41 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくる。指定されたところまで予習しておくこと。
5	10/31	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c5	ドイツと周りの国々: プリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくる。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/7	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c6	ドイツと周りの国々: プリント。ドイツと周りの国々について学んだあ	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくるこ

					と小テストを行う。この週に行うのか次の週になるのかは進度により変わる。		と。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/14	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c7	教科書第 10 課 46 ページ。休暇の予定を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
8	11/21	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c8	教科書第 10 課 46 と 49 ページ。休暇の予定を話す。ハンブルグ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
9	11/28	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c9	教科書第 11 課 50 ページ。冬休みや過去の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
10	12/5	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c10	第 11 課 50 と 53 ページ。冬休みや過去の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
11	12/12	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c11	第 12 課 54 ページ。一日の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
12	12/19	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c12	第 12 課 54 ページ。一日の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
13	1/9	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c13	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
14	1/16	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語c14	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
15	1/23	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことの復習。	上田 知夫	筆記試験は 1 月 28 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席し

							ないこと。
授業方法							
講義と演習による							
授業内容							
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。プリントなどを使い、日常的な場面設定で会話の反復練習もします。							
成績評価の方法							
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。							
試験の受験資格							
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席							
教科書							
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinziger・木村高明 著,:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど多様な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書							
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。							
他科目との関連							
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。							

時間割番号	000182					
科目名	ドイツ語 c					
担当教員	シンチンガー エミ					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。						
授業の到達目標						
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。						
2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/26	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c1	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
2	10/3	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c2	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
3	10/17	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c3	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
4	10/24	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c4	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
5	10/31	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c5	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
6	11/7	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c6	シンチンガー エミ	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。

7	11/14	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c7	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
8	11/21	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c8	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
9	11/28	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c9	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
10	12/5	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c10	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
11	12/12	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c11	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
12	12/19	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c12	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
13	1/9	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c13	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
14	1/16	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語c14	シンチンガー エミ	教科書と独和辞 典を持ってくるこ と。指定されたと ころまで予習して くること。
15	1/23	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語c15	シンチンガー エミ	筆記試験は1月 28日に全クラス 共通で行われま す。遅刻・欠席し ないこと。
授業方法 講義と演習による						
授業内容 後期には教科書の第8課から第16課までを学ぶことを目指しますが、第14課と第15課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。						

プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。
成績評価の方法 評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。
試験の受験資格 期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席
教科書 もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本／伊藤眞, Emi Schinzigler, 木村高明 著,:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 アボロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典／在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。
他科目との関連 ドイツ語は a,b,c,d,の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c,は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d,は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受験できません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。
連絡先 schinzigler.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000178						
科目名	ドイツ語 c						
担当教員	上田 知夫						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等							
ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて 1 年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。後期 c、は、読解と会話の練習をしながら、ドイツの文化と日常、ドイツの周りの国々について学びます。生きたドイツ語を身につけることも目的としています。							
授業の到達目標							
1)ドイツ語 a,c、は、ドイツ語 b,dと組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 c は、ドイツと周りの国々について学ぶことと、現在のことだけではなく、過去のこと、未来のことも説明ができるようになることが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c1	第7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
2	10/3	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c2	第7 課 34 ページ。手紙の書き方とフランクフルト。休暇の予定。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
3	10/17	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c3	ドイツについて1:教科書第8課 38 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
4	10/24	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c4	ドイツについて2:第8 課 38 と 41 ページ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。
5	10/31	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c5	ドイツと周りの国々1:プリント。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
6	11/7	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c6	ドイツと周りの国々2:プリント。ドイツと周りの国々について学んだ	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくるこ

					あと、小テストを行う。この週に行うのか次の週になるのかは進度により変わる。		と。指定されたところまで予習してくる。プリントはいつも教科書と一緒に持ってくる。
7	11/14	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c7	教科書第 10 課 46 ページ。休暇の予定について話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
8	11/21	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c8	第 10 課 46 と 49 ページ。休暇の予定について話す。ハンブルグ。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
9	11/28	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c9	第 11 課 50 ページ。冬休みや過去の出来事について話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
10	12/5	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c10	第 11 課 50 と 53 ページ。冬休みや過去の事について話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
11	12/12	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c11	第 12 課 54 ページ。一日の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
12	12/19	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c12	第 12 課 54 ページ。一日の出来事を話す。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
13	1/9	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c13	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
14	1/16	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語c14	第 13 課 58 ページ。道案内; 空港まで。	上田 知夫	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。
15	1/23	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語c15	これまで学んだことの復習と練習。	上田 知夫	筆記試験は 1 月 28 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席し

							ないこと。
授業方法							
講義と演習による							
授業内容							
後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、第 14 課と第 15 課の本文は読まない予定です。授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。 プリントなどを使って、日常的な場面設定で会話の反復練習も行います。							
成績評価の方法							
評価:授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストや面接試験などによる平常点が 50 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 50 パーセント。 再評価:有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。 予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。 予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。							
試験の受験資格							
期末考査・再考査・再試験の受験資格:原則 3 分の 2 以上出席							
教科書							
もちろん!ドイツ語:ドイツ語初級文法読本/伊藤眞, Emi Schinzigler, 木村高明 著,:同学社, 2016 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書							
アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,:同学社, 2010 新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,:三修社, 2008 アクセス独和辞典/在間進 編,:三修社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきます。 辞書については文法の授業で説明しますが、 電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、 紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。 携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。							
他科目との関連							
ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。							
履修上の注意事項							
出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。 積極的に授業に参加して、パートナー練習なども積極的に行うこと。							

時間割番号	000180						
科目名	ドイツ語 d						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/10	10:50-12:20	5 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/15	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d3	7 課の復習。形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	10/22	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第 8 課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/29	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化 1。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/5	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化 2。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/12	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞1。第 10 課 47～49 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/19	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d8	分離動詞の復習。 。第 10 課 47～49 ページ。完了の時称:現在完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/26	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d9	完了時称: 現在完了と過去完了。 第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/3	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞。第 12 課 55～57 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/10	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞の復習。第 12 課 55～57 ページ。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/17	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d12	第 13 課形容詞の比較変化の復 習。59～61 ページ。受動態、第 14 課 63 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	1/7	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d13	受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/21	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課。67 と 69 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/28	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000184																																						
科目名	ドイツ語 d																																						
担当教員	白井 史人																																						
開講時期	後期	対象年次	1																																				
・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する																																							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。																																							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。																																							
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td><td>備考</td></tr><tr><td>1</td><td>10/1</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>ドイツ語d1</td><td>従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。</td><td>白井 史人</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。</td></tr><tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>7 番教室</td><td>ドイツ語d2</td><td>従属の接続詞と副文。動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。</td><td>白井 史人</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。</td></tr><tr><td>3</td><td>10/15</td><td>13:10-14:40</td><td>4 番教室</td><td>ドイツ語d3</td><td>形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。</td><td>白井 史人</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極</td></tr></table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	10/1	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。	2	10/10	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。	3	10/15	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																
1	10/1	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。																																
2	10/10	10:50-12:20	7 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。																																
3	10/15	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極																																

							的に取り組むこと。
4	10/22	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第 8 課 39～41 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/29	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/5	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化 2。第 9 課 43～45 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/12	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞。第 10 課 47～49 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/19	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d8	分離動詞、第 10 課の復習。完了時称:現在完了。第 11 課 51～53 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/26	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d9	完了時称: 現在完了と過去完了。 第 11 課 51～53 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/3	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞。第 12 課 55～57 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/10	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞の復習。第 12 課 55～57 ページ。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/17	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d12	形容詞の比較変化。第 13 課 59～ 61 ページ。 受動態。第 14 課 63 ～65 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	1/7	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d13	受動態。第 14 課 63～65 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/21	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課 67 と 69 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/28	13:10-14:40	4 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	白井 史人	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000181						
科目名	ドイツ語 d						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7 課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/10	13:10-14:40	2 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文。人称代名詞の格変化。第7 課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/15	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8 課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	10/22	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第 8 課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/29	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/5	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/12	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞。第 10 課 47～49 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/19	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d8	分離動詞。第 10 課 47～49 ページの復習。完了時称:現在完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/26	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d9	完了時称・現在完了・過去完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/3	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞第 12 課 55～57 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/10	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞の復習。第 12 課 55～57 ページ。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/17	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d12	第 13 課 59～61 ページ復習。受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	1/7	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d13	第 14 課 63～65 ページ。受動態。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/21	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課 67 と 69 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/28	14:50-16:20	8 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	立川 睦美	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第16課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000185						
科目名	ドイツ語 d						
担当教員	白井 史人						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 月曜4限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/10	13:10-14:40	7 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文、人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/15	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	10/22	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第8課 39～41 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/29	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化。第9課 43～45 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/5	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化。第9課 43～45 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/12	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞。第10課 47～49 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/19	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d8	分離動詞第10課の復習。完了時称:現在完了。第11課 51～53 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/26	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d9	完了時称: 現在完了と過去完了。 第 11 課 51～53 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/3	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞。第 12 課 55～57 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/10	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞の復習。第 12 課 55～57 ページ。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/17	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d12	第 13 課: 形容詞の比較変化の復 習。受動態。第 14 課 63～65 ペ ージ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	1/7	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d13	受動態。第 14 課 63～65 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/21	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課 67 と 69 ページ。	白井 史人	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/28	14:50-16:20	4 番教室	ドイツ語d15	ドイツ語 c.d. 筆記試験	白井 史人	遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が30パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が70パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本/伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典/在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、 ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。 原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000183																																						
科目名	ドイツ語 d																																						
担当教員	立川 睦美																																						
開講時期	後期	対象年次	1																																				
・曜日・時間: 水曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する																																							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。																																							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。																																							
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td><td>備考</td></tr><tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>ドイツ語d1</td><td>従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。</td><td>立川 睦美</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。</td></tr><tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>ドイツ語d2</td><td>従属の接続詞と副文、動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。</td><td>立川 睦美</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。</td></tr><tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>ドイツ語d3</td><td>形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。</td><td>立川 睦美</td><td>教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極</td></tr></table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	9/26	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。	2	10/3	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文、動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。	3	10/17	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																
1	9/26	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。																																
2	10/3	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文、動詞の位置。人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。																																
3	10/17	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習しておくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極																																

							的に取り組むこと。
4	10/24	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第 8 課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/31	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/7	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/14	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞。第 10 課 47～49 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/21	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d8	分離動詞第 10 課の復習。完了時称:現在完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/28	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d9	完了時称: 現在完了と過去完了。 第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/5	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞。第 12 課 55～57 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/12	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞、第 12 課 55～57 ページの復習。形容詞の 比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/19	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d12	形容詞の比較変化、第 13 課 59～ 61 ページの復習。 受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくること。指定されたところまで予習してくる。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこ

							と。
13	1/9	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d13	受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/16	10:50-12:20	8 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課 67 と 69 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/23	13:10-14:40	5 番教室	ドイツ語d15	今まで学んだことの復習と練習。	立川 睦美	筆記試験は 1 月 28 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が 30 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 70 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アボロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭,

鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000186						
科目名	ドイツ語 d						
担当教員	立川 睦美						
開講時期	後期	対象年次	1				
・曜日・時間: 水曜3限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4) 外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象とし、a,b,c,d あわせて1年間で基礎的なドイツ語を身につけることを目指します。前期b、後期d、は、基礎文法を学びます。会話をするためにも、読んで文章を理解するためにも、基礎文法の理解とそれを応用できる力はとても重要ですので、教科書に沿って基礎文法の理解を深めながら、同時に演習形式で様々な応用練習を行っていきます。							
授業の到達目標 1)ドイツ語 a,b,c,d を組み合わせることによって、ドイツ語の文章を辞書を使って訳し、理解できるようになることが目標です。 2)ドイツ語 d は、形容詞、動詞の三基本形と過去時称、分離動詞・非分離動詞、完了時称、話法の助動詞、再帰動詞、受動態、関係代名詞文まで学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/26	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d1	従属の接続詞と副文。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
2	10/3	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d2	従属の接続詞と副文、人称代名詞の格変化。第7課 35～37 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
3	10/17	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d3	形容詞の格変化1。第8課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極

							的に取り組むこと。
4	10/24	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d4	形容詞の格変化2。第 8 課 39～41 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
5	10/31	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d5	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
6	11/7	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d6	動詞の三基本形と過去人称変化。第 9 課 43～45 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
7	11/14	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d7	分離動詞・非分離動詞。第 10 課 47～49 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
8	11/21	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d8	分離動詞、第 10 課の復習。完了時称:現在完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習して

							くること。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
9	11/28	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d9	完了時称。現在完了と過去完了。第 11 課 51～53 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
10	12/5	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d10	再帰代名詞と再帰動詞。第 12 課 55～57 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
11	12/12	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d11	再帰代名詞と再帰動詞、第 12 課の復習。形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
12	12/19	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d12	形容詞の比較変化。第 13 課 59～61 ページ。受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持っていくこと。指定されたところまで予習していくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。

							と。
13	1/9	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d13	受動態。第 14 課 63～65 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
14	1/16	13:10-14:40	8 番教室	ドイツ語d14	es の用法。zu 不定詞の用法。第 15 課 67 と 69 ページ。	立川 睦美	教科書と独和辞典を持ってくこと。指定されたところまで予習してくこと。授業中に随時補充問題のプリントが配られるので注意。練習問題に積極的に取り組むこと。
15	1/23	14:50-16:20	5 番教室	ドイツ語d15	今まで学んだことの復習と練習。	立川 睦美	筆記試験は 1 月 28 日に全クラス共通で行われます。遅刻・欠席しないこと。

授業方法

講義と演習による

授業内容

後期には教科書の第 8 課から第 16 課までを学ぶことを目指しますが、授業内容、到達目標などクラスごとに異なりますので、大まかな目標と理解してください。

成績評価の方法

評価: 授業への積極的な参加、授業中に行われる小テストなどによる平常点が 30 パーセント。学期末に行われる筆記試験(期末考査)の成績が 70 パーセント。

再評価: 有 (再評価方法「ドイツ語」としての学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書と独和辞典は毎回持ってきてください。

予習は毎回どこまで予習すべきか授業中に指示があります。

予習・復習は重要ですので、毎回自宅で予習・復習してください。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則 3 分の 2 以上出席

教科書

もちろん! ドイツ語: ドイツ語初級文法読本／伊藤眞・Emi Schinzinger・木村高明: 同学社, 2016

教科書以外にも独自のプリントなど様々な教材を使用します。それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

アボロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭,

鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008

アクセス独和辞典／在間進 編: 三修社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきます。

辞書については文法の授業で説明しますが、

電子辞書を持っている場合はそれを使うことも可能ですが、

紙の辞書の方が説明が詳しいのでよいと思います。

携帯・スマートフォンに入っている辞書は使用禁止。

他科目との関連

ドイツ語は a,b,c,d の総合点で 4 単位まとめて評価します。ドイツ語 a,c は、会話、聞き取り、読解の総合演習、ドイツ語 b,d は、文法の総合演習、それぞれクラスが指定されます。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員が取る出欠を優先させます。原則 3 分の 2 以上授業を履修しないと試験が受けられません。

積極的に授業に参加してください。

時間割番号	000201					
科目名	フランス語 a					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 月曜3限						
・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4) 外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
授業の到達目標						
1) 基本単語の意味と綴りを身につける。						
2) フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	13:10-14:40	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/23	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
3	5/7	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、être・avoir	中島 ひかる
4	5/14	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
5	5/21	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島 ひかる
6	5/28	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	疑問文	中島 ひかる
7	6/4	13:10-14:40	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
8	6/11	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去	中島 ひかる
9	6/18	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島 ひかる
10	6/25	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島 ひかる
11	7/2	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島 ひかる
12	7/9	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	命令法	中島 ひかる
13	7/23	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	半動詞、複合過去	中島 ひかる
14	7/30	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	複合過去	中島 ひかる

15	8/1	13:10-14:40	10 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による 教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。							
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回: 授業概要の説明、発音、アルファベ 第2回: 名詞、冠詞、提示表現 第3回: 主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回: 数詞、指示形容詞、所有形容詞 第5回: 形容詞、第2群規則動詞、否定文 第6回: 疑問文 第7回: 復習 第8回: 縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去 第9回: 疑問詞 第10回: 非人称構文、人称代名詞 第11回: 人称代名詞、代名動詞 第12回: 命令法 第13回: 半動詞、複合過去 第14回: 複合過去 第15回: 前期のまとめ							
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)85%・レポート0%・ その他 15%(授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期はa・b合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期のc25%, d各25%と総合して成績を評価します。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例: 再考査を含めて65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、評価は60)。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。							

(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c、d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社、2015
参考書 デコ仏和辞典 ／白水社：白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社 ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000202					
科目名	フランス語 a					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間: 月曜 4 限						
・対象学科: 医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4) 外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
授業の到達目標						
1) 基本単語の意味と綴りを身につける。						
2) フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	14:50-16:20	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/23	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)基本	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
3	5/7	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)基本	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、être・avoir	中島 ひかる
4	5/14	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)基本	第数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
5	5/21	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)基本	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島 ひかる
6	5/28	14:50-16:20	11 番教室	文法(1)基本	疑問文	中島 ひかる
7	6/4	14:50-16:20	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
8	6/11	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去	中島 ひかる
9	6/18	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島 ひかる
10	6/25	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島 ひかる
11	7/2	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島 ひかる
12	7/9	14:50-16:20	11 番教室	文法(2)	命令法	中島 ひかる
13	7/23	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)時制	半動詞、複合過去	中島 ひかる
14	7/30	14:50-16:20	11 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる

15	8/1	14:50-16:20	10 番教室	復習	前期のまとめ	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による 教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。							
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期で学習します。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回: 授業概要の説明、発音、アルファベ 第2回: 名詞、冠詞、提示表現 第3回: 主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回: 数詞、指示形容詞、所有形容詞 第5回: 形容詞、第2群規則動詞、否定文 第6回: 疑問文 第7回: 復習 第8回: 縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去 第9回: 疑問詞 第10回: 非人称構文、人称代名詞 第11回: 人称代名詞、代名動詞 第12回: 命令法 第13回: 半動詞、複合過去 第14回: 複合過去 第15回: 前期のまとめ							
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)85%・レポート0%・ その他 15%(授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期はa・b合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期のc25%, d各25%と総合して成績を評価します。 ●「フランス語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例: 再考査を含めて65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、評価は60)。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。							

(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c、d については再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社、2015
参考書 デコ仏和辞典 ／白水社：白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社 ロワイヤル仏和辞典 ：旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。 フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。 フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000203					
科目名	フランス語 b					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜 2 限						
・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
授業の到達目標						
1)基本単語の意味と綴りを身につける。						
2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	10:50-12:20	11 番教室	イントロダクション	発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/25	10:50-12:20	11 番教室	文法(1)基本	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
3	5/2	10:50-12:20	11 番教室	文法(1)基本	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、être・avoir	中島 ひかる
4	5/9	10:50-12:20	11 番教室	文法(1)基本	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
5	5/16	10:50-12:20	11 番教室	文法(1)基本	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島 ひかる
6	5/23	10:50-12:20	11 番教室	文法(1)基本	疑問文	中島 ひかる
7	5/30	10:50-12:20	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
8	6/6	10:50-12:20	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過去	中島 ひかる
9	6/13	10:50-12:20	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島 ひかる
10	6/20	10:50-12:20	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島 ひかる
11	6/27	10:50-12:20	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島 ひかる
12	7/4	10:50-12:20	11 番教室	文法(2)	命令法	中島 ひかる
13	7/11	10:50-12:20	11 番教室	文法(3)時制	半動詞・複合過去	中島 ひかる
14	7/18	10:50-12:20	11 番教室	文法(3)時制	複合過去	中島 ひかる
15	7/25	10:50-12:20	11 番教室	文法(3)時制	複合過去	中島 ひかる

			室				
授業方法 講義と演習による 教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。							
授業内容 前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期に学習します。 原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。 第1回:発音、アルファベ 第2回:名詞、冠詞、提示表現 第3回:主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir) 第4回:数詞、指示形容詞、所有形容詞 第5回:形容詞、第2群規則動詞、否定文 第6回:疑問文 第7回:復習 第8回:縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去 第9回:疑問詞 第10回:非人称構文、人称代名詞 第11回:人称代名詞、代名動詞 第12回:命令法 第13回:半動詞、複合過去 第14回:複合過去 第15回:複合過去							
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)85%・レポート0 %・ その他 15%(授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。 ●「フランス語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例:再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせたの出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格							

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 c、d については再考査は行わない。
- ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。

教科書

くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他：朝日出版社、2015

参考書

デコ仏和辞典／白水社：白水社

プチ・ロワイヤル仏和辞典：旺文社

ロワイヤル仏和辞典：旺文社

代表的な仏和辞書を挙げておきます。

辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。

電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。

他科目との関連

フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。フランス語 a・b・c は文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。フランス語 d は作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000205					
科目名	フランス語 b					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜 3 限						
・対象学科:医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
授業の到達目標						
1)基本単語の意味と綴りを身につける。						
2)フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	13:10-14:40	11 番教室	イントロダクション	授業概要の説明、発音、アルファベ	中島 ひかる
2	4/25	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	名詞の性・数、提示表現、冠詞	中島 ひかる
3	5/2	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	主語人称代名詞、第 1 群規則動詞、être・avoir	中島 ひかる
4	5/9	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	数詞、指示形容詞、所有形容詞	中島 ひかる
5	5/16	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	形容詞、第 2 群規則動詞、否定文	中島 ひかる
6	5/23	13:10-14:40	11 番教室	文法(1)基本	疑問文	中島 ひかる
7	5/30	13:10-14:40	11 番教室	復習	復習	中島 ひかる
8	6/6	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	前置詞と定冠詞の縮約、aller・venir、近接未来・近接過	中島 ひかる
9	6/13	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	疑問詞	中島 ひかる
10	6/20	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	非人称構文、人称代名詞	中島 ひかる
11	6/27	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	人称代名詞、代名動詞	中島 ひかる
12	7/4	13:10-14:40	11 番教室	文法(2)	命令法	中島 ひかる
13	7/11	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	半動詞、複合過去	中島 ひかる
14	7/18	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	複合過去	中島 ひかる
15	7/25	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	複合過去	中島 ひかる

授業方法

講義と演習による

教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。

授業内容

前期a・bでは、発音と綴り字の関係を把握した後、冠詞、名詞、形容詞等名詞に関わる基本的要素、動詞の現在形の活用、現在形の否定文・疑問文、命令形といった動詞の現在形に関わる基本的事項を学びます。時制は複合過去までを前期に学習します。

原則的に一つの項目に対して、月・水の2回で説明と演習を組み合わせますが、以下の予定はクラスの理解度によって変更の可能性もあります。

第1回: 発音、アルファベ

第2回: 名詞、冠詞、提示表現

第3回: 主語人称代名詞、動詞(第1群規則動詞、être, avoir)

第4回: 数詞、指示形容詞、所有形容詞

第5回: 形容詞、第2群規則動詞、否定文

第6回: 疑問文

第7回: 復習

第8回: 縮約形、aller・venir、近接未来・近接過去

第9回: 疑問詞

第10回: 非人称構文、人称代名詞

第11回: 人称代名詞、代名動詞

第12回: 命令法

第13回: 半動詞、複合過去

第14回: 複合過去

第15回: 複合過去

成績評価の方法

評価: 試験(期末考査) 85%・レポート 0 %・

その他 15%(授業中小試験・授業中の解答状況等)

再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験)

文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。

●上記のパーセンテージは「フランス語 a・b」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせた考査を行い、これを全体の 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。

●「フランス語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定です。最後の可否判定の時には、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断しますが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしません(例: 再考査を含めて 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

- ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
- ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。

・後期c、dについては再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の3分の2以上の出席。
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 ディコ仏和辞典／白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語はa・b・c・dの総合点で4単位まとめて評価します。フランス語a・b・cは文法を中心にした総合演習で、クラスが指定されます。フランス語dは作文か会話を自由に選べます。夏休み前に希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000207					
科目名	フランス語 c					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 月曜3限						
・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4) 外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。						
授業の到達目標						
1) 基本単語の意味と綴りを身につける。						
2) フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	半過去・大過去	中島 ひかる
2	10/15	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	半過去・大過去	中島 ひかる
3	10/22	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	受動態、知覚動詞	中島 ひかる
4	10/29	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
5	11/5	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
6	11/12	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	比較級・最上級	中島 ひかる
7	11/19	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	比較級・最上級	中島 ひかる
8	11/26	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
9	12/3	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
10	12/10	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)時制	単純未来・前未来	中島 ひかる
11	12/17	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)	現在分詞・ジェロンディフ	中島 ひかる
12	1/7	13:10-14:40	11 番教室	文法(3)法と時制	条件法	中島 ひかる
13	1/21	13:10-14:40	11 番教室	文法(4)法と時制	条件法、単純過去	中島 ひかる
14	1/23	13:10-14:40	11 番教室	文法(4)法と時制	接続法、話法	中島 ひかる

15	1/28	13:10-14:40	11 番教 室	復習	フランス語cまとめ	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による 教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその 答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。							
授業内容 後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞等を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定 はクラスの理解度によって変更する可能性があります。 第1回: 半過去、大過去 第2回: 半過去、大過去 第3回: 受動態・知覚動詞 第4回: 関係代名詞 第5回: 関係代名詞 第6回: 比較級・最上級 第7回: 比較級・最上級 第8回: 中性代名詞 第9回: 中性代名詞 第10回: 単純未来・前未来 第11回: 現在分詞、ジェロンディフ 第12回: 条件法 第13回: 条件法・単純過去 第14回: 接続法・話法 第15回: フランス語cまとめ							
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 80～85%・レポート 0 %・ その他 15～20 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価: 有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c 25%、d 各 25%と総合して成績を評価します。 ●「フランス語c」のみの再考査は行いません。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授 業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期c、dについては再考査は行わない。							

・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000209					
科目名	フランス語 c					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間: 月曜 4 限						
・対象学科: 医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4) 外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語を初めて学ぶ人を対象とし、1 年間で基礎的な文法を身につけることを目指します。フランス語は週 2 回開講されていますが、そのうち前期月曜a、水曜bと、後期月曜cの授業は文法規則の説明と演習が中心になります。後期の d で行われる会話や作文の基礎になるのは文法の知識ですので、フランス語全体の構造がわかるように体系的に説明していきます。ただし、説明を聞いているだけでは語学は身につけません。説明の後、それに関連した演習問題を解いてもらうことで知識の定着をはかりますので、指示された問題については、辞書を引き、問題を解く過程で自らフランス語を書いてみるのが大切です。						
後期のcではフランス語の様々な時制や法、関係代名詞、中性代名詞の学習が中心になります。						
授業の到達目標						
1) 基本単語の意味と綴りを身につける。						
2) フランス語の文法構造を理解して、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)時制	半過去・大過去	中島 ひかる
2	10/15	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)時制	半過去・大過去	中島 ひかる
3	10/22	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	受動態、知覚動詞	中島 ひかる
4	10/29	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
5	11/5	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	関係代名詞	中島 ひかる
6	11/12	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	比較級・最上級	中島 ひかる
7	11/19	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	比較級・最上級	中島 ひかる
8	11/26	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
9	12/3	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	中性代名詞	中島 ひかる
10	12/10	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	単純未来・前未来	中島 ひかる
11	12/17	14:50-16:20	11 番教室	文法(3)	現在分詞・ジェロンディフ	中島 ひかる
12	1/7	14:50-16:20	11 番教室	文法(4)法と時制	条件法、単純過去	中島 ひかる
13	1/21	14:50-16:20	11 番教室	文法(4)法と時制	接続法、話法	中島 ひかる
14	1/23	14:50-16:20	11 番教室	文法(4)法と時制	接続法、話法	中島 ひかる

15	1/28	14:50-16:20	11 番教 室	復習	フランス語cまとめ	中島 ひかる	
授業方法 講義と演習による 教員が教科書に沿って文法の説明を行った後、演習問題で知識の定着を図ります。演習問題は必ず各自で解いていただき、皆でその 答え合わせと発音練習をしながら、理解が不十分と思われる箇所については再度文法の復習を行います。							
授業内容 後期cでは、前期a・bの内容を引き継ぎ、中性代名詞、関係代名詞等を学習するほか、様々な時制や法を学んでいきます。以下の予定 はクラスの理解度によって変更する可能性があります。 第1回:半過去、大過去 第2回:半過去、大過去 第3回:受動態・知覚動詞 第4回:関係代名詞 第5回:関係代名詞 第6回:比較級・最上級 第7回:比較級・最上級 第8回:中性代名詞 第9回:中性代名詞 第10回:単純未来・前未来 第11回:現在分詞、ジェロンディフ 第12回:条件法 第13回:条件法・単純過去 第14回:接続法・話法 第15回:フランス語cまとめ							
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)80～85%・レポート0 %・ その他 15～20 % (授業中小試験・授業中の解答状況等) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 文法規則の学習ですので、試験によって定着度を評価します。動詞の活用については、小試験として授業中に試験を実施します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語c」についての評価方法です。「フランス語」は前期は a・b 合わせて 50%とし、後期の c25%, d 各 25%と総合して成績を評価します。 ●「フランス語c」のみの再考査は行いません。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で説明した内容を確認するために演習を行います。指示された練習問題については、必ず、辞書で単語の意味を調べ、前回の授 業の説明や教科書の解説をもとに自分の力で解いて、次回の授業に臨んで下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期c、dについては再考査は行わない。							

・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 くわしく学ぶフランス語の基礎／杉本圭子他:朝日出版社, 2015
参考書 デイコ仏和辞典 /白水社:白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 ロワイヤル仏和辞典 :旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの入ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語は a・b・c・d の総合点で 4 単位まとめて評価します。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000212					
科目名	フランス語 d					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜 2 限						
・対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う						
別表3-4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。						
目的:フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。						
概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。						
授業の到達目標						
1)フランスの文化や社会について理解を深める。						
2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。						
3)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。						
4)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	10:50-12:20	11 番教室	イントロダクション 作文・読解	ベンチャー企業	中島 ひかる
2	10/3	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	ベンチャー企業 学費	中島 ひかる
3	10/10	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	学費	中島 ひかる
4	10/17	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	就活	中島 ひかる
5	10/24	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	就活 映画祭	中島 ひかる
6	10/31	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	映画祭	中島 ひかる
7	11/7	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	新地域圏	中島 ひかる
8	11/14	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	新地域圏 バンド・デシネ	中島 ひかる
9	11/21	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	バンド・デシネ	中島 ひかる
10	11/28	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	移民問題	中島 ひかる
11	12/5	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	移民問題 歴史責任問題	中島 ひかる
12	12/12	10:50-12:20	11 番教室	作文・読解	歴史責任問題	中島 ひかる

13	12/19	10:50-12:20	11 番教 室	作文・読解	菜食主義者	中島 ひかる	
14	1/9	10:50-12:20	11 番教 室	作文・読解	警察と憲兵隊	中島 ひかる	
15	1/16	10:50-12:20	11 番教 室	復習	フランス語dまとめ	中島 ひかる	
授業方法 演習による。 フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。 1:文章の背景・キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。 4:フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。							
授業内容 テキストで扱う内容は以下のようになります。 1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。 1～2回目:ベンチャー企業 2～3回目:学費 4～5回目:就活 5～6回目:映画祭 7～8回目:新地域圏 8～9回目:バンド・デシネ 10～11 回目:移民問題 11～12 回目:歴史責任問題 13 回目:菜食主義者 14 回目:警察と憲兵隊 15 回目:フランス語 d まとめ							
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)50～60%・レポート0 %・ その他 40～50 %(提出物・授業中の解答) 再評価:有 (再評価方法「フランス語」としての学年末再試験) 授業中に毎回読解・作文に関する課題を提出してもらいますので、その提出状況、及びに授業で身につけた書く力を見るための期末試験で評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。 ●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格							

・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期c、dについては再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 A la page 2018 年度版／加藤晴久他: 朝日出版社, 2017 : 朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 / 白水社: 白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 : 旺文社 ロワイヤル仏和辞典 : 旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウンではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000213			
科目名	フランス語 d			
担当教員	満島 直子			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜 2 限				
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語 a, b (前期文法)修了者を対象とする会話入門。				
教科書では、パリ留学中のアキと友人のナタリー、フィリップを中心に、実際に起こりそうなシチュエーションの対話が展開されます。				
これらの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる様々な表現を学びます。				
知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。				
文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。				
授業の到達目標				
1) 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。				
2) 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
2	10/3	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
3	10/10	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
4	10/17	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
5	10/24	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
6	10/31	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
7	11/7	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
8	11/14	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
9	11/21	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
10	11/28	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
11	12/5	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
12	12/12	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
13	12/19	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
14	1/9	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子
15	1/16	10:50-12:20	12 番教室	満島 直子

授業方法 演習方式で授業を進めます。テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。
授業内容 開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。 1 回目：前期学習項目の確認と練習(1) 挨拶、自己紹介 2 回目：前期学習項目の確認と練習(2) 持ち物、買い物 3 回目：天候を語る 4 回目：タクシーに乗る。道順を説明する 5 回目：誕生日を祝う(日付、暦の表現) 6 回目：レストランで注文する。 7 回目：日常生活の動作を表現する 8 回目：テニススクールの申し込みをする 9 回目：映画を見る 10 回目：昨日したことを話す 11 回目：招待する 12 回目：メールを書く 13 回目：観光の予定を立てる 14 回目：友人家族と食事する 15 回目：総合練習
成績評価の方法 フランス語を聞き取り、自ら発話することを到達目標とする授業なので、小試験におけるディクテーションや授業中の発話を重視します。期末試験では口頭試問があり、筆記試験部分にもディクテーションが含まれます。(事前に準備ができる形にしたり、状況に応じてヒントを加えていきますので恐れずにご参加ください。) 評価：試験(期末考査)40%・レポート0 %・その他 60 % (授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %) 期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。 再評価：有(再評価方法「フランス語」としての再試験) ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。 ●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格 ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期c、dについては再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書

Nao Sawada 他, Amicalement plus (アミカルマン «プリュス»), 駿河台出版社, 2018

参考書

授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。

辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。

他科目との関連

フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000210					
科目名	フランス語 d					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	後期	対象年次	1			
・曜日・時間:水曜3限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
フランス語dの中島が担当する授業は講読・仏作文の授業になります。						
目的:フランスの文化や社会について理解を深めながら読解力を養う。同時に、自らフランス語の文章を書いてみることで、フランス語の基本的構造と単語を定着させる。						
概要:フランスの社会や文化を扱った簡単なフランス語のテキストをもとに、背景も含めて内容を理解した上で、フランス語を書く練習をします。テキストの文章を逐語訳せずに、重要な単語を拾いながら、背景も含めて必要な情報を理解し、それを簡単なフランス語の文にまとめます。フランス語をフランス語のまま捉えて読む練習にもなります。						
授業の到達目標						
1)フランスの文化や社会について理解を深める。 2)やや複雑なフランス語の文章構造に慣れ、読解力を養成する。 3)フランス語の構文を理解し、文法規則に則った正しい文章が書けるようになる。 4)基本的単語の意味と綴り、基本動詞の活用に慣れる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	11 番教室	イントロダクション 作文・読解	ベンチャー企業	中島 ひかる
2	10/3	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	ベンチャー企業 学費	中島 ひかる
3	10/10	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	学費	中島 ひかる
4	10/17	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	就活	中島 ひかる
5	10/24	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	就活 映画祭	中島 ひかる
6	10/31	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	映画祭	中島 ひかる
7	11/7	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	新地域圏	中島 ひかる
8	11/14	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	新地域圏 バンド・デシネ	中島 ひかる
9	11/21	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	バンド・デシネ	中島 ひかる
10	11/28	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	移民問題	中島 ひかる
11	12/5	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	移民問題 歴史責任問題責任問題	中島 ひかる
12	12/12	13:10-14:40	11 番教室	作文・読解	歴史責任問題	中島 ひかる

13	12/19	13:10-14:40	11 番教 室	作文・読解	菜食主義者	中島 ひかる	
14	1/9	13:10-14:40	11 番教 室	作文・読解	警察と憲兵隊	中島 ひかる	
15	1/16	13:10-14:40	11 番教 室	復習	フランス語dまとめ	中島 ひかる	
授業方法 演習による。 フランスの文化や社会についての時事問題を扱った簡単なテキストをもとに、フランス語の質問にフランス語で答えることを通して、以下のような練習を行います。適宜文法事項の復習を行います。 1:文章の背景・キーワードを理解する。 2:キーセンテンスを把握する。 3:1, 2をもとにテキスト内容を把握する。 4:フランス語の質問にフランス語で答えることで、簡単な文章を正しいフランス語で書く。							
授業内容 テキストで扱う内容は以下のようになります。 1～2 回で一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。 1～2回目:ベンチャー企業 2～3回目:学費 4～5回目:就活 5～6回目:映画祭 7～8回目:新地域圏 8～9回目:バンド・デシネ 10～11 回目:移民問題 11～12 回目:歴史責任問題 13 回目:菜食主義者 14 回目:警察と憲兵隊 15 回目:フランス語 d まとめ							
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)50～60%・レポート0 %・ その他 40～50 %(提出物・授業中の解答) 再評価:有 (再評価方法 「フランス語」としての学年末再試験) 授業中に毎回読解・作文に関する課題を提出してもらいますので、その提出状況、及びに授業で身につけた書く力を見るための期末試験で評価します。 ●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。 ●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 授業で扱うテキストについては、あらかじめ、背景説明を読んだ上で、キーワードや主要なセンテンスをとらえ、概略を理解するよう努めて下さい。							
試験の受験資格 1. 定期試験受験資格							

・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) 2. 再考査・再試験受験資格 ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期c、dについては再考査は行わない。 ・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 A la page 2018 年度版／加藤晴久他: 朝日出版社, 2017 : 朝日出版社
参考書 ディコ仏和辞典 / 白水社: 白水社 プチ・ロワイヤル仏和辞典 : 旺文社 ロワイヤル仏和辞典 : 旺文社 代表的な仏和辞書を挙げておきます。 辞書については第一回目の授業で概要を紹介しますが、仏和辞典は必ず購入してください。和仏辞典は必ずしも必要ありません。 電子辞書を買うならクラウドではなくプチ・ロワイヤルの買ったものを推薦します。早く引くには電子辞書が便利ですが、引いたとき全項目が一覧できる紙の辞書が使いやすい場合も多いと思います。
他科目との関連 フランス語dについては2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。
連絡先 nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000211			
科目名	フランス語 d			
担当教員	満島 直子			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜 3 限				
対象学科:医学科・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う				
別表3-4)外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
フランス語 a, b (前期文法)修了者を対象とする会話入門。				
教科書では、パリ留学中のアキと友人のナタリー、フィリップを中心に、実際に起こりそうなシチュエーションの対話が展開されます。				
これらの会話例をとおして、旅行や日常生活で使われる様々な表現を学びます。				
知っているはずの文法事項でも、実際に聞いたり話したりしようとすると急には使えないことが判ると思います。				
文法の授業で習う内容を具体的な文脈の中で確認し、復習するとともに、基本例をもとにして身の回りのことについての簡単な文を扱えるようになることを目指します。				
授業の到達目標				
1) 文型の口頭練習、シャドーイング、リスニング、ディクテーション等を通して、フランス語を聞き取り、発音することに慣れること。				
2) 基本的な表現を覚えて発話の手がかりをつかむこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
2	10/3	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
3	10/10	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
4	10/17	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
5	10/24	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
6	10/31	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
7	11/7	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
8	11/14	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
9	11/21	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
10	11/28	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
11	12/5	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
12	12/12	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
13	12/19	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
14	1/9	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子
15	1/16	13:10-14:40	10 番教室	満島 直子

授業方法

演習方式で授業を進めます。テキストに沿って発音、構文を確認しながら進み、学んだ事項をもとに口頭での応答やリスニング、ディクテーションの練習を行います。

授業内容

開講時に、フランス語 a, b の進み具合、及び参加者の到達度に応じて開始箇所を決めます。進度については各クラスの様子を見ながら調整し、場合によっては一部を省略または追加することもあります。文法の教科書と学習項目の順序が異なる時は、必要に応じて文法事項を解説します。

1 回目：前期学習項目の確認と練習(1) 挨拶、自己紹介

2 回目：前期学習項目の確認と練習(2)

持ち物、買い物

3 回目：天候を語る

4 回目：タクシーに乗る。道順を説明する

5 回目：誕生日を祝う(日付、暦の表現)

6 回目：レストランで注文する。

7 回目：日常生活の動作を表現する

8 回目：テニススクールの申し込みをする

9 回目：映画を見る

10 回目：昨日したことを話す

11 回目：招待する

12 回目：メールを書く

13 回目：観光の予定を立てる

14 回目：友人家族と食事する

15 回目：総合練習

成績評価の方法

フランス語を聞き取り、自ら発話することを到達目標とする授業なので、小試験におけるディクテーションや授業中の発話を重視します。期末試験では口頭試験があり、筆記試験部分にもディクテーションが含まれます。(事前に準備ができる形にしたり、状況に応じてヒントを加えていきますので恐れずにご参加ください。)

評価:試験(期末考査)40%・レポート0 %・その他 60 % (授業中小試験 30 %・授業参加度 30 %)

期末試験は、口頭試験 10 %、筆記試験 30 %です。

再評価:有(再評価方法「フランス語」としての再試験)

●上記のパーセンテージは「フランス語d」についての評価方法です。「フランス語」は a・b 合わせて 50%、c25%、d25%を総合して成績を評価します。

●「フランス語d」についての再考査は実施しません。「フランス語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実践してみることが大切なため、単語については予習し、授業での練習には積極的に参加してください。音声教材を繰り返し聞いたり、手で文を書き写す等の作業も有効です。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

- ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
- ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期c、dについては再考査は行わない。

・フランス語全体の再試験受験資格は、原則として、試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上の出席。
教科書 Nao Sawada 他, Amicalement plus (アミカルマン «プリュス»), 駿河台出版社, 2018
参考書 授業中にプリントを配布したり、参考書や教材の紹介を行います。 辞書については、フランス語 a のシラバスを参照してください。
他科目との関連 フランス語 d については2種類の授業が開講されているので、中島(作文・講読)、満島(聞き取り・会話)のいずれか希望のクラスを選んで履修していただきます。選択したクラスによって成績評価に差が出ないように調整します。夏休み前に、希望調査を行います。
履修上の注意事項 出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000225																																																																		
科目名	中国語 a																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 水曜2限 対象学科: 看護・検査・口腔衛生・口腔工学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週2回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。																																																																			
授業の到達目標 HSK2 級レベルの基礎的な中国語文法と語彙を習得する。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/18	10:50-12:20	9 番教室	2	4/25	10:50-12:20	9 番教室	3	5/2	10:50-12:20	9 番教室	4	5/9	10:50-12:20	9 番教室	5	5/16	10:50-12:20	9 番教室	6	5/23	10:50-12:20	9 番教室	7	5/30	10:50-12:20	9 番教室	8	6/6	10:50-12:20	9 番教室	9	6/13	10:50-12:20	9 番教室	10	6/20	10:50-12:20	9 番教室	11	6/27	10:50-12:20	9 番教室	12	7/4	10:50-12:20	9 番教室	13	7/11	10:50-12:20	9 番教室	14	7/18	10:50-12:20	9 番教室	15	7/25	10:50-12:20	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/18	10:50-12:20	9 番教室																																																																
2	4/25	10:50-12:20	9 番教室																																																																
3	5/2	10:50-12:20	9 番教室																																																																
4	5/9	10:50-12:20	9 番教室																																																																
5	5/16	10:50-12:20	9 番教室																																																																
6	5/23	10:50-12:20	9 番教室																																																																
7	5/30	10:50-12:20	9 番教室																																																																
8	6/6	10:50-12:20	9 番教室																																																																
9	6/13	10:50-12:20	9 番教室																																																																
10	6/20	10:50-12:20	9 番教室																																																																
11	6/27	10:50-12:20	9 番教室																																																																
12	7/4	10:50-12:20	9 番教室																																																																
13	7/11	10:50-12:20	9 番教室																																																																
14	7/18	10:50-12:20	9 番教室																																																																
15	7/25	10:50-12:20	9 番教室																																																																
授業方法 文法事項について解説した後、練習問題に取り組んでもらいます。																																																																			
授業内容 第1回: 中国語の発音、聴解の質問文 第2回: 数字表現(1)(2) 第3回: 数量の表現～量詞の使い方(1)(2)～ 第4回: 中国語の前置詞～会詞(1)(2)～ 第5回: 中国語の助動詞～能願動詞(1)(2)～ 第6回: 動詞述語文 第7回: 副詞の使い方 第8回: 疑問文 第9回: 完了のAspect「了」と語気助詞の「了」 第10回: 進行・持続のAspect 第11回: 経験・将来のAspect～「过」・「要～了」～																																																																			

第 12 回: 禁止・使役の表現

第 13 回: 語気助詞の使い方～吧、呢、吗、了、的～

第 14 回: 補語

第 15 回: 複文

成績評価の方法

評価 : 期末試験 40%・小テスト等 40%・その他(平常点) 20%

再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「基本単語」、「補充単語」の漢字・ピンイン・意味を覚えてもらい、小テストをします。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

教科書

宮岸雄介『中国語検定 HSK 公認テキスト 2 級改訂版』スプリックス、2016 年

参考書

王亜新『中国語の構文』アルク、2011 年

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

時間割番号	000226																																																																		
科目名	中国語 a																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 水曜3限 対象学科: 医学・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週2回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。																																																																			
授業の到達目標 HSK2 級レベルの基礎的な中国語文法と語彙を習得する。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/18	13:10-14:40	9 番教室	2	4/25	13:10-14:40	9 番教室	3	5/2	13:10-14:40	9 番教室	4	5/9	13:10-14:40	9 番教室	5	5/16	13:10-14:40	9 番教室	6	5/23	13:10-14:40	9 番教室	7	5/30	13:10-14:40	9 番教室	8	6/6	13:10-14:40	9 番教室	9	6/13	13:10-14:40	9 番教室	10	6/20	13:10-14:40	9 番教室	11	6/27	13:10-14:40	9 番教室	12	7/4	13:10-14:40	9 番教室	13	7/11	13:10-14:40	9 番教室	14	7/18	13:10-14:40	9 番教室	15	7/25	13:10-14:40	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/18	13:10-14:40	9 番教室																																																																
2	4/25	13:10-14:40	9 番教室																																																																
3	5/2	13:10-14:40	9 番教室																																																																
4	5/9	13:10-14:40	9 番教室																																																																
5	5/16	13:10-14:40	9 番教室																																																																
6	5/23	13:10-14:40	9 番教室																																																																
7	5/30	13:10-14:40	9 番教室																																																																
8	6/6	13:10-14:40	9 番教室																																																																
9	6/13	13:10-14:40	9 番教室																																																																
10	6/20	13:10-14:40	9 番教室																																																																
11	6/27	13:10-14:40	9 番教室																																																																
12	7/4	13:10-14:40	9 番教室																																																																
13	7/11	13:10-14:40	9 番教室																																																																
14	7/18	13:10-14:40	9 番教室																																																																
15	7/25	13:10-14:40	9 番教室																																																																
授業方法 文法事項について解説した後、練習問題に取り組んでもらいます。																																																																			
授業内容 第1回: 中国語の発音、聴解の質問文 第2回: 数字表現(1)(2) 第3回: 数量の表現～量詞の使い方(1)(2)～ 第4回: 中国語の前置詞～会詞(1)(2)～ 第5回: 中国語の助動詞～能願動詞(1)(2)～ 第6回: 動詞述語文 第7回: 副詞の使い方 第8回: 疑問文 第9回: 完了のAspect「了」と語気助詞の「了」 第10回: 進行・持続のAspect 第11回: 経験・将来のAspect～「过」・「要～了」～																																																																			

第 12 回: 禁止・使役の表現

第 13 回: 語気助詞の使い方～吧、呢、吗、了、的～

第 14 回: 補語

第 15 回: 複文

成績評価の方法

評価 : 期末試験 40%・小テスト等 40%・その他(平常点) 20%

再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「基本単語」、「補充単語」の漢字・ピンイン・意味を覚えてもらい、小テストをします。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

教科書

宮岸雄介『中国語検定 HSK 公認テキスト 2 級改訂版』スプリックス、2016 年

参考書

王亜新『中国語の構文』アルク、2011 年

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

時間割番号	000227																																																																		
科目名	中国語 b																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 月曜 3 限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週 2 回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当: 周俊宇)、水曜日は主に文法(担当: 佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については週に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。 本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陆や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。																																																																			
授業の到達目標 ①中国語の発音の基礎、ピンインの規則を習得すること。 ②中国語で簡単な日常会話ができること。 ③中国語圏の言語表現や文化について初歩的な理解ができること。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/16</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/23</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/7</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/14</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/21</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/28</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/4</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/11</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/18</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/25</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/2</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/9</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/23</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/30</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>8/1</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/16	13:10-14:40	9 番教室	2	4/23	13:10-14:40	9 番教室	3	5/7	13:10-14:40	9 番教室	4	5/14	13:10-14:40	9 番教室	5	5/21	13:10-14:40	9 番教室	6	5/28	13:10-14:40	9 番教室	7	6/4	13:10-14:40	9 番教室	8	6/11	13:10-14:40	9 番教室	9	6/18	13:10-14:40	9 番教室	10	6/25	13:10-14:40	9 番教室	11	7/2	13:10-14:40	9 番教室	12	7/9	13:10-14:40	9 番教室	13	7/23	13:10-14:40	9 番教室	14	7/30	13:10-14:40	9 番教室	15	8/1	13:10-14:40	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/16	13:10-14:40	9 番教室																																																																
2	4/23	13:10-14:40	9 番教室																																																																
3	5/7	13:10-14:40	9 番教室																																																																
4	5/14	13:10-14:40	9 番教室																																																																
5	5/21	13:10-14:40	9 番教室																																																																
6	5/28	13:10-14:40	9 番教室																																																																
7	6/4	13:10-14:40	9 番教室																																																																
8	6/11	13:10-14:40	9 番教室																																																																
9	6/18	13:10-14:40	9 番教室																																																																
10	6/25	13:10-14:40	9 番教室																																																																
11	7/2	13:10-14:40	9 番教室																																																																
12	7/9	13:10-14:40	9 番教室																																																																
13	7/23	13:10-14:40	9 番教室																																																																
14	7/30	13:10-14:40	9 番教室																																																																
15	8/1	13:10-14:40	9 番教室																																																																
授業方法 中国語 b(前期会話)の授業では、一冊の教科書の前半部分に従って中国語の発音と基本的な実用会話を学びます。教科書の順番通り学習を進め、基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。																																																																			
授業内容 第 1 回: ガイダンス(中国語圏の言語事情について。授業の進め方、成績の評価の仕方、ピンインの紹介) 第 2 回: 発音 I 第 3 回: 発音 II																																																																			

第4回:発音Ⅲ

第5回:第1課

第6回:第2課

第7回:第3課

第8回:第4課

第9回:復習

第10回:第5課

第11回:第6課

第12回:第7課

第13回:第8課

第14回:第9課

第15回:復習

第16回:期末試験

成績評価の方法

評価:期末試験 50%・小テスト等 0%・その他(平常点) 50%

再評価:有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

『中国語@キャンパス—会話編 改訂版』／関中研、朝日出版社、2010

参考書

『今日からはじめる台湾華語』／樂大維、白水社、2017

『中国語を歩く(パート2) 辞書と街角の考現学』／荒川清秀、東方書店、2014

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015

『講談社中日辞典』・『講談社中日辞典』第3版、講談社、201

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000228																																																																		
科目名	中国語 b																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	前期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週 2 回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当: 周俊宇)、水曜日は主に文法(担当: 佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。 本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陆や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。																																																																			
授業の到達目標 ①中国語の発音の基礎、ピンインの規則を習得すること。 ②中国語で簡単な日常会話ができること。 ③中国語圏の言語表現や文化について初歩的な理解ができること。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/16</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/23</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/7</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/14</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/21</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/28</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/4</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/11</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/18</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/25</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/2</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/9</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/23</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/30</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>8/1</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/16	14:50-16:20	9 番教室	2	4/23	14:50-16:20	9 番教室	3	5/7	14:50-16:20	9 番教室	4	5/14	14:50-16:20	9 番教室	5	5/21	14:50-16:20	9 番教室	6	5/28	14:50-16:20	9 番教室	7	6/4	14:50-16:20	9 番教室	8	6/11	14:50-16:20	9 番教室	9	6/18	14:50-16:20	9 番教室	10	6/25	14:50-16:20	9 番教室	11	7/2	14:50-16:20	9 番教室	12	7/9	14:50-16:20	9 番教室	13	7/23	14:50-16:20	9 番教室	14	7/30	14:50-16:20	9 番教室	15	8/1	14:50-16:20	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/16	14:50-16:20	9 番教室																																																																
2	4/23	14:50-16:20	9 番教室																																																																
3	5/7	14:50-16:20	9 番教室																																																																
4	5/14	14:50-16:20	9 番教室																																																																
5	5/21	14:50-16:20	9 番教室																																																																
6	5/28	14:50-16:20	9 番教室																																																																
7	6/4	14:50-16:20	9 番教室																																																																
8	6/11	14:50-16:20	9 番教室																																																																
9	6/18	14:50-16:20	9 番教室																																																																
10	6/25	14:50-16:20	9 番教室																																																																
11	7/2	14:50-16:20	9 番教室																																																																
12	7/9	14:50-16:20	9 番教室																																																																
13	7/23	14:50-16:20	9 番教室																																																																
14	7/30	14:50-16:20	9 番教室																																																																
15	8/1	14:50-16:20	9 番教室																																																																
授業方法 中国語 b(前期会話)の授業では、一冊の教科書の前半部分に従って中国語の発音と基本的な実用会話を学びます。教科書の順番通り学習を進め、基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。																																																																			
授業内容 第 1 回: ガイダンス(中国語圏の言語事情について。授業の進め方、成績の評価の仕方、ピンインの紹介) 第 2 回: 発音 I 第 3 回: 発音 II																																																																			

第4回:発音Ⅲ

第5回:第1課

第6回:第2課

第7回:第3課

第8回:第4課

第9回:復習

第10回:第5課

第11回:第6課

第12回:第7課

第13回:第8課

第14回:第9課

第15回:復習

第16回:期末試験

成績評価の方法

評価:期末試験 50%・小テスト等 0%・その他(平常点) 50%

再評価:有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

『中国語@キャンパス—会話編 改訂版』／関中研、朝日出版社、2010

参考書

『今日からはじめる台湾華語』／樂大維、白水社、2017

『中国語を歩く(パート2) 辞書と街角の考現学』／荒川清秀、東方書店、2014

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015

『講談社中日辞典』・『講談社中日辞典』第3版、講談社、201

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000229																																																																		
科目名	中国語 c																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
曜日・時間： 水曜2限 対象学科：看護・検査・口腔衛生・口腔工学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週2回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当：周俊宇)、水曜日は主に文法(担当：佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。																																																																			
授業の到達目標 中級レベルの中国語文法と語彙を習得するとともに、中国に関する時事への理解を深める。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/26</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/9</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	9/26	10:50-12:20	9 番教室	2	10/3	10:50-12:20	9 番教室	3	10/10	10:50-12:20	9 番教室	4	10/17	10:50-12:20	9 番教室	5	10/24	10:50-12:20	9 番教室	6	10/31	10:50-12:20	9 番教室	7	11/7	10:50-12:20	9 番教室	8	11/14	10:50-12:20	9 番教室	9	11/21	10:50-12:20	9 番教室	10	11/28	10:50-12:20	9 番教室	11	12/5	10:50-12:20	9 番教室	12	12/12	10:50-12:20	9 番教室	13	12/19	10:50-12:20	9 番教室	14	1/9	10:50-12:20	9 番教室	15	1/16	10:50-12:20	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	9/26	10:50-12:20	9 番教室																																																																
2	10/3	10:50-12:20	9 番教室																																																																
3	10/10	10:50-12:20	9 番教室																																																																
4	10/17	10:50-12:20	9 番教室																																																																
5	10/24	10:50-12:20	9 番教室																																																																
6	10/31	10:50-12:20	9 番教室																																																																
7	11/7	10:50-12:20	9 番教室																																																																
8	11/14	10:50-12:20	9 番教室																																																																
9	11/21	10:50-12:20	9 番教室																																																																
10	11/28	10:50-12:20	9 番教室																																																																
11	12/5	10:50-12:20	9 番教室																																																																
12	12/12	10:50-12:20	9 番教室																																																																
13	12/19	10:50-12:20	9 番教室																																																																
14	1/9	10:50-12:20	9 番教室																																																																
15	1/16	10:50-12:20	9 番教室																																																																
授業方法 中国語の文章を和訳していきます。その際に本文に即して、文法や時事に関する解説をします。																																																																			
授業内容 第1回：一带一路上的明珠-鼓浪屿 第2回：又吉直树携《火花》中国行 第3回：普通话之乡-滦平 第4回：高铁可以外卖啦 第5回：震后九寨沟景区让人看哭 第6回：改变中国人出行方式的两个女性 第7回：离开家乡上大学，是怎样的体验？ 第8回：2017 考古二则 第9回：我们应该要什么样的中国版《深夜食堂》 第10回：出境游从“买买买”到“慢慢慢” 第11回：人象共处，难题不少																																																																			

第 12 回: 今日中国児童之現状

第 13 回: 在中国治療糖尿病-東大醫院大夫飯冢陽子自述

第 14 回: 台灣職場女性的無奈

第 15 回: 千年大計-雄安新区

成績評価の方法

評価 : 期末試験 40%・小テスト等 40%・その他(平常点) 20%

再評価: 有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書に出てくる単語や文法事項について覚えてもらい、小テストをします。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

教科書

三渚正道、陳祖蓓『時事中国語の教科書—2018 年度版—』朝日出版社、2018 年

参考書

王亜新『中国語の構文』アルク、2011 年

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

時間割番号	000230																																																																		
科目名	中国語 c																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 水曜3限 対象学科: 医学・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週2回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当:周俊宇)、水曜日は主に文法(担当:佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 中国語の表記に使われる漢字は「簡体字」と呼ばれ、日本の漢字とは形が異なる場合も多いので、改めて覚える必要があります。その漢字の読み仮名である「ピンイン」は、ローマ字で表記しますが英語の読み方とはほとんど一致しません。さらに、中国語は音の高低によって意味が変わる「声調言語」であり、歌を歌うように正しい節をつけて発音しないと通じません。文法構造は英語に似ているようで似ておらず、むしろ日本語に似た部分も多い一方、日本語話者にとって何とも耳慣れない語順になることもしばしばです。 このように、みなさんにとって未知なる「中国語の特徴」を、1年間を通じて体得していただきたいと思います。																																																																			
授業の到達目標 中級レベルの中国語文法と語彙を習得するとともに、中国に関する時事への理解を深める。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/26</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/9</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	9/26	13:10-14:40	9 番教室	2	10/3	13:10-14:40	9 番教室	3	10/10	13:10-14:40	9 番教室	4	10/17	13:10-14:40	9 番教室	5	10/24	13:10-14:40	9 番教室	6	10/31	13:10-14:40	9 番教室	7	11/7	13:10-14:40	9 番教室	8	11/14	13:10-14:40	9 番教室	9	11/21	13:10-14:40	9 番教室	10	11/28	13:10-14:40	9 番教室	11	12/5	13:10-14:40	9 番教室	12	12/12	13:10-14:40	9 番教室	13	12/19	13:10-14:40	9 番教室	14	1/9	13:10-14:40	9 番教室	15	1/16	13:10-14:40	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	9/26	13:10-14:40	9 番教室																																																																
2	10/3	13:10-14:40	9 番教室																																																																
3	10/10	13:10-14:40	9 番教室																																																																
4	10/17	13:10-14:40	9 番教室																																																																
5	10/24	13:10-14:40	9 番教室																																																																
6	10/31	13:10-14:40	9 番教室																																																																
7	11/7	13:10-14:40	9 番教室																																																																
8	11/14	13:10-14:40	9 番教室																																																																
9	11/21	13:10-14:40	9 番教室																																																																
10	11/28	13:10-14:40	9 番教室																																																																
11	12/5	13:10-14:40	9 番教室																																																																
12	12/12	13:10-14:40	9 番教室																																																																
13	12/19	13:10-14:40	9 番教室																																																																
14	1/9	13:10-14:40	9 番教室																																																																
15	1/16	13:10-14:40	9 番教室																																																																
授業方法 中国語の文章を和訳していきます。その際に本文に即して、文法や時事に関する解説をします。																																																																			
授業内容 第1回: 一带一路上的明珠-鼓浪屿 第2回: 又吉直树携《火花》中国行 第3回: 普通话之乡-滦平 第4回: 高铁可以外卖啦 第5回: 震后九寨沟景区让人看哭 第6回: 改变中国人出行方式的两个女性 第7回: 离开家乡上大学, 是怎样的体验? 第8回: 2017 考古二则 第9回: 我们应该要什么样的中国版《深夜食堂》 第10回: 出境游从“买买买”到“慢慢慢”																																																																			

第 11 回:人象共処, 难题不少

第 12 回:今日中国儿童之现状

第 13 回:在中国治疗糖尿病-东大医院大夫饭冢阳子自述

第 14 回:台湾职场女性的无奈

第 15 回:千年大计-雄安新区

成績評価の方法

評価 : 期末試験 40%・小テスト等 40%・その他(平常点)20%

再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教科書に出てくる単語や文法事項について覚えてもらい、小テストをします。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

教科書

三渚正道、陳祖蓀『時事中国語の教科書—2018 年度版—』朝日出版社、2018 年

参考書

王亜新『中国語の構文』アルク、2011 年

辞書については、ひとまず図書館にあるものを使い、ある程度学習が進んでから自分で選ぶことを勧めますが、定番は次の2つです。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

後期に入ると新出単語も増加するため、購入して授業に持参することを勧めます。

時間割番号	000231																																																																		
科目名	中国語 d																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 月曜 3 限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週 2 回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当: 周俊宇)、水曜日は主に文法(担当: 佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。 本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陆や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。																																																																			
授業の到達目標 ①中国語の母語話者とすこし複雑な会話ができること。 ②中国語の会話表現がより豊富になること。 ③中国語圏における言語表現や文化の多様性について理解を深めること。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/1</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/15</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/22</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/29</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/5</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/12</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/19</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/26</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/3</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/10</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/17</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/7</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/21</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/28</td><td>13:10-14:40</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	10/1	13:10-14:40	9 番教室	2	10/15	13:10-14:40	9 番教室	3	10/22	13:10-14:40	9 番教室	4	10/29	13:10-14:40	9 番教室	5	11/5	13:10-14:40	9 番教室	6	11/12	13:10-14:40	9 番教室	7	11/19	13:10-14:40	9 番教室	8	11/26	13:10-14:40	9 番教室	9	12/3	13:10-14:40	9 番教室	10	12/10	13:10-14:40	9 番教室	11	12/17	13:10-14:40	9 番教室	12	1/7	13:10-14:40	9 番教室	13	1/21	13:10-14:40	9 番教室	14	1/23	13:10-14:40	9 番教室	15	1/28	13:10-14:40	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	10/1	13:10-14:40	9 番教室																																																																
2	10/15	13:10-14:40	9 番教室																																																																
3	10/22	13:10-14:40	9 番教室																																																																
4	10/29	13:10-14:40	9 番教室																																																																
5	11/5	13:10-14:40	9 番教室																																																																
6	11/12	13:10-14:40	9 番教室																																																																
7	11/19	13:10-14:40	9 番教室																																																																
8	11/26	13:10-14:40	9 番教室																																																																
9	12/3	13:10-14:40	9 番教室																																																																
10	12/10	13:10-14:40	9 番教室																																																																
11	12/17	13:10-14:40	9 番教室																																																																
12	1/7	13:10-14:40	9 番教室																																																																
13	1/21	13:10-14:40	9 番教室																																																																
14	1/23	13:10-14:40	9 番教室																																																																
15	1/28	13:10-14:40	9 番教室																																																																
授業方法 中国語 d(後期会話)の授業では、前期に引き続き、一冊の教科書の後半部分に従って順番通り学習を進めます。基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。																																																																			
授業内容 第 1 回 前期の復習 第 2 回 第 10 課																																																																			

第3回 第11課

第4回 第12課

第5回 第13課

第6回 復習

第7回 第14課

第8回 第15課

第9回 第16課

第10回 第17課

第11回 復習

第12回 第18課

第13回 第19課

第14回 第20課

第15回 復習

第16回 期末試験

成績評価の方法

評価: 期末試験 50%・小テスト等 0%・その他(平常点) 50%

再評価: 有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

構成ユニット

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

『中国語@キャンパス—会話編 改訂版』／関中研、朝日出版社、2010

参考書

『今日からはじめる台湾華語』／樂大維、白水社、2017

『中国語を歩く(パート2) 辞書と街角の考現学』／荒川清秀、東方書店、2014

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015

『講談社中日辞典』・『講談社中日辞典』第3版、講談社、2010

後期に入ると新出単語も増加するため、辞書(電子辞書も可)を購入して授業に持参することを勧めます。

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000232																																																																		
科目名	中国語 d																																																																		
担当教員																																																																			
開講時期	後期	対象年次	1																																																																
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4																																																																			
授業の目的、概要等 中国語を初めて学ぶ人のための授業です。 授業は週 2 回通年で行われ、月曜日は主に会話(担当: 周俊宇)、水曜日は主に文法(担当: 佐藤淳平)を扱います。 質問がある場合は、発音や語彙については周に、文法については佐藤にすると良いでしょう。 なお、後期は教員が変更になる可能性があります。 同じ漢字を使用する国として、中国語は日本人にとって親しみやすい言語です。漢字という共通点があるため、文章ならなんとなくイメージが伝わり、「書く」と「読む」だけで意思の疎通ができてしまう部分もあるが、中国語圏の人々とより良いコミュニケーションを取るには、「聴く」と「話す」、つまり会話の能力を身につけなければなりません。 本授業では、会話の勉強を通してみなさんに無理なく中国語の魅力を感じてもらい、また、中国大陆や台湾など、中国語圏の言語表現や文化の多様性についても初歩的な理解を持ってもらうことを目指します。																																																																			
授業の到達目標 ①中国語の母語話者とすこし複雑な会話ができること。 ②中国語の会話表現がより豊富になること。 ③中国語圏における言語表現や文化の多様性について理解を深めること。																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/1</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/15</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/22</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/29</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/5</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/12</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/19</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/26</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/3</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/10</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/17</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/7</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/21</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/28</td><td>14:50-16:20</td><td>9 番教室</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	10/1	14:50-16:20	9 番教室	2	10/15	14:50-16:20	9 番教室	3	10/22	14:50-16:20	9 番教室	4	10/29	14:50-16:20	9 番教室	5	11/5	14:50-16:20	9 番教室	6	11/12	14:50-16:20	9 番教室	7	11/19	14:50-16:20	9 番教室	8	11/26	14:50-16:20	9 番教室	9	12/3	14:50-16:20	9 番教室	10	12/10	14:50-16:20	9 番教室	11	12/17	14:50-16:20	9 番教室	12	1/7	14:50-16:20	9 番教室	13	1/21	14:50-16:20	9 番教室	14	1/23	14:50-16:20	9 番教室	15	1/28	14:50-16:20	9 番教室
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	10/1	14:50-16:20	9 番教室																																																																
2	10/15	14:50-16:20	9 番教室																																																																
3	10/22	14:50-16:20	9 番教室																																																																
4	10/29	14:50-16:20	9 番教室																																																																
5	11/5	14:50-16:20	9 番教室																																																																
6	11/12	14:50-16:20	9 番教室																																																																
7	11/19	14:50-16:20	9 番教室																																																																
8	11/26	14:50-16:20	9 番教室																																																																
9	12/3	14:50-16:20	9 番教室																																																																
10	12/10	14:50-16:20	9 番教室																																																																
11	12/17	14:50-16:20	9 番教室																																																																
12	1/7	14:50-16:20	9 番教室																																																																
13	1/21	14:50-16:20	9 番教室																																																																
14	1/23	14:50-16:20	9 番教室																																																																
15	1/28	14:50-16:20	9 番教室																																																																
授業方法 中国語 d(後期会話)の授業では、前期に引き続き、一冊の教科書の後半部分に従って順番通り学習を進めます。基本的に一回の授業で一課分の勉強をしていきますが、学生の関心を踏まえつつ関連の情報や教材も適宜補充します。授業では、学生にたくさんの練習をしてもらいますが、その内容に織り交ぜて中国語圏の言語表現や文化の多様性についても紹介します。なお、授業の進行状況によって指定教科書以外のテキストを追加することもあります。																																																																			
授業内容 第 1 回 前期の復習 第 2 回 第 10 課 第 3 回 第 11 課																																																																			

第4回 第12課

第5回 第13課

第6回 復習

第7回 第14課

第8回 第15課

第9回 第16課

第10回 第17課

第11回 復習

第12回 第18課

第13回 第19課

第14回 第20課

第15回 復習

第16回 期末試験

成績評価の方法

評価: 期末試験 50%・小テスト等 0%・その他(平常点) 50%

再評価: 有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。

授業への参加度が平常点の対象になります。また、期末試験は面接試験やスピーチなどの形式で行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

「会話」を上達させるには、練習を繰り返すことが大事ですが、情報化社会のメリットを利用し、教科書の内容にとらわれず、自分が何かをしゃべりたいか、相手に何を伝えたいか、どう伝えたらいいかなどを常に意識し、授業・勉強に積極的に取り組みましょう。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

『中国語@キャンパス—会話編 改訂版』／関中研、朝日出版社、2010

参考書

『今日からはじめる台湾華語』／樂大維、白水社、2017

『中国語を歩く(パート2) 辞書と街角の考現学』／荒川清秀、東方書店、2014

『中日辞典』・『日中辞典』第3版、小学館、2015

『講談社中日辞典』・『講談社日中辞典』第3版、講談社、2010

後期に入ると新出単語も増加するため、辞書(電子辞書も可)を購入して授業に持参することを勧めます。

履修上の注意事項

授業への参加度を重視しますので、基本的に毎回出席を取り、平常点として評価します。やむ得なく欠席をする学生は必ず事前に連絡をください。

時間割番号	000234			
科目名	スペイン語 a			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。世界中でおよそ 4 億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけるとともに、スペインおよび中南米の文化に触れることがこの授業の狙いです。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
2	4/23	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
3	5/7	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
4	5/14	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
5	5/21	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
6	5/28	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
7	6/4	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
8	6/11	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
9	6/18	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
10	6/25	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
11	7/2	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
12	7/9	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
13	7/23	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
14	7/30	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
15	8/1	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
時間割の名目上は a/b/c/d に分かれています。一人の教員が一冊の教科書を使い週 2 コマ通年で行う授業となります。				
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。				
第1回:ガイダンス、アルファベットと発音				
第2回:発音とアクセント				
第3回:現在・規則変化				
第4回:名詞の性と数、冠詞、形容詞				
第5回:現在・不規則変化、所有形容詞				
第6回:線過去				
第7回:人称代名詞、gustar 型動詞				
第8回:点過去・規則変化				
第9回:指示詞、否定語				
第10回:点過去・不規則変化				
第11回:不定詞				
第12回:現在完了、過去完了				
第13回:関係詞				

第14回: 期末試験

第15回: 期末試験返却と解説

成績評価の方法

評価: 試験 70%・レポート 0%・ その他(授業参加・出席) 30%

再評価: 有(再評価方法: 「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。・前期 a/b は中間、期末の二回テストを行う予定です。・試験平均が 50 点を下回る学生が出た場合、9 月に補講を行う予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示します。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

参考書

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000235			
科目名	スペイン語 b			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 水曜 3 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。世界中でおよそ 4 億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけるとともに、スペインおよび中南米の文化に触れることがこの授業の狙いです。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
2	4/25	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
3	5/2	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
4	5/9	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
5	5/16	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
6	5/23	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
7	5/30	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
8	6/6	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
9	6/13	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
10	6/20	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
11	6/27	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
12	7/4	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
13	7/11	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
14	7/18	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
15	7/25	13:10-14:40	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
時間割の名目上は a/b/c/d に分かれています。一人の教員が一冊の教科書を使い週 2 コマ通年で行う授業となります。				
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。				
第1回:ガイダンス、アルファベットと発音				
第2回:発音とアクセント				
第3回:現在・規則変化				
第4回:名詞の性と数、冠詞、形容詞				
第5回:現在・不規則変化、所有形容詞				
第6回:線過去				
第7回:人称代名詞、gustar 型動詞				
第8回:点過去・規則変化				
第9回:指示詞、否定語				
第10回:点過去・不規則変化				
第11回:不定詞				
第12回:現在完了、過去完了				
第13回:関係詞				

第14回: 期末試験

第15回: 期末試験返却と解説

成績評価の方法

評価: 試験 70%・レポート 0%・ その他(授業参加・出席) 30%

再評価: 有(再評価方法: 「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。・前期 a/b は中間、期末の二回テストを行う予定です。・試験平均が 50 点を下回る学生が出た場合、9 月に補講を行う予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示します。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

参考書

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000236			
科目名	スペイン語 c			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。世界中でおよそ 4 億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけるとともに、スペインおよび中南米の文化に触れることがこの授業の狙いです。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/1	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
2	10/15	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
3	10/22	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
4	10/29	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
5	11/5	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
6	11/12	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
7	11/19	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
8	11/26	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
9	12/3	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
10	12/10	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
11	12/17	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
12	1/7	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
13	1/21	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
14	1/23	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
15	1/28	14:50-16:20	2 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
時間割の名目上は a/b/c/d に分かれています。一人の教員が一冊の教科書を使い週 2 コマ通年で行う授業となります。				
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。				
第1回:未来、未来完了				
第2回:無主語文				
第3回:比較				
第4回:再帰動詞①				
第5回:過去未来				
第6回:過去未来完了				
第7回:再帰動詞②				
第8回:接続法現在・現在完了				
第9回:命令文				
第10回:接続法過去・過去完了				
第11回:条件文				
第12回:願望文				
第13回:総見直し				

第14回: 期末試験

第15回: 期末試験返却と解説

成績評価の方法

評価: 試験 70%・レポート 0%・ その他(授業参加・出席) 30%

再評価: 有(再評価方法: 「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。・後期 c/d も中間、期末の二回テストを行う予定です。・最終的な成績が 60 点を下回る学生、および c/d の試験平均が 50 点を下回った学生は不合格とし、年度末再試験を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示します。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

参考書

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000237			
科目名	スペイン語 d			
担当教員	佐藤 正樹			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間: 水曜 3 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4				
授業の目的、概要等				
スペイン語を初めて学ぶ人のための授業です。世界中でおよそ 4 億人が母語としているスペイン語の基本的な知識を身につけるとともに、スペインおよび中南米の文化に触れることがこの授業の狙いです。				
授業の到達目標				
1)スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。2)スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章が読み書き出来るようになる。3)スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/26	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
2	10/3	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
3	10/10	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
4	10/17	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
5	10/24	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
6	10/31	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
7	11/7	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
8	11/14	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
9	11/21	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
10	11/28	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
11	12/5	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
12	12/12	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
13	12/19	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
14	1/9	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
15	1/16	13:10-14:40	6 番教室	佐藤 正樹
授業方法				
時間割の名目上は a/b/c/d に分かれています。一人の教員が一冊の教科書を使い週 2 コマ通年で行う授業となります。				
基本的な授業の流れとしては、講義形式で文法を説明した後、それを用いた練習・演習を行います。加えて授業の合間にスペイン語圏の文化に関する講義や映像資料の紹介を行います。				
授業内容				
以下の文法項目の説明と演習を行います(予定)。				
第1回:未来、未来完了				
第2回:無主語文				
第3回:比較				
第4回:再帰動詞①				
第5回:過去未来				
第6回:過去未来完了				
第7回:再帰動詞②				
第8回:接続法現在・現在完了				
第9回:命令文				
第10回:接続法過去・過去完了				
第11回:条件文				
第12回:願望文				
第13回:総見直し				

第14回: 期末試験

第15回: 期末試験返却と解説

成績評価の方法

評価: 試験 70%・レポート 0%・ その他(授業参加・出席) 30%

再評価: 有(再評価方法: 「スペイン語」としての学年末再試験)

・スペイン語は abcd の総合点で 4 単位まとめて評価します。・後期 c/d も中間、期末の二回テストを行う予定です。・最終的な成績が 60 点を下回る学生、および c/d の試験平均が 50 点を下回った学生は不合格とし、年度末再試験を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に適宜指示します。

試験の受験資格

・期末考査・再考査・再試験の受験資格: 原則として、試験を除く授業回数の 3 分の 2 以上の出席

教科書

『ディメロ スペイン語初級』、東京大学スペイン語部会、朝日出版社、2006 年。

参考書

辞書、参考書については、初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻してください。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

時間割番号	000238						
科目名	物理学実験						
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章, 増田 俊平						
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1		
曜日・時間: 金曜日・3～4時限 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る 別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける							
主な講義場所 物理学学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)、物理教員実験室 1(ヒポ 3F)							
授業の目的、概要等 実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。 目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。							
授業の到達目標 1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。 2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。 3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。 4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/13	13:10-16:20		グループ A 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱いについて)	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
3-4	4/20	13:10-16:20		グループ A 第2回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
5-6	4/27	13:10-16:20		グループ A 第3回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
7-8	5/11	13:10-16:20		グループ A 第4回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
9-10	5/18	13:10-16:20		グループ A 第5回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
11-12	5/25	13:10-16:20		グループ B 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱いについて)	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
13-14	6/1	13:10-16:20		グループ B 第2回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。

15-16	6/8	13:10-16:20		グループ B 第3回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
17-18	6/15	13:10-16:20		グループ B 第4回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
19-20	6/22	13:10-16:20		グループ B 第5回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
21-22	6/29	13:10-16:20		グループ C 第1回	ガイダンス、演習(誤差の取り扱い について)	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
23-24	7/6	13:10-16:20		グループ C 第2回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
25-26	7/13	13:10-16:20		グループ C 第3回	実験題目1	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
27-28	7/20	13:10-16:20		グループ C 第4回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
29-30	7/27	13:10-16:20		グループ C 第5回	実験題目2	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
31-32	9/28	13:10-16:20		グループ A 第6回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
33-34	10/5	13:10-16:20		グループ A 第7回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
35-36	10/19	13:10-16:20		グループ A 第8回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
37-38	10/26	13:10-16:20		グループ B 第6回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験 室ほか。詳細は、 初回授業時に確 認すること。
39-40	11/2	13:10-16:20		グループ B 第7回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲	物理学学生実験 室ほか。詳細は、

						越野 和樹 増田 俊平	初回授業時に確認すること。
41-42	11/9	13:10-16:20		グループ B 第8回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
43-44	11/16	13:10-16:20		グループ C 第6回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
45-46	11/30	13:10-16:20		グループ C 第7回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
47-48	12/7	13:10-16:20		グループ C 第8回	実験題目3	梅崎 馨章 檜枝 光憲 越野 和樹 増田 俊平	物理学学生実験室ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。

授業方法

実験

授業内容

物理実験学の講義を実験初日(第1週)に行うので休まないこと。

下記の3項目の実験を、項目ごとに2回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。

1. レンズの焦点距離と主点の位置(担当:梅崎)
2. 計算機による運動方程式の解法(担当:越野・増田)
3. 物性実験、重力加速度の測定(担当:檜枝)

成績評価の方法

実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。

レポート + 実験ノート 80%

その他(授業の参加度、実験態度)20%

成績評価の基準

遅刻や実験中の態度不良による減点が多いので注意すること。

なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

物理学実験テキスト(2018年度版)

東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編

履修上の注意事項

全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、補講実験を行うこと。全てのレポートを提出すること。未提出のレポートがある場合、不合格とする。他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。

連絡先

檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp

越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲 毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

越野 和樹 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000239																																																				
科目名	化学実験																																																				
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1																																																
曜日・時間: 金曜日・3～4 時限(前期5回、後期 3 回)対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。 対象学科: 医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る 別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける																																																					
授業の目的、概要等 無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけたし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。																																																					
授業の到達目標 一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。																																																					
授業計画 <table> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>1</td><td>4/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>4/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>4/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>4/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td><td>化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。</td></tr> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	4/13	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	2	4/13	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	3	4/20	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	4	4/20	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	5	4/27	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	6	4/27	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。	7	5/11	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																																
1	4/13	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
2	4/13	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
3	4/20	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
4	4/20	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
5	4/27	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
6	4/27	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																
7	5/11	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初回授業時に確認すること。																																																

8	5/11	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
9	5/18	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
10	5/18	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
11	5/25	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
12	5/25	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
13	6/1	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
14	6/1	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
15	6/8	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
16	6/8	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
17	6/15	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
18	6/15	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
19	6/22	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
20	6/22	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子,	化学学生実験室 ほか。詳細は、初

				勝又 敏行	回授業時に確認すること。
21	6/29	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
22	6/29	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
23	7/6	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
24	7/6	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
25	7/13	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
26	7/13	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
27	7/20	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
28	7/20	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
29	7/27	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
30	7/27	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
31	9/28	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
32	9/28	14:50-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。

33	10/5	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
34	10/5	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
35	10/19	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
36	10/19	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
37	10/26	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
38	10/26	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
39	11/2	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
40	11/2	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
41	11/9	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
42	11/9	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
43	11/16	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
44	11/16	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子, 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
45	11/30	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子,	化学学生実験室 ほか。詳細は、初

				勝又 敏行	回授業時に確認すること。
46	11/30	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
47	12/7	13:10-14:40		奈良 雅之 澤野 頼子 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
48	12/7	14:50-16:20		奈良 雅之 澤野 頼子 勝又 敏行	化学学生実験室 ほか。詳細は、初 回授業時に確認 すること。
授業方法 実習および講義による					
授業内容 前期 1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等) 2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1族-3族の分析) 3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(3-5族の分析) 4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) テスト(1-5族混合未知試料の分析) 5. 考察実験(ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等) 後期 6. 容量分析(その1) 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方 7. 容量分析(その2) 容量分析テスト(酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定) 8. 容量分析(その3) キレート滴定 牛乳、天然水中の Ca^{2+} の定量					
成績評価の方法 実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。 実験ノート(一次記録および報告)50%、特別報告 20% 実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)30%					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。					
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)					
参考書 高木誠司著: 定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂 高木誠司著: 定量分析の実験と計算、共立出版 柴田村治著: 無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、共立出版 D.T.Plummer 著: 廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人					
連絡先 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00	ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00	ヒポクラテス 4 階
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00	ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000240																																																				
科目名	生物学実験																																																				
担当教員	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則																																																				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1																																																
・曜日・時間: 金曜日3～5限 ・対象学科・専攻: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-2) 自然現象を探究するための手法を知る。 4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける。																																																					
主な講義場所 ヒポクラテスホール3階 生物学学生実験室																																																					
授業の目的、概要等 講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。																																																					
授業の到達目標 1) 生物を適切に取り扱うことができる。 2) 実験機器を正しく使用することができる。 3) 肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。 4) 現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。 5) データを整理・分析し、レポートにまとめることができる。																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>4/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>4/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>4/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>4/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久</td><td>生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	4/13	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	2	4/13	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	3	4/20	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	4	4/20	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	5	4/27	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	6	4/27	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。	7	5/11	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																																
1	4/13	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
2	4/13	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
3	4/20	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
4	4/20	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
5	4/27	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
6	4/27	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。																																																
7	5/11	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性																																																

					がある。
8	5/11	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
9	5/18	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
10	5/18	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
11	5/25	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
12	5/25	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
13	6/1	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
14	6/1	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
15	6/8	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
16	6/8	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
17	6/15	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
18	6/15	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
19	6/22	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
20	6/22	14:50-16:20		服部 淳彦,	生物学学生実験

				伊藤 正則 松本 幸久	室以外の教室を 使用する可能性 がある。
21	6/29	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
22	6/29	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
23	7/6	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
24	7/6	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
25	7/13	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
26	7/13	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
27	7/20	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
28	7/20	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
29	7/27	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
30	7/27	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
31	9/28	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
32	9/28	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性

					がある。
33	10/5	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
34	10/5	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
35	10/19	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
36	10/19	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
37	10/26	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
38	10/26	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
39	11/2	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
40	11/2	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
41	11/9	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
42	11/9	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
43	11/16	13:10-14:40		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
44	11/16	14:50-16:20		服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を 使用する可能性 がある。
45	11/30	13:10-14:40		服部 淳彦,	生物学学生実験

				伊藤 正則 松本 幸久	室以外の教室を使用する可能性がある。
46	11/30	14:50-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を使用する可能性がある。
47	12/7	13:10-14:40		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を使用する可能性がある。
48	12/7	14:50-16:20		服部 淳彦 伊藤 正則 松本 幸久	生物学学生実験 室以外の教室を使用する可能性がある。
授業方法 実習による。					
授業内容 肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。					
成績評価の方法 実習は観察とデータの処理・考察を重視する科目なので、レポート80%、授業態度20%で成績を評価する。 再評価: 有 *欠席は原則認めない。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。					
試験の受験資格 原則的には全て出席しないと、レポートを提出することはできない。教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。					
教科書 「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2018 年版) 参考図書は随時紹介する。					
参考書 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著、坂井建雄、岡田隆夫 監訳、坂井建雄、橋本尚詞、小林靖、渡邊卓、貞森直樹、岡田隆夫、中谷敬 訳、医学書院、2005					
履修上の注意事項 欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。					
連絡先 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 松本 幸久:毎週月曜日 PM4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室					

時間割番号	000300																						
科目名	サイエンス PBL 入門																						
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 増田 俊平, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 吉田 靖雄, 吉井 健太郎, 中野 真樹, 大塚 淳																						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																		
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2ー2)自然現象を探究するための手法を知る。 4ー3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。																							
主な講義場所 後日、掲示する。																							
授業の目的、概要等 ①問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上: 次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。 ②実験研究者になるための基礎づくり: 問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技術を培う。 ③医療に携わるうえでの基礎づくり 測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。																							
授業の到達目標 1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。 2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。 3. 建設的な話し合いを行うことができる。																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>12/14</td><td>13:10-14:40</td><td>2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室</td><td>徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳, 吉井 健太郎, 吉田 靖雄</td><td>その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>12/14</td><td>14:50-16:20</td><td>2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室</td><td>徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子,</td><td>その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	12/14	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳, 吉井 健太郎, 吉田 靖雄	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。	2	12/14	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子,	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																		
1	12/14	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳, 吉井 健太郎, 吉田 靖雄	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。																		
2	12/14	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子,	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。																		

				奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	
3	12/21	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦, 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。
4	12/21	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦, 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。
5	1/11	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。

				服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	
6	1/11	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。
7	1/18	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。
8	1/18	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則,	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。

				梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	
9	1/25	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦, 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。
10	1/25	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦, 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。
11	2/1	13:10-14:40	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史 増田 俊平, 越野 和樹 檜枝 光憲 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之 松本 幸久 服部 淳彦, 伊藤 正則 梅崎 馨章 中野 真樹	その他、化学学生実験室、生物学学生実験室、物理学学生実験室、図書館分館セミナー室でも実施。

				大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	
12	2/1	14:50-16:20	2 番教室 3 番教室 4 番教室 5 番教室 6 番教室	徳永 伸一, 中口 悦史, 増田 俊平, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 梅崎 馨章, 中野 真樹, 大塚 淳 吉 井 健太郎 吉田 靖雄	その他、化学学 生実験室、生物 学学生実験室、 物理学学生実験 室、図書館分館セ ミナー室でも実 施。
授業方法 problem-based learning (PBL)					
授業内容 10 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の①-③の順に行う。 ①配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。 ②各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。 ③整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。 従って、この授業では学生間での話し合いが中心となり、話し合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。					
成績評価の方法 授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、ノートの記事内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示 各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。					
試験の受験資格 試験を行わない。					
教科書 課題シートなどの資料を配布する。					
参考書 必要に応じて紹介する。					
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohtml.las@tmd.ac.jp					

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00~PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

徳永 伸一:前期:

水曜 12:20~13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20~13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20~13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00~PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00~PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00~13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00~PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30~6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

中口 悦史:月・水 12:00~13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／
電子メールによる質問等は随時受け付ける

越野 和樹:毎週月曜日 12:00~13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000241						
科目名	科学基礎実験Ⅰ						
担当教員	檜枝 光憲, 伊藤 正則, 服部 淳彦, 松本 幸久, 勝又 敏行, 奈良 雅之						
開講時期	後期		対象年次		1		
・曜日・時間: 木曜3～4限(変則的) ・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る 別表 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける							
授業の目的、概要等 無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。							
授業の到達目標 実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	13:10-16:20	6 番教室	物理学実験	重力加速度の測定と統計誤差の扱い(1)	檜枝 光憲	その他、物理学学生実験室でも実施。
3-4	10/11	13:10-16:20	6 番教室	物理学実験	重力加速度の測定と統計誤差の扱い(2)	檜枝 光憲	その他、物理学学生実験室でも実施。
5-6	10/18	13:10-16:20					予備日
7-8	10/25	13:10-16:20	6 番教室	生物学実験	マウスの解剖、身体づくりの観察	服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	その他、生物学学生実験室でも実施。
9-10	11/1	13:10-16:20	6 番教室	生物学実験	光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作製・観察	服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	その他、生物学学生実験室でも実施。
11-12	11/8	13:10-16:20	6 番教室	生物学実験	魚の黒色素胞におけるメラノソームの動き	服部 淳彦, 伊藤 正則, 松本 幸久	その他、生物学学生実験室でも実施。
13-14	11/15	13:10-16:20					予備日
15-16	11/29	13:10-16:20	6 番教室	化学実験	無機金属イオンの分析(1)	奈良 雅之, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施。
17-18	12/6	13:10-16:20	6 番教室	化学実験	無機金属イオンの分析(2)	奈良 雅之, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施。
19-20	12/13	13:10-16:20	6 番教室	化学実験	容量分析(1) 中和滴定(食酢中の酸の定量)	奈良 雅之, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施。
21-22	12/20	13:10-16:20	6 番教室	化学実験	容量分析(2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量)	奈良 雅之, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施。
23-24	1/10	13:10-16:20					予備日

授業方法 実習による
授業内容 1 物理学実験: 重力加速度の測定と統計誤差の扱い(1) 2 物理学実験: 重力加速度の測定と統計誤差の扱い(2) 3 生物学実験: マウスの解剖、身体づくりの観察 4 生物学実験: 光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作製・観察 5 生物学実験: 魚の黒色素胞におけるメラノソームの動き 6 化学実験: 無機金属イオンの分析(1) 7 化学実験: 無機金属イオンの分析(2) 8 化学実験: 容量分析(1) 中和滴定(食酢中の酸の定量) 9 化学実験: 容量分析(2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量)
成績評価の方法 実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。 物理学分野 25% 生物学分野 35% 化学分野 40%で評価する。 化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、特別報告 20% 実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。
教科書 化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)
連絡先 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦 ahattori.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則 itohmt.las@tmd.ac.jp 松本 幸久 yuki.hisa.las@tmd.ac.jp 檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 服部 淳彦: 毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 勝又 敏行: 毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 伊藤 正則: 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 松本 幸久: 毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 檜枝 光憲: 毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000242				
科目名	科学基礎実験 N・O・K				
担当教員	澤野 頼子, 勝又 敏行				
開講時期	後期	対象年次	1		
・曜日・時間: 木曜日(前半9回)/3、4時限 ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数: 48 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－2) 自然現象を探究するための手法を知る 4－3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等					
定性分析、容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。					
授業の到達目標					
一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考
1	9/27	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
2	9/27	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
3	10/4	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
4	10/4	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
5	10/11	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
6	10/11	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
7	10/18	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
8	10/18	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
9	10/25	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施
10	10/25	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学生実験室でも実施

					施
11	11/1	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
12	11/1	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
13	11/8	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
14	11/8	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
15	11/15	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
16	11/15	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
17	11/22	13:10-14:40	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施
18	11/22	14:50-16:20	7 番教室	澤野 頼子, 勝又 敏行	その他、化学学 生実験室でも実 施

授業方法

実習および講義による

授業内容

1. 科学基礎実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
2. 容量分析(1)中和滴定:食酢中の酸の定量
3. 容量分析 数値の取り扱いについて
4. 容量分析(2)キレート滴定による水中のカルシウムの定量
5. 容量分析(3)キレート滴定による牛乳中のカルシウムの定量
6. 考察実験 各自が組み立てた実験計画を実施する
7. 無機定性分析(1)金属イオンの分析(硫化水素法による分属)
8. 無機定性分析(2)金属イオンの分析(ペーパークロマトグラフィー)
9. 発表会

成績評価の方法

実験のため実験中の取り組みや記録の作成などを重視し以下の通りとする。

実験ノート(一次記録、報告)50%、特別報告、発表 20%、実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)30%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2007

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007

基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編:東京化学同人, 2012

他科目との関連

本科目が「科学基礎演習」のいずれかを選択すること。 夏休み前に希望調査を行い、希望者数が募集人数を超えた場合は抽選を行う。

履修上の注意事項

出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。

備考

2年次、3年次編入生は、前半8週の3～5時限目で行う。

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000243					
科目名	科学基礎演習					
担当教員	越野 和樹, 澤野 頼子, 奈良 雅之					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
・曜日・時間: 時間割表を参照のこと ・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科 ・募集人数: 50 名まで ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表4－2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける						
主な講義場所						
10 番教室						
授業の目的、概要等						
看護や口腔保健に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学や物理の基礎を演習することを基本とする。前半は物理学(力学の基礎)について、後半は化学(物理化学の基礎)について演習を行う。						
授業の到達目標						
看護や口腔保健の専門科目で役立つ化学と物理の基礎を演習を通して学ぶ。具体的には、下記の授業計画で挙げている各項目に関して、基礎的な演習問題に取り組むことで理解を深めること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	13:10-14:40	10 番教室	第 1 回	運動の法則	越野 和樹
2	10/4	13:10-14:40	10 番教室	第 2 回	運動の法則	越野 和樹
3	10/11	13:10-14:40	10 番教室	第 3 回	簡単な運動	越野 和樹
4	10/18	13:10-14:40	10 番教室	第 4 回	簡単な運動	越野 和樹
5	10/25	13:10-14:40	10 番教室	第 5 回	仕事とエネルギー	越野 和樹
6	11/1	13:10-14:40	10 番教室	第 6 回	仕事とエネルギー	越野 和樹
7	11/8	13:10-14:40	10 番教室	第 7 回	質点系の運動	越野 和樹
8	11/15	13:10-14:40	10 番教室	第 8 回	質点系の運動	越野 和樹
9	11/22	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 1 回		奈良 雅之
10	11/29	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 2 回		澤野 頼子
11	12/6	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 3 回		澤野 頼子
12	12/13	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 4 回		澤野 頼子
13	12/20	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 5 回		澤野 頼子
14	1/10	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 6 回		奈良 雅之
15	1/17	13:10-14:40	10 番教室	化学分野 第 7 回	化学分野の考査	奈良 雅之

授業方法 講義と演習による
授業内容 物理学 ・運動の法則 ・簡単な運動 ・仕事とエネルギー ・質点系の運動 化学 ・酸化・還元 ・電池 ・反応速度 ・化学平衡
成績評価の方法 評価: 試験(物理学分野・化学分野毎の考査)100%・レポート0%・その他(授業への参加度が考慮される) 再評価: 有(再評価方法 物理学分野と化学分野を合わせた学期末再試験)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 物理学: 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする。 化学: 参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。
試験の受験資格 考査・再試験の受験資格: 3分の2以上出席
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著.: 培風館, 2016
参考書 化学／小島一光 著.: 化学同人, 2002 医療・看護系のための化学入門／塩田三千夫, 山崎昶 共著.: 裳華房, 2003
他科目との関連 本科目が「科学基礎実験 N・O・K」のいずれかを選択すること。夏休み前に希望調査を行う。
履修上の注意事項 物理学分野、化学分野のいずれかの考査を受けなかった場合は、履修放棄とみなし、再評価の対象者とならない。
連絡先 越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00—PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00—PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00—PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000244			
科目名	情報科学 N			
担当教員	徳永 伸一			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間:水曜4限 対象学科・専攻:保健衛生学科 看護学専攻				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理:Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング:十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
2	4/25	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
3	5/2	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
4	5/9	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
5	5/16	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
6	5/23	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
7	5/30	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
8	6/6	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
9	6/13	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
10	6/20	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
11	6/27	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
12	7/4	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
13	7/11	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
14	7/18	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男
15	7/25	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一、 津垣 正男

授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)
教科書 Web上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000245			
科目名	情報科学 T			
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 月曜4限 対象学科・専攻: 保健衛生学科 検査技術学専攻				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/16	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
2	4/23	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
3	5/7	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
4	5/14	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
5	5/21	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
6	5/28	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
7	6/4	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
8	6/11	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
9	6/18	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
10	6/25	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
11	7/2	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
12	7/9	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
13	7/23	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
14	7/30	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男
15	8/1	14:50-16:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男

授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。
授業内容 第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習 第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習 第3回(情報処理3) HTML 演習 第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行 第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文 第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文 第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数 第8回(プログラミング5) グラフィックス 第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文 第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文 第11回(プログラミング8) 配列 第12回(プログラミング9) 応用課題1 第13回(プログラミング10) 応用課題2 第14回 タイピング試験 第15回 予備(成績評価に関わる演習等)
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験により行う。 【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。 なお再評価の上限は70点とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。
試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)
教科書 Web上の教材を利用する。
履修上の注意事項 実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。
参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000246			
科目名	情報科学 O・K			
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 木曜 3 限 対象学科・専攻: 口腔保健科				
主な講義場所 計算機実習室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: E メール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: 十進 BASIC を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
2	4/19	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
3	4/26	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
4	5/10	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
5	5/17	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
6	5/24	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
7	5/31	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
8	6/7	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
9	6/14	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
10	6/21	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男

11	6/28	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
12	7/5	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
13	7/12	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
14	7/19	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男
15	7/26	13:10-14:40	計算機実習室	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第1回(情報処理1) Eメール(Webメール)・LMS 利用法、キーボード操作とタイピング演習

第2回(情報処理2) パソコン・インターネットの基礎、日本語入力・テキストエディタ演習

第3回(情報処理3) HTML 演習

第4回(プログラミング1) 十進 BASIC の概要、プログラムの入力と実行

第5回(プログラミング2) 変数と数値式、INPUT 文、PRINT 文

第6回(プログラミング3) FOR～NEXT 構文

第7回(プログラミング4) DEF 文、組み込み関数

第8回(プログラミング5) グラフィックス

第9回(プログラミング6) IF～ENDIF 構文

第10回(プログラミング7) DO～LOOP 構文

第11回(プログラミング8) 配列

第12回(プログラミング9) 応用課題1

第13回(プログラミング10) 応用課題2

第14回 タイピング試験

第15回 予備(成績評価に関わる演習等)

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

(1)プログラミング: 出席、課題提出および学期末の試験による(約70点満点)

(2)情報処理: 出席・タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)

なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。またプログラミング試験の不合格者に対しては、後期に演習を課し、さらに再試験を行う。

なお再評価の上限は70点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。

また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また筆記試験で不合格となった学生に対しては、後期に行う演習の課題提出を、再評価の必須要件とします。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

プログラミングテキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

時間割番号	000248			
科目名	情報処理(Ⅱ)			
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間: 木曜 1 限				
対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)				
主な講義場所				
計算機実習室および 6 番教室				
(詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等				
医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。				
単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標				
・E メール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML 等の基本的な技術を習得する。				
・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
2	4/19	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
3	4/26	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
4	5/10	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
5	5/17	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
6	5/24	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
7	5/31	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
8	6/7	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
9	6/14	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
10	6/21	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将

11	6/28	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
12	7/5	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
13	7/12	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
14	7/19	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
15	7/26	09:10-10:40	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将

授業内容

第 1 回 情報セキュリティ、著作権

第 2 回 [計]E メール(Web メール)・LMS 利用法

第 3 回 パソコン・インターネットの基礎

第 4 回 [計]タイピング演習

第 5 回 無線 LAN 接続

第 6 回 [計]テキストエディタ演習

第 7 回 HTML 基礎

第 8 回 [計]HTML 演習

第 9 回 Excel 基礎

第 10 回 [計]Excel 演習(1)

第 11 回 データ処理の基礎

第 12 回 [計]Excel 演習(2)

第 13 回 総合演習

第 14 回 [計]Excel 演習(3)

第 15 回 [計]タイピング試験

([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち 2 クラスは第 2 回の内容から開始し、14 週目付近に第 1 回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

時間割番号	000249			
科目名	情報処理(β)			
担当教員	徳永 伸一, 八島 高将, 津垣 正男			
開講時期	前期	対象年次	1	
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科・専攻:医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)				
主な講義場所 計算機実習室および 6 番教室 (詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)				
授業の目的、概要等 医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。 単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。				
授業の到達目標 ・Eメール、テキストエディタ、タイピング、表計算ソフト(Excel)、HTML等の基本的な技術を習得する。 ・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/12	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
2	4/19	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
3	4/26	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
4	5/10	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
5	5/17	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
6	5/24	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
7	5/31	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
8	6/7	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
9	6/14	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
10	6/21	10:50-12:20	計算機実習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男,

			番教室	八島 高将
11	6/28	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
12	7/5	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
13	7/12	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
14	7/19	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将
15	7/26	10:50-12:20	計算機実 習室 6 番教室	徳永 伸一, 津垣 正男, 八島 高将

授業内容

第1回 情報セキュリティ、著作権

第2回 [計]Eメール(Webメール)・LMS 利用法

第3回 パソコン・インターネットの基礎

第4回 [計]タイピング演習

第5回 無線 LAN 接続

第6回 [計]テキストエディタ演習

第7回 HTML 基礎

第8回 [計]HTML 演習

第9回 Excel 基礎

第10回 [計]Excel 演習(1)

第11回 データ処理の基礎

第12回 [計]Excel 演習(2)

第13回 総合演習

第14回 [計]Excel 演習(3)

第15回 [計]タイピング試験

([計]は計算機実習室で行う授業。医歯学科全体で計4クラスに分け、うち2クラスは第2回の内容から開始し、14週目付近に第1回の内容を行う。詳細は掲示等で確認すること)

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。

習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

時間割番号	000250					
科目名	スポーツ・健康科学					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
曜日・時間:後期 木曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
主な講義場所 1 番教室						
授業の目的、概要等 教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって、本授業ではこれらの目的達成にむけての基盤として、スポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎理論を学びます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての基礎理論とそのより効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。						
授業の到達目標 本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べる事が出来る能力を有することを授業の到達目標としています。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	13:10-14:40	1 番教室	スポーツ・健康科学授業概要	該当年度の授業題目並びに担当教員等を記載した授業計画を説明します スポーツとは？ 健康とは？	水野 哲也
2	10/4	13:10-14:40	1 番教室			戸ヶ里 泰典
3	10/11	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
4	10/18	13:10-14:40	1 番教室			谷木 龍男
5	10/25	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
6	11/1	13:10-14:40	1 番教室			今野 和志
7	11/8	13:10-14:40	1 番教室			
8	11/15	13:10-14:40	1 番教室			
9	11/22	13:10-14:40	1 番教室			宮崎 泰成
10	11/29	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
11	12/6	13:10-14:40	1 番教室			難波 秀行
12	12/13	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
13	12/20	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
14	1/10	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
15	1/17	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
授業方法 授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。						

授業内容 1. 身体並びに健康に関する文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくとともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。 2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、事例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。 3. フィットネス科学 健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクセーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。
成績評価の方法 評価: 定期試験期間に考查を実施し、その理解度を評価します。 試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります) 再評価: 有 (レポートによる)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。
参考書 現代霊性論／内田樹、釈徹宗 [著]、講談社、2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊、亀山佳明 編、世界思想社、1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古、朝倉隆司 編、有信堂高文社、2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著、大修館書店、2005 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか、有信堂、2008
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000251					
科目名	スポーツ・健康科学					
担当教員	水野 哲也					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
曜日・時間:後期 金曜3限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する						
主な講義場所 1 番教室						
授業の目的、概要等 教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって、本授業ではこれらの目的達成にむけての基盤として、スポーツ・身体活動及び健康に関する科学的基礎理論を学びます。具体的には、生涯における健康的で有意義な人生設計に欠かせないより良いライフスタイル形成についての基礎理論とそのより効果的な実践能力育成のための基礎を学びます。従って、この授業は原則して全学科の1年生を対象とし、特に専門教育以前に学生自身の健康管理並びにスポーツに関する一般的な教養を身に就けることをその目的とします。 本授業はスポーツ並びに健康科学に関する基礎理論を中心とした授業で、その内容は、スポーツと健康に関する人文・社会科学及び自然科学です。						
授業の到達目標 本授業の到達目標のひとつは、スポーツ並びに健康科学に関する理論を学び、それを十分に理解することです。特に本授業では、主体的(能動的)な学習態度を心がけ、単なる知識の習得に留まらず、実習系授業等の中で実施される測定、評価並びに体験との有機的な融合を図る中で、学生自身の自己管理能力の基盤と心身及び社会環境に関する基礎的な実践的教養を身に就けて頂きたいと考えています。またさらに、その結果として、本授業で学んだ内容を基盤にして、スポーツ並びに健康に関する一般的な命題に対して、自らの考えを簡潔に述べる事が出来る能力を有することを授業の到達目標としています。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	13:10-14:40	1 番教室	スポーツ・健康科学授業概要	当該年度の授業題目と担当教員などの授業計画を説明します スポーツとは？ 健康とは？	水野 哲也
2	10/5	13:10-14:40	1 番教室			戸ヶ里 泰典
3	10/19	13:10-14:40	1 番教室			谷木 龍男
4	10/26	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
5	11/2	13:10-14:40	1 番教室			平井 伸英
6	11/9	13:10-14:40	1 番教室			大林 太郎
7	11/16	13:10-14:40	1 番教室			大林 太郎
8	11/30	13:10-14:40	1 番教室			大林 太郎
9	12/7	13:10-14:40	1 番教室			難波 秀行
10	12/14	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
11	12/21	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
12	1/11	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
13	1/18	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
14	1/25	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
15	2/1	13:10-14:40	1 番教室			水野 哲也
授業方法 授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視しています。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。						
授業内容 1. 身体並びに健康に関する文化論 スポーツを含む身体活動並びに身体表現に着目し、人文・社会学的視座からその文化的価値並びにその現代的意味を考えていくと						

ともに、広くヒトの身体と社会との関わり、またその教育の重要性及び意義について考えます。 2. 保健医学 感染症・薬物・生活習慣・エイジングなど健康を巡るさまざまな問題を取り上げ、事例を紹介しながら、検討し、医学や医療従事者として今後どのような心構えが必要なのかについても共に考えます。 3. フィットネス科学 健康生成の観点からヒトの身体運動の生理学的メカニズムや予防医学的手段としての価値や適正量など、その現代的意義を中心に考えるとともに食事(栄養、食品、調理、献立やその適切な組み合わせ方法)と休養(リラクゼーション、睡眠など)の重要性とそのメカニズムについて解説し、ストレスマネジメントを含むトータルなフィットネスマネジメント(健全なライフスタイルの形成)の意義について考えます。
成績評価の方法 評価: 定期試験期間に考查を実施し、その理解度を評価します。 試験 100% (担当教員によっては、授業中に理解度評価を実施する場合があります) 再評価: 有 (レポートによる)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 生きる力の原点である”健康と体力”の意義について、主体的(能動的)に学ぶことにより、”自分の健康を守る”ことはもとより、”家族”、”地域”そして”地球”へと意識を拡大し、その健康を守るために何が重要で、時代が何を求めているかをしっかり考えてください。よって、少なくとも準備学習として受験準備では重要視して来なかった高校までの保健体育に関する授業内容を主体的に事前準備することを前提条件とします。
参考書 現代霊性論／内田樹, 釈徹宗 [著].: 講談社, 2013 スポーツ文化を学ぶ人のために／井上俊, 亀山佳明 編.: 世界思想社, 1999 生き方としての健康科学／山崎喜比古, 朝倉隆司 編.: 有信堂高文社, 2011 教養としてのスポーツ心理学／徳永幹雄 編著.: 大修館書店, 2005 ストレス対処能力 SOC／山崎喜比古 ほか.: 有信堂, 2008
他科目との関連 実習系科目であるフィットネスマネジメント並びに保健体育学分野が実施する S 科目、セミナーとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiku/index.html
連絡先 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000252				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 木曜3限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のペースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/12	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
2	4/19	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
3	4/26	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
4	5/10	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
5	5/17	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
6	5/24	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志	

				稲垣 和希
7	5/31	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
8	6/7	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
9	6/14	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
10	6/21	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
11	6/28	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
12	7/5	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
13	7/12	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
14	7/19	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
15	7/26	13:10-14:40		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による	
準備学習などについての具体的な指示	
単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。	
試験の受験資格	
本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。	
参考書	
身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000	
健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005	
健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017	
健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005	
他科目との関連	
講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることにより効果が上がるように設計されています。	
参照ホームページ	
http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html	
連絡先	
水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp	
オフィスアワー	
水野 哲也 毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室	

時間割番号	000253				
科目名	フィットネスマネジメント				
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 木曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/12	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希	
2	4/19	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希	
3	4/26	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希	
4	5/10	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希	
5	5/17	14:50-16:20		水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希	
6	5/24	14:50-16:20		水野 哲也,	

				今野 和志 稲垣 和希
7	5/31	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
8	6/7	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
9	6/14	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
10	6/21	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
11	6/28	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
12	7/5	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
13	7/12	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
14	7/19	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希
15	7/26	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることにより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html
連絡先 水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000254				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 松浦 佑希, 高岡 英氣				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
2	4/20	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
3	4/27	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
4	5/11	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
5	5/18	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	

6	5/25	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
7	6/1	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
8	6/8	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
9	6/15	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
10	6/22	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
11	6/29	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
12	7/6	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
13	7/13	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
14	7/20	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
15	7/27	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価: 参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html
連絡先 水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也 毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000255				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 松浦 佑希, 高岡 英氣				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜4限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のペースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/13	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
2	4/20	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
3	4/27	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
4	5/11	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
5	5/18	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
6	5/25	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣	

				松浦 佑希
7	6/1	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
8	6/8	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
9	6/15	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
10	6/22	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
11	6/29	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
12	7/6	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
13	7/13	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
14	7/20	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希
15	7/27	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html
連絡先 水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也 毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000863																												
科目名	フィットネスマネージメント																												
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希																												
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1																								
曜日・時間: 木曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける																													
授業の目的、概要等 教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。																													
授業の到達目標 本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>8/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>8/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>9/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	8/30	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。	2	8/31	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。	3	9/1	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																								
1	8/30	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								
2	8/31	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								
3	9/1	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								

4	9/2	10:50-12:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	フィットネスキャン プを選択した者 のみ。日程は変 更となる場合が ある。
5	9/27	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
6	10/11	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
7	10/25	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
8	11/8	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
9	11/22	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
10	12/6	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
11	12/20	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

参考書

身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000

健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005

健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017

健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

参照ホームページ

<http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html>

連絡先

水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000864				
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	水野 哲也, 今野 和志, 稲垣 和希				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 木曜4限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のペースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/4	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
2	10/18	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
3	11/1	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
4	11/15	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
5	11/29	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
6	12/13	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志	

				稲垣 和希	
7	1/10	14:50-16:20		水野 哲也 今野 和志 稲垣 和希	
授業方法 授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。 前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。 また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。					
授業内容 基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsort Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。					
成績評価の方法 評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45% 再評価: 有 (レポート等による)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。					
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。					
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫: 市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古: 有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則: 医学書院, 2005					
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。					
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html					
連絡先 水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室					

時間割番号	000865																												
科目名	フィットネスマネジメント																												
担当教員	水野 哲也, 松浦 佑希, 高岡 英氣																												
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1																								
曜日・時間: 金曜4限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3－3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける																													
授業の目的、概要等 教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。																													
授業の到達目標 本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>8/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>高岡 英氣 谷木 龍男</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>2</td><td>8/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>高岡 英氣 谷木 龍男</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>9/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>高岡 英氣 谷木 龍男</td><td>フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	8/30	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。	2	8/31	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。	3	9/1	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																								
1	8/30	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								
2	8/31	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								
3	9/1	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャンプを選択した者のみ。日程は変更となる場合がある。																								

4	9/2	10:50-12:20		高岡 英氣 谷木 龍男	フィットネスキャン プを選択した者 のみ。日程は変 更となる場合が ある。
5	9/28	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
6	10/19	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
7	11/2	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
8	11/16	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
9	12/7	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
10	12/21	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
11	1/18	13:10-14:40		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	

授業方法

授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。

前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。

また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。

授業内容

基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsortt Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。

成績評価の方法

評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著, 竹中晃二 監訳：北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫：市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古：有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則：医学書院, 2005
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html
連絡先 水野 哲也 mizuno.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000866				
科目名	フィットネスマネジメント				
担当教員	水野 哲也, 松浦 佑希, 高岡 英氣				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜4限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1ー8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する 別表3ー3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける					
授業の目的、概要等					
教育の目的は、より良い人間を育成することであり、より良い人間とは、正義を信条とし、自立して社会の福祉を増進することに努めるとともに文化の向上に貢献しうる人間です。よって保健体育学分野が開講する授業においても、これらの目的達成にむけての基盤として、本授業の受講を通して自立した個人に求められる健康な心身を生成するために必要なスポーツ・身体活動実践の体験的価値並びに健康づくりにおける論理的意義を学び、その実践能力を高めることが求められます。特に、本授業では受験対策等で萎縮した心身を学齢期の最終段階であるこの時期に賦活させるとともに、今後のフィットネス(健康・体力)管理のベースとなる予防医学の手段としての効果的な運動・トレーニング、栄養・食事、休養・睡眠並びにメンタルマネジメントについて、健康生成の視点からそれぞれに合った方法を用いて客観的に評価し、それに基づく効果的な改善策を継続的に実施することによって、より良いコンディションづくりの基盤を身に就けることを第一の目的としています。 また、本授業では様々な身体運動文化の実践を通して、適切な基本的生活態度と習慣、他者との協働に不可欠な礼儀、節度、対人関係並びに効果的なコミュニケーション能力等の向上を図ることもその目的です。 そして、こうした授業目的の達成のためには、学生自身の能動的かつ誠実で責任ある授業態度はもちろんのこと、授業達成目標の共有をはじめとした積極的な姿勢、取り組みが必要十分条件です。					
授業の到達目標					
本授業の最終到達目標には、健康生成の視座から自分自身で自らのフィットネスを適切に管理する能力(フィットネスの自己管理能力)の基礎を確実に身に就けることにあります。そして、この自立した基礎能力の獲得には、大きく分けて4つのステップがあり、その一つ目は継続した各種フィットネスプログラム(適切な運動、食生活、休養並びに他者とのコミュニケーション)の実践です。また、二つ目はその継続的な実践による基礎的なフィットネスの獲得です。また、こうして獲得された基礎的なフィットネスが生涯にわたって適切に維持・増進されていくためには第3段階(三つ目)として、それらを正しく自己評価する能力が求められます。授業の中では、こうした自己評価能力を高めるために各種フィットネス評価のための測定や調査を実習するとともに、フィットネス教育用システム TFAS(Total Fitness Analysis System)を用いた評価を年3回実践します。さらに授業における最終段階(四つ目)では、学生自身が前述した様々な実践と実習を通して得た情報を基に、その後の自己管理(フィットネスマネジメント)にむけたプランニングが求められます。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/5	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
2	10/26	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
3	11/9	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
4	11/30	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
5	12/14	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
6	1/11	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣	

				松浦 佑希	
7	1/25	14:50-16:20		水野 哲也 高岡 英氣 松浦 佑希	
授業方法 授業は基本的に実習形式で実施されますが、内容によってはその学習効果を上げるために講義形式の授業を行うことがあります。受講学生には各学期とも時間毎に数種類のプログラムが準備されています。学生は、前期の第1回目の授業時に担当教官の指示に従って種目選択を行い、第2回目以降の授業では原則として各種目別のクラスによって授業が進められます。 前期課題として授業内でフィットネス教育システム TFAS にログインし、各自の心、運動、栄養、休養、メディカル面のチェックを実施し、それらから得られた評価を基に自らのフィットネスプランを含むレポートを作成します。 また、後期は隔週での運動実践の中で継続的にトータルフィットネスプログラムを実践し、授業内で実施する年3回の体力テスト並びに TFAS を用いたフィットネスチェックによって自らの包括的なフィットネスを自己評価し、その具体的な獲得を図る中で、その結果等を基に本授業の最終課題として生涯フィットネスプランを含むレポートを作成します。					
授業内容 基本的には、最低1日/週の頻度で定期的な運動実践並びに各種フィットネス項目の測定評価の実習が行われます(後期は隔週)。授業の中で実施される運動内容には、テニス、バドミントン、卓球、バレーボールなどのスポーツ種目の他に、リラクゼーションや軽運動を含むコンディショニング・エクササイズさらには身体感覚の育成や身体操作法の養成を目的としたプログラムなどが用意されています。また、後期種目選択の一つとして Health Rsort Medicine の理論に基づいた転地合宿形式での「フィットネスキャンプ」もそれに含まれます。なお、本年度は実施される授業の評価・分析のためのいくつかの調査等が計画されており、全員の学生にその協力をお願い致します。					
成績評価の方法 評価:参加度 55%、貢献度・授業目的達成度 45% 再評価: 有 (レポート等による)					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、健康生成のための仲間づくりや自らの生涯フィットネスをどのようにデザインするかなど、主体性をもって能動的に自らのライフスタイルを構築してゆく態度や姿勢が求められます。よって、授業外でもフィットネス教育用システム TFAS を活用して自己教育力を高めてください。					
試験の受験資格 本授業は実習系科目のため、原則全授業の3/4以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。					
参考書 身体活動と行動医学：アクティブ・ライフスタイルをめざして／J.F.サリス, N.オーウェン 著,竹中晃二 監訳: 北大路書房, 2000 健康運動プログラムの基礎／北川 薫: 市村出版, 2005 健康生成力 SOC と人生・社会／山崎喜比古: 有信堂, 2017 健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか／近藤克則: 医学書院, 2005					
他科目との関連 講義系科目であるスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目並びに各種セミナーとの有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。					
参照ホームページ http://www2.tmd.ac.jp/artsci/taiiku/index.html					
連絡先 水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室					

時間割番号	000813				
科目名	S・ロシア語入門1				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
授業の目的、概要等					
ロシア語の基礎を学ぶ。文字を覚えることからはじめ、動詞の現在変化、名詞の格変化など初歩の文法を学び、平易なロシア語のあいさつや重要表現を習得する。					
授業の到達目標					
ロシア語はロシアだけでなく、旧ソ連各国や離散したロシア人たちによって世界各地で使われる言語である。またウクライナ語やベラルーシ語という東スラブ系言語とも近い関係にある。独特の文字や発音、また格変化など一見して近づきたい印象があるかもしれないが、傑出した文豪や知識人を生み出したロシアの文化を、言語を通して学んでいく。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
2	4/23	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
3	5/7	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
4	5/14	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
5	5/21	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
6	5/28	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
7	6/4	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
8	6/11	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
9	6/18	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
10	6/25	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
11	7/2	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
12	7/9	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
13	7/23	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
14	7/30	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
15	8/1	10:50-12:20	5 番教室	高尾 千津子	
授業方法					
まずは独特の文字と発音を覚えることから始める。ロシア語の入門用テキストを用いて、ロシア語の基本的文法を習得する。履修者には毎回、重要表現の暗唱、書き取り、練習問題を課す。またロシアの社会や文化についても随時紹介していきたい。					
授業内容					
1 ロシア語の文字と発音 1					
2 ロシア語の文字と発音 2					
3 基本の文型					
4 疑問文 疑問詞					
5 人称代名詞、ロシア人の名前について					
6 名詞の文法性					
7 所有代名詞					
8 動詞の現在人称変化 第1 変化、第2 変化					
9 無人称文					
10 場所の表現 前置格					
11 移動の動詞					
12 生格の使い方					
13 名詞の与格と造格					
14 名詞の対格					
15 まとめと復習					
成績評価の方法					
評価：試験 60% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加と小テスト)40 %					
再評価: なし					

準備学習などについての具体的な指示

履修者は教科書を予習するだけでなく、授業後は付録の CD を聞き、毎週ロシア語のイントネーション、アクセント、発音を復習すること。

教科書

NHK新ロシア語入門／佐藤 純一／著：日本放送出版協会，2001

参考書

必要に応じて補助教材を配布する。

履修上の注意事項

初回にロシア語の文字と発音の基礎を習得するので必ず出席すること。

時間割番号	000821					
科目名	S・漢文講読					
担当教員	土佐 朋子					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
・曜日・時間: 月曜 2 限						
・募集人数: 10 名						
・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)						
別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する						
別表1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る						
授業の目的、概要等						
志怪小説・唐代伝奇を読みながら、日中の現代ホラーの源泉の一つである古代中国文学に対する理解を深めるとともに、漢文訓読の能力を向上させることを目指す。						
志怪小説とは、魏晉南北朝を中心に記録された怪異譚であり、唐代伝奇はそれが発展した怪奇小説である。						
これらは、日本にも 9 世紀までには確実に伝来し、享受されてきた。それらを土台とした作品が、今昔物語などの古典作品に見られるだけでなく、芥川龍之介『杜子春』や中島敦『山月記』などの近代以降の文学にも継承されている。						
中国志怪小説・唐代伝奇を読むことを通して、現代に至るまで継承される怪異譚の源流のありようを考える。また、それらを土台として成立した日本の作品も、比較対照させながら読んでいきたい。						
授業の到達目標						
①漢文訓読の技術を身につけ、できるだけ高いレベルに到達すること。						
②中国志怪・唐代伝奇に対する知識を身につけ、理解を深めること。						
③文化の継承と創造に対する考えを深めること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	10:50-12:20	10 番教室	ガイダンス	半年間の授業に関する説明。	土佐 朋子
2	4/23	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈1	『搜神記』義犬塚ほか	土佐 朋子
3	5/7	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈2	『搜神記』干将莫邪	土佐 朋子
4	5/14	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈3	『搜神記』死友ほか	土佐 朋子
5	5/21	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈4	異境訪問譚 2 編「桃花源」「劉晨・阮肇」	土佐 朋子
6	5/28	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈5	『幽明録』石氏女ほか	土佐 朋子
7	6/4	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈6	唐代伝奇「離魂記」ほか	土佐 朋子
8	6/11	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈7	唐代伝奇「無双伝」ほか	土佐 朋子
9	6/18	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文訓読と解釈8	唐代伝奇「杜子春伝」 芥川龍之介『杜子春』との比較も行う。	土佐 朋子
10	6/25	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文講読と解釈9	唐代伝奇「謝小娥伝」ほか	土佐 朋子
11	7/2	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文講読と解釈10	唐代伝奇「人虎伝」ほか 中島敦『山月記』との比較も行う。	土佐 朋子
12	7/9	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文講読と解釈11	『剪灯新話』牡丹灯記 落語『牡丹灯籠』との比較も行う。	土佐 朋子
13	7/23	10:50-12:20	10 番教室	演習 漢文講読と解釈	『剪灯新話』金鳳釵記	土佐 朋子

			室	12			
14	7/30	10:50-12:20	10 番教 室	演習 漢文講読と解釈 13	『剪灯新話』太虚司法伝	土佐 朋子	
15	8/1	10:50-12:20	10 番教 室	まとめ	半年間の漢文講読を通して考えた ことをまとめる。	土佐 朋子	
授業方法 演習形式。							
授業内容 第1回 オリエンテーション 第2～14回 漢文訓読と解釈を演習形式で行う。 第15回 まとめ。半年間漢文を読んできて考えたことをまとめる。 具体的な内容は、「授業スケジュール」に記したが、授業の進み具合などによって、内容を変更する場合がある。							
成績評価の方法 評価: 演習への参加(訓読・発表・質疑応答など)80% レポート 20% 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。							
準備学習などについての具体的な指示 毎回、訓読と解釈を行う。漢和辞典をひきながら、自分で漢文を訓む力が身につくよう、努力する。次回あてられそうな箇所については、事前に準備をすることを勧める。							
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。							
教科書 中国志怪・伝奇選／近藤春雄:武蔵野書院							
参考書 唐代伝奇(新釈漢文大系)／内田泉之助ほか:明治書院 『搜神記 幽明録 異苑』:明治書院 『唐伝奇入門』／呉志達著 赤井益久訳:日中出版, 1985 『中国の怪奇と美女ー志怪・伝奇の世界ー』／諏訪春男:武蔵野書院, 1991 『中国説話の散歩道』／莊司格一:日中出版, 1984 『中国の幽霊』／竹田晃:東京大学出版, 1980 『鬼趣談義』／澤田瑞穂:中公文庫, 1998 :講談社, 1987 漢和辞典(手元にあるものでよい。電子辞書でOK)。							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。 出欠管理システムに打刻されていても、教員がとった出欠に出席記録がない場合には、欠席扱いになります。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。							
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟2階文学研究室							

時間割番号	000870				
科目名	S・英語で読む医学哲学				
担当教員	田中 智彦				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
◇ 曜日・時間: 月曜 2 限					
◇ 対象学科: 全学科					
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)					
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-7) 人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等					
この授業では、20 世紀の哲学者ガダマーが医学・医療、生と死、健康と病などのテーマを論じた論文集 Hans-Georg Gadamer, The Enigma of Health: The Art of Healing in a Scientific Age, translated. by J.Gaiger and N.Walker (Polity Press, 1996) に収められている論文をとりあげ、精読してゆきます。					
英語の文献を適切に読解することはもちろん、そこで論じられているテーマについて洞察を深めることが目的です。授業はセミナー形式で行います。					
授業の到達目標					
(1) 人文社会科学系の英語学術論文を適切に読解する基礎をすること。					
(2) 医学・医療に関係するさまざまな論点について理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/16	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
2	4/23	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
3	5/7	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
4	5/14	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
5	5/21	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
6	5/28	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
7	6/4	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
8	6/11	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
9	6/18	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
10	6/25	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
11	7/2	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
12	7/9	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
13	7/23	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
14	7/30	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
15	8/1	10:50-12:20	4 番教室	田中 智彦	
授業方法					
セミナー形式で行います。担当者(受講者の中から指名)が作成した訳文をもとに読み進めてゆくと同時に、そこで提示される論点について折々に議論をし、テーマへの理解を深めてゆきます。					
授業内容					
The Enigma of Health 所収の論文からまずは Authority and Critical Freedom をとりあげ、精読してゆきます。他に少なくとももう 1 本は読みたいと考えています。					
成績評価の方法					
この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。					
◇評価: 期末レポート 70%					
授業への参加度 30%(事前の準備、議論への参加など)					
◇再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 (1) 担当者であるかないかにかかわらず、毎回必ず各自で訳文を作成して授業に臨むこと。 (2) 各回に学んだことを、次回の訳文作成や内容理解に反映させるよう試みること。
試験の受験資格 ◇ 期末考査・再考査・再試験等の受験資格: 原則として 3 分の 2 以上の出席
教科書 授業で用いる論文はコピーして配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦: 毎週金曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室

時間割番号	000879					
科目名	S・フランスとヨーロッパの現在					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
曜日・時限:火曜 4 限(4/24・5/1・5/8)火曜 3・4 限(5/29・6/12・6/26・7/10・7/24・9/11)						
対象学科:医学科・歯学科・検査技術学科						
受講資格:特になし						
募集人数:15 名						
コンピテンシー:別表3-4)外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
目的:主としてフランスの社会・文化に関わる時事問題を通して、ヨーロッパやアフリカも視野に入れながらフランス現代社会の一端を知る。						
概要:フランスで最近話題になった社会現象や、文化的な出来事を取り上げ、その背景となる歴史や地理、社会制度についても理解を深めます。できるだけ直近のニュース報道から、今、話題になっている出来事を取り上げることで、現在のフランスやヨーロッパへの関心を高めます。						
授業の到達目標						
1)フランスやヨーロッパに対する興味を深め、基本的知識を得る。						
2)フランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心の幅を広げるとともに、日本を世界の中で相対化する視点を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/24	14:50-16:20	11 番教室	授業紹介	授業の概要の紹介	中島 ひかる
2	5/1	14:50-16:20	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説と意見交換	中島 ひかる
3	5/8	14:50-16:20	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説と意見交換	中島 ひかる
4	5/29	13:10-14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
5	5/29	14:50-16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
6	6/12	13:10-14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
7	6/12	14:50-16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
8	6/26	13:10-14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
9	6/26	14:50-16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
10	7/10	13:10-14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
11	7/10	14:50-16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
12	7/24	13:10-14:40	11 番教室	ニュース解説	教員によるニュースの解説	中島 ひかる
13	7/24	14:50-16:20	11 番教室	学生発表・意見交換	学生発表と意見交換	中島 ひかる
14-15	9/11	13:10-16:20	11 番教室	レポート発表会	レポート発表会	中島 ひかる

授業方法

講義と演習(発表と討論)による。

最初は講義形式で、毎回、最近のフランスのニュース報道から話題になった社会現象や、文化的な出来事について幾つかのトピックスを選んで解説し、その背景となる歴史や地理、社会制度についても触れます。5月29日以降は2コマ連続の授業となりますので、教員が解説した記事に対する各自のコメントを求めるほか、ニュース報道等から、興味のあるトピックスを自ら選んで、教室で発表して頂き、皆で討論(意見交換)を行います。

授業内容

昨年扱った Topics の例をあげます。

- ・大統領選挙
- ・移民問題
- ・ヨーロッパにおける極右の擡頭
- ・テロ
- ・イギリスの EU 離脱
- ・バカロレア制度
- ・タバコパッケージ(禁煙対策)
- ・電子汚染
- ・バゲット
- ・スペイン産ワイン
- ・カンヌ映画祭ポスター(女性差別への抗議)
- ・サイバーテロ
- ・ラマダン
- ・アメリカのパリ協定離脱

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)0%・レポート 60 %・

その他 40 % (授業中の質疑応答、発表等)

再評価:無

期末レポート、及びに授業中の発表や質疑応答や議論等による参加度で評価します。フランスやヨーロッパの現代社会に興味を持って頂くのが目的の授業ですので、授業中の発表や期末レポートは、フランスやヨーロッパの文化や出来事について、自分でテーマを選んで分析・コメントして頂きます。また、教員の解説や他の人の発表に対する授業中の積極的な発言も評価します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

教員が取り上げるトピックスについては、事前にお知らせしますので、できる範囲で自分でも情報を収集し、日本社会や文化との差について考えておいて下さい。授業中にコメントや自分の考えを述べてもらう機会を設けます。

試験の受験資格

3分の2以上に出席したものにレポート提出資格を与える。

教科書

・francetvinfo

<http://www.francetvinfo.fr/>

映像付きで最新ニュースを報道していますので、主にこのサイトから記事を選んで、受講者に URL を配信します。内容は日本語で解説します。

他科目との関連

ヨーロッパの社会や文化に興味があって、積極的にニュースに触れようという意欲があれば、フランス語選択者以外も選択できます。授業中は教員が日本語で解説しますが、テキストにはフランス語も含まれますので、フランス語選択者は、時事問題のフランス語の表現に興味を持って頂けるとフランス語への理解も深まります。

履修上の注意事項

出欠管理システムには必ず打刻して下さい。ただし、教員がとる出欠で記録を適宜修正します。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000306																																																																																				
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス 1																																																																																				
担当教員	服部 淳彦																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 火曜日 3・4限(第1・3週を除く) ・対象学科・専攻: 医学・歯学・検査学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。 2ー5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。																																																																																					
授業の目的、概要等 この科目は、 バイオサイエンス 1(前期)と2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。本年度は、前期のみでこの科目の目的を完結する。 この科目では、 1) 現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。 2) また、 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む。 3) 次に、 それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。 4) さらにその発展バージョンとして、 自由にテーマを設定し、 実験のプランニングをし、 そのプランに従った実験を実際に行い、 最後に「背景、 方法、 結果と考察」を発表形式にまとめてもらう。 したがって、 実験を行う日は、 4時限以降にずれ込むこともありうるので、 その事も考慮するように。																																																																																					
授業の到達目標 将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/24</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>5/1</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>5/8</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>5/29</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/29</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>6/12</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>6/12</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>6/26</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>9</td><td>6/26</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>10</td><td>7/10</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>11</td><td>7/10</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>12</td><td>7/24</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>13</td><td>7/24</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>14</td><td>9/11</td><td>13:10-14:40</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>15</td><td>9/11</td><td>14:50-16:20</td><td>7 番教室</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/24	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	2	5/1	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	3	5/8	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	4	5/29	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	5	5/29	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	6	6/12	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	7	6/12	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	8	6/26	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	9	6/26	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	10	7/10	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	11	7/10	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	12	7/24	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	13	7/24	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦	14	9/11	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦	15	9/11	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/24	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
2	5/1	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
3	5/8	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
4	5/29	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
5	5/29	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
6	6/12	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
7	6/12	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
8	6/26	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
9	6/26	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
10	7/10	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
11	7/10	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
12	7/24	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
13	7/24	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
14	9/11	13:10-14:40	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
15	9/11	14:50-16:20	7 番教室	服部 淳彦																																																																																	
授業方法 主に、論文紹介と実験とその中間発表による。																																																																																					
授業内容 1. 本年度のテーマに沿った内容の講義 2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む。 3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得 4. テーマを設定し、 独自の実験計画を立て、 実際に実験を行う(前期と夏休み) 5. 結果をパワーポイントにまとめて発表する(夏休み明け) * 実習セミナー形式の授業なので、 募集人数は8名をMAXとし、 希望者が多い場合は、 申し訳ないが人数を絞らせていただく。																																																																																					

成績評価の方法

評価:その他 100%

英語論文に関する理解度や中間・最終発表時のプレゼンテーションやディスカッションの様子などから総合的に判断する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読み、研究テーマや実験の進め方に関しては適宜相談に来ること。

教科書

参考論文などは、随時紹介する。

連絡先

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000862					
科目名	S・Essentials of Molecular and Cellular Biology					
担当教員	JEANETTE DENNISSON					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
This course is a general biology course taught in English.						
The content in this course complements material taught in your regular biology course (生物学(細胞・遺伝子)). The purpose of this course is to prepare motivated students to learn and review biology concepts through English. The course should support learning of your regular biology course content.						
授業の目的、概要等						
The purpose of this course is to build on your molecular and cellular biology knowledge through class discussions and self-directed study of English reading materials.						
Goals						
1) Gain confidence in taking notes of English-medium lectures and teaching materials						
2) Improve English oral discussion ability on molecular and cellular biology topics						
3) Actively investigate current trends in molecular and cellular topics						
4) Summarize and lecture in English on key topics in molecular and cellular biology						
授業の到達目標						
By the end of this course, you will be able to:						
1) Take quality notes on lectures presented in English						
2) Quickly acquire biology knowledge through skimming and scanning of teaching materials written in English						
3) Identify reliable sources of molecular and cellular biology information available in English						
4) Communicate in a class discussion on molecular and cellular biology topics in English						
5) Explain molecular and cellular biology concepts in written and oral forms of English.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/24	14:50-16:20	2 番教室	Introduction		JEANETTE DENNISSON
2	5/1	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 1	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
3	5/8	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 1	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
4	5/29	13:10-14:40	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 2	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
5	5/29	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 2	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
6	6/12	13:10-14:40	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 3	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON

7	6/12	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 3	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
8	6/26	13:10-14:40	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 4	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
9	6/26	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 4	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
10	7/10	13:10-14:40	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 5	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
11	7/10	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 5	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
12	7/24	13:10-14:40	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 6	Research/Literature Review	JEANETTE DENNISSON
13	7/24	14:50-16:20	2 番教室	Molecular and Cellular Biology Topic 6	Lecture/Presentation	JEANETTE DENNISSON
14-15	9/11	13:10-16:20	2 番教室	Final Evaluation		JEANETTE DENNISSON

授業方法

Students will work in groups to complete tasks in and outside of class.

For each topic, there will be the following components.

- 1) A reading assignment: you will learn skimming and scanning techniques
- 2) Literature search activity: you will learn how to find information in the literature (on the internet)
- 3) A short lecture: you will learn note-taking techniques
- 4) A class discussion: you will learn how to present ideas in a discussion
- 5) Summary (written) tasks: you will learn to summarize content learned in this course

授業内容

Selected topics covered in regular biology course taught in Japanese will be reviewed and discussed in this course in English

成績評価の方法

Class discussion/lectures: 50%

Literature searches/Written summaries: 30%

Final Project: 20%

成績評価の基準

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

This course is recommended for students with TOEFL 500+.

教科書

Main textbook:

Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014)

**Note: Purchase of this textbook is NOT required. There is a copy available in the Kounodai Library. Chapters used in class will be available by the instructor.

参考書

Japanese version of textbook:

Essential 細胞生物学(原書第4版)

Additional supplemental materials will be provided on the course website.

他科目との関連

生物学(細胞・遺伝子)

履修上の注意事項

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.

You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000344				
科目名	R・離散構造				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 火曜 3-4 限 対象学科・専攻: 医学科・歯学科					
授業の目的、概要等					
この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:					
「 $m \times n$ の長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、 m と n の 必要十分条件を求めよ」					
「 3×4 の長方形の中に6つの点があるとき、それら6点のうち距離 $\sqrt{5}$ 以下の2点が存在することを示せ」					
「6人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである3人か、または互いに2知り合いでない3人のいずれかが存在することを示せ」					
「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。					
本年度は					
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」					
(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)					
の適当な Chapter を選んで読むことにします。					
(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり)					
本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。					
授業の到達目標					
英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解説し、理解したことを整理して解説できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/24	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
2	5/1	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
3	5/8	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
4	5/29	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
5	5/29	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
6	6/12	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
7	6/12	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
8	6/26	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
9	6/26	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
10	7/10	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
11	7/10	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
12	7/24	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
13	7/24	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
14	9/11	13:10-14:40	3 番教室	徳永 伸一	
15	9/11	14:50-16:20	3 番教室	徳永 伸一	
授業方法					
輪読によるセミナー形式。					

授業内容

毎回1～2名の発表者に、各自の担当範囲(1セクションの半分程度)を解説してもらいます。
ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクフル、前原潤 著：共立出版、1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著、秋山仁、ピーター・フランクフル 翻案：共立出版、1985

他科目との関連

後期の「数学Ⅱ(β)」で本科目の内容と関連する問題を一部扱います。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000815					
科目名	S・翻訳演習					
担当教員	畔柳 和代					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
・曜日・時間: 火曜3－4限 ・対象学科: 医学科 歯学科 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 別表3－4)						
授業の目的、概要等						
目的: 互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。						
概要: 英文を日本語に訳す課題(授業内課題を含めて 10 回ほど)を通して、翻訳について考えます。受講者は訳文をつくり、提出することになります。						
授業の到達目標						
1)精読。 2)文脈の理解につとめる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/24	14:50-16:20	5 番教室	イントロダクション	課題1配布と紹介。	畔柳 和代
2	5/1	14:50-16:20	5 番教室	Non-fiction (1) ノンフィクション	課題1の訳文を検討する。課題2配布と紹介。	畔柳 和代
3	5/8	14:50-16:20	5 番教室	Non-fiction (2)	課題2の訳文を検討する。課題3配布と紹介。	畔柳 和代
4	5/29	13:10-14:40	5 番教室	Non-fiction (3)	課題3の訳文を検討する。課題4配布と紹介。	畔柳 和代
5	5/29	14:50-16:20	5 番教室	Beginnings (1) 小説のただし	課題5の配布と紹介。	畔柳 和代
6	6/12	13:10-14:40	5 番教室	Beginnings (2)	課題4と5の訳文について検討する。	畔柳 和代
7	6/12	14:50-16:20	5 番教室	Beginnings (3)	課題5の訳文を修正し、授業内に提出する。課題6の配布と紹介。	畔柳 和代
8	6/26	13:10-14:40	5 番教室	Short stories (1) 短編小説	課題6の訳文を検討する。課題7の配布と紹介。	畔柳 和代
9	6/26	14:50-16:20	5 番教室	Short stories (2)	課題8の配布と紹介。	畔柳 和代
10	7/10	13:10-14:40	5 番教室	Short stories (3)	課題7と8の訳文を検討する。特別課題の配布と紹介。	畔柳 和代
11	7/10	14:50-16:20	5 番教室	発表	第9回までに決めた課題について、短い発表を行う。課題9の配布と紹介。	畔柳 和代
12	7/24	13:10-14:40	5 番教室	ニュースの中の翻訳(1)	課題9の訳文を検討する。課題10の配布と紹介	畔柳 和代
13	7/24	14:50-16:20	5 番教室	ニュースの中の翻訳(2)	ニュースの中の翻訳についてディスカッション	畔柳 和代

14	9/11	13:10-14:40	5 番教室	名翻訳について 日本文学の英訳例を見る。	課題 10 の訳文および特別課題の訳文を検討する。	畔柳 和代
15	9/11	14:50-16:20	5 番教室	まとめ	まとめ	畔柳 和代
授業方法 授業では互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等を読みます。 数回の講義も含みます。 課題の訳文は、フィクションとノンフィクション、両方です。						
授業内容 第 1 回 イン트로ダクション 第 2 回～第 14 回 訳文について意見交換（講義数回を含む） 受講者から事前に提出された訳文を検討する。 第 15 回 まとめ						
成績評価の方法 評価： 課題（提出状況と内容のふたつで評価）:50%、参加度:50%、 再評価： なし						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 わからなかったら、辞書を引く。調べる。考える。 ※空白だらけの訳文を提出してはいけません。最後まで訳してください。						
参考書 イエスの言葉：ケセン語訳／山浦玄嗣 著.: 文藝春秋, 2011 翻訳に遊ぶ／木村栄一 著.: 岩波書店, 2012 さあ、見張りを立てよ／ハーバー・リー 著, 上岡伸雄 訳.: 早川書房, 2016						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.						
連絡先 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30-13:20 管理研究棟3階畔柳研究室						

時間割番号	000849					
科目名	S・イギリス文学講読					
担当教員	猪熊 恵子					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
・火曜日 3, 4 限隔週。5 月 29 日スタート、7 月 24 日まで、および9月にも授業を行う(詳細は後日掲示を確認すること)。						
授業の目的、概要等						
19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。 主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。 また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。 あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。						
授業の到達目標						
英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。 また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/29	13:10-14:40	8 番教室	ガイダンス	授業形式の説明および発表の担当決め	猪熊 恵子
2	5/29	14:50-16:20	8 番教室	作品読解およびディスカッション1	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
3	6/12	13:10-14:40	8 番教室	作品読解およびディスカッション2	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
4	6/12	14:50-16:20	8 番教室	作品読解およびディスカッション3	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
5	6/26	13:10-14:40	8 番教室	作品読解およびディスカッション4	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
6	6/26	14:50-16:20	8 番教室	作品読解およびディスカッション5	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
7	7/10	13:10-14:40	8 番教室	作品読解およびディスカッション6	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
8	7/10	14:50-16:20	8 番教室	作品読解およびディスカッション7	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
9	7/24	13:10-14:40	8 番教室	作品読解およびディスカッション8	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
10	7/24	14:50-16:20	8 番教室	作品読解およびディスカッション9	担当者に割り当てた作品を、授業内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	猪熊 恵子
11	9/4	09:10-10:40	8 番教室	作品読解およびディスカ	担当者に割り当てた作品を、授業	猪熊 恵子

				ツジョン 10	内で履修者全員で訳出し、作品の特徴について話し合う。	
12	9/4	10:50-12:20	8 番教室	作品読解およびディスカ ツジョン 11	担当者に割り当てた作品を、授業 内で履修者全員で訳出し、作品の 特徴について話し合う。	猪熊 恵子
13	9/4	13:10-14:40	8 番教室	作品読解およびディスカ ツジョン 12	担当者に割り当てた作品を、授業 内で履修者全員で訳出し、作品の 特徴について話し合う。	猪熊 恵子
14	9/11	13:10-14:40	8 番教室	まとめおよびレポート提 出	これまでの授業で扱った作品を振 り返り、個々の学生が自ら作成し たレポートについて発表する	猪熊 恵子
15	9/11	14:50-16:20	8 番教室	レポート総評と感想	教員側から個々の学生へのフィー ドバックおよび総評	猪熊 恵子
授業方法 セミナー形式を取る。 一日 2 時間続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。 授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた 時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認 し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。						
授業内容 第一回: ガイダンス 第二回から第五回: シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主 演『シャーロック』第一シリーズ『The Blind Banker』 第六回から第九回: シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』(The hound of the Baskervilles) ※教員の抜粋する箇所のみ、 およびグラナダ・テレビシリーズ『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像 第十回から第十三回: アガサ・クリスティー『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシェ主演のポワロシリー ズ 第十四回: 総括およびディスカッション回 第十五回: 最終レポート提出および意見交換						
成績評価の方法 評価: クラス内での議論への参加・貢献度: 40%、授業内発表(訳出課題の提出含む): 30%、最終レポート 30% 再評価: 無						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。						
準備学習などについての具体的な指示 上記授業内容からも明らかのように、英語の短編(および長編の抜粋)を三作品分読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準 備が要求される。 履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用 の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時 代背景について十分に調査することが求められる。						
試験の受験資格 試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の 3 分の 1 以上欠席した者には原則として単位を認定しない。						
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。						
参照ホームページ 参考文献および使用テキストは、教員からコピーを配布する。						
連絡先 inokuma.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						

水曜日 12時30分～13時

木曜日 12時30分～13時20分

管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	000871				
科目名	S・数学入門				
担当教員	中口 悦史				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
対象学科:保健衛生学科看護学専攻・口腔保健学科(主に高校数学Ⅲ未履修者) 募集人数:35名程度 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 4-1), 4-2)					
授業の目的、概要等					
高校数学の復習をしながら、大学数学として基礎的な内容を取り上げ、大学生として相応しい数学力を養成する。					
授業の到達目標					
基本的な計算問題や証明問題を解くことができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-2	5/29	13:10-16:20	6 番教室	数の体系と代数方程式	中口 悦史
3-4	6/12	13:10-16:20	6 番教室	数列・級数と漸化式	中口 悦史
5-6	6/26	13:10-16:20	6 番教室	平面図形と三角関数	中口 悦史
7-8	7/10	13:10-16:20	6 番教室	場合の数と確率	中口 悦史
9-10	7/24	13:10-16:20	6 番教室	確率分布	中口 悦史
11-12	9/11	13:10-16:20	6 番教室	総合演習	中口 悦史
授業方法					
板書による講義と演習を交えながら授業を進める。					
授業内容					
前半は主に高校数学Ⅰ・Aの内容を復習しながら概観し、体系的に捉え直す。 後半は主に高校数学Ⅱ・B・Ⅲの内容を取り上げ、大学の線形代数・微積分・統計学と絡めながら、演習を交えて学習する。 毎回授業の最後にクイズ(5分間小テスト)を行う。					
成績評価の方法					
評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 50%					
再評価: 無					
試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。 「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したものののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
高校数学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。					
試験の受験資格					
授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のクイズ提出。					
教科書					
特に指定しない。適宜プリント等を配布する。					
参考書					
数学/統計学／井川俊彦、清田正夫、徳永伸一、山館周恒、熊坂一成 著.:医歯薬出版、2005 数学入門 上／遠山啓 著.:岩波書店、1979 数学入門 下／遠山啓 著.:岩波書店、1993 アートのための数学／牟田淳 著.:オーム社、2008 デザインのための数学／牟田淳 著.:オーム社、2010 その他、高校数学の参考書。					
履修上の注意事項					
・出欠確認は出欠管理システムと、各回のクイズ提出による確認を併用する。 ・授業日程をよく確認のこと。夏季集中日程については、履修者と相談して決定する。 ・口腔保健工学専攻の学生には、後期開講の「S・数学解析」の履修も検討するように。					

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00, いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000861				
科目名	S・タンパク質の科学				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:火曜 3・4 時限(5/29～9/11 の隔週)および夏季休業期間中に集中講義(3 コマ)					
対象学科:全学科					
受講資格:タンパク質に興味のある者					
募集人数:20 名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る					
別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける					
授業の目的、概要等					
タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがありますが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要です。この授業では化学、生命科学におけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸の基礎から応用について、基本概念の導入講義を行った上で、学生自らが問題提起を行うPBL(Problem Based Learning)を通して学習し、受講者が発表する機会も設けます。					
授業の到達目標					
講義、PBL、発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/29	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
2	5/29	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
3	6/12	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
4	6/12	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
5	6/26	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
6	6/26	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
7	7/10	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
8	7/10	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
9	7/24	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
10	7/24	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
11	9/11	13:10-14:40	10 番教室	澤野 頼子	
12	9/11	14:50-16:20	10 番教室	澤野 頼子	
授業方法					
講義および PBL や学生による発表会によるアクティブラーニングを行う。					
授業内容					
1. アミノ酸に関する講義					
2. タンパク質に関する講義					

3. PBL
4. 学生による発表会
成績評価の方法 評価：レポート 20% ・ その他(授業への参加度、発表など) 80% 再評価：無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行っておくこと。
試験の受験資格 原則3分の2以上出席
参考書 ヴォート基礎生化学／D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正寛, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳:東京化学同人, 2010 タンパク質の構造と機能: カラー図説／グレゴリー A. ベツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005 タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳:ニュートンプレス, 2000 タンパク質入門: その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著,:内田老鶴圃, 2006 タンパク質科学: 構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編:化学同人, 2005 アミノ酸: タンパク質と生命活動の化学／船山信次 著,:東京電機大学出版局, 2009 タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一, 木戸康博 編:講談社, 2007
履修上の注意事項 開講前に説明会を実施するので、受講希望者は必ず出席すること。受講希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
連絡先 sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000347				
科目名	S・分子分光学演習:基礎編				
担当教員	奈良 雅之				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
火曜日3, 4時限(変則)＋夏季集中型: ・対象学科:全学科 ・募集人数:10名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1・2・3)科学的思考方法を知る 4－3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
主な講義場所 分光測定は化学教員実験室で行います。 オプションとして、分析展の見学ツアーを予定しています。					
授業の目的、概要等 近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。					
授業の到達目標 (1)原子の構造、分子の構造について理解できる。 (2)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。 (3)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/29	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
2	5/29	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
3	6/12	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
4	6/12	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
5	6/26	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
6	6/26	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
7	7/10	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
8	7/10	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
9	7/24	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
10	7/24	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
11	9/11	13:10-14:40	4 番教室	奈良 雅之	
12	9/11	14:50-16:20	4 番教室	奈良 雅之	
授業方法 演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。					
授業内容 タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。 1.2 (初回) ガイダンス、原子の構造(おもに講義) 3.4 原子の構造、分子の構造(講義ならびに演習) 5.6 分子分光学,量子化学に関する概説 7.8 分子分光学,量子化学に関する概説 9.10 分光学に関する基本操作を習得する。 11-14. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析)(夏休み期間) 15. 実験経過、研究成果を発表する。 実験レポート(報告書)として報告する。					

履修者が多い場合は、実験は2つの分けて行う場合があります。
成績評価の方法 評価: 報告会での発表・レポート 70%・ その他 30% (実験の取り組み方) 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 ガイドランスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。
試験の受験資格 考查の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳: オーム社, 1995 必要な文献はコピーして配付します
参考書 系統看護学講座／奈良雅之: 医学書院, 2018 赤外分光測定法: 基礎と最新手法／田隅 三生 編著, 日本分光学会編集委員会 編: エス・ティ・ジャパン, 2012 ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著, 秋葉欣哉, 奥彬 訳: 培風館, 2002
他科目との関連 一般化学では講義しない原子、分子の構造を取り扱います。
履修上の注意事項 分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生体分子分光学演習をお勧めします。
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000856					
科目名	S・基礎力学					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
・曜日・時間: 時間割を参照のこと						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)						
別表2－1)						
別表4－2)						
授業の目的、概要等						
ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i) 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii) 基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii) それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。						
物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみるにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に数多くの演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。						
授業の到達目標						
ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、						
－ 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。						
－ 基本方程式から様々な保存則を導出する。						
－ 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	14:50-16:20	7 番教室	第 1 回	運動と力	越野 和樹
2	4/25	14:50-16:20	7 番教室	第 2 回	運動と力	越野 和樹
3	5/2	14:50-16:20	7 番教室	第 3 回	運動と力	越野 和樹
4	5/9	14:50-16:20	7 番教室	第 4 回	運動と力	越野 和樹
5	5/16	14:50-16:20	7 番教室	第 5 回	さまざまな力	越野 和樹
6	5/23	14:50-16:20	7 番教室	第 6 回	さまざまな力	越野 和樹
7	5/30	14:50-16:20	7 番教室	第 7 回	さまざまな力	越野 和樹
8	6/6	14:50-16:20	7 番教室	第 8 回	さまざまな力	越野 和樹
9	6/13	14:50-16:20	7 番教室	第 9 回	エネルギー保存則	越野 和樹
10	6/20	14:50-16:20	7 番教室	第 10 回	エネルギー保存則	越野 和樹
11	6/27	14:50-16:20	7 番教室	第 11 回	運動量保存則	越野 和樹
12	7/4	14:50-16:20	7 番教室	第 12 回	運動量保存則	越野 和樹
13	7/11	14:50-16:20	7 番教室	第 13 回	さまざまな運動	越野 和樹
14	7/18	14:50-16:20	7 番教室	第 14 回	さまざまな運動	越野 和樹
15	7/25	14:50-16:20	7 番教室	第 15 回	さまざまな運動	越野 和樹
授業方法						
講義および演習による						
授業内容						
運動と力／さまざまな力／エネルギー保存則・運動量保存則／さまざまな運動						
成績評価の方法						
評価: 期末考査および授業への参加度						

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.
試験の受験資格 初回の講義において説明する
教科書 基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著.: 培風館, 2016
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000312																																																																																				
科目名	S・水の科学																																																																																				
担当教員	奈良 雅之																																																																																				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 金曜1時限 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 25 名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 別表2－5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う																																																																																					
授業の目的、概要等 水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。																																																																																					
授業の到達目標 1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。 2. 「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>6/29</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>7/6</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>7/13</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>7/20</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>7/27</td><td>09:10-10:40</td><td>5 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	2	4/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	3	4/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	4	5/11	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	5	5/18	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	6	5/25	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	7	6/1	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	8	6/8	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	9	6/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	10	6/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	11	6/29	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	12	7/6	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	13	7/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	14	7/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之	15	7/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
2	4/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
3	4/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
4	5/11	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
5	5/18	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
6	5/25	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
7	6/1	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
8	6/8	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
9	6/15	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
10	6/22	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
11	6/29	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
12	7/6	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
13	7/13	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
14	7/20	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
15	7/27	09:10-10:40	5 番教室	奈良 雅之																																																																																	
授業方法 教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習(アクティブラーニング)を実践します。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか?」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか?」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。																																																																																					
授業内容 1.ガイダンス 2.水に関する講義 3.水・水溶液に関連する文献の輪読 4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会 5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象) 6.報告会 など																																																																																					

成績評価の方法 評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。 アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 水を科学する／川瀬義矩 著:東京電機大学出版局, 2011
参考書 水の話・十講: その科学と環境問題／鈴木啓三 著:化学同人, 1997 水とはなにか: ミクロに見たそのふるまい／上平 恒／著:講談社, 1979 系統看護学講座 化学／奈良雅之:医学書院, 2018
他科目との関連 分子レベルに興味を持った方は、「分子分光学演習:基礎編」をお勧めします。
履修上の注意事項 1限の授業に遅刻、無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。 グループ学習が嫌いな人には向いていません。
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000812																																																																																	
科目名	S・Topics in the News																																																																																	
担当教員	PATRICK FOSS																																																																																	
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																													
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 24名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表3－5)																																																																																		
授業の目的、概要等 Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them? It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.																																																																																		
授業の到達目標 By the end of this course, students will be able to: 1. Critically read news articles in English 2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world																																																																																		
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/13</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>2</td><td>4/20</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>3</td><td>4/27</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>4</td><td>5/11</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>5</td><td>5/18</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>6</td><td>5/25</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>7</td><td>6/1</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>8</td><td>6/8</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>9</td><td>6/15</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr><tr><td>10</td><td>6/22</td><td>09:10-10:40</td><td>10 番教室</td><td>Topic 9</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK FOSS</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	09:10-10:40	10 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS	2	4/20	09:10-10:40	10 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	3	4/27	09:10-10:40	10 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	4	5/11	09:10-10:40	10 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	5	5/18	09:10-10:40	10 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	6	5/25	09:10-10:40	10 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	7	6/1	09:10-10:40	10 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	8	6/8	09:10-10:40	10 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	9	6/15	09:10-10:40	10 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	10	6/22	09:10-10:40	10 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																												
1	4/13	09:10-10:40	10 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS																																																																												
2	4/20	09:10-10:40	10 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
3	4/27	09:10-10:40	10 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
4	5/11	09:10-10:40	10 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
5	5/18	09:10-10:40	10 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
6	5/25	09:10-10:40	10 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
7	6/1	09:10-10:40	10 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
8	6/8	09:10-10:40	10 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
9	6/15	09:10-10:40	10 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												
10	6/22	09:10-10:40	10 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																												

11	6/29	09:10-10:40	10 番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS
12	7/6	09:10-10:40	10 番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS
13	7/13	09:10-10:40	10 番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS
14	7/20	09:10-10:40	10 番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS
15	7/27	09:10-10:40	10 番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS

授業方法

Discussion

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment

Week 15: Review and/or Final Assessment

Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:

Separating fact from opinion

Identifying missing information

Differentiating causes and effects

Identifying perspectives and bias

Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes

Evaluating tone and word choice

Distinguishing between emotional and logical arguments

Evaluating inferences

Evaluating evidence and credibility

Determining the validity of conclusions

Evaluating one's own reactions and opinions

成績評価の方法

評価: quizzes/response papers 20% participation/discussion presentations 50% comprehensive test or assignment 30%

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.

連絡先

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10

毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000852																																																																																								
科目名	S・Calculus for medical students																																																																																								
担当教員	Eckhard HITZER, 中口 悦史																																																																																								
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																				
受講資格: High school level mathematics and English are required. Good listening understanding is helpful. 募集人数: 10 students. 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																									
授業の目的、概要等 English is the common language on the international scene, not only in science but also in biology, sports, dentistry and medicine. Many Japanese researchers have had the experience of having had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to early on take a class of calculus in English as freshman. In this lecture, you will learn elementary topics of calculus by using English: Inverse Trigonometric Functions, Infinite Series, Taylor Series, Polar Coordinates, Partial Derivatives, The Chain Rule, Tangent Planes, Extreme Values Lagrange Multipliers; and if time suffices we will also study Multiple Integrals. The course is also aiming at obtaining not only knowledge of mathematics but also a communicative competence in English.																																																																																									
授業の到達目標 As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in mathematics from English lecture, internet and literature.																																																																																									
授業計画 <table> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> <tr> <td>1</td><td>4/13</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Course guidance</td><td>Eckhard HI TZER, 中口 悦史</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/20</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Inverse Trigonometric Functions (1)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/27</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Inverse Trigonometric Functions (2)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>4</td><td>5/11</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Infinite Series, Taylor Series (1)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>5</td><td>5/18</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Infinite Series, Taylor Series (2)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>6</td><td>5/25</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Polar Coordinates</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>7</td><td>6/1</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Partial Derivatives, The Chain Rule (1)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>8</td><td>6/8</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Partial Derivatives, The Chain Rule (2)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>9</td><td>6/15</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (1)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>10</td><td>6/22</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (2)</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>11</td><td>6/29</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>Multiple Integrals</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>12</td><td>7/6</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>TBA</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> <tr> <td>13</td><td>7/13</td><td>10:50-12:20</td><td>8 番教室</td><td>TBA</td><td>Eckhard HI TZER</td></tr> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	4/13	10:50-12:20	8 番教室	Course guidance	Eckhard HI TZER, 中口 悦史	2	4/20	10:50-12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (1)	Eckhard HI TZER	3	4/27	10:50-12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (2)	Eckhard HI TZER	4	5/11	10:50-12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (1)	Eckhard HI TZER	5	5/18	10:50-12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (2)	Eckhard HI TZER	6	5/25	10:50-12:20	8 番教室	Polar Coordinates	Eckhard HI TZER	7	6/1	10:50-12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (1)	Eckhard HI TZER	8	6/8	10:50-12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (2)	Eckhard HI TZER	9	6/15	10:50-12:20	8 番教室	Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (1)	Eckhard HI TZER	10	6/22	10:50-12:20	8 番教室	Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (2)	Eckhard HI TZER	11	6/29	10:50-12:20	8 番教室	Multiple Integrals	Eckhard HI TZER	12	7/6	10:50-12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HI TZER	13	7/13	10:50-12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HI TZER
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																				
1	4/13	10:50-12:20	8 番教室	Course guidance	Eckhard HI TZER, 中口 悦史																																																																																				
2	4/20	10:50-12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (1)	Eckhard HI TZER																																																																																				
3	4/27	10:50-12:20	8 番教室	Inverse Trigonometric Functions (2)	Eckhard HI TZER																																																																																				
4	5/11	10:50-12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (1)	Eckhard HI TZER																																																																																				
5	5/18	10:50-12:20	8 番教室	Infinite Series, Taylor Series (2)	Eckhard HI TZER																																																																																				
6	5/25	10:50-12:20	8 番教室	Polar Coordinates	Eckhard HI TZER																																																																																				
7	6/1	10:50-12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (1)	Eckhard HI TZER																																																																																				
8	6/8	10:50-12:20	8 番教室	Partial Derivatives, The Chain Rule (2)	Eckhard HI TZER																																																																																				
9	6/15	10:50-12:20	8 番教室	Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (1)	Eckhard HI TZER																																																																																				
10	6/22	10:50-12:20	8 番教室	Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (2)	Eckhard HI TZER																																																																																				
11	6/29	10:50-12:20	8 番教室	Multiple Integrals	Eckhard HI TZER																																																																																				
12	7/6	10:50-12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HI TZER																																																																																				
13	7/13	10:50-12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HI TZER																																																																																				

14	7/20	10:50-12:20	8 番教室	TBA	Eckhard HI TZER
15	7/27	10:50-12:20	8 番教室	Presentations by students	Eckhard HI TZER
授業方法					
Lecture with online homework, and presentations by students.					
授業内容					
Inverse Trigonometric Functions Infinite Series, Taylor Series Polar Coordinates Partial Derivatives, The Chain Rule Tangent Planes, Extreme Values, Lagrange Multipliers (If time permits: Multiple Integrals.)					
成績評価の方法					
評価 : 試験 0 % ・ レポート 0 % ・ その他 100 % (課題提出 70 %, 授業中の演習と発表 30 %) 再評価: 無 授業時間中のリアクションだけでなく、時間外のオンライン学習も重視し、その成果を評価する。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Review your high school mathematics well before the course. You can prepare each class by already looking through the next chapter of the online textbook. Try to learn English words, which are new to you. There will be regular online homework after each class, for which you have a certain deadline, and repeated trials. This homework provides important score. It is best to get online textbook access license in the first week of term.					
試験の受験資格					
授業回数の 3 分の 2 回以上の出席、ならびに要求されたすべての提出物の提出。					
教科書					
Thomas' Calculus, 13th ed. (E-Text version) / George B. Thomas: Pearson, 2014 IMPORTANT: Every student is most STRONGLY recommended to purchase the Pearson MyMathLab access code. With the one-year access online E-Text, you have full electronic multimedia access to the whole text and the test quizzes, examples, feedback and solution assistance. The question score will be registered online, and be a major part of the grading. Purchase and registration instruction will be given in the first class.					
履修上の注意事項					
○出欠確認について 出欠確認は出欠管理システムと、リアクションペーパーの提出による確認を併用する。 ○授業日程について 担当教員の事情により、授業日程の変更(一部回の休講と、夏季休業中・8月下旬～9月上旬の補講設定)を行うことがあるので、履修申請の際は注意すること。補講設定の場合は、履修者と相談して日程を決定する。 ○履修申請について 授業初回の出席者で履修希望受入れを打ち切ることがある。ただし初回のみ、人文社会科目に合わせて、前半あるいは後半の45分のみ出席でも可とする。 初回で履修希望者多数の場合は、人文社会科目1次抽選結果発表後に、担当教員が抽選を行って、履修受入れの可否を通知する。					
連絡先					
中口 悦史nakaguti.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
中口 悦史:月・水 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応 / M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する / 電子メールによる質問等は随時受け付ける					

時間割番号	000855				
科目名	S•Essentials of Medical Language				
担当教員	JEANETTE DENNISSON				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

This course is an introduction to medical terminology in English. As a medical professional, you will need to know technical medical vocabulary presented in textbooks and literature. You will also need to understand how to use non-technical vocabulary that you use with non-medical professionals, such as patients. In this class, you will learn technical medical language to describe systems of the body. You will also practice how to communicate with patients in English using non-technical language.

授業の目的、概要等

The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.

Goals

- 1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms
- 2) Identify and "translate" medical language into lay term (non-technical) language
- 3) Apply medical and lay terminology in written and oral forms.

授業の到達目標

By the end of this course, you will be able to:

- 1) Break down medical language into elements (for example, prefix, suffix, root words)
- 2) Describe medical language used for major body system
- 3) Create own English conversation with a patient using non-technical language
- 4) Present to students on topics about one body system

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1-3	9/10	09:10-14:40	11 番教室	Teacher topic 1	1 時限: Literature review 2 時限: Presentation/Lecture 3 時限: Doctor-Patient Conversation practice
4-7	9/12	09:10-16:20	11 番教室	Teacher Topic 2 Student topic 1	1 時限: Literature review 2 時限: Presentation/Lecture 3 時限: Doctor-Patient Conversation practice 4 時限: Student presentation/lecture
8-11	9/13	09:10-16:20	11 番教室	Teacher Topic 3 Student topic 2	1 時限: Literature review 2 時限: Presentation/Lecture 3 時限: Doctor-Patient Conversation practice 4 時限: Student presentation/lecture
12-15	9/14	09:10-16:20	11 番教室	Teacher Topic 4 Student topic 3	1 時限: Literature review 2 時限: Presentation/Lecture 3 時限: Doctor-Patient Conversation practice 4 時限: Student presentation/lecture

授業方法

Students will work in groups to complete tasks in class. They will also be responsible to lecture on a body system of interest in this class.

For each unit, there will be the following two components.

- 1) Tasks related to vocabulary building for each body system
- 2) Patient conversation practice related to complaints/disease of each body system

授業内容

The 6 units covered in this course are organized by body system:

- 1) Whole body (systemic)
- 2) Digestive system (from mouth to rectum)
- 3) Cardiovascular/Circulatory system (heart and blood)
- 4) Respiratory system (nose, lungs)
- 5) Integumentary system (skin)

For each system, medical language will be introduced, including body parts and their functions, diseases and medical procedures. You will be tested on the content of these units through in-class activities, weekly quizzes and conversation performance in class.

In addition to these 6 units, there will be one student project. You will decide on one body system topic to investigate. You will 1) create a vocabulary list of medical language related to this topic and 2) a patient conversation related to a problem/disease/complaint related to the topic. You will present your vocabulary to classmates and perform the conversations in class.

成績評価の方法

Class participation: 50%

Quizzes: 10%

Student project: 20%

Examination: 20%

成績評価の基準

Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」

準備学習などについての具体的な指示

Before Class:

Reading the selected parts of the textbook before each class is recommended. Copies of parts of the textbook will be provided on the course website.

In Class:

Your opinion, ideas and perspective are greatly encouraged in class activities. As part of the class, you will be role playing patient conversations.

Vocabulary List:

Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged.

Online Course Website:

Regular access to the online course website will be required in and outside of class.

試験の受験資格

Any English level is welcome.

教科書

Main textbook:

Bedside Manner by Simon Capper (2013)

参考書

Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)

**Note: Purchase of this textbook is NOT required. Chapters used in class will be available by the instructor. However, this textbook is a very good reference for medical professionals and I recommend buying it!

履修上の注意事項

You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

The online course website is: www.eliademy.com

You will need to sign up with a new account using your TMDU email address, if you have not created an account already for another course. All/most of the teaching materials and assignments will be available on this website. You should check this website before and after each lesson.

You will receive an invitation join the online course in your email box at the beginning of the semester. Please join the class immediately after creating an account. You will be responsible for the content and activities provided on this website.

連絡先

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000819																																								
科目名	S・英語で学ぶ力学																																								
担当教員	越野 和樹																																								
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																				
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)																																									
授業の目的、概要等 ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより、科学英語に親しむことを目的とする。																																									
授業の到達目標 下記トピックについて英文教材に基づいて理解し、演習問題を解けることを目標とする： NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td><td>8/1</td><td>09:10-14:40</td><td>6 番教室</td><td>越野 和樹</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>4-6</td><td>8/2</td><td>09:10-14:40</td><td>6 番教室</td><td>越野 和樹</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>7-9</td><td>8/3</td><td>09:10-14:40</td><td>6 番教室</td><td>越野 和樹</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>10-12</td><td>8/6</td><td>09:10-14:40</td><td>6 番教室</td><td>越野 和樹</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>13-15</td><td>8/7</td><td>09:10-14:40</td><td>6 番教室</td><td>越野 和樹</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1-3	8/1	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。	4-6	8/2	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。	7-9	8/3	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。	10-12	8/6	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。	13-15	8/7	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																				
1-3	8/1	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
4-6	8/2	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
7-9	8/3	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
10-12	8/6	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
13-15	8/7	09:10-14:40	6 番教室	越野 和樹	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
授業方法 講義および演習による																																									
授業内容 NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA																																									
成績評価の方法 評価: 平常点およびレポート 再評価: 無																																									
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																									
準備学習などについての具体的な指示 前期「力学」を更に発展させた内容を学ぶため、前期「力学」の内容に関する極めて深い理解および演習能力を前提条件とする。																																									
履修上の注意事項 前期「力学」において優秀な成績をおさめている者、あるいは同等以上の学力を有することを受講資格とする。 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。																																									
連絡先 ikuzak.las@tmd.ac.jp																																									
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階																																									

時間割番号	000353																																								
科目名	S・現代パフォーミング・アーツ入門																																								
担当教員	徳永 伸一																																								
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																				
8月下旬または9月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。 対象学科・専攻:全学科																																									
主な講義場所 湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。																																									
授業の目的、概要等 「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。 「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーティスト(+彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので主に代用品としてCD・DVD等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POPまで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽+ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。 より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です (よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。																																									
授業の到達目標 ・様々なパフォーミング・アートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。 ・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td><td>8/30</td><td>10:50-16:20</td><td>共用講義室1</td><td>徳永 伸一</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>4-5</td><td>8/31</td><td>09:10-12:20</td><td>共用講義室1</td><td>徳永 伸一</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>6-8</td><td>9/3</td><td>10:50-16:20</td><td>共用講義室1</td><td>徳永 伸一</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>9-11</td><td>9/4</td><td>10:50-16:20</td><td>共用講義室1</td><td>徳永 伸一</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>12-15</td><td>9/5</td><td>09:10-16:20</td><td>共用講義室1</td><td>徳永 伸一</td><td>講義室・日程は変更となる場合がある。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1-3	8/30	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。	4-5	8/31	09:10-12:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。	6-8	9/3	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。	9-11	9/4	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。	12-15	9/5	09:10-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																				
1-3	8/30	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
4-5	8/31	09:10-12:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
6-8	9/3	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
9-11	9/4	10:50-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
12-15	9/5	09:10-16:20	共用講義室1	徳永 伸一	講義室・日程は変更となる場合がある。																																				
授業方法 講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。																																									
授業内容 各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーティスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。 また2014年度より、授業期間中に開催した、外部講師(演奏家等)による公開講座を、授業の一部として取り入れています。																																									
成績評価の方法 評価項目は以下の2点: (1) 各回の授業の関するレポート																																									

(2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート

(1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習などについての具体的な指示

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

教科書

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

他科目との関連

直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ」(室田尚子先生)の履修を推奨します。

参照ホームページ

過去の記録(の一部) :

<http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm>

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330>

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625>

2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」は、大学公開講座の情報サイト「まななび」(<https://mananavi.com/>)にレポート記事が公開予定です。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000349																																		
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習																																		
担当教員	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則																																		
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																														
・夏季集中(8月9日(木)に教養部においてガイダンスを行い、光学顕微鏡の使用方法を学ぶ。8月16日(木)～18日(土)に新潟大学佐渡臨海実験所において実習を行う) ・対象学科:全学科(30名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う) ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2-2)自然現象を探究するための手法を知る。 4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。																																			
主な講義場所 8月9日(木)に教養部生物学学生実験室においてガイダンスを行う。また、光学顕微鏡の使い方を学ぶ。8月16日(木)～18日(土)に新潟大学佐渡臨海実験施設において実習を行う。																																			
授業の目的、概要等 [目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。観察実習から能動的に知識を広げ、深める。 [概要] この実習の大部分は、新潟大学佐渡臨海実験施設において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。																																			
授業の到達目標 1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。 2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>8/9</td><td>13:10-14:40</td><td>7番教室</td><td>服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則</td><td>日程が変更となる場合がある。</td></tr> <tr> <td>2-5</td><td>8/16</td><td>09:10-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則</td><td>天候等によっては中止になる。</td></tr> <tr> <td>6-9</td><td>8/17</td><td>09:10-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則</td><td>天候等によっては中止になる。</td></tr> <tr> <td>10-13</td><td>8/18</td><td>09:10-16:20</td><td></td><td>服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則</td><td>天候等によっては中止になる。</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	8/9	13:10-14:40	7番教室	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	日程が変更となる場合がある。	2-5	8/16	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。	6-9	8/17	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。	10-13	8/18	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																														
1	8/9	13:10-14:40	7番教室	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	日程が変更となる場合がある。																														
2-5	8/16	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。																														
6-9	8/17	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。																														
10-13	8/18	09:10-16:20		服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則	天候等によっては中止になる。																														
授業方法 講義と実習による。																																			
授業内容 教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。また、光学顕微鏡の使い方を理解する。新潟大学佐渡臨海実験所では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。																																			
成績評価の方法 レポート内容によって評価する。再評価は行わない。																																			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																			
準備学習などについての具体的な指示 事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。																																			
試験の受験資格																																			

試験を行わない。
教科書 資料を配布する。
参考書 図解生物科学講座／浅島誠 編:朝倉書店, 1996 日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄, 村野正昭 編:東海大学出版会, 1997-01 原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著.:保育社, 1995
履修上の注意事項 定員は 30 名で、履修希望者が 30 名を超えたときは抽選で履修者を決める。 8 月 9 日(木)に教養部で行われる実習ガイダンスに必ず出席すること。16 日(木)ー18 日(土)2 泊 3 日)に新潟大学臨海実験施設で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。 台風、その他の災害のために中止になる可能性がある。
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒボ 4F 教員研究室(A2) 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	000339				
科目名	S・彫刻(塑造)				
担当教員	高見 直宏				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:8/27～9/5(土日除く)3～4 限					
募集人数:16 人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1ー5、1ー6、1ー7					
主な講義場所					
13 番教室					
授業の目的、概要等					
人間の骨格や筋肉がその外部形態に及ぼす影響を観察するだけでなく、人間の内面に視野を向け、人間の存在そのものを探求する。水粘土を使用し、塑造による頭像制作を行う実技演習授業。					
授業の到達目標					
素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目指す。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1	8/27	13:10-14:40	13 番教室		
2	8/27	14:50-16:20	13 番教室		
3	8/28	13:10-14:40	13 番教室		
4	8/28	14:50-16:20	13 番教室		
5	8/29	13:10-14:40	13 番教室		
6	8/29	14:50-16:20	13 番教室		
7	8/30	13:10-14:40	13 番教室		
8	8/30	14:50-16:20	13 番教室		
9	8/31	13:10-14:40	13 番教室		
10	8/31	14:50-16:20	13 番教室		
11	9/3	13:10-14:40	13 番教室		
12	9/3	14:50-16:20	13 番教室		
13	9/4	13:10-14:40	13 番教室		
14	9/4	14:50-16:20	13 番教室		
15	9/5	13:10-14:40	13 番教室		
16	9/5	14:50-16:20	13 番教室		

授業方法 全 16 回の授業は全て実技実習。
授業内容 第 1、2 回 彫刻についての講義 /第 3、4 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル)/第 5、6 回 心棒についての講義と塑造制作(モデル)/第 7、8 回 粘土についての講義と塑造制作(モデル)/第 9、10 回 塑造制作(モデル)/第 11、12 回 塑造制作(モデル)/第 13、14 回 塑造制作(モデル)/第 15、16 回 作品の講評会
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(実習作品、出席点)100% 再評価: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 料理・メイク・DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。
履修上の注意事項 出席重視 出欠管理システムより教員自身が取れる出欠を優先させる
備考 準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	000303				
科目名	S・メンタルトレーニング				
担当教員	谷木 龍男, 水野 哲也				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 月曜1限					
受講資格: メンタルトレーニング(MT)に興味・関心があり, MT の練習を継続し, 習得する意欲があること					
なんらかのスポーツあるいは競技(competition)経験を有し, 現在も継続していることが望ましい					
募集人数: 24人					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－5), 7), 8)					
授業の目的、概要等					
スポーツに限らず, 安定して卓越したパフォーマンスと実力発揮を求められる活動において, 自己の心身の状態に気づき, 調える心理的スキルを獲得することが不可欠です。					
メンタルトレーニング(MT)とは, スポーツ心理学や心理学の理論や技法に基づいて, 様々な心理的スキルを習得し, 実際に競技で使えるように体系化したものです。					
今日では, MT は, スポーツ領域に留まらず, 医療領域, 教育領域など, 様々な領域に応用されています。					
本授業では, 講義形式でスポーツ心理学やメンタルトレーニングの理論と実践方法を学び, 実習形式で心理的スキル技法を練習・習得します。					
授業の到達目標					
基本的な心理的スキル技法を習得し, 日常生活の様々な場面で応用できるようになることを目指します。特に, 自律訓練法の標準練習はしっかりと練習・習得をします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
2	10/15	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
3	10/22	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
4	10/29	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
5	11/5	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
6	11/12	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
7	11/19	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
8	11/26	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
9	12/3	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
10	12/10	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
11	12/17	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
12	1/7	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
13	1/21	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
14	1/23	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	

15	1/28	09:10-10:40	8 番教室	谷木 龍男, 水野 哲也	
授業方法 スポーツ心理学やメンタルトレーニングの基礎的な知識を講義した後、その技法を実習します。練習・習得状況について集団で熟議・討議した後、発表を課します。					
授業内容 1. ガイダンス 2. メンタルトレーニングとは何か？ 3. 自己への気づき① 4. リラクゼーション 5. 自己への気づき② 6. 自己への気づき③ 7. イメージ 8. ピークパフォーマンス 9. Life History 10. 人生目標 11. 目標設定 12. 暗示技法 13. マインドフルネス&セルフ・コンパッション 14. エンカウンター 15. 総括					
成績評価の方法 評価：試験　％・レポート　50％・その他(受講態度)50％ 再評価:無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 メンタルトレーニングの練習及び練習記録の提出					
参考書 スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版, 日本スポーツ心理学会編, 2016, 大修館書店					
履修上の注意事項 ・出欠管理システムを優先する。 ・出欠管理システムへの登録を失念したなどの場合は当該授業中に速やかに申し出ること。					
連絡先 水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室					

時間割番号	000337																																																																																				
科目名	S・生体分子分光光学演習																																																																																				
担当教員	奈良 雅之																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 月曜1限(変則)＋冬季集中 ・対象学科: 全学科 ・募集人数: 5名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2－1、2、3)科学的思考方法を知る 4－3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 担当教員の専門分野(生体分子分光光学)に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。																																																																																					
授業の到達目標 少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>10/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>10/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>10/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>10/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>11/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>11/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>11/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>11/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>12/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>12/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>12/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>1/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>1/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>1/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/1	09:10-10:40		奈良 雅之	2	10/15	09:10-10:40		奈良 雅之	3	10/22	09:10-10:40		奈良 雅之	4	10/29	09:10-10:40		奈良 雅之	5	11/5	09:10-10:40		奈良 雅之	6	11/12	09:10-10:40		奈良 雅之	7	11/19	09:10-10:40		奈良 雅之	8	11/26	09:10-10:40		奈良 雅之	9	12/3	09:10-10:40		奈良 雅之	10	12/10	09:10-10:40		奈良 雅之	11	12/17	09:10-10:40		奈良 雅之	12	1/7	09:10-10:40		奈良 雅之	13	1/21	09:10-10:40		奈良 雅之	14	1/23	09:10-10:40		奈良 雅之	15	1/28	09:10-10:40		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/1	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
2	10/15	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
3	10/22	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
4	10/29	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
5	11/5	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
6	11/12	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
7	11/19	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
8	11/26	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
9	12/3	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
10	12/10	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
11	12/17	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
12	1/7	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
13	1/21	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
14	1/23	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
15	1/28	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
授業方法 実験ならびに研究ミーティングによるアクティブラーニングを実践する。																																																																																					
授業内容 タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。 1. 分光学に関する基本操作を習得する。 2. 実験テーマ、研究テーマを決める。 3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。 4. 研究を行う。(実験ならびに結果解析) 5. 研究結果についてのディスカッションを行う。一個別指導 6. 実験経過、研究成果を発表する。 7. 実験レポート(報告書)として報告する。																																																																																					
成績評価の方法 評価: 報告・レポート: 80% その他20%(授業中の取り組み方、参加度) 再評価 無																																																																																					

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習: 配付資料で分光学の原理について勉強する

復習: 実験結果を整理して、報告できるようにまとめる

試験の受験資格

定期試験の受験資格: 原則3分の2以上出席

(報告・レポートをもって定期試験とする)

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000817					
科目名	S・日本の古典					
担当教員	土佐 朋子					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
・曜日・時間: 月曜 2 限						
・募集人数: 25 名						
・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)						
別表1－1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する						
別表1－5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る						
別表2－3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る						
授業の目的、概要等						
日本の古典文学に対する理解を深めることを目的とし、今年度は上田秋成『雨月物語』を講読する。						
『雨月物語』は、一七七六年に刊行された、短編怪異小説集である。						
日本および中国の古典をふまえながら、秋成が翻案したこれらの怪異小説を読み、江戸期における古典の継承と文学創作のありようを考察する。						
また、短編それぞれがふまえた古典作品と比較対照させながら読むことにより、秋成の創作意図を考えていきたい。						
現代ホラーの源流の一つともいえる『雨月物語』を読むことにより、日本文化に対する理解を深める一助としたい。						
授業の到達目標						
①『雨月物語』の内容を理解すること。						
②日本古典文学の素養を身に付け、理解を深めること。						
③日本の文化・文学が、中国および自国の古典を継承することによって成立していることを、実践的に学び、理解すること。						
④人間にとって「語り」とは何かという問いに対して自分なりの考えをまとめること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	8 番教室	ガイダンス	授業の内容に関する説明	土佐 朋子
2	10/15	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読1	「菊花の契り」	土佐 朋子
3	10/22	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読2	「菊花の契り」と『古今小説』「范巨卿鶏黍死生交」	土佐 朋子
4	10/29	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読3	「浅茅が宿」	土佐 朋子
5	11/5	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読4	「浅茅が宿」と『剪灯新話』「愛卿伝」	土佐 朋子
6	11/12	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読5	「仏法僧」	土佐 朋子
7	11/19	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読6	「吉備津の釜」	土佐 朋子
8	11/26	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読7	「吉備津の釜」と『剪灯新話』「牡丹灯記」	土佐 朋子
9	12/3	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読8	「牡丹灯記」から落語「牡丹灯籠」へ	土佐 朋子
10	12/10	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読9	「蛇性の姪」	土佐 朋子
11	12/17	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読 10	「蛇性の姪」と「白娘子永鎮雷峰塔」	土佐 朋子
12	1/7	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読 11	「浅茅が宿」「蛇性の姪」から溝口健二監督『雨月物語』へ	土佐 朋子
13	1/21	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読 12	「青頭巾」	土佐 朋子
14	1/23	10:50-12:20	8 番教室	『雨月物語』講読 13	『リング』と『ザ・リング』と『雨月物語』	土佐 朋子
15	1/28	10:50-12:20	8 番教室	まとめ	半年間の講義を踏まえて、日本の怪異譚について考察する。	土佐 朋子
授業方法						
①原則として、講義を行い、学生は授業の最後に「講義を聞いて考えたこと」を書いて提出する形式とする。						

②人数が少ない場合、課題にもとづく討論を行うことも考えている。	
授業内容 『雨月物語』を講読する。それぞれの話のもととなった中国の白話小説などとも比較対照させる。また、映画『雨月物語』における物語の再構成に関する考察や、日本の現代ホラーへに継承される怪奇の表象に関する考察も考察する。 具体的な内容については、「授業スケジュール」に記載した。ただし、授業の進み具合や受講生の興味関心によって、内容を変更する場合がある。	
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 50% その他 50%(毎回の授業の最後を書く「講義を聞いて考えたこと」の内容・授業に対する取り組み方など) 再評価:無	
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。	
準備学習などについての具体的な指示 書物に書いてある説明などを鵜呑みのせず、批判的精神にもとづく主体的な解釈を目指すこと。	
試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。	
教科書 雨月物語：現代語訳付き／上田秋成〔著〕、鵜月洋 訳注：角川学芸出版、2006	
参考書 『日本の幽霊』／諏訪春男：岩波新書、1988 『さかさまの幽霊』／服部幸雄：ちくま学芸文庫、2005 『妖怪談義』／柳田国男：講談社学術文庫、1977 『剪灯新話』／竹田晃ほか編：明治書院、2008 『剪灯新話』／飯塚明訳：平凡社、1965 『牡丹灯籠』／三遊亭円朝：岩波文庫、2002 『幽霊名画集』／辻惟雄監修：ちくま学芸文庫、2008 授業でその都度紹介する。	
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 出欠管理システムの打刻されていても、教員がとる出欠において出席が認められない場合は欠席扱いとなる。 レポートにおいて、剽窃、無断引用などが見られた場合には原則として「不可」とする。	
連絡先 tosa.las@tmd.ac.jp	
オフィスアワー 毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟2階文学研究室	

時間割番号	000322					
科目名	S・フランス語でニュースを読む					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
曜日・時限: 月曜 2 件 対象学科: 全学科 受講資格: フランス語前期履修者(あるいは同等のフランス語力のある者) 募集人数: 10 名 コンピテンシー: 別表3-4) 外国文化を理解する						
授業の目的、概要等						
目的: フランス語文法の知識をもとに、フランス語で書かれたフランス、ヨーロッパ、世界のニュースや文化記事を読み、現代的な語彙や表現に触れるとともに、フランス現代社会の一端を知る。						
概要: 4 月以来学習してきたフランス語の文法知識を使って、フランスで実際に読まれている時事的な文章に触れ、現代を特徴的に表す単語や表現を中心に、内容を把握します。後期の初めは、まだ出てきていない文法項目については解説しますし、ニュース記事は英語と共通する単語も多いので、内容に興味があれば概略は理解できます。						
前期終了のフランス語の学力があり、少し先取りして文法を学習し、今のフランスや世界を知りたいという意欲のある人の参加を歓迎します。						
授業の到達目標						
1) 1 年生の文法知識で、リライトしないフランス語の文章が読めるという実感を得る。						
2) 現代的な時事表現に触れ、ニュース記事の読解の中で基本的な文法事項や語彙を確認する。						
3) ニュースを通してフランス社会やフランスから見た世界の一端に触れ、社会や文化に対する関心を広げる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	10:50-12:20	11 番教室	授業紹介	授業方法説明、サンプル記事購読	中島 ひかる
2	10/15	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
3	10/22	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
4	10/29	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
5	11/5	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
6	11/12	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
7	11/19	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
8	11/26	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
9	12/3	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
10	12/10	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
11	12/17	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
12	1/7	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる

13	1/21	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
14	1/23	10:50-12:20	11 番教室		ニュース記事講読・解説	中島 ひかる
15	1/28	10:50-12:20	11 番教室	まとめ	意見交換	中島 ひかる

授業方法

演習による。

初めに、ニュースサイトを幾つか提示します。受講者は、その中から毎週、自分が興味ある記事を選んで、私に URL を送って下さい。それを教室で、皆で読んでいきます。細かい点にはあまりこだわらず、概略が理解できるよう指導しますが、適宜、文法が実際の記事でどう使われているかに注意を促します。

授業内容

毎回、各自で選んだ記事を教室で訳して頂きながら、理解があやふやなところやニュースの背景を説明します。また、文法における学習事項と照らし合わせながら、重要なフランス語の構文や単語を解説します。受講者が多い場合は、2 回に 1 回程度担当して頂きます。

成績評価の方法

評価: 試験(期末考査)0%・レポート 0 %・

その他 100 % (授業への準備・授業の発表等)

再評価: 無

フランス現代社会に興味を持って頂くことが授業の大きな目的ですので、自分の興味のある、自分の力で読解可能な記事を選び、責任を持って授業への準備を行い、教室で皆にわかるように訳読、コメントをおこなったかという平常点で評価します。

学力に差があると思いますが、多少わからない文法事項があっても構いません。自分が興味をもったニュースを選び、概要だけでも理解しようと努め、積極的に予習して授業に参加することを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

自分の力にあった、興味を持てる記事を選ぶところから授業の準備が始まります。各授業の前の週の土曜日までには各自で1つずつ記事を選んで、その URL を私に送信して下さい。

短い記事を選んで結構ですので、選んだ記事については概略を説明でき、主要な部分は訳せるように準備して下さい。理解できない箇所、訳せない箇所があっても構いませんので、不明な点は明確にして授業に臨んで下さい。

国際ニュースの場合は、関連記事が日本語でも読める場合が多いので、日本語のニュースを検索して事件の概略を理解してからフランス語を読むと、フランス語も理解しやすくなります。授業をきっかけに、世界の出来事に目を向けるのも授業の目的の一つです。

試験の受験資格

試験は行わず、授業における発表で評価する

教科書

・francetvinfo

<http://www.francetvinfo.fr/>

テレビ報道を文字に起こした記事なので、構文が比較的わかりやすく、映像付きの記事も多い。

・パリジャン

<http://www.leparisien.fr/>

・パリマッチ

<http://www.parismatch.com/>

・フィガロ

<http://www.lefigaro.fr/>

・リベラシオン

<http://www.liberation.fr/>

・ネット新聞

<http://www.20minutes.fr/>

・ル・モンド

<http://www.lemonde.fr/>

無料購読の場合、一ヶ月の閲覧数に制限あり

参考書

・テレビ放送(1週間分のニュース報道のアーカイブ)

閲覧には silverlight(無料でダウンロードできます)が必要です。

<http://jtfrance2.fr/20h/>

他科目との関連

フランス語の必修授業より先行して文法項目が出てきますが、最初は細かい文法事項にはあまりこだわらず、理解に必要な概略にのみ触れて授業を進めます。

履修上の注意事項

少人数授業ですので出席は必須です。体調不良等で休む場合は、教員にメールで連絡して下さい。

連絡先

nakashima.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室

時間割番号	000831				
科目名	S・ロシア語入門2				
担当教員	高尾 千津子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
授業の目的、概要等					
前期に引き続き、ロシア語の基礎を学ぶ。後期は教科書の第 16 課から始め、完了体と不完了体、関係代名詞、仮定法などロシア語のテキストを読む上で必要な文法事項を習得する。					
授業の到達目標					
ロシア語読解の上で必要な基本的文法を学び、簡単なロシア語文学を原文で読めるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20		高尾 千津子	
2	10/15	10:50-12:20		高尾 千津子	
3	10/22	10:50-12:20		高尾 千津子	
4	10/29	10:50-12:20		高尾 千津子	
5	11/5	10:50-12:20		高尾 千津子	
6	11/12	10:50-12:20		高尾 千津子	
7	11/19	10:50-12:20		高尾 千津子	
8	11/26	10:50-12:20		高尾 千津子	
9	12/3	10:50-12:20		高尾 千津子	
10	12/10	10:50-12:20		高尾 千津子	
11	12/17	10:50-12:20		高尾 千津子	
12	1/7	10:50-12:20		高尾 千津子	
13	1/21	10:50-12:20		高尾 千津子	
14	1/23	10:50-12:20		高尾 千津子	
15	1/28	10:50-12:20		高尾 千津子	
授業内容					
1 所有の表現と否定					
2 命令法					
3 過去					
4 未来形					
5 〇動詞					
6 定動詞と不定動詞					
7 動詞の体 その1					
8 動詞の体 その2					
9 関係代名詞					
10 仮定法					
11 接続詞					
12 比較級					
13 ロシア語の読み物 1 アネクドート(ロシア小咄)を読む					
14 ロシア語の読み物 2 ロシア詩を読む					
15 まとめ					
成績評価の方法					
評価：試験 60% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加と小テスト)40 %					
再評価: なし					
準備学習などについての具体的な指示					
履修者は教科書を予習するだけでなく、授業後は付録の CD を聞き、ロシア語のイントネーションとアクセント、発音を復習しておくこと。					
教科書					

NHK新ロシア語入門／佐藤 純一／著.: 日本放送出版協会, 2001

参考書

必要に応じて補助教材を配布する。

履修上の注意事項

初回到ロシア語の文字と発音を習得するので必ず出席すること。

時間割番号	000332						
科目名	R・「点子ちゃんとアントン」を読む						
担当教員	シンチンガー エミ						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1		
・曜日・時間:後期:月曜 2 限 ・対象学科:全学科 ・受講資格:ドイツ語を履修していること ・募集人数:20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－1)言語を通した人間の創造的営みを理解する 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表3－1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3－4)外国文化を理解する							
授業の目的、概要等 ドイツ語を習い始めて、原文で文学作品を読んでみたい方々のための授業です。 エーリッヒ・ケストナーの「点子ちゃんとアントン」から何か所かを抜粋して選び、読んでいきます。 作品だけを理解し、鑑賞することも大切ですが、作者やその時代背景についての知識が深まれば作品の理解も深まります。そこで参加者には、作者と作品の時代的、文学的背景などについて調べてきてもらい、短い発表をしてもらいます。その後原文のコピーを読んで訳していきます。							
授業の到達目標 なるべく多く原文を読み、ドイツの文学作品に触れることと、エーリッヒ・ケストナーとその時代背景などについても考えることが目標です。「点子ちゃんとアントン」の舞台であるベルリンの街についても考えます。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」を読む1	オリエンテーション:エーリッヒ・ケストナーとその時代について;まだ学んでいないドイツ語の重要文法事項について;プリント配布;次週までに予習する箇所を確定;成績をレポート提出にするか、試験にするか、参加者と相談して決める。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること。
2	10/15	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」を読む2	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
3	10/22	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」を読む3	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予

							習してくること
4	10/29	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む4	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
5	11/5	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む5	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
6	11/12	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む6	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
7	11/19	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む7	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
8	11/26	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む8	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
9	12/3	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む9	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子 辞書、そして1年 生のドイツ語の教 科書は毎回持つ てくること。次回 に向けて:指定さ れた箇所まで予 習してくること
10	12/10	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー	独和辞典か電子

				を読む10		エミ	辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
11	12/17	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む11	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
12	1/7	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む12	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
13	1/21	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む13	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
14	1/23	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む14	実際に原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典か電子辞書、そして1年生のドイツ語の教科書は毎回持ってくる。次回に向けて:指定された箇所まで予習してくること
15	1/28	10:50-12:20	4 番教室	「点子ちゃんとアントン」 を読む15	この授業のまとめ。参加者とそう決めてあれば、この日に試験。	シンチンガー エミ	独和辞典は必携。試験の場合は遅刻欠席しないこと。

授業方法

初回にはオリエンテーションとして、教員がエーリッヒ・ケストナーとその作品群などについて講義をしますが、参加者にもケストナーとその作品群について調べてきてもらい、短い発表をしてもらいます。その後プリントを配布、原文を読み始めますが、その前にまだ習っていない文法事項で重要なものについても説明します。2 回目以降: 毎回指定した箇所まで予習してきてもらって、原文を読んで、訳していきます。難しい箇所についてはみんなで考えます。どこまで読めるかは実際に読み始めてみなければわかりません。

授業内容

原文講読ですので、なるべく多く原文を読んでいきますが、ある程度読み進んだら「点子ちゃんとアントン」の映画版を見えます。

成績評価の方法 予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 授業中に行った発表と、その内容をまとめて提出してもらったレポートが 50 パーセント。 参加者の人数によっては、参加者と相談してレポートの代わりに最終回に理解度を確かめるための試験を行います。 再評価の有無: 無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回原文をたくさん読んでいきますので、予習がとても重要です。 毎回指示がある箇所まで辞書を使って自宅で予習してきてください。 1 年前期に習った文法事項では全く足りないの、後期に習う文法事項も先取りしながら読んでいきます。1 年生が使っているドイツ語の教科書を持ってきてください。教科書のドイツ語とは格段に違う難しいドイツ語をたくさん読みますので覚悟が必要です。 受講前の準備としては、前期に習ったドイツ語の文法をよく復習しておいてください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 初回にプリントを配布します。 1 年のドイツ語教科書と独和辞典も毎週使うので必携です。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編: 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆: 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきました。 電子辞書よりも紙の辞書の方が詳しいのでよいのですが、 電子辞書のほうが早く調べられます。 もし電子辞書をこれから購入するのであれば、 そしてこれからもドイツ語を続けるのであれば、 カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 原文を読むので、ドイツ語を履修していない人は取れません。 毎回予習してくることが履修条件です。
連絡先 schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000326				
科目名	S・糖の科学				
担当教員	勝又 敏行				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 月曜日 2 限(後期)					
募集人数: 5名					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る					
別表4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける					
授業の目的、概要等					
糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。この実習では糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深め、論文購読や糖鎖分析に関する実験を体験することを通して生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。					
授業の到達目標					
糖に関する基礎知識を習得し、自分で実験計画を立て実験を行い、成果をまとめることができることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/1	10:50-12:20		勝又 敏行	
2	10/15	10:50-12:20		勝又 敏行	
3	10/22	10:50-12:20		勝又 敏行	
4	10/29	10:50-12:20		勝又 敏行	
5	11/5	10:50-12:20		勝又 敏行	
6	11/12	10:50-12:20		勝又 敏行	
7	11/19	10:50-12:20		勝又 敏行	
8	11/26	10:50-12:20		勝又 敏行	
9	12/3	10:50-12:20		勝又 敏行	
10	12/10	10:50-12:20		勝又 敏行	
11	12/17	10:50-12:20		勝又 敏行	
12	1/7	10:50-12:20		勝又 敏行	
13	1/21	10:50-12:20		勝又 敏行	
14	1/23	10:50-12:20		勝又 敏行	
15	1/28	10:50-12:20		勝又 敏行	
授業方法					
実習と講義による					
授業内容					
1. 糖のペーパークロマトグラフィー					
2. 化学的な糖タンパク質の検出					
3. 抗体、レクチンを使った特異的な構造の検出					
4. 糖の組成分析					
5. HPLC を用いた糖鎖構造解析					
6. 論文講読					

成績評価の方法

実験と演習を中心として行うため以下の通りとする。

評価:試験 0%、レポート 50%、その他(実験中の参加度や実験ノートなど)50%

再評価 有(レポート再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

実験後に考察をし、次回の実験のテーマ設定にいかせるようにすること。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [[ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳:丸善, 2010

ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる／谷口直之 編:羊土社, 2002

糖鎖科学への招待／辻崇一 共著,梶本哲也 共著,:三共出版, 2008

連絡先

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス2階化学実験準備室

時間割番号	000317																																																																																																				
科目名	S・数学解析																																																																																																				
担当教員	中口 悦史																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																
対象学科: 口腔保健学科口腔保健工学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-1), 4-2)																																																																																																					
授業の目的、概要等 口腔保健工学専攻専門科目履修のために知っておくべき、数学・応用数学・計算科学の基礎分野を概観する。そのために最低限必要な高校数学の知識を復習しながら、関連する項目を学習する。																																																																																																					
授業の到達目標 微積分, 線形代数, 数値計算の基本的な考え方を理解する。																																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/26</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>ガイダンス</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>数の体系と代数方程式(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>数の体系と代数方程式(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>6</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>図形と関数(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>場合の数と確率(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>場合の数と確率(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>10</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>線形代数入門(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(1)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(2)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/9</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>微積分入門(3)</td><td>中口 悦史</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/16</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>総合演習</td><td>中口 悦史</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	9/26	09:10-10:40	2 番教室	ガイダンス	中口 悦史	2	10/3	09:10-10:40	2 番教室	数の体系と代数方程式(1)	中口 悦史	3	10/10	09:10-10:40	2 番教室	数の体系と代数方程式(2)	中口 悦史	4	10/17	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(1)	中口 悦史	5	10/24	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(2)	中口 悦史	6	10/31	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(3)	中口 悦史	7	11/7	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(1)	中口 悦史	8	11/14	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(2)	中口 悦史	9	11/21	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(1)	中口 悦史	10	11/28	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(2)	中口 悦史	11	12/5	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(3)	中口 悦史	12	12/12	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(1)	中口 悦史	13	12/19	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(2)	中口 悦史	14	1/9	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(3)	中口 悦史	15	1/16	09:10-10:40	2 番教室	総合演習	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																																
1	9/26	09:10-10:40	2 番教室	ガイダンス	中口 悦史																																																																																																
2	10/3	09:10-10:40	2 番教室	数の体系と代数方程式(1)	中口 悦史																																																																																																
3	10/10	09:10-10:40	2 番教室	数の体系と代数方程式(2)	中口 悦史																																																																																																
4	10/17	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(1)	中口 悦史																																																																																																
5	10/24	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(2)	中口 悦史																																																																																																
6	10/31	09:10-10:40	2 番教室	図形と関数(3)	中口 悦史																																																																																																
7	11/7	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(1)	中口 悦史																																																																																																
8	11/14	09:10-10:40	2 番教室	場合の数と確率(2)	中口 悦史																																																																																																
9	11/21	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(1)	中口 悦史																																																																																																
10	11/28	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(2)	中口 悦史																																																																																																
11	12/5	09:10-10:40	2 番教室	線形代数入門(3)	中口 悦史																																																																																																
12	12/12	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(1)	中口 悦史																																																																																																
13	12/19	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(2)	中口 悦史																																																																																																
14	1/9	09:10-10:40	2 番教室	微積分入門(3)	中口 悦史																																																																																																
15	1/16	09:10-10:40	2 番教室	総合演習	中口 悦史																																																																																																
授業方法 板書による講義と演習を交えながら授業を進める。																																																																																																					
授業内容 前半は高校の数学 I・II・Aの内容を復習しながら概観し, 体系的に捉え直す。 後半は大学の線形代数と微積分の基礎を, 演習を交えながら学習する。 さらに全体を通して, コンピュータにおける数値計算や画像処理の観点からの解説を加える。																																																																																																					
成績評価の方法 評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業中の演習) 50% 再評価: 無 試験と授業内演習を総合して成績評価を行う。授業内演習への取り組み具合により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために, 期末に筆記試験によって行う。期末試験に代えて発表(板書)形式の総合演習を行うことがある。 「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。																																																																																																					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																																																					
準備学習などについての具体的な指示 高校までの数学の学習内容をよく復習し, 不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。																																																																																																					
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに, 出席回の演習への参加。																																																																																																					
教科書 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著.: 医歯薬出版, 2005																																																																																																					

参考書

数学入門（大学生のための基礎シリーズ1）／上村豊，坪井堅二：東京化学同人，2002

数学入門Ⅱ ～偏微分・重積分・線形代数～（大学生のための基礎シリーズ6）／上村豊，坪井堅二：東京化学同人，2004

数学概論 ―線形代数／微分積分―／田代嘉宏：裳華房，1993

数値計算／洲之内治男 著，サイエンス社，2002

初めて学ぶ図学と製図／松井悟，竹之内和樹，藤智亮，森山茂章 著，朝倉書店，2011

アートのための数学／牟田淳 著，オーム社，2008

デザインのための数学／牟田淳 著，オーム社，2010

いかにして問題をとくか／G. ポリア 著，柿内 賢信 訳，丸善株式会社出版事業部

その他，高校数学の参考書。

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと，授業中の点呼を併用する。

連絡先

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 12:00～13:00，いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000853				
科目名	S・実用統計学				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜 1 限					
対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科					
授業の目的、概要等					
保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。					
保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になると思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。					
授業の到達目標					
・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。					
・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の原理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。					
・本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
2	10/5	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
3	10/19	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
4	10/26	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
5	11/2	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
6	11/9	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
7	11/16	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
8	11/30	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
9	12/7	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
10	12/14	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
11	12/21	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
12	1/11	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
13	1/18	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
14	1/25	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	
15	2/1	09:10-10:40	計算機実習室	徳永 伸一	

授業内容

(以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定)

第1回 : ガイダンス

第2回 : Excel 入門

第3回 : 乱数の分布と標本平均の分布1 (講義)

第4回 : 乱数の分布と標本平均の分布2 (演習)

第5回 : 正規分布1 (講義)

第6回 : 正規分布2 (演習)

第7回 : 2項分布と正規近似1 (講義)

第8回 : 2項分布と正規近似2 (演習)

第9回 : t分布1 (講義)

第10回 : t分布2 (演習)

第11回 : 相関と回帰、散布図1 (講義)

第12回 : 相関と回帰、散布図2 (演習)

第13回 : カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVA と多重検定法1 (講義)

第14回 : カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVA と多重検定法2 (演習)

第15回 : (予備)

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習などについての具体的な指示

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著, 医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著, 医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著, 東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著, 南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

連絡先

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらに多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000816																																																																										
科目名	S・Discussions on Human Behavior																																																																										
担当教員	PATRICK FOSS																																																																										
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																						
・曜日・時間: 金曜1限 ・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学 ・募集人数: 12名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－1) 別表3－4) 別表3－5) 別表4－5)																																																																											
授業の目的、概要等 Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest? This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book “Predictably Irrational” by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students’ understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.																																																																											
授業の到達目標 By the end of this course, students will be able to: 1. Better understand why people make certain types of decisions 2. Make better personal decisions 3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others																																																																											
授業計画 <table><tr><th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Orientation</td><td>Course Introduction</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 1</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 2</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 3</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 4</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 5</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 6</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 7</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F OSS</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>12 番教室</td><td>Topic 8</td><td>Reading/Writing/Speaking Activities</td><td>PATRICK F</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	12 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	2	10/5	09:10-10:40	12 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	3	10/19	09:10-10:40	12 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	4	10/26	09:10-10:40	12 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	5	11/2	09:10-10:40	12 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	6	11/9	09:10-10:40	12 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	7	11/16	09:10-10:40	12 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	8	11/30	09:10-10:40	12 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	9	12/7	09:10-10:40	12 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																					
1	9/28	09:10-10:40	12 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS																																																																					
2	10/5	09:10-10:40	12 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
3	10/19	09:10-10:40	12 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
4	10/26	09:10-10:40	12 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
5	11/2	09:10-10:40	12 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
6	11/9	09:10-10:40	12 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
7	11/16	09:10-10:40	12 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
8	11/30	09:10-10:40	12 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS																																																																					
9	12/7	09:10-10:40	12 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F																																																																					

			室			OSS	
10	12/14	09:10-10:40	12 番教 室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
11	12/21	09:10-10:40	12 番教 室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
12	1/11	09:10-10:40	12 番教 室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
13	1/18	09:10-10:40	12 番教 室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
14	1/25	09:10-10:40	12 番教 室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
15	2/1	09:10-10:40	12 番教 室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK F OSS	
授業方法 Discussion Presentation Skills Instruction and Practice							
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2-14: Individual reports and group discussions Week 15: Review/Final assignment due Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed or that they are researching on their own. The final writing assignment will be an essay that is related to the content of the course. There will be no quizzes or tests.							
成績評価の方法 評価: class presentations 30% participation 30% response papers 20% final assignment 20% 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 There is no official final examination for this course.							
教科書 Predictably Irrational／Ariely, Dan: Harper, 2010							
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。							
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.							
連絡先 foss.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:10 毎週木曜日 PM.12:30-PM.1:10 管理研究棟 3階 フォス研究室							

時間割番号	000323																																																																																				
科目名	S・一般化学演習																																																																																				
担当教員	奈良 雅之																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
・曜日・時間: 金曜1時限 ・対象学科: 医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・募集人数 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2ー1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学(主にPart1 とPart2 の分野)の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならぬことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。																																																																																					
授業の到達目標 「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。																																																																																					
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>9/28</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>10/5</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>10/19</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>10/26</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>11/2</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>11/9</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>11/16</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>11/30</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>9</td><td>12/7</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>10</td><td>12/14</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>11</td><td>12/21</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>12</td><td>1/11</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>13</td><td>1/18</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>14</td><td>1/25</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>15</td><td>2/1</td><td>09:10-10:40</td><td>2 番教室</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/28	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	2	10/5	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	3	10/19	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	4	10/26	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	5	11/2	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	6	11/9	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	7	11/16	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	8	11/30	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	9	12/7	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	10	12/14	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	11	12/21	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	12	1/11	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	13	1/18	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	14	1/25	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之	15	2/1	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	9/28	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
2	10/5	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
3	10/19	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
4	10/26	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
5	11/2	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
6	11/9	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
7	11/16	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
8	11/30	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
9	12/7	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
10	12/14	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
11	12/21	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
12	1/11	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
13	1/18	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
14	1/25	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
15	2/1	09:10-10:40	2 番教室	奈良 雅之																																																																																	
授業方法 学生参加型の発表形式で授業が進行します。																																																																																					
授業内容 第1・2回 序論:単位、気体の測定、気体の分子量 第3・4回 電離平衡(酸・塩基) 第5・6回 電離平衡(錯体と沈殿) 第7・8回 化学熱力学分野 第9・10回 化学熱力学分野 第11・12回 原子の構造 第13・14回 分子の構造 第15回 総合演習																																																																																					

成績評価の方法

評価:試験(期末考査)30%・レポート(学習実践記録)30%

その他40%(授業中の発表、参加度)

授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習:指定された問題をノートに解いておく。

復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

試験の受験資格

定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席

教科書

一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳:オーム社, 1995

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習/田中潔, 荒井貞夫 共著.:三共出版, 2013

他科目との関連

一般化学 M・D Part1, part2 の理解ができなかった方にもお勧めします。

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000833					
科目名	S・Basic Concepts in Physics					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
曜日・時間: 金曜1限 対象学科: 医学科、歯学科 (英語で物理を学ぶ意欲のある人) 募集人数: 10人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2－1)別表3－1)別表4－2)						
授業の目的、概要等						
English is the common language on an international scene in not only natural science but also medicine and dentistry. Many Japanese researchers including me have the experience that had trouble with English. Thus, for your future preparations, it is meaningful to take a class of the natural science in English early at the stage of the freshman. In this lecture, you will learn various topics of physics by using English: classical mechanics, thermodynamics, sound wave, and introductory electrodynamics. It is also aim at obtaining not only the knowledge of the physics but also a communicative competence in English.						
授業の到達目標						
As for the purpose of this lecture, you will acquire the ability to adsorb useful information in physics from English lecture and text.						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	09:10-10:40	4 番教室	1st lecture	Introduction	檜枝 光憲
2	10/5	09:10-10:40	4 番教室	2nd lecture	Mechanics	檜枝 光憲
3	10/19	09:10-10:40	4 番教室	3rd lecture	Mechanics	檜枝 光憲
4	10/26	09:10-10:40	4 番教室	4th lecture	Mechanics	檜枝 光憲
5	11/2	09:10-10:40	4 番教室	5th lecture	Mechanics	檜枝 光憲
6	11/9	09:10-10:40	4 番教室	6th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
7	11/16	09:10-10:40	4 番教室	7th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
8	11/30	09:10-10:40	4 番教室	8th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
9	12/7	09:10-10:40	4 番教室	9th lecture	Temperature and Heat	檜枝 光憲
10	12/14	09:10-10:40	4 番教室	10th lecture	Nuclear Physics	檜枝 光憲
11	12/21	09:10-10:40	4 番教室	11th lecture	Nuclear Physics	檜枝 光憲
12	1/11	09:10-10:40	4 番教室	12th lecture	Nuclear Physics	檜枝 光憲
13	1/18	09:10-10:40	4 番教室	13th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
14	1/25	09:10-10:40	4 番教室	14th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
15	2/1	09:10-10:40	4 番教室	15th lecture	Student presentation	檜枝 光憲
授業方法						
Lecture						
Presentation						
Practice						
授業内容						
Classical mechanics						
Introductory thermodynamics						
Nuclear Physics						
成績評価の方法						
attendance/participation 30%						
class assignments/quizzes 40%						
presentation 30%						
再評価: 無						

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

Check all unknown English words and read through the text book before the class.

参考書

University Physics with Modern Physics Technology Update / Hugh D. Young and Roger A. Freedman: Pearson Education Limited, 2013

履修上の注意事項

出欠管理システムより、教員自身が取の出欠を優先させます。

連絡先

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 16:30～17:30 ヒボ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000872				
科目名	S・十進BASICで学ぶ幾何学デザイン				
担当教員	徳永 伸一				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 金曜 2 限 対象学科: 全学科 (ただし医学科・歯学科の学生は、十進 BASIC または他のプログラミング言語を事前に独習しておく必要があります)					
主な講義場所 計算機実習室					
授業の目的、概要等 前期「情報科学」の授業でおなったプログラミング言語「十進 BASIC」によるグラフィックスの応用として、様々な幾何学模様を描くプログラミングの技法を学習します。 (他のプログラミング言語を独自に学習して使用しても構いません)					
授業の到達目標 様々な幾何学デザインの構造を理解し、それらを描画するプログラムを作成できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/28	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
2	10/5	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
3	10/19	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
4	10/26	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
5	11/2	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
6	11/9	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
7	11/9	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
8	11/16	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
9	11/30	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
10	12/7	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
11	12/14	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
12	12/21	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
13	1/11	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
14	1/18	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
15	1/25	10:50-12:20	計算機実習室	徳永 伸一	
授業方法 講義およびパソコンを用いた実習					

授業内容 15回のうち、10～12回程度は、サンプルプログラムや幾何学デザインの解説を行い、それに基づいてプログラムを作成します。 残りの3～5回程度は、各自が考案または収集した幾何学デザインに関して、発表を行ってもらいます。
成績評価の方法 提出課題による
成績評価の基準 原則として各授業での課題プログラムをすべて作成・提出し、さらにオリジナルのプログラムを提出することが必須となります。
準備学習などについての具体的な指示 幾何学デザインに必要な数学的知識およびプログラミング技法を事前に予習しておくこと。
他科目との関連 前期の「情報科学」で学習したプログラミングの技法を発展的に活用します。
履修上の注意事項 前期の「情報科学」で扱った幾何学図形グラフィックスのプログラミング技法(あるいは他のプログラミング言語による同程度の技法)を習得しておくことが必須です。
参照ホームページ http://www.thepictaram.club/instagram/shin1tok (授業で扱う可能性のある幾何学模様のサンプルです) http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm (前期「情報科学」のプログラミングテキスト)
連絡先 tokunaga.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期: 水曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000297																						
科目名	教養総合講座																						
担当教員	高尾 千津子, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, PATRICK FOSS, 田中 智彦, 土佐 朋子, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, 畔柳 和代, JEANETTE DENNIS, 猪熊 恵子, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 水野 哲也, 勝又 敏行, 松本 幸久, 増田 俊平, 鶴飼 祐江, 小野 諒巳, 古矢 篤史, 加藤 千絵美, 菊池 慶子																						
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																		
・曜日・時間: 火曜日3・4限 ・対象学科・専攻: 全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。																							
授業の目的、概要等 (1) 人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、共通のテーマを深く考察する機会を与えることによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につけさせる。 (2) すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。 (3) 学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。																							
授業の到達目標 大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>5/15</td><td>14:45-17:00</td><td>鈴木章夫 記念講堂</td><td>田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 冢永 真幸</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>5/22</td><td>13:10-14:40</td><td>1 番教室 計算機実 習室</td><td>田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子,</td><td>基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	5/15	14:45-17:00	鈴木章夫 記念講堂	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 冢永 真幸		2	5/22	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子,	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																		
1	5/15	14:45-17:00	鈴木章夫 記念講堂	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 冢永 真幸																			
2	5/22	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子,	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他																		

				水野 哲也 徳永 伸一 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲 澤野 頼子 奈良 雅之 服部 淳彦 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ 中島 ひかる, 家永 真幸	に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
3	5/22	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也 徳永 伸一 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲 澤野 頼子 奈良 雅之 服部 淳彦 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
4	6/5	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也 徳永 伸一 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。

				澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	
5	6/5	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
6	6/19	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。

				子, JEANETTE DENNISON, 畔柳和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	
7	6/19	14:50-16:20	1 番教室 計算機実習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。
8	7/3	13:10-14:40	1 番教室 計算機実習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳和代, シンチンガー エミ, 中島 ひかる,	基礎ゼミの教室は別途確認のこと。担当教員は他に勝又敏行(化学・助教)、松本幸久(生物・助教)が担当する。

				家永 真幸	
9	7/3	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
10	7/17	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史, 清田 正夫, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
11	7/17	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一,	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本

				中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲 澤野 頼子 奈良 雅之 服部 淳彦 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	幸久(生物・助教) が担当する。
12	7/31	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲 澤野 頼子, 奈良 雅之 服部 淳彦 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ, 中島 ひかる, 家永 真幸	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。
13	7/31	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹 檜枝 光憲 澤野 頼子, 奈良 雅之	基礎ゼミの教室 は別途確認のこ と。担当教員は他 に勝又敏行(化 学・助教)、松本 幸久(生物・助教) が担当する。

				服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ 中島 ひかる, 家永 真幸	
14	9/21	13:10-14:40	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹, 檜枝 光憲 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, シンチ ンガー エミ 中島 ひかる, 家永 真幸	全体発表会
15	9/21	14:50-16:20	1 番教室 計算機実 習室	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子, 水野 哲也, 徳永 伸一, 中口 悦史 清田 正夫 越野 和樹, 檜枝 光憲 澤野 頼子, 奈良 雅之, 服部 淳彦, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS	全体発表会

				SON, 畔柳 和代 シンチ ンガー エミ 中島 ひかる 家永 真幸	
授業方法 講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。 教養部ガイダンスや第1回目の日(5月15日)に、詳細な説明を行う。					
授業内容 本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を8名程度のグループに分けて、並行して進められる。 (1)基礎ゼミでは、指定された課題図書と、初回の基調講演を参考にして、班ごとに、大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。2グループに1名ずつ、教養部教員がチュータとして参加する。 (2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。 (3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。 「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。 5月15日 外部講師による基調講演、ガイダンス 7月7日 基礎ゼミ交流戦 反省会 9月上旬～中旬 最終発表会前リハーサル 9月21日(金)最終発表会					
成績評価の方法 評価:その他 100% 基礎ゼミ(50%)、文章表現リテラシー(25%)、情報活用リテラシー(25%) 出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。 なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。 再評価: 無					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示 「基礎ゼミ指定教科書」および「文章表現リテラシーの課題図書」は第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。					
教科書 <基礎ゼミ指定教科書> 香川千晶『命はだれのものか』(ディスカヴァー携書、2009年)。 基調講演者の著書です。講演前後に通読すること。 <文章表現リテラシー指定教科書> 木村敏『からだ・こころ・生命』(講談社学術文庫、2015年)。 第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。					
参考書 レポートの作り方: 情報収集からプレゼンテーションまで/江下雅之:中央公論新社、2003年					

悪文 伝わる文章の作法／岩淵悦太郎:角川ソフィア文庫, 2016 年

レポートの組み立て方／木下是雄:ちくま学芸文庫, 1994 年

日本語の思考法／木下是雄:中公文庫, 2009 年

(注意)

上記、江下雅之『レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003 年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。

時間割番号	000298				
科目名	医療人間学概論(倫理学)				
担当教員	藤井 達夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間: 火曜 2 限					
対象学科: 保健衛生学科看護学専攻					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2) 1-9)					
授業の目的、概要等					
この授業では、倫理学の基礎的な理解から出発します。その上で、自己決定権という概念とインフォームドコンセントという実践を基盤にした生命倫理の内容と歴史を概観し、その現代的な課題について検討します。この検討のために、19 世紀に誕生した優生思想と、医療テクノロジーの発展によって普及しはじめた 21 世紀の新しい優生思想に焦点を当てます。これに加え、今年度は、戦後日本の障害者政策と障害者の自己決定権の問題を取り上げる予定です。					
授業の到達目標					
(1)倫理学説の基礎的な理解を習得すること。					
(2)日常的な倫理観を相対化する視点を獲得すること。					
(3)現代の生命倫理が抱える課題に対する理解を深めること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/25	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
2	10/2	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
3	10/9	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
4	10/16	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
5	10/23	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
6	10/30	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
7	11/6	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
8	11/13	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室 1	藤井 達夫	
授業方法					
この授業は、講義形式で行われます。					
授業内容					
第 1 回 倫理学の基礎について					
第 2 回 生命倫理とは何か? ……インフォームド・コンセントとその限界					
第 3 回 優生思想と医療① ……西洋のケース					
第 4 回 優生思想と医療② ……日本のケース					
第 5 回 新しい優生思想の登場とその倫理的問題					

第6回 医療テクノロジーの発展に伴う生命倫理の新たな課題

第7回 戦後の障害者政策

第8回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権

成績評価の方法

評価：試験 0%・レポート 90%・その他(授業での取り組み)10% 知識の習得度合いを確認し、現代の生命倫理が抱える課題を履修者自身で考え、自らの言葉で表現できるかどうかを評価するため。

再評価：有(再評価方法) レポートの再提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

必要があれば、授業内で指示をします。

教科書

教科書は使用しません。スライドを使って授業を行います。

参考書

授業内で随時、紹介していきます。

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000299				
科目名	医療人間学概論(法学)				
担当教員	船橋 亜希子				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1
曜日・時間:火曜1限					
受講資格:保健衛生学科					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):					
1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する					
1-9)市民としての倫理観を養う					
授業の目的、概要等					
・ 未来の医療者として、「医療安全」の重要性を認識し患者の立場に立った医療の実践を可能にすること					
・ 医療従事者の中でも特に患者と接する機会が多い医師・看護師の事案を中心に学ぶことで、医療従事者に必要な法的素養を身につける					
授業の到達目標					
・ 憲法の役割と重要性を説明できる					
・ 医療と法の問題を議論することができる					
・ 患者の権利について説明でき、配慮することができる					
・ 医療の安全について説明でき、配慮することができる					
・ 法的問題と認識し、適切に周囲と相談ができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	9/25	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
2	10/2	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
3	10/9	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
4	10/16	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
5	10/23	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
6	10/30	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
7	11/6	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
8	11/13	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	船橋 亜希子	
授業方法					
授業は講義形式で行います。					
グループワークも行うので、積極的な参加を期待します。					
授業内容					

第1回 法とはなにか① 第2回 法とはなにか② 第3回 医療従事者と法 第4回 インフォームド・コンセント 第5回 医療事故と医療過誤① 第6回 医療事故と医療過誤② 第7回 終末期医療 第8回 まとめ
成績評価の方法 評価：レポート 60% ・ リアクションペーパーへの回答など 40% 知識を確実に習得し、具体的な事案に対応する力を重視する。 再評価： 有(試験又はレポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習も歓迎するが、復習を優先的に行うこと。 「医療と法」に関心を持ち、ニュース等もフォローしておくこと。
試験の受験資格 講義に3分の2以上の出席をした者。
参考書 久々 湊晴夫＝旗手俊彦『はじめての医事法』(成文堂、第2版、2011) そのほか適宜授業内で紹介します。
履修上の注意事項 レジュメの再配布はしません。 出欠は教員が取る出欠(リアクションペーパー)を優先します。 リアクションペーパーに代えて小テストを行うことがあります。

時間割番号	000293			
科目名	医療人間学セミナーⅠ（法学）			
担当教員	中田 はる佳			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間： 火曜 1－2限 対象学科： 保健衛生 学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1－9)市民としての倫理観を養う、1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する				
授業の目的、概要等 医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。				
授業の到達目標 医療と法律の関連を知る				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/20	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
2	11/20	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
3	11/27	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
4	11/27	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
5	12/4	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
6	12/4	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
7	12/11	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
8	12/11	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
授業方法 基本的にはセミナー形式で行います。				
授業内容 第1回:子どもの権利、親の権利 第2－3回:親子に関連する医療と法(臓器移植と医療機器) 第4回:親子に関連する医療と法(遺伝子治療、遺伝子検査)				
成績評価の方法 評価：試験　　％・レポート80　　％・その他(　講義への参加度　　) 20　　％ 再評価：有(レポート)				

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。

教科書

資料は講義中に配布します。

時間割番号	000294			
科目名	医療人間学セミナーⅠ（倫理学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間：火曜 1・2 限 対象学科：保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1-2) 1-9)				
授業の目的、概要等				
このセミナーでは、ケアの問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』を履修生の皆さん全員と輪読します。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、ケアについて考えることを目指します。履修生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会におけるケアの問題を倫理学の視点から検討したいと思います。				
授業の到達目標				
(1)倫理学の視点から現代社会におけるケアの問題について考え、自分の意見を表明できること。 (2)一冊のテキストをしっかりと読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 (3)他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	11/20	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
2	11/20	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
3	11/27	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
4	11/27	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
5	12/4	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
6	12/4	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
7	12/11	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
8	12/11	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
授業方法				
この授業は、セミナー形式で行われます。履修生には、担当箇所のレジュメの作成とそれを用いたプレゼンテーションをしてもらいます。				
授業内容				
第1回……ケアについて(ホスピスから考える) 第2回……ケアについて(障害者問題から考える) 第3回～第8回……テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション				

成績評価の方法

評価：試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題の提出とプレゼンテーション、授業内での発言) 100% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視するため。

再評価： 有(再評価方法)レポートの提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備

教科書

渡辺一史『こんな夜更けにバナナかよ』(文春文庫、2013 年)

参考書

授業内で随時、紹介していきます。

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000295			
科目名	医療人間学セミナーⅡ（法学）			
担当教員	中田 はる佳			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間： 火曜 1－2限 対象学科： 保健衛生 学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 1－9) 市民としての倫理観を養う、1－2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する				
授業の目的、概要等 医療技術が発展していく中で、それに合わせて法律や倫理など社会の基盤となるものも発展していかなければなりません。この授業では、医療と法律の接点について様々な事例を見ながら考えていきます。基本的な事項を解説した上で、様々な資料から自分の考えをまとめてもらいます。				
授業の到達目標 医療と法律の関連を知る				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	12/18	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
2	12/18	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
3	1/8	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
4	1/8	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
5	1/15	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
6	1/15	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
7	1/22	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
8	1/22	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室1	中田 はる佳
授業方法 基本的にはセミナー形式で行います。				
授業内容 第1回: 尊厳死・安楽死とは 第2-3回: 人の死が問題となる医療と法(脳死と関連医療) 第4回: 人の死が問題となる医療と法(尊厳死・安楽死の事例)				
成績評価の方法 評価： 試験 % ・ レポート80 % ・ その他(講義への参加度) 20 % 再評価： 有(レポート)				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

予習は基本的に不要です。復習は、講義内容に関連する新聞記事などを見つけて読み、自分の考えをまとめるなどしてください。

教科書

資料は講義中に配布します。

時間割番号	000296			
科目名	医療人間学セミナーⅡ（倫理学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	後期	対象年次	1	
曜日・時間： 火曜 1・2 限 対象学科：保健衛生学科看護学専攻 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2) 1-9)				
授業の目的、概要等				
このセミナーでは、死の問題を現代社会の文脈に据えて検討します。このために、山崎章郎『病院で死ぬということ』を履修生の皆さん全員と輪読します。この輪読をとおして、看護の専門家としてのみならず、現代社会を生きる人間として、死の問題について考えることを目指します。履修生の皆さんは、今後、看護について専門的に学ぶことになります。このセミナーでは、専門的な学習の前提となるような、あるいはもしかしたら、専門的な学習では取り扱われないような、現代社会における死の問題を倫理学の視点から検討したいと思います。				
授業の到達目標				
(1)倫理学の視点から現代社会における死の問題について考え、自分の意見を表明できること。 (2)一冊のテキストをしっかりと読みこなすことができ、またその内容についてプレゼンテーションができること。 (3)他の学生の意見や問いかけに対して、しっかり応答ができるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	12/18	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
2	12/18	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
3	1/8	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
4	1/8	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
5	1/15	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
6	1/15	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
7	1/22	08:50-10:20	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
8	1/22	10:30-12:00	保健衛生 学科講義 室2	藤井 達夫
授業方法				
この授業は、セミナー形式で行われます。履修生には、担当箇所のレジュメの作成とそれを用いたプレゼンテーションをしてもらいます。				
授業内容				
第1回・・・現代の死について(ホスピスから考える) 第2回・・・キューブラ・ロスと病院死への批判 第3回～第8回・・・テキストについてのプレゼンテーションとディスカッション				

成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題の提出とプレゼンテーション、授業内での発言)100% セミナー形式 の授業であり、授業への参加度を重視するため。 再評価： 有(再評価方法)レポートの提出
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 テキストの熟読、レジュメの作成、プレゼンテーションの準備
教科書 山崎章郎『病院で死ぬということ』(文春文庫、1996 年)
参考書 授業内で随時、紹介していきます。
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。